

医師国家試験出題基準

平成30年版

厚生労働省医政局医事課

目 次

医師国家試験出題基準改定部会委員名簿（平成 28 年 3 月時点）	
平成 30 年版医師国家試験出題基準・ブループリントの趣旨	1
医師国家試験出題基準の利用法	2
ブループリント（医師国家試験設計表）	4
主な検査項目の表記	8
必修の基本的事項	13
医学総論	
I 保健医療論	30
II 予防と健康管理・増進	35
III 人体の正常構造と機能	40
IV 生殖、発生、成長、発達、加齢	46
V 病因、病態生理	49
VI 症候	53
VII 診察	61
VIII 検査	63
IX 治療	72
医学各論	
I 先天異常、周産期の異常、成長・発達の異常	84
II 精神・心身医学的疾患	87
III 皮膚・頭頸部疾患	89
IV 呼吸器・胸壁・縦隔疾患	95
V 心臓・脈管疾患	98
VI 消化器・腹壁・腹膜疾患	101
VII 血液・造血器疾患	105
VIII 腎・泌尿器・生殖器疾患	108
IX 神経・運動器疾患	113
X 内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患	119
XI アレルギー性疾患、膠原病、免疫病	122
XII 感染性疾患	124
XIII 生活環境因子・職業性因子による疾患	127
索引	
欧文索引	130
邦文索引	135
参考	
医師国家試験改善検討部会報告書	179

医師国家試験出題基準改定部会委員名簿

(所属は平成 28 年 3 月時点)

	氏 名	所 属
部 会 長	澤 充	日本大学
参 与	井廻 道夫	新百合ヶ丘総合病院消化器・肝臓病研究所
	加賀谷 豊	東北大学
	小森 貴	公益社団法人日本医師会
	坂井 建雄	順天堂大学
	清水 貴子	社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院
	高木 康	公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構
	奈良 信雄	順天堂大学・東京医科歯科大学
	伴 信太郎	名古屋大学
	本橋 豊	京都府立医科大学・京都府健康福祉部
第 110 回国家試験		
委 員 長	板倉 敦夫	順天堂大学
副委員長	吉田 素文	九州大学
委 員	荒川 浩一	群馬大学
	飯笹 俊彦	千葉県がんセンター
	石坂 信和	大阪医科大学
	伊東 秀文	和歌山県立医科大学
	猪口 孝一	日本医科大学
	岩城 正佳	愛知医科大学
	瓜田 純久	東邦大学
	江頭 正人	東京大学
	大熊 洋揮	弘前大学
	大滝 純司	北海道大学
	小川 良雄	昭和大学
	金谷 文則	琉球大学
	金兼 弘和	東京医科歯科大学
	釜井 隆男	獨協医科大学
	北岡 隆	長崎大学
	北川 昌伸	東京医科歯科大学
	木村 昭夫	国立国際医療研究センター
	桑野 和善	東京慈恵会医科大学

氏 名 所 属

小西 靖彦	京都大学
酒井 昭典	産業医科大学
佐野 統	兵庫医科大学
生水 真紀夫	千葉大学
鈴木 貞夫	名古屋市立大学
清島 真理子	岐阜大学
瀬尾 宏美	高知大学
関沢 明彦	昭和大学
武田 多一	三重大学
竹本 文美	地域医療機能推進機構東京城東病院
田妻 進	広島大学
田中 淳司	東京女子医科大学
田中 逸	聖マリアンナ医科大学
田中 祐司	防衛医科大学校
土井 勝美	近畿大学
豊島 至	国立病院機構あきた病院
中島 康雄	聖マリアンナ医科大学
中村 郁夫	東京医科大学
長谷川 仁志	秋田大学
濱田 洋実	筑波大学
春間 賢	川崎医科大学
平井 敏弘	川崎医科大学
平尾 智広	香川大学
藤枝 重治	福井大学
丸山 一男	三重大学
三上 幹男	東海大学
宮岡 等	北里大学
宮崎 真理子	東北大学
宮下 修行	川崎医科大学
山田 和徳	金沢大学
山田 恵	京都府立医科大学
吉村 学	宮崎大学
米田 博	大阪医科大学
渡辺 大輔	愛知医科大学

オブザーバー

寺門 成真 文部科学省高等教育局医学教育課長

平成30年版医師国家試験出題基準・ブループリントの趣旨

1 医師国家試験出題基準とは

(1) 定義

医師国家試験出題基準(ガイドライン)は、医師国家試験の「妥当な範囲」と「適切なレベル」とを項目によって整理したもので、試験委員が出題に際して準拠する基準である。

(2) 基本的考え方

- ①全体を通じて、臨床実習での学習成果を中心とした臨床研修開始前の到達度を確認することに主眼を置く。
- ②「必修の基本的事項」では、医師としての基本的姿勢を含めた基本的診療能力を主題として出題する。
- ③「医学総論」、「医学各論」では、原則、我が国のどの医療機関であっても対応できるような内容に限定する。

(3) 卒前教育等との関係

大学医学部・医科大学における医学教育は、大学の自主性に基づいて実施されているが、大学医学部・医科大学卒業後、医師国家試験に合格し、医籍に登録されると医師となるのであるから、医師の任務を果たすのに必要な内容は、一連の医学教育に含まれるべきものである。一方、試験委員が準拠する医師国家試験出題基準は、卒前教育・卒後臨床研修・専門医の育成等を含めた一連の医師養成課程の中で、医師が医療現場での第一歩を踏み出す際に少なくとも具有すべき基本的知識・技能・態度を各項目に分類し、具体的に示したものである。これは、卒前教育の全てを網羅するものではなく、また、卒前教育のあり方及び内容を拘束するものではないが、医師の任務を果たすのに必要な事項を示すものである。

2 ブループリントとは

ブループリント(医師国家試験設計表)は、医師国家試験出題基準の各項目(章、大項目等)の出題割合を示したものである。これに基づき、医療に対するニーズが拡大している近年の状況を踏まえ、社会的に要請の高い分野を含めた幅広い領域から出題するほか、頻度や緊急性の高い疾患についても優先的に出題することになる。

医師国家試験出題基準の利用法

はじめに

医師国家試験は、医師法第9条に基づき「臨床上必要な医学及び公衆衛生に関して、医師として具有すべき知識及び技能」について行われる。また、医師法の一部改正により、平成16年4月1日から臨床研修が必修化され、同法第16条の2において、診療に従事しようとする医師は、2年以上、臨床研修を受けなければならないとされていることから、第9条にいう「知識と技能」とは、医療に第一歩を踏み出し、指導医の下でその任務を果たすのに必要な基本的知識及び技能であると考えられる。

その内容を具体的な項目によって示したのが、医師国家試験出題基準である。医師試験委員会は、医師国家試験の妥当な内容、範囲及び適切なレベル等を確保するため、この基準に拠って出題する。

従って、医師国家試験出題基準は大学医学部・医科大学の卒前教育で扱われている内容の全てを網羅するのではなく、また、これらの教育のあり方を拘束するものではない。

利用方法

利用者は以下の各項に従う。

なお、各項目は、医師国家試験問題の出題範囲という観点から配列されているため、必ずしも学問的な分類体系と一致しない点があるほか、各項目間で内容が重複することがある。また、用語については、日本医学会医学用語辞典 Web 版の内容を考慮し定めている。

1. 大・中・小項目、備考

(1) 大項目は、中項目を束ねる見出しである。

(2) 中項目には、医師国家試験の出題範囲となる事項名・疾病名・障害名を包括する疾患概念や分類名を記載している。

(3) 小項目には、中項目の内容に属する事項名・疾病名・障害名を具体的に記載し、可能な限り出題範囲を明確化している。

(4) 備考には、小項目に関する内容のうち、基本的臨床能力の観点から特に重要な事項を記載している。ただし、原語表記を明確化しておく必要がある場合はこの限りでない。

2. ブループリント(医師国家試験設計表)について

項目・評価領域ごとに¹⁾出題割合を規定したものである。

利用者は、以下の各項に従う。

(1) 「必修の基本的事項」

「必修の基本的事項」では、各大項目に出題割合を記載している。

これは、「必修の基本的事項」における問題全体のうち、当該大項目に関する問題の出題割合を示したものである。

(2) 「医学総論」及び「医学各論」

「医学総論」及び「医学各論」では、各章と各大項目に出題割合を記載している。各章に記載されている出題割合は、当該章に関する問題の医学総論(又は医学各論)全体に対する割合を示しており、また、大項目に記載されている出題割合は、当該大項目のその章全体に対する割合を示している。

【例】 医学総論 VII 診察 約7%
3 小児の診察 約20%

※ 「医学総論」において、「VII 診察」に関する問題を全問題の約7%出題し、さらに「VII 診察」の問題のうち、「3 小児の診察」に関する問題を約20%（「医学総論」全体からみると約1.4%）出題することを意味する。

なお、「医学総論」においては「必修の基本的事項」の出題項目を、「医学各論」においては「必修の基本的事項」と「医学総論」の出題項目についても、それぞれ出題することができる。

(3) 中項目以下の取扱い

出題割合の記載のない中項目以下の事項については、試験委員会の判断で出題が可能であるが、日常臨床で遭遇する機会の多い疾患や病態の出題を優先する。

3. その他

(1) 括弧は以下のルールに基づいて使用した。試験委員の判断で、括弧内・外の語を単独または併記して使用できる。

() : 直前の語の説明又は限定

【例】 外耳(耳介、外耳道、鼓膜)

< > : 直前の語と同義

【例】 世界保健機関<WHO>

[] : () や < > の中に () や < > がある場合の大きな括り

【例】 薬剤耐性[antimicrobial resistance<AMR>]

{ } : 省略しても意味または分類の変わらない語

【例】 タンパク{質}

(2) 関連する語を列記する際に、読点「、」及び中点「・」を以下のルールに基づいて使用した。ただし、検索の利便性を確保する観点から、索引には中点を使用せずに掲載している場合がある。

読点「、」: 単純に列記する場合

【例】 眼窩、{眼} 瞼裂

中点「・」: 前後の語での重複を排して列記する場合

【例】 内分泌機能検査、代謝機能検査 → 内分泌・代謝機能検査

(3) 疾病名・障害名等は、一部で各論の章に重複して記載されている。重複していない項目についても、章または大項目の標題である臓器・病態に限定されずに出題することができる。また、年齢・性による違いに注目して出題することができる。

(4) 必修の基本的事項の「12 主要疾患・症候群」の「A 基本的疾患・症候群」に挙げられている疾患等については、原則としてその疾患等についての基本的事項や基本的診療能力を問う内容に限って出題できる。

(5) 医学総論の「III 人体の正常構造と機能」に関しては、臨床的事項を理解するのに必要な内容に限って出題する。

ブループリント（医師国家試験設計表）

〔出題割合は概数なので、必ずしも合計が100%にならない場合もある。最右列の数字は該当頁。〕

【必修の基本的事項】

1	医師のプロフェッショナリズム	約4%	14
2	社会と医療	約6%	14
3	診療情報と諸証明書	約2%	14
4	医療の質と安全の確保	約4%	15
5	人体の構造と機能	約3%	15
6	医療面接	約6%	16
7	主要症候	約15%	17
8	一般的な身体診察	約13%	19
9	検査の基本	約5%	20
10	臨床判断の基本	約4%	21
11	救急初期診療	約9%	21
12	主要疾患・症候群	約10%	22
13	治療の基本	約4%	25
14	基本的手技	約4%	25
15	死、緩和ケア、終末期ケア	約2%	25
16	チーム医療	約2%	26
17	生活習慣とリスク	約5%	26
18	一般教養的事項	約2%	27

【医学総論】

I 保健医療論 約13%

1	健康・疾病・障害の概念と社会環境	約20%	30
2	社会保障制度と医療経済	約10%	30
3	保健・医療・福祉・介護の仕組み	約15%	30
4	保健・医療・福祉・介護の資源	約15%	31
5	保健・医療・福祉・介護関係法規	約15%	31
6	地域保健、地域医療	約15%	32
7	国際保健	約10%	33

II 予防と健康管理・増進 約17%

1	予防医学と健康保持増進	約12%	35
2	人口統計と保健統計	約8%	35
3	疫学とその応用	約8%	35
4	母子保健	約12%	36
5	成人保健	約4%	36
6	高齢者保健	約4%	36
7	精神保健福祉	約8%	36
8	感染症対策	約16%	36
9	国民栄養と食品保健	約4%	37
10	学校保健	約4%	37
11	産業保健	約8%	37
12	環境保健	約12%	38

III 人体の正常構造と機能 約9%

1	個体の構造	約8%	40
2	皮膚、頭頸部、感覚器、発声器	約15%	40
3	呼吸器、胸郭、胸壁	約8%	41
4	心臓、脈管	約8%	41
5	消化器、腹壁、腹膜	約8%	42
6	血液、造血器	約8%	42
7	腎、泌尿器、生殖器	約8%	43
8	心理、精神、神経、運動器	約15%	43
9	内分泌、代謝、栄養	約8%	44
10	免疫	約15%	45

IV 生殖、発生、成長、発達、加齢 約 9%

1	妊娠	約 15%	46
2	分娩	約 15%	46
3	産褥	約 8%	46
4	胎児	約 8%	46
5	新生児	約 15%	47
6	小児期	約 15%	47
7	思春期、青年期	約 8%	48
8	加齢、老化	約 15%	48

V 病因、病態生理 約 12%

1	疾病と影響因子	約 6%	49
2	先天異常	約 11%	49
3	損傷、炎症	約 11%	49
4	感染	約 11%	50
5	アレルギー、免疫異常	約 6%	50
6	腫瘍	約 11%	50
7	循環障害、臓器不全	約 6%	51
8	内分泌・代謝・栄養の異常	約 11%	51
9	中毒、放射線障害	約 11%	51
10	医原病	約 6%	52
11	死	約 11%	52

VI 症候 約 12%

1	全身症候	約 17%	53
2	皮膚、外表	約 6%	53
3	頭頸部、感覚器	約 11%	54
4	呼吸器、心臓、血管	約 11%	55
5	消化器	約 11%	56
6	血液、造血器、免疫	約 11%	57
7	腎、泌尿器、生殖器	約 11%	57
8	心理、精神機能	約 6%	57
9	神経、運動器	約 11%	58
10	内分泌、代謝、栄養	約 6%	60

VII 診察 約 7%

1	二次・三次救急の診察	約 30%	61
2	高齢者の診察と評価	約 30%	61
3	小児の診察	約 20%	61
4	胎児・新生児の診察と評価	約 10%	62
5	妊・産・褥婦と胎児の診察	約 10%	62

VIII 検査 約 9%

1	検体検査	約 23%	63
2	生体機能検査	約 23%	65
3	皮膚・感覚器・発声機能検査	約 8%	66
4	心理・精神機能検査	約 8%	67
5	妊娠・分娩・胎児・新生児の検査	約 8%	67
6	画像検査	約 15%	68
7	内視鏡検査	約 15%	70

IX 治療 約 13%

1	食事・栄養療法	約 10%	72
2	薬物療法	約 10%	72
3	輸液、輸血、血液浄化	約 10%	73
4	手術、周術期の管理、麻酔	約 10%	73
5	臓器・組織・細胞移植、人工臓器、再生医療	約 5%	75
6	放射線治療	約 5%	75
7	インターベンショナルラジオロジー <IVR>	約 5%	76
8	内視鏡治療	約 5%	77
9	リハビリテーション	約 10%	77
10	二次・三次救急の治療	約 15%	78
11	緩和ケア	約 10%	80
12	その他の治療法	約 5%	81

【医学各論】

I 先天異常、周産期の異常、成長・発達の異常

約 5%

1	妊娠の異常	84
2	分娩・産褥の異常	84
3	胎児・新生児の異常	85
4	性分化・染色体異常、先天異常および成長・発達の障害	86

II 精神・心身医学的疾患

約 5%

1	症状性を含む器質性精神障害、精神作用物質使用による精神および行動障害	87
2	気分障害、統合失調症と類縁疾患	87
3	神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	87
4	生理的障害、身体的要因に関連した障害	87
5	小児・青年期の精神・心身医学的疾患、成人の人格・行動障害	88

III 皮膚・頭頸部疾患

約 11%

1	炎症性皮膚疾患	89
2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	89
3	その他の皮膚疾患	90
4	視機能異常、視神経疾患	91
5	眼窩・外眼部・前眼部・眼球の疾患	91
6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	91
7	外耳・中耳疾患	92
8	内耳・神経疾患	92
9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	93
10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	93
11	損傷、奇形	94

IV 呼吸器・胸壁・縦隔疾患

約 7%

1	感染性呼吸器疾患	95
2	気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷	95
3	免疫学的機序が考えられる肺疾患	95
4	実質性・間質性肺障害	96
5	肺循環異常	96
6	気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍	96
7	胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態・機能異常と外傷	97
8	呼吸調節異常	97

V 心臓・脈管疾患

約 10%

1	不整脈	98
2	心不全	98
3	先天性心疾患	98
4	弁膜症	98
5	虚血性心疾患	98
6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	99
7	血圧異常	99
8	脈管疾患	99

VI 消化器・腹壁・腹膜疾患

約 13%

1	食道疾患	101
2	胃・十二指腸疾患	101
3	小腸・結腸疾患	101
4	直腸・肛門疾患	101
5	消化管共通疾患	102
6	肝疾患	102
7	胆道疾患	103
8	膵疾患	103
9	横隔膜・腹膜・腹壁疾患	103
10	急性腹症	103
11	損傷、異物	103
12	その他の重要な小児領域の疾患	104

Ⅶ 血液・造血器疾患 約 5%

1	赤血球系疾患	105
2	白血球系疾患とその他の骨髄性疾患	105
3	リンパ系疾患	105
4	出血性疾患と血栓傾向	106
5	その他の重要な小児領域の疾患	106

Ⅷ 腎・泌尿器・生殖器疾患 約 12%

1	糸球体病変	108
2	血管・尿細管・間質病変	108
3	腎機能の障害による異常	109
4	腎・尿路結石と尿路閉塞性疾患	109
5	腎・尿路・生殖器の炎症	109
6	腎・尿路・男性生殖器の腫瘍	110
7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	110
8	月経異常、不妊、不育	110
9	更年期・閉経後障害	111
10	その他の尿路・生殖器異常	111

Ⅸ 神経・運動器疾患 約 9%

1	脳血管障害	113
2	脳腫瘍	113
3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	113
4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	114
5	末神経・神経筋接合部・筋疾患	114
6	発作性・機能性・自律神経系疾患	115
7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	115
8	上肢・下肢の運動器疾患、非感染性骨・関節・四肢軟部疾患	116
9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	116
10	神経・運動器の外傷、脳・脊髄の奇形、神経皮膚症候群、その他	117
11	その他の重要な小児領域の疾患	118

X 内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患 約 8%

1	間脳・下垂体疾患	119
2	甲状腺疾患	119
3	副甲状腺<上皮小体>疾患とカルシウム・リン代謝異常	119
4	副腎皮質・髄質疾患	119
5	その他の内分泌疾患	119
6	糖{質}代謝異常	120
7	脂質代謝異常	120
8	タンパク・アミノ酸代謝異常	120
9	その他の代謝異常	120
10	その他の重要な小児領域の疾患	121
11	乳腺・乳房疾患	121

XI アレルギー性疾患、膠原病、免疫病

約 5%

1	アレルギー性疾患	122
2	膠原病と類縁疾患	122
3	原発性免疫不全症	123
4	続発性免疫不全症	123
5	その他の重要な小児領域の疾患	123

XII 感染性疾患 約 8%

1	ウイルス	124
2	クラミジア、マイコプラズマ、リケッチア	124
3	細菌(抗酸菌<マイコバクテリア>を除く)	124
4	抗酸菌<マイコバクテリア>	125
5	真菌、寄生虫、その他の病原体	125

XIII 生活環境因子・職業性因子による疾患

約 5%

1	食中毒、病害動物による疾患	127
2	アルコールによる障害、薬物依存・中毒	127
3	喫煙による影響	127
4	産業中毒とその他の職業性疾患	127
5	物理的原因・生活環境因子による障害	128

主な検査項目の表記

出題に際して、主な検査項目の表記については以下に準拠する。ただし、以下に掲載していない検査も出題され得る。なお、「2 血液学検査」、「3 生化学検査」、「4 免疫血清学検査」及び「7 生体機能検査」の※印のある項目は、出題に際して基準範囲を記載しなくてもよい。

1 一般臨床検査

分類	項目
尿検査	肉眼的所見
	尿量
	比重
	浸透圧
	pH
	尿タンパク
	尿糖
	ウロビリノゲン
	ケトン体
	ビリルビン
	アミラーゼ
	尿潜血
	尿沈渣所見
	細菌検査
	尿細胞診
	白血球反応
	妊娠反応
	微量アルブミン
	レジオネラ抗原
	肺炎球菌抗原
【例】尿所見：タンパク1+、糖(-)、沈渣に赤血球10~20/1視野、白血球多数/1視野、赤血球円柱+。	
糞便検査	肉眼的所見
	顕微鏡検査(虫卵など)
	便潜血反応、免疫学的便潜血検査
	便細菌検査
喀痰検査	肉眼的所見
	細胞診
	細菌検査
脳脊髄液検査	初圧
	圧(Queckenstedt現象)
	肉眼的所見
	細胞数(種類と比率)
	タンパク定量
	糖定量
	IgG%
	ミエリン塩基性タンパク
	クロール定量
	細菌検査
	細胞診
	オリゴクローナルバンド

分類	項目
穿刺液検査	肉眼的所見
	比重
	タンパク定量
	細胞数(種類)
	細胞診
	細菌検査

2 血液学検査

分類	項目	
赤沈	赤沈	※
血球検査	赤血球	※
	ヘモグロビン<Hb>	※
	ヘマトクリット<Ht>	※
	平均赤血球容積<MCV>	※
	平均赤血球ヘモグロビン<MCH>	※
	平均赤血球ヘモグロビン濃度<MCHC>	※
	網赤血球	※
	白血球	※
	白血球分画	※
	血小板	※
	末梢血・骨髓血塗抹	
	【例】血液所見：赤血球396万、Hb 12.9 g/dL、Ht 38%、網赤血球1.2%、白血球7,800(桿状核好中球12%、分葉核好中球51%、好酸球2%、好塩基球1%、単球6%、リンパ球28%)、血小板20万。	
	凝固・線溶・血小板機能検査	出血時間
プロトロンビン時間<PT>		
活性化部分トロンボプラスチン時間<APTT>		
血漿アンチトロンビン		
トロンビン・アンチトロンビン複合体<TAT>		
血漿フィブリノゲン		
血清FDP		
Dダイマー		
プラスミン・プラスミンインヒビター複合体<PIC>		
血小板凝集能		

分類	項目
溶血に関する検査	赤血球浸透圧抵抗試験
	Ham試験
輸血関連検査	血液型
	交差適合試験<クロスマッチ>

3 生化学検査

分類	項目	
タンパク・タンパク分画	総タンパク<TP>	※
	タンパク分画	※
	アルブミン<Alb>	※
	$\alpha_1 \cdot \beta_2$ -マイクログロブリン	
	IgG、IgA、IgM、IgE	
	フェリチン	
	心筋トロポニンT	
	心筋トロポニンI	
色素生体	総ビリルビン	※
	直接ビリルビン	※
酵素、アイソザイム	AST	※
	ALT	※
	LD<LDH>	
	ALP	
	γ -GT< γ -GTP>	
	コリンエステラーゼ<ChE>	
	アミラーゼ	
	リパーゼ	
	CK	
	CK-MB	
含窒素成分	尿素窒素<BUN>	※
	クレアチニン<Cr>	※
	尿酸<UA>	※
	アンモニア	
糖代謝関連	{随時}血糖	※
	空腹時血糖<FBS>	※
	ブドウ糖負荷試験<OGTT>	
	HbA1c	
脂質代謝関連	総コレステロール<TC>	※
	トリグリセリド<TG>	※
	HDLコレステロール	※
	LDLコレステロール	※

分類	項目		
電解質、酸塩基平衡	Na	※	
	K	※	
	Cl	※	
	Ca	※	
	P	※	
	Mg		
	浸透圧		
微量金属元素	Cu		
	Fe	※	
	総鉄結合能<TIBC>		
	不飽和鉄結合能<UIBC>		
ビタミン	ビタミンB ₁		
	ビタミンB ₁₂		
	葉酸		
ホルモン	下垂体	甲状腺刺激ホルモン<TSH>	
		成長ホルモン<GH>	
		黄体化ホルモン<LH>	
		副腎皮質刺激ホルモン<ACTH>	
		卵胞刺激ホルモン<FSH>	
		プロラクチン<PRL>	
		抗利尿ホルモン、バソプレシン<ADH>	
		甲状腺	遊離トリヨードサイロニン<FT ₃ >
	遊離サイロキシン<FT ₄ >		
	サイログロブリン		
	カルシトニン		
	副甲状腺 <small>（上皮小体）</small>	副甲状腺ホルモン<PTH>	
	副腎	コルチゾール	
		アルドステロン	
		17 α -ヒドロキシprogesterone	
		アドレナリン	
		ノルアドレナリン	
	消化管	ガストリン	
	膵島	インスリン	
		グルカゴン	
		Cペプチド<CPR>	
	腎臓	血漿レニン活性<PRA>	
		アンジオテンシン	
		エリスロポエチン	
	性腺・胎盤	エストラジオール<E ₂ >	
		エストリオール<E ₃ >	
		progesterone	
テストステロン			
絨毛性ゴナドトロピン<hCG>			

分類		項目
ホルモン	心臓	心房性ナトリウム利尿ペプチド<hANP>
		脳性ナトリウム利尿ペプチド<BNP>
	尿中ホルモン	5-ヒドロキシインドール酢酸<5-HIAA>
		遊離コルチゾール
		カテコラミン
		メタネフリン・ノルメタネフリン
		バニリルマンデル酸<VMA>
腫瘍マーカー	α -フェトプロテイン<AFP>	
	CEA	
	CA19-9	
	CA125	
	PSA	
線維化マーカー	KL-6	

4 免疫血清学検査

分類	項目
炎症マーカー	C反応性タンパク<CRP> ※
感染マーカー	プロカルシトニン
感染の抗原・抗体	梅毒血清反応
	Weil-Felix反応
	ASO
	トキソプラズマ抗体
	寒冷凝集反応
	マイコプラズマ抗体
	ウイルス血清反応
	β -D-グルカン
	HTLV-1抗体
	HIV抗体
	HBs抗原、HBs抗体、HBc抗体
	HCV抗体
自己抗体	リウマトイド因子<RF>
	抗CCP抗体
	MPO-ANCA
	PR3-ANCA
	抗核抗体
	抗ssDNA抗体
	抗dsDNA抗体
	抗セントロメア抗体
	抗アミノアシルtRNA合成酵素抗体<抗ARS抗体>

分類	項目
自己抗体	抗RNP抗体
	抗Sm抗体
	抗SS-A抗体
	抗SS-B抗体
	抗Jo-1抗体
	抗Scl-70抗体
	抗ミトコンドリア抗体
	抗RNAポリメラーゼIII抗体
	抗平滑筋抗体
	抗サイログロブリン抗体
	抗甲状腺ペルオキシダーゼ<TPO>抗体
	抗TSH受容体抗体<TRAb>
	抗GAD抗体
抗インスリン抗体	
直接・間接Coombs試験	
抗アクアポリン4抗体	
抗アセチルコリン受容体抗体	
免疫タンパク	免疫電気泳動
	Bence Jonesタンパク
アレルギーに関する検査	アレルギー検査
	IgE、特異的IgE
	皮膚反応(パッチテスト、プリックテスト、皮内反応)
	再投与試験
補体	血清補体価(CH ₅₀)、C3、C4
	免疫複合体
細菌能検査・細胞免疫	リンパ球表面抗原検査
	CD4/8比
	好中球機能検査
	リンパ球刺激試験
移植	ツベルクリン反応
	組織適合検査 【例】HLA-B27

5 微生物学検査

分類	項目
病原体検査	細菌検査(塗抹、培養、同定、薬剤感受性試験)
	結核・抗酸菌検査(塗抹、Gaffky号数、培養、感受性試験、核酸検査)
	スピロヘータ
	リケッチア
	クラミジア
	マイコプラズマ
	ウイルス
	真菌
	原虫
	寄生虫
	核酸検査

注)細菌の学名はイタリック体で、ウイルスはローマン体で表記。

【例】 *Staphylococcus aureus*
poliovirus

6 病理組織学検査、細胞診

分類	項目
光顕・電顕標本	
染色法	Hematoxylin-eosin染色<H-E染色> 【例】生検組織のH-E染色標本
	PAS染色 【例】腎生検のPAS染色標本
	PAM染色
	SudanⅢ染色
	Congo-Red染色
	Gram染色 【例】喀痰のGram染色標本
	Ziehl-Neelsen染色
	Grocott染色
	May-Giemsa染色 【例】骨髓血塗抹May-Giemsa染色
	Papanicolaou染色
	免疫組織化学
	酵素組織化学
	Gomori-Trichrome染色

7 生体機能検査

分類	項目
動脈血ガス分析	pH ※
	PaCO ₂ ※
	PaO ₂ ※
	HCO ₃ ⁻ ※ 【例】動脈血ガス分析(room air) : pH 7.41、PaCO ₂ 41 Torr、PaO ₂ 83 Torr、HCO ₃ ⁻ 25 mEq/L。
機能呼吸	%VC
	FEV ₁ %
心機能	{12誘導}心電図検査
	Holter心電図検査
	運動負荷心電図検査
	心臓カテーテル検査
消化器系	唾液分泌検査
	胃液検査
	食道・胃24時間pHモニタリング検査
	食道内圧検査
	肛門内圧検査
	BT-PABA試験
内分泌・代謝機能	インスリン負荷試験
	グルカゴン負荷試験
	ブドウ糖負荷試験
	絶食試験
	TRH負荷試験
	CRH負荷試験
	GHRH負荷試験
	LHRH負荷試験
	デキサメタゾン抑制試験
	水制限試験
	高張食塩水負荷試験
	ACTH試験
	甲状腺 ¹²³ I摂取率
	フロセミド負荷試験
	PTH負荷試験<Ellsworth-Howard試験>
	プロゲステロン負荷試験
エストロゲン・プロゲステロン負荷試験	
ゴナドトロピン負荷試験	
腎機能	クレアチンクリアランス
	糸球体濾過率<GFR>
	レノグラム
神経	脳波検査
	針筋電図検査
	末梢神経伝導検査

8 内視鏡検査

分類	検査名	画像名
内視鏡検査	<u>上部消化管内視鏡検査</u>	～像
	<u>下部消化管内視鏡検査</u>	
	<u>気管支内視鏡検査</u>	
	<u>カプセル内視鏡検査</u>	
	<u>小腸内視鏡検査</u>	
	<u>喉頭内視鏡検査</u>	
	<u>色素内視鏡検査</u>	

9 画像検査

分類	検査名	画像名
超音波検査	<u>頸部超音波検査</u>	～像
	<u>乳房超音波検査</u>	～像
	<u>腹部超音波検査</u>	～像
	<u>心エコー検査</u>	～図
	<u>カラードプラ心エコー検査</u>	
	<u>前立腺経直腸超音波検査</u>	～像
	<u>経膈超音波検査</u>	
	<u>内視鏡的超音波検査</u>	
	<u>迅速簡易超音波検査<FAST></u>	
エックス線撮影	<u>頭部エックス線撮影</u>	～写真
	<u>胸部エックス線撮影</u>	
	<u>軟エックス線撮影</u>	
	<u>マンモグラフィ</u>	マンモグラム
	<u>脊椎エックス線撮影</u>	～写真
	<u>四肢エックス線撮影</u>	
	<u>産科的骨盤エックス線撮影</u>	
エックス線造影撮影	<u>上部消化管造影検査</u>	～像
	<u>小腸造影検査</u>	
	<u>注腸造影検査</u>	
	<u>内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査<ERCP></u>	
	<u>静脈性尿路造影検査</u>	
	<u>逆行性尿路造影検査</u>	
	<u>子宮卵管造影検査<HSG></u>	
	<u>血管造影検査</u>	
	<u>選択的動脈造影検査</u>	
	<u>デジタルサブトラクション血管造影検査</u> [digital subtraction angiography<DSA>]	

分類	検査名	画像名
CT	<u>単純・造影CT</u>	単純・造影CT 【例】腹部造影CT
	<u>3D-CT</u>	3D-CT
MR	<u>単純・造影MRI</u>	単純・造影MRI 【例】頭部単純MRIのT2強調矢状断像
	<u>MRA</u>	MRA
	<u>磁気共鳴胆管膵管撮像<MRCP></u>	～像<MRCP>
核医学検査	<u>ポジトロンエミッション断層撮像<PET></u>	～像<PET>
	<u>シングルフォトンエミッションCT <SPECT></u>	シングルフォトンエミッションCT<SPECT>
	<u>シンチグラフィ</u>	シンチグラム 【例】 ^{99m} TcO ₄ ⁻ 甲状腺シンチグラム

注) 検査名に下線がある場合は、下線部分を省いて画像名の欄の語を続ける。画像名の欄のないものは、波形名等として下線部分を省いて表記する。

【例】検査名… 腹部超音波検査、心電図検査
画像名… 腹部超音波像、心電図

必修の基本的事項

大項目	中項目	小項目	
1 医師のプロフェッショナリズム 約4%	A 医の倫理	① 生と死にかかわる倫理的問題	
		② 医師の職業倫理指針	
		③ 利他主義	
	B 患者の権利と義務	① 患者の権利と義務	
		② 自己決定権	
		③ インフォームド・コンセントとセカンドオピニオン	
		④ 個人情報の保護	
	C 患者医師関係	① ジュネーブ宣言、リスボン宣言	
		② 患者の意向の尊重(患者中心医療)	
③ 患者・家族の医療への参加(相互参加医療)			
2 社会と医療 約6%	A 医療制度、医療経済	① 医師法	
		② 医療法	
		③ 医療保険制度	
		④ 介護保険制度	
		⑤ 国民医療費	
	B 患者・障害者のもつ心理・社会的問題	① 疾病・障害の概念と構造	
		② 生活の質[quality of life<QOL>]	
		③ リハビリテーションの理念	
		④ ノーマライゼーション	
		⑤ 患者・障害者の心理と態度	
		⑥ 患者・障害者の社会活動と社会参加	
		⑦ 家族機能	
		⑧ 行動変容、要因分析	
	C 保健・医療・福祉・介護・教育の制度と連携	① 職種と社会資源	
		② 職種連携	
	D 医学研究と倫理	① 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針	
		② ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	
		③ 遺伝子治療等臨床研究に関する指針	
	E 臨床試験・治験と倫理性	① ヘルシンキ宣言	
		② 第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ相試験	
		③ 医薬品の臨床試験実施の基準<GCP>	
		④ 治験審査委員会・倫理審査委員会<IRB>	
	3 診療情報と諸証明書 約2%	A 診療録、医療記録	① 診療録・医療記録の管理と保存(電子カルテを含む)
			② 診療録の内容
③ 診療情報の開示			
④ プライバシー保護、セキュリティー			
⑤ 問題志向型医療記録<POMR>			
⑥ SOAP(主観的所見、客観的所見、評価、計画)			
B 診療に関する諸記録		① 処方箋	
		② 入院診療計画書	
		③ 検査・画像・手術の記録	
		④ 退院時要約	
C 診断書、検案書、証明書		① 診断書	
		② 出生証明書	
		③ 死産証書	

大項目	中項目	小項目
		④ 死胎検案書
		⑤ 死亡診断書
		⑥ 死体検案書
4 医療の質と安全の確保 約4%	A 医療の質の確保	① 病院機能評価、国際標準化機構<ISO>
		② 医療の質に関する評価指標<クリニカルインディケータ>
		③ 患者満足度
		④ 患者説明文書、同意書、同意撤回書
		⑤ クリニカルパス
	B 医療事故の発生と再発の防止	① 医療過誤と医療事故
		② 医療事故の発生要因(ヒューマンエラー、制度・組織エラー)
		③ 医療事故の内容(誤薬、誤認、チューブ抜去、出血、外傷、感染、電撃、転倒・転落、被曝、褥瘡、自殺企図、無断離院)
		④ インシデント<ヒヤリハット>、アクシデント
		⑤ インシデントレポート、医療事故報告書
		⑥ 医療事故防止マニュアル、その他のマニュアル[医薬品管理(麻薬、向精神薬、筋弛緩薬)、医療機器管理]、医療廃棄物処理
		⑦ 医療安全管理部門、リスクマネジャー
		⑧ 医療安全支援センター
		⑨ 医療事故調査制度
		⑩ 産科医療補償制度
	C 薬剤耐性・院内感染対策	① 院内感染対策委員会
		② 院内感染サーベイランス
		③ 院内感染対策チーム<ICT>
		④ 感染対策マニュアル
		⑤ 標準予防策<standard precautions>
		⑥ 感染経路別予防策
		⑦ 抗菌薬の適正使用[antimicrobial stewardship<AMS>]
		⑧ 薬剤耐性[antimicrobial resistance<AMR>]
		⑨ 針刺し事故
	D 医療裁判	① 医事紛争、賠償
		② 医療訴訟(刑事裁判、民事裁判)
	E 医薬品・医療機器の副作用・不具合	① 有害事象と副作用
② 副作用への対応(報告義務、治療、補償)		
F 血液・血液製剤の安全性	① 使用記録保管義務	
5 人体の構造と機能 約3%	A 周産期	① 遺伝子、染色体
		② 妊娠
		③ 分娩
		④ 産褥
	B 胎児・新生児期	① 循環、呼吸
		② 胎児の発育
	C 小児期	① 精神運動発達
		② 栄養

大項目	中項目	小項目
		③ 免疫
		④ 小児の行動
	D 思春期、青年期	① 思春期発現 ② 生殖機能 ③ 思春期の健康問題
	E 壮年期	① 身体正常値 ② 育児 ③ 生活習慣と疾病
	F 更年期	① 内分泌、閉経 ② 社会環境
	G 老年期	① 加齢による身体・心理・精神機能の変化 ② 高齢者総合機能評価 [comprehensive geriatric assessment<CGA>]
6 医療面接 約6%	A 医療面接の意義	① 患者医師関係の構築 ② 医療情報の収集 ③ 病状説明 ④ 患者の教育、動機付け、調整
	B マナー、オープニング	① 身だしなみ ② 椅子の配置、座り方 ③ 礼儀、振舞い ④ 挨拶、自己紹介 ⑤ 患者本人であることの確認 ⑥ プライバシー・体調・環境への配慮
	C 良好なコミュニケーション	① 言語的コミュニケーション ② 準言語的コミュニケーション ③ 非言語的コミュニケーション ④ 傾聴の仕方 ⑤ 質問法 ⑥ 面接者の態度(共感的態度、理解的態度、支持的態度、問題解決への援助的態度、評価的態度、解釈的態度、調査的態度、逃避的態度) ⑦ 感情面への対応(共感、支持、反映、肯定、尊重、支援、探索)
	D 病歴情報	① 主訴 ② 現病歴 ③ 常用薬、アレルギー歴 ④ 既往歴 ⑤ 家族歴 ⑥ 嗜好 ⑦ 生活習慣 ⑧ 社会歴 ⑨ 生活環境、家庭環境 ⑩ 海外渡航歴 ⑪ システムレビュー<review of systems> ⑫ プロブレムリスト
	E 心理・社会的情報	① 解釈モデル

大項目	中項目	小項目
		② 心理・社会的状況
		③ 検査や治療に対する希望・好み
		④ 受療行動、対処行動、他医受診、処方内容
		F 話の伝え方
	G 治療への動機付け	① 患者の理解度
		② コンプライアンス、アドヒアランス
		③ 意識啓発とその継続
	H 説明と報告	① 上級医への説明と報告
		② カンファレンスでのプレゼンテーション
	7 主要症候 約15%	A 全身症候
② 全身倦怠感		
③ 食思<欲>不振		
④ 体重減少・増加		
⑤ ショック		
⑥ 意識障害		
⑦ けいれん		
⑧ めまい		
⑨ 脱水		
⑩ 浮腫		
B 皮膚、粘膜		① 皮疹、粘膜疹
		② そう痒
C 頭頸部、感覚器		① 視力障害
		② 視野異常
		③ 眼痛
		④ 眼球運動障害、複視
		⑤ 結膜充血、眼脂
		⑥ 聴力障害(難聴)
		⑦ 耳鳴
		⑧ 鼻出血
		⑨ 咽頭痛
		⑩ 嘔声
D 呼吸器、心臓、血管		① 咳嗽
		② 喀痰
		③ 血痰、喀血
		④ 喘鳴
		⑤ 呼吸困難、息切れ
	⑥ チアノーゼ	
	⑦ 胸痛、胸部圧迫感	
	⑧ 失神	
	⑨ 動悸	
	⑩ 頻脈、徐脈	
	⑪ 不整脈	
	⑫ 高血圧	
E 消化器	① 嚥下障害、誤嚥	
	② 腹痛	

大項目	中項目	小項目
		③ むねやけ
		④ 悪心、嘔吐
		⑤ 吐血、下血
		⑥ 便秘
		⑦ 下痢、(粘)血便
		⑧ 黄疸
		⑨ 腹部膨隆・膨満
	F 血液、造血器、免疫	① 貧血
		② リンパ節腫脹
		③ 出血傾向
	G 腎、泌尿器、生殖器	① 乏尿、無尿
		② 多尿
		③ 排尿障害
		④ 血尿、タンパク尿
		⑤ 月経異常、無月経
		⑥ 性器出血
	H 心理、精神機能	① 記憶障害
		② 思考障害(妄想、強迫)
		③ 幻覚
		④ 抑うつ・躁状態
		⑤ 不安、恐怖
		⑥ 睡眠障害
	I 神経、運動器	① 構音障害、失語
		② 頭痛、頭重感
		③ 運動麻痺、筋力低下
		④ 運動失調
		⑤ 不随意運動
		⑥ 歩行障害
		⑦ 感覚障害
		⑧ 腰・背部痛
		⑨ 筋肉痛
		⑩ 関節痛
		⑪ 関節腫脹、関節変形
	J 内分泌、代謝、栄養、 乳腺疾患	① 肥満、やせ
		② 乳房のしこり・左右差・皮膚の陥凹
	K 周産期の異常を示す 症状	① 妊娠の異常
		② 分娩の異常
		③ 産褥の異常
		④ 胎児・新生児の異常
	L 小児特有の全身症状	① 哺乳力低下
		② 体重増加不良
		③ 活動性低下
		④ 啼泣異常
		⑤ 発達の遅れ
		⑥ 性発達の異常

大項目	中項目	小項目
8 一般的な身体診察 約13%	A 診察のあり方	① 診察前後の標準予防策<standard precautions> ② 安全への配慮 ③ 患者への配慮(プライバシー・羞恥心・苦痛への配慮) ④ 患者への声かけと例示
	B 診察の基本手技	① 視診 ② 聴診 ③ 打診 ④ 触診
	C 診察時の患者の体位	① 立位 ② 座位、半座位 ③ 臥位(仰臥位、腹臥位、側臥位) ④ 砕石位
	D 全身の診察	① 意識レベル、精神状態の評価 ② 体格の評価(身長、体重) ③ バイタルサイン(体温、呼吸、脈拍、血圧) ④ 全身の外観(体型、栄養、姿勢、歩行、顔貌、皮膚、発声) ⑤ リンパ節の触診
	E 頭頸部の診察	① 頭部 ② 眼瞼、眼球 ③ 耳、鼻 ④ 口唇、口腔、咽頭、扁桃 ⑤ 甲状腺、頸部血管、気管、唾液腺 ⑥ 聴力の検査
	F 胸部の診察	① 胸郭 ② 呼吸音(気管、気管支、肺胞)、副雑音 ③ 心音、心雑音 ④ 背部の叩打痛 ⑤ 乳房
	G 腹部の診察	① 形状 ② 肝臓、脾臓、腎臓 ③ 圧痛、腹膜刺激徴候、筋性防御 ④ 腹水 ⑤ 腸雑音、血管雑音
	H 肛門と直腸の診察	
	I 生殖器の診察	① 男性 ② 女性 ③ 妊婦
	J 筋骨格系の診察	① 四肢、脊柱(彎曲、疼痛、叩打痛) ② 関節(可動域、腫脹、疼痛、変形) ③ 徒手筋力テスト
	K 神経系の診察	① 脳神経 ② 髄膜刺激症候(項部硬直、Kernig徴候) ③ 運動系 ④ 腱反射、病的反射 ⑤ 感覚(痛覚、温度覚、触覚、深部感覚)

大項目	中項目	小項目
		⑥ 小脳機能
	L 四肢の診察	① 浮腫 ② 動脈、静脈
9 検査の基本 約5%	A 意義と目標	① 診断 ② 治療効果判定 ③ スクリーニング、健康診断
	B 検査の安全性	① 実施の説明 ② 患者確認と検体の確認 ③ 検査の合併症
	C 検体の採取	① 採血 ② 採尿、採便 ③ 採痰 ④ 穿刺 ⑤ 生検 ⑥ 擦過
	D 検体の保存	① 保存方法 ② 保存期間
	E 結果の解釈	① 基準値、カットオフ値 ② 誤差、生理的変動 ③ パニック値と緊急対応
	F 一般臨床検査	① 尿検査 ② 糞便検査 ③ 胸水・腹水の検査 ④ 脳脊髄液検査
	G 血液学検査	① 血球検査 ② 凝固・線溶系検査 ③ 血液型、輸血関連検査
	H 生化学検査	① 一般的な生化学検査 ② タンパク分画、免疫電気泳動
	I 免疫血清学検査	① 炎症マーカー ② 自己抗体 ③ 血清学的診断
	J 遺伝子関連検査	① 病原体遺伝子<核酸>検査 ② 遺伝学的検査
	K 微生物学検査	① 採取法 ② 染色法 ③ 培養検査 ④ 薬剤感受性試験 ⑤ 病原体の迅速検査
	L 病理組織学検査、細胞診	① 組織診 ② 細胞診
	M 動脈血ガス分析	① 適応と採血法 ② 結果の解釈
	N 生体機能検査	① 呼吸機能検査 ② 心電図検査 ③ 脈波検査

大項目	中項目	小項目
10 臨床判断の基本 約4%	O 画像・内視鏡検査	④ 内分泌・代謝機能検査
		⑤ 脳波検査
		⑥ 針筋電図検査、末梢神経伝導検査
		① エックス線撮影(胸部、腹部、骨)
		② CT(単純、造影)
		③ 超音波検査
	A 根拠に基づいた医療 <EBM>	④ 磁気共鳴画像<MRI>
		⑤ 核医学検査(PETを含む)
		⑥ 内視鏡検査
		① 患者の問題の定式化
		② 情報収集法
		③ 批判的吟味
④ 患者への適用		
⑤ 研究デザイン		
B 臨床疫学的指標	⑥ メタ分析<メタアナリシス>	
	⑦ 診療ガイドライン	
	⑧ エビデンスレベル	
	① 内的妥当性、外的妥当性	
	② バイアス、交絡因子	
	③ アウトカム	
	④ 信頼区間	
	⑤ 相対危険度<relative risk>(リスク比)、寄与危険度<attributable risk>(リスク差)、オッズ比<odds ratio>	
	⑥ 検査前確率<事前確率>、検査後確率<事後確率>	
	⑦ 感度、特異度	
C 誤差と精度	⑧ 尤度比	
	⑨ receiver operating characteristics<ROC>曲線	
D 基準値	① 正確度	
	② 精密度、再現性	
	① 基準範囲の概念	
	② 生理的変動	
E 有効性と効率性	③ 性差、年齢差	
	④ 異常値と原因	
F 医療情報	① 費用対効果分析	
	① 一次情報、二次情報	
11 救急初期診療 約9%	A 救急患者の診察	② 検索方法
		① バイタルサインの把握
		② トリアージ(致命的な病態・疾患・外傷の鑑別)
		③ 重要臓器機能の障害を招く病態・疾患
		④ 外傷患者初期診療
		⑤ 緊急治療の要否の判断
		⑥ 部位別治療優先順位の判断
	B 基本的な救急処置	⑦ 院外心停止<OHCA>
		① 一次救命処置<BLS>
		② 二次救命処置<ALS>

大項目	中項目	小項目	
		③ 気道確保(気管挿管、外科的気道確保)	
		④ 人工呼吸療法	
		⑤ 除細動、緊急ペーシング	
		⑥ 蘇生的輸液療法(静脈確保を含む)	
		⑦ 基本的緊急薬物療法	
		⑧ 止血法	
		⑨ 輸血療法	
		⑩ 脳保護療法(脳ヘルニア対策、体温管理療法)	
		⑪ 体温異常に対する救急処置	
		⑫ 致命的骨折の固定法(頸椎、骨盤、大腿)	
		C 症状・傷病別の初期対応	① 心停止
			② 失神
	③ 意識障害		
	④ ショック		
	⑤ けいれん、けいれん重積状態		
	⑥ 頭痛		
	⑦ 高体温、低体温{症}		
	⑧ 運動麻痺、感覚障害		
	D 災害医療	⑨ めまい	
		⑩ 呼吸困難、喘鳴	
⑪ 胸痛、背部痛			
⑫ 腹痛、腰痛			
⑬ 急性消化管出血			
⑭ 誤飲、誤嚥			
⑮ 尿閉			
⑯ 精巣痛			
⑰ 損傷(外傷、熱傷、溺水)			
⑱ 薬物中毒			
⑲ 敗血症			
⑳ 精神科救急			
12 主要疾患・症候群 約10%	A 妊娠・周産期の異常	① 流・早産	
		② 妊娠高血圧症候群	
	B 精神・心身医学的疾患	① うつ病、双極性障害<躁うつ病>	
		② 統合失調症	
		③ 不安障害(パニック障害、社交<社会>不安障害)	
		④ 身体表現性障害(疼痛性障害、心気症)、心身症、ストレス関連障害(心的外傷後ストレス障害<PTSD>、急性ストレス障害)、過換気症候群	
	C 皮膚・頭頸部疾患	① 湿疹、皮膚炎(接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎)	
		② 蕁麻疹	
		③ 薬疹	
		④ ウイルス性発疹症(麻疹、風疹、水痘、ヘルペス)	
		⑤ 皮膚潰瘍、褥瘡	

大項目	中項目	小項目
		⑥ 結膜炎、角膜炎
		⑦ 白内障
		⑧ 緑内障
		⑨ 糖尿病・高血圧・動脈硬化による眼底変化
		⑩ 急性中耳炎
		⑪ 良性発作性頭位めまい症
		⑫ アレルギー性鼻炎
		⑬ 急性副鼻腔炎、慢性副鼻腔炎
	D 呼吸器・胸壁・縦隔疾患	① 上気道炎、扁桃炎、気管支炎、細気管支炎
		② 肺炎
		③ 肺結核、肺真菌症
		④ 気管支喘息(小児喘息を含む)
		⑤ 慢性閉塞性肺疾患<COPD>
		⑥ 肺癌
		⑦ 間質性肺疾患
		⑧ 自然気胸、緊張性気胸、外傷性気胸
		⑨ 急性呼吸窮迫症候群<ARDS>
		⑩ 睡眠時無呼吸症候群
		⑪ 肺塞栓症
	E 心臓・脈管疾患	① 不整脈
		② 先天性心疾患
		③ 弁膜症(僧帽弁膜症、大動脈弁膜症)
		④ 急性心筋梗塞、急性冠症候群、狭心症
		⑤ 心筋症、心筋炎
		⑥ 高血圧症
		⑦ 急性大動脈解離、大動脈瘤破裂
		⑧ 末梢性動脈疾患
		⑨ 深部静脈血栓症、下肢静脈瘤
		⑩ 心不全、肺水腫
	F 消化器・腹壁・腹膜疾患	① 胃食道逆流症<GERD>
		② 胃静脈瘤、食道静脈瘤
		③ 食道癌
		④ 胃潰瘍、十二指腸潰瘍<消化性潰瘍>
		⑤ 胃癌
		⑥ 急性胃腸炎
		⑦ 便秘症
		⑧ 乳児下痢症
		⑨ 急性虫垂炎
		⑩ 炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、Crohn病)
		⑪ 機能的消化管障害(機能的ディスぺプシア<FD>、過敏性腸症候群)
		⑫ 大腸癌
		⑬ 痔瘻、痔核
		⑭ 急性肝炎、慢性肝炎、脂肪肝
		⑮ 肝硬変、肝不全、肝性脳症
		⑯ 肝癌

大項目	中項目	小項目
		⑰ 胆石症、胆嚢炎、胆管炎
		⑱ 急性膵炎、慢性膵炎
		⑲ 膵癌
		⑳ 鼠径ヘルニア
		㉑ 腸閉塞
		㉒ 腸重積症
		㉓ 汎発性腹膜炎
	G 血液・造血器疾患	① 鉄欠乏性貧血、二次性貧血
		② 急性白血病、慢性白血病
		③ 播種性血管内凝固<DIC>
		④ 悪性リンパ腫、骨髄腫
	H 腎・泌尿器・生殖器疾患	① 急性糸球体腎炎症候群、慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群
		② 糖尿病腎症
		③ 急性腎障害、慢性腎臓病
		④ 腎細胞癌、膀胱癌
		⑤ 尿路結石、尿路感染症
		⑥ 前立腺肥大症、前立腺癌
		⑦ 更年期障害
		⑧ 子宮内膜症、月経困難症
		⑨ 子宮筋腫、子宮頸癌、子宮体癌
		⑩ 卵巣癌、卵巣嚢腫
	I 神経・運動器疾患	① 認知症
		② 緊張型頭痛、片頭痛
③ 脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫		
④ 脳梗塞、一過性脳虚血発作		
⑤ Parkinson病		
⑥ 髄膜炎、脳炎、脳症		
⑦ 熱性けいれん		
⑧ てんかん		
⑨ 脳性麻痺		
⑩ 頭部外傷、脊髄損傷		
⑪ 変形性脊椎症、脊柱管狭窄症		
⑫ 椎間板ヘルニア		
⑬ 変形性関節症		
⑭ 骨折		
J 内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患	① 甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症	
	② 糖尿病	
	③ 脂質異常症	
	④ 高尿酸血症、痛風	
	⑤ 骨粗鬆症	
	⑥ 乳癌	
K アレルギー性疾患、膠原病、免疫病	① アナフィラキシー	
	② 関節リウマチ	
	③ 全身性エリテマトーデス<SLE>	

大項目	中項目	小項目
	L 生活環境因子・職業性因子による疾患	① アルコール依存症、薬物依存症 ② 熱中症、寒冷による障害 ③ 食中毒
13 治療の基本 約4%	A 一般的な治療の基本	① 食事・栄養療法
		② 薬物療法
		③ 輸液、輸血
		④ 手術、周術期の管理、麻酔
		⑤ 臓器・組織移植、人工臓器
		⑥ 放射線治療
		⑦ 内視鏡治療
		⑧ リハビリテーション
		⑨ 救急患者の治療
		⑩ 緩和ケア
B 在宅医療と介護	① 環境整備	
	② 患者・家族の心理	
	③ 医療・福祉と介護の連携	
	④ 在宅酸素療法、在宅栄養療法	
	⑤ 在宅での看取り	
C 褥瘡の処置・治療	① チーム医療	
	② 予防、評価、治療	
14 基本的手技 約4%	A 一般的手技	① 静脈採血
		② 静脈確保
		③ 動脈採血
		④ 穿刺
		⑤ 胃管の挿入
		⑥ 尿道カテーテルの挿入
		⑦ 気道確保
	B 注射	① 皮内
		② 皮下
		③ 筋肉
		④ 静脈
	C 外科手技	① 清潔操作
		② 縫合、抜糸
		③ 創の消毒
④ 創の被覆		
⑤ 手術介助		
15 死、緩和ケア、終末期ケア 約2%	A 死の判定と診断	① 心臓死、脳死、脳死判定
		② 異状死
		③ 死亡診断、死体検案
	B 緩和ケア	① 緩和ケアの概念
		② 全人的苦痛<トータルペイン>
		③ 苦痛の緩和
		④ 緩和ケアチーム
		⑤ ホスピス
		⑥ 緩和ケア病棟<PCU>

大項目	中項目	小項目
		⑦ 疼痛のアセスメント
		⑧ 疼痛緩和の薬物療法
		⑨ がん疼痛治療法
	C 終末期ケア	① 死に至る心の過程
		② 終末期患者とのコミュニケーション
		③ 終末期における意志決定
		④ 尊厳死、リビングウィル
		⑤ do not attempt resuscitation<DNAR>
		⑥ 終末期における水・栄養管理
		⑦ 延命治療
		⑧ 安楽死
		⑨ 家族ケア(悲嘆のケア<グリーフケア>)
		⑩ 小児の特殊性
16 チーム医療 約2%	A 医療機関でのチームワーク	① 医師間の連携
		② 医師以外の医療専門職の役割
		③ 医師を含む医療専門職の連携
	B 地域医療でのチームワーク	① 病診連携、病病連携
		② 保健・医療・福祉・介護・教育の連携
		③ 家族との連携
		④ クリニカルパス
	C コンサルテーション	① 自己責任と自分の限界
	D 社会生活	① 社会復帰
		② 社会保障制度(所得、介護、障害)
		③ 人的支援
		④ 物的支援(福祉用具)
		⑤ 自立
17 生活習慣とリスク 約5%	A 基本概念	① 国民健康づくり運動
		② 生活習慣病のリスクファクター
		③ 健康寿命の延伸と生活の質[quality of life<QOL>]の向上
		④ 行動変容
		⑤ 健康づくり支援のための環境整備
	B 栄養、食生活	① 食事摂取基準
		② 栄養マネジメント<栄養管理>
		③ 食行動
	C 身体活動、運動	① 身体活動とエネルギー消費
		② 運動の効用
	D 休養・心の健康	① 睡眠の質、不眠
		② ストレス対策
		③ 過重労働対策
		④ 自殺の予防
	E 喫煙	① 喫煙状況
		② 喫煙の有害性
		③ 受動喫煙
		④ 禁煙支援
	F 飲酒	① 飲酒状況

大項目	中項目	小項目
		② 飲酒の有害性
		③ アルコール依存への支援
	G 生涯設計	① 環境レベル
		② 知識レベル
		③ 行動レベルと行動変容
18 一般教養的事項 約2%	A 医学史	
	B 医学・医療に関する 人文・社会科学・自 然科学・芸術などに 関連する一般教養的 知識や考え方	
	C 診療に必要な一般的 な医学英語	

医学総論

I 保健医療論[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考	
1 健康・疾病・障害の概念と社会環境 約20%	A 健康の概念	① 健康の定義		
		② 健康の概念の歴史の変遷		
	B 環境と健康	① 宿主		
		② 病因	リスクファクター	
		③ 環境		
		④ 行動		
	C 社会環境の変動と国民の健康	① 人口構造		
		② 疾病構造		
		③ 生活様式		
		④ 家族構成		
		⑤ 地域社会構造		
		⑥ 産業構造		
	D 疾病・障害の概念と社会	① 機能障害<impairment>、活動制限<activity limitations>、参加制約<participation restrictions>		
② 生活の質[quality of life<QOL>]				
③ ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン				
2 社会保障制度と医療経済 約10%	A 社会保障の概念と制度	① 公的扶助		
		② 社会保険		
		③ 公衆衛生と医療		
		④ 社会福祉		
	B 医療保険、介護保険、公費医療	① 医療保険の種類と対象		
		② 介護保険		
		③ 公費医療の種類と対象		
		④ 保険医、保険医療機関	保険医療機関及び保険医療養担当規則	
	C 医療経済	① 国民医療費		
		② 医療費負担と給付		
	3 保健・医療・福祉・介護の仕組み 約15%	A 保健・医療・福祉・介護の組織と連携	① 国と地方公共団体	
			② 保健所	
③ 地方衛生研究所				
④ 市町村保健センター				
⑤ 社会福祉関係施設				
⑥ 児童相談所、福祉施設				
⑦ 地域包括支援センター			地域包括ケアシステム	
⑧ 医療安全支援センター				
B 少子化社会・障害児<者>への対応		① 健やか親子21		
		② 次世代育成支援対策推進法		
		③ 障害者基本計画		
C 在宅ケア		① 在宅医療	訪問診療、往診	
		② 訪問看護		
		③ 在宅介護	訪問介護、通所介護<デイサービス>	
		④ 在宅リハビリテーション	訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション<デイケア>	

I 保健医療論[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考	
		⑤ 地域保健福祉活動		
4 保健・医療・福祉・介護の資源 約15%	A 保健・医療・福祉・介護の施設と機能	① 病院		
		② 診療所		
		③ 地域医療支援病院		
		④ 特定機能病院		
		⑤ 臨床研究中核病院		
		⑥ 療養病床		
		⑦ 保険薬局	お薬手帳	
		⑧ 介護保険施設(介護老人福祉施設<特別養護老人ホーム>、介護老人保健施設、介護療養型医療施設)		
		⑨ 居宅サービス、ショートステイ、グループホーム		
		⑩ 訪問看護ステーション		
		⑪ 居宅介護支援事業所	介護支援専門員<ケアマネジャー>	
		⑫ 要介護認定	介護保険主治医意見書、ケアプラン、要支援、要介護、直接・間接生活介護、BPSD・機能訓練・医療関連行為	
		B 保健・医療・福祉・介護従事者	① 保健・医療・福祉・介護従事者の現状と役割	
	② 連携とチーム医療		多職種連携教育 [interprofessional education<IPE>]	
	③ 医行為と診療補助行為			
5 保健・医療・福祉・介護関係法規 約15%	A 医事	① 医師法		
		② 医療法		
		③ 刑法	秘密漏示、文書偽造、過失傷害、墮胎	
		④ 民法	説明義務、注意義務、過失(予見性、回避義務)	
		⑤ 死産の届出に関する規定		
		⑥ 死体解剖保存法		
		⑦ 臓器の移植に関する法律		
		⑧ 医学及び歯学の教育のための献体に関する法律		
		⑨ 個人情報保護法		
		B 薬事	① 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律<医薬品医療機器等法>	医薬品医療機器総合機構
			② 毒物及び劇物取締法	
			③ 麻薬及び向精神薬取締法	
			④ 覚せい剤取締法	
		C 地域保健	① 地域保健法	
			② 健康増進法	
		D 母子保健	① 母子保健法	
			② 母体保護法	

I 保健医療論[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
		③ 児童虐待の防止等に関する法律	
	E 成人・高齢者保健	① 高齢者の医療の確保に関する法律 〈高齢者医療確保法〉	
		② 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律〈DV法〉	
		③ 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律	
	F 精神保健	① 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉	
		② 自殺対策基本法	
		③ 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律〈医療観察法〉	
		④ 民法(成年後見制度)	
	G 感染症対策	① 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律〈感染症法〉	
		② 検疫法	
		③ 予防接種法	
	H がん対策	① がん対策基本法	
	I 食品保健	① 食品衛生法	
	J 学校保健	① 学校保健安全法	
	K 産業保健	① 労働基準法	
		② 労働安全衛生法	
		③ 労働者災害補償保険法	
		④ じん肺法	
	L 環境保健	① 環境基本法	
		② 公害健康被害の補償等に関する法律	
		③ 水道法	
		④ 下水道法	
		⑤ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 〈廃棄物処理法〉	
		⑥ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律〈建築物衛生法〉	
	M 医療保険	① 健康保険法	
		② 国民健康保険法	
	N 難病対策、社会福祉、介護	① 難病の患者に対する医療等に関する法律〈難病法〉	
		② 児童福祉法	
		③ 生活保護法	
		④ 老人福祉法	
		⑤ 障害者基本法	
		⑥ 身体障害者福祉法	
		⑦ 知的障害者福祉法	
		⑧ 介護保険法	
6	地域保健、地域医療 約15%	A 地域保健・地域医療と医師の役割	
		① 医師会	
		② 医療連携	
		③ 自治体との連携	

I 保健医療論[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
	B 医療計画	① 医療圏	地域医療構想
		② 基準病床数	
		③ 地域医療支援病院の整備	
		④ 病院・診療所・薬局の連携、地域包括ケア	
		⑤ へき地医療・救急医療の確保	
		⑥ 医療従事者の確保	
		⑦ 地域連携クリニカルパス	
	C プライマリヘルスケア	① 概念と活動内容	
		② アルマ・アタ<Alma Ata>宣言	
	D 健康増進とヘルスプロモーション	① 健康増進の概念	
		② ヘルスプロモーションの概念、オタワ憲章、バンコク憲章	
	E 救急医療	① 救急医療体制	
		② 初期・二次・三次救急医療	
		③ 救急医療機関、救命救急センター、救急指定病院、休日夜間急患センター、在宅当番医	
		④ 救急医療情報	
		⑤ 救急搬送、救急医療用ヘリコプター<ドクターヘリ>、ドクターカー、救急車	
		⑥ 応急処置<病院前救護>、特定行為、救急隊員、救急救命士	
		⑦ 応急手当	
	F 災害医療	① 災害時保健医療	
		② 医療救護班、災害派遣医療チーム [disaster medical assistance team <DMAT>]	
		③ 災害拠点病院	
④ トリアージ			
⑤ 地域医療搬送、広域医療搬送		staging care unit<SCU>	
G 離島・へき地医療	① へき地医療拠点病院		
	② へき地診療所	遠隔医療	
	③ 無医地区		
	④ へき地保健医療計画		
	⑤ へき地医療支援機構		
7 国際保健 約10%	A 世界の保健・医療問題	① 持続可能な開発のための2030アジェンダ<SDGs>	ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ<UHC>
		② 母子の健康状況	
		③ 感染症、エビデミック<流行>、パンデミック	
		④ 非感染性疾患<NCD>	
	B 国際保健・医療協力	① 国際連合<UN>	
		② 世界保健機関<WHO>	
		③ 国際労働機関<ILO>	
		④ 国連合同エイズ計画<UNAIDS>	
		⑤ 国際協力機構<JICA>	

I 保健医療論[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
		⑥ 政府開発援助<ODA>	二国間協力、多国間協力
		⑦ 非政府機関<NGO>	

II 予防と健康管理・増進[約17%]

大項目	中項目	小項目	備考	
1 予防医学と健康保持増進 約12%	A 地域社会と公衆衛生	① コミュニティヘルス		
		② 公衆衛生の概念と機能		
	B 予防医学	① 予防医学の概念		
		② 一次・二次・三次予防		
	C 健康保持・増進	① 健康教育・学習、保健指導、健康相談		
		② 健康保持・増進の概念		
	D 健康診断・診査と健康管理	① 健康管理の概念・方法		
		② 健康診断・診査と事後指導		
2 人口統計と保健統計 約8%	A 人口静態	① 日本の人口		
		② 国勢調査		
		③ 世界の人口		
	B 人口動態	① 出生と死亡		
		② 結婚と離婚		
		③ 死産		
		④ 再生産率、合計特殊出生率		
		⑤ 生命表	平均余命、平均寿命	
	C 疾病・障害の分類・統計	① 国際疾病分類<ICD>		
		② 国際生活機能分類<ICF>		
		③ 国民生活基礎調査		
		④ 患者調査		
		⑤ 生活のしづらさなどに関する調査<全国在宅障害児・者等実態調査>		
	3 疫学とその応用 約8%	A 疫学の概念	① 宿主、病因、環境	リスクファクター
			② 疾病の自然史	
③ 頻度と分布				
④ 標本の抽出			母集団、偶然誤差	
⑤ 疫学的因果関係			妥当性、バイアス、交絡因子	
B 疫学指標		① 頻度を表す指標	死亡率、罹患率、有病率	
		② 関連を表す指標	相対危険度<relative risk>(リスク比)、寄与危険度<attributable risk>(リスク差)、オッズ比<odds ratio>	
		③ 指標の比較	年齢調整率、標準化死亡比<SMR>	
C 統計解析		① 代表値とばらつき	標準偏差、標準誤差	
		② 検定と推定	有意水準、95%信頼区間	
		③ 分析モデル		
D 観察研究		① 記述疫学		
		② 横断研究		
		③ 症例対照研究		
		④ コホート研究		
E 介入研究		① 臨床試験		
		② ランダム化比較試験<RCT>	intention to treat<ITT>、プラセボ、盲検	

II 予防と健康管理・増進[約17%]

大項目	中項目	小項目	備考
	F システマティックレビューとメタ分析<メタアナリシス>	① システマティックレビュー ② メタ分析<メタアナリシス>	
4 母子保健 約12%	A 現状と動向	① 出生	
		② 妊産婦死亡	
		③ 死産	
		④ 周産期死亡	
		⑤ 新生児・乳児死亡	
		⑥ 人工妊娠中絶	
	B 母性保健、周産期の保護	① 家族計画、不妊	
		② 母子健康手帳	
		③ 妊産婦健康診査	
		④ 産休制度、育児休業制度	
		⑤ 環境因子と胎児障害	飲酒、喫煙、感染症、薬物、環境汚染、放射線
	C 小児の保健・福祉	① 乳児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査	
		② 育児指導	
		③ 養育医療	
		④ 自立支援医療	
⑤ 新生児マススクリーニング			
⑥ 児童虐待の予防			
5 成人保健 約4%	A 現状と動向	① 生活習慣病の罹患と死亡	
	B 生活習慣病と保健対策	① 生活習慣病のリスクファクター	
		② 予防対策とその評価 ③ 特定健康診査、特定保健指導	
6 高齢者保健 約4%	A 現状と動向	① 高齢者の人口・死因・受療率・有訴率	
		② 要支援・要介護の原因	
	B 高齢者の健康保持・増進	① 加齢と健康状態	
		② 日常生活動作<ADL>	
		③ 生活の質[quality of life<QOL>] ④ 閉じこもり、廃用症候群 ⑤ 介護予防	サルコペニア
7 精神保健福祉 約8%	A 現状と動向	① 精神障害者	
		② 心の健康づくり	自殺対策、依存症対策
		③ 精神保健福祉センター	
		④ 精神障害者社会復帰施設	
	B 精神的健康の保持・増進	① 精神保健福祉相談	学校精神保健、産業精神保健
		② 地域精神保健福祉活動	地域移行
8 感染症対策 約16%	A 感染症の疫学	① 主な感染症の疫学と流行状況	
		② 感染症発生動向調査<サーベイランス>	
		③ 母子感染	

II 予防と健康管理・増進[約17%]

大項目	中項目	小項目	備考
		④ 院内感染	
	B 医師と自治体の対応	① 健康診断、入院、届出 ② 就業制限	学校における出席停止
	C 予防接種と検疫	① 集団予防と個人予防 ② 予防接種 ③ 生ワクチンと不活化ワクチン ④ 検疫 ⑤ 人獣共通感染症対策 ⑥ バイオテロ対策	
9 国民栄養と食品保健 約4%	A 国民栄養の現状と対策	① 食事調査 ② 国民健康・栄養調査 ③ 食事摂取基準 ④ 食生活指針 ⑤ 栄養教育・指導	食事バランスガイド
	B 食品の安全性と機能性	① 食品添加物 ② 食品中の汚染物質 ③ 遺伝子組換え食品 ④ 保健機能食品、特別用途食品、健康食品	1日の摂取許容量<ADI> ハサップ手法<HACCP>
10 学校保健 約4%	A 学校保健の現状と動向	① 学齢期好発疾患と予防 ② 体格、体力	
	B 学校医と保健管理	① 学校医の職務 ② 養護教諭 ③ 健康診断 ④ 児童の慢性疾患と保健管理 ⑤ 学校における感染症の予防 ⑥ 学校精神保健 ⑦ 児童の事故と対策(学校安全教育・安全管理)	引きこもり、自殺の予防
11 産業保健 約8%	A 産業保健の仕組み	① 労働者の安全衛生管理 ② 労働者の健康増進 ③ 労働災害の補償	
	B 現状と動向	① 業務上疾病の発生状況 ② 労働力の動向	正規雇用、非正規雇用、高齢者労働
	C 産業医と労働安全衛生管理	① 労働衛生管理体制 ② 産業医の資格と職務 ③ 健康管理、作業環境管理、作業管理 ④ 許容濃度、管理濃度 ⑤ 生物学的モニタリング ⑥ 労働災害 ⑦ 健康保持増進対策	トータルヘルスプロモーションプラン<THP>

II 予防と健康管理・増進[約17%]

大項目	中項目	小項目	備考
		⑧ 労働安全衛生マネジメントシステム	
		⑨ 過重労働対策	
		⑩ メンタルヘルス対策	
		⑪ 都道府県労働局、労働基準監督署、産業保健総合支援センター、地域産業保健センター	
		⑫ 健康診断と事後指導	
12 環境保健 約12%	A 環境と適応	① 環境の概念	
		② 生態系と生物濃縮	
		③ 有害物質の吸収・排泄	
	B 地球環境の変化と健康影響	① 地球温暖化	
		② オゾン層破壊	
		③ 酸性雨	
		④ 砂漠化	
	C 環境汚染の発生要因と健康影響	① 環境汚染の概念(エピソード)	環境保全
		② 大気汚染、水質汚濁、土壌汚染	汚染の指標
		③ 内分泌かく乱化学物質、ダイオキシン類	
		④ 農薬、重金属類	
		⑤ 石綿	
	D 上水道と下水道	① 水質基準	
		② 浄水法と消毒	
		③ 水系感染	
		④ 汚染処理	
	E 公害の健康被害と対策	① 公害の概念	
		② 主な公害のエピソード	
		③ 公害健康被害補償制度	
	F 環境汚染の評価と対策	① 環境基準、排出規制	
		② 環境モニタリング	
		③ 環境影響評価<環境アセスメント>	
	G 廃棄物処理	① 一般廃棄物	
		② 産業廃棄物	
		③ 感染性廃棄物	医療廃棄物
		④ リサイクル	
	H 騒音・振動の健康影響と対策	① 騒音の聴器・聴覚への影響、騒音性難聴	
② 騒音の生理的・心理的影響			
③ 全身振動			
④ 局所振動			
⑤ 低周波空気振動			
⑥ 評価と対策			
I 放射線の健康影響と管理	① 非電離放射線の健康影響		
	② 電離放射線の健康影響		
	③ 放射線管理		

Ⅱ 予防と健康管理・増進[約17%]

大項目	中項目	小項目	備考
		④ 放射性廃棄物	
	J 居住・衣服環境と健康	① 屋内環境の管理	換気、採光、照明、冷暖房
		② 建築物衛生	
		③ 衣服の機能と健康	

Ⅲ 人体の正常構造と機能[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 個体の構造 約8%	A 細胞、組織		
	B 局所解剖	① 正常画像	周囲臓器との位置関係
2 皮膚、頭頸部、 感覚器、発声器 約15%	A 皮膚の構造・機能	① 表皮、真皮、付属器、脈管、神経、皮下組織	
		② 角化、メラニン生成、免疫機能、Langerhans細胞、細胞間接着、基底膜、肥満細胞	
		③ 細胞間脂質	
		④ 結合組織の代謝	
		⑤ 発汗	
		⑥ 皮脂	
		⑦ 毛周期	
		⑧ 経皮吸収	
	B 頭蓋・頭蓋腔の構造	① 前頭蓋窩、中頭蓋窩、後頭蓋窩、トルコ鞍、視神経管、上眼窩裂、錐体、内耳道、頸静脈孔、大後頭孔	
	C 顔面の構造	① 眼窩、眼瞼、外鼻孔、鼻根、人中、口唇、口角、三叉神経、顔面神経	
	D 頸部の構造	① 頸筋膜、頸筋群、頸動脈、頸静脈、迷走神経、反回神経、副神経、舌下神経、舌神経、腕神経叢、横隔神経、交感神経幹、星状神経節	
	E 頭頸部の生理的間隙	① 咽後間隙、副咽頭間隙	
	F 視覚系の構造・機能	① 眼球[角膜、結膜、強膜、眼房、隅角、ぶどう膜(虹彩、毛様体、脈絡膜)、瞳孔、水晶体、硝子体、網膜]、視路(視神経、視{神経}交叉、視索、外側膝状体、視放線)、視中枢	
		② 眼球付属器(眼瞼、涙器、Tenon嚢、外眼筋、眼窩)	
		③ 視機能[視力、光覚(暗順応)、色覚、視野、調節、両眼視、立体視、眼圧、眼位、眼球運動、輻湊、開散、開瞼、閉瞼]	
	G 聴覚系の構造・機能	① 聴器[外耳(耳介、外耳道、鼓膜)、中耳(耳小骨、蝸牛窓、前庭窓、乳突洞、耳管)、内耳(蝸牛、コルチ器、有毛細胞)]	
		② 聴覚生理、聴力(伝音機構、感音機構、聴覚の電気現象)	
H 前庭平衡系の構造・機能	① 末梢前庭器官(球形嚢、卵形嚢、三半規管、内リンパ嚢)		
	② 前庭反射		
I 嗅覚系・味覚系の構造・機能	① 嗅上皮		
	② 味蕾		

Ⅲ 人体の正常構造と機能[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
	J 発声器の構造・機能	① 声帯、内喉頭筋、粘膜波動、上喉頭神経、反回神経(下喉頭神経)	
	K 体性感覚系の構造・機能	① 痛覚	
		② 温度覚	
		③ 触覚、圧覚	
		④ 深部感覚	
3 呼吸器、胸郭、胸壁 約8%	A 胸郭の構造・機能	① 胸膜、胸壁、横隔膜	横隔神経、肋間神経、迷走神経、反回神経、交感神経幹
		② 乳房(乳腺、Montgomery腺)	
		③ 縦隔	上縦隔、前縦隔、中縦隔、後縦隔
		④ 胸腺	
	B 上気道・下気道の構造・機能	① 鼻、鼻腔、喉頭、声帯、気管、気管支	
		② 吸気に加温・加湿	
		③ 保護・防御機能	
		④ 呼吸機能	
	C 肺の構造・機能	① 気管、気管支、肺胞	
		② 肺血管系	
		③ 肺のリンパ管とリンパ節	
		④ 肺表面活性物質	
		⑤ 肺気量分画	
		⑥ 換気、死腔	換気力学(胸腔内圧、肺コンプライアンス、抵抗、closing volume)
		⑦ 換気血流比	
		⑧ 拡散	
		⑨ 肺胞気-動脈血酸素分圧較差 <A-aDO ₂ >	換気分布
		⑩ 呼吸の調節(換気量)	
		⑪ 血液中のガス運搬	
		⑫ 酸塩基平衡	
⑬ 代謝			
⑭ 防御機能			
D 呼吸運動	① 呼吸筋		
	② 呼吸調節、末梢受容体、呼吸中枢、無呼吸反射		
4 心臓、脈管 約8%	A 心臓・血管の構造・機能	① 心臓、大血管、冠血管、末梢血管	
		② 心臓の興奮と伝導	洞結節、房室結節
		③ 心周期と時相	
		④ 心機能、心筋収縮性・拡張性	
		⑤ 心拍出量	
		⑥ 血圧	
		⑦ 循環血液量	
		⑧ 体循環	冠循環

Ⅲ 人体の正常構造と機能[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考	
5 消化器、腹壁、 腹膜 約8%		⑨ 肺循環		
		⑩ 循環動態の調節		
		⑪ 容量血管と抵抗血管		
		⑫ 末梢血管抵抗		
		⑬ 静脈還流		
	B リンパ管の構造 と機能	① リンパ管とリンパ節		
		② 胸管		
	A 口腔・咽頭の構 造・機能	① 歯、舌、唾液腺、口蓋、扁桃、耳 管、上・中・下咽頭		
		② 咬合、咀嚼、消化、食塊形成、 唾液	摂食機能、口腔環境	
		③ 嚥下	嚥下機能	
		B 消化管の構造・ 機能	① 消化管壁の構造	
			② 脈管系	門脈系、上腸間膜血管
			③ 神経系	
④ 消化管運動			食道内圧、胃腸反射	
⑤ 消化管の消化・吸収				
⑥ 胃液の分泌				
⑦ 消化管生理活性物質	消化管ホルモン、増殖因子			
⑧ 消化管の免疫	腸内細菌叢			
⑨ 排便機能	直腸肛門反射			
C 肝・胆道・膵の 構造・機能	① 肝・胆道・膵の構造			
	② 肝臓の機能			
	③ 胆汁および胆汁分泌	胆嚢収縮の調節		
	④ 腸肝循環	胆汁酸		
	⑤ 膵内外分泌			
D 腹壁・腹膜の構 造・機能	① 腹壁の筋肉・筋膜			
	② 神経系			
	③ 腹腔内臓器、腹膜	後腹膜臓器		
6 血液、造血器 約8%	A 血液・造血器の 構造・機能	① 骨髄、リンパ組織、脾臓		
		② 血球の産生・崩壊とその調節	造血幹細胞	
		③ 赤血球の形態・機能		
		④ 白血球の形態・機能		
		⑤ 髄外造血		
		⑥ 鉄・造血ビタミンの代謝	ヘプシジン、葉酸、ビタミン B ₁₂	
		⑦ 止血機能と血管壁、血小板、凝固・ 線溶系		
		⑧ 血漿とその成分	タンパク分画	
		⑨ 造血因子、サイトカイン	エリスロポエチン、顆粒球 コロニー刺激因子<G-CSF>、 トロンボポエチン	

Ⅲ 人体の正常構造と機能[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
7 腎、泌尿器、生殖器 約8%	A 腎の構造・機能	① 腎(糸球体、尿細管、間質、血管系)	
		② 体液の分布と組成	
		③ 尿の生成	糸球体濾過、クリアランス、尿の濃縮と希釈
		④ 水・電解質の代謝調節	ホメオスタシス
		⑤ 酸塩基平衡	
		⑥ 腎の内分泌機能	エリスロポエチン、ビタミンD、レニン
		⑦ 血圧の調節	
	B 尿路の構造・機能	① 腎杯、腎盂、尿管、膀胱、前立腺、尿道	
		② 蓄尿、排尿	
	C 男性生殖器の構造・機能	① 精巣、精巣上体、精管、精嚢、前立腺、陰茎	
		② 造精機能	
		③ 勃起	
		④ 射精	
		⑤ 脈管系	
		⑥ 神経系	
		⑦ 視床下部・下垂体・精巣系	
	D 女性生殖器の構造・機能	① 外陰、会陰、膣、子宮、子宮支持組織、卵巣、卵管、骨盤骨、骨盤底、Douglas窩、Bartholin腺、Skene腺	
		② 脈管系	
		③ 神経系	
		④ 視床下部・下垂体・卵巣系	
		⑤ 性周期(排卵、子宮内膜の周期性変化、月経、性器外周期、基礎体温)	
8 心理、精神、神経、運動器 約15%	A 心理・精神機能	① 意識	
		② 知覚	
		③ 記憶	
		④ 見当識	
		⑤ 知能	
		⑥ 思考	
		⑦ 感情、気分	
		⑧ 意欲と行動	
		⑨ 自我	
		⑩ 気質、性格、パーソナリティ<人格>	
	B 精神機能と身体	① 睡眠	レム<REM>睡眠、ノンレム睡眠
		② 日内<概日>リズム<サーカディアンリズム>	
		③ 神経伝達物質	

Ⅲ 人体の正常構造と機能[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考	
	C 中枢神経・末梢神経の構造・機能	① 頭蓋、脳、脊柱、脊椎、脊髄、神経根		
		② 脳室、脳槽、髄膜	髄液の分泌・循環・吸収	
		③ 大脳皮質と機能局在	高次脳機能	
		④ 大脳基底核とその連絡路		
		⑤ 視床		
		⑥ 視床下部、下垂体		
		⑦ 海馬、扁桃体、辺縁系		
		⑧ 脳幹		
		⑨ 小脳とその連絡路		
		⑩ 脳神経		
		⑪ 嗅覚路		
		⑫ 視覚路		
		⑬ 聴覚・前庭路		
		⑭ 脊髄の機能局在と主な伝導路		
		⑮ 末梢神経		
		⑯ 自律神経系		
		⑰ 運動系伝導路		
		⑱ 感覚系伝導路	デルマトーム	
		⑲ 反射	求心路、中枢、遠心路	
	D 脳・脊髄血管系とその支配領域	① 内頸動脈領域		
		② 椎骨・脳底動脈領域		
		③ Willis動脈輪		
		④ 脳静脈系	硬膜静脈洞	
		⑤ 脊髄動脈系		
	E 運動器の構造・機能	① 骨、軟骨、筋、腱、靭帯、末梢神経		
		② 骨格(頭蓋、脊柱、胸郭、骨盤、四肢)		
		③ 関節(関節軟骨、滑膜、関節包、半月板、椎間板)		
		④ 骨の成長と骨形成・吸収	成長軟骨	
		⑤ 神経支配		
		⑥ 運動生理		
	9 内分泌、代謝、栄養 約8%	A 内分泌器官の構造・機能	① 内分泌器官	視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺<上皮小体>、副腎皮質・髄質、膵島、腎、性腺
			② ホルモンの種類	
			③ ホルモンの合成・分泌とその調節	
④ ホルモンの作用機序				
⑤ 内分泌系と免疫系・精神神経系			ホメオスタシス	
B 代謝と栄養		① 代謝と内分泌		
		② 代謝経路		
		③ 代謝調節		
		④ 食事摂取基準		

Ⅲ 人体の正常構造と機能[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
		⑤ 栄養素の役割とバランス	
10 免疫 約15%	A 免疫系臓器	① 中枢性免疫系臓器(骨髄、胸腺)	
		② 末梢性免疫系臓器(リンパ節、脾、扁桃、粘膜関連リンパ組織<MALT>)	
	B 自然免疫	① 好中球、好酸球、単球、NK細胞	toll-like receptor<TLR>
	C 獲得免疫	① Tリンパ球<T細胞>	ヘルパーT細胞(Th1、Th2、Th17)、細胞傷害性T細胞<CTL>、制御性T細胞<Treg>
		② Bリンパ球<B細胞>、形質細胞	
		③ 抗原提示細胞(マクロファージ、樹状細胞)、リンパ濾胞	
	D 免疫系の調節	① 免疫グロブリン	
		② 補体	
		③ サイトカイン、ケモカイン	
		④ 免疫応答とその調節	
		⑤ 組織適合(性)抗原<HLA>	
		⑥ 免疫寛容	

IV 生殖、発生、成長、発達、加齢[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 妊娠 約15%	A 妊娠の成立・維持	① 受精	
		② 受精卵の卵割と輸送	
		③ 着床	
		④ 妊娠維持の機構	
		⑤ 妊娠持続期間	
	B 胎児付属物	① 胎盤	
		② 卵膜	
		③ 臍帯	
		④ 羊水	
	C 胎児・胎盤系	① 胎児・胎盤循環	動脈管、静脈管、卵円孔
		② 内分泌機能	
		③ ガス・物質交換と代謝	
	D 妊娠による母体変化	① 妊娠徴候	
		② 性器の変化	
		③ 全身の変化(性器以外)	
E 妊婦の栄養			
2 分娩 約15%	A 分娩の3要素	① 産道(骨産道、軟産道)	
		② 娩出物(胎児、胎児付属物)	胎向、胎位、胎勢
		③ 娩出力(陣痛、腹圧)	
	B 分娩の経過	① 前徴	産徴、前陣痛<前駆陣痛>
		② 分娩開始	
		③ 分娩時期(第1期<開口期>、第2期<娩出期>、第3期<後産期>)	
		④ 破水	
		⑤ 児頭の浮動・下降・進入・固定・嵌入	
		⑥ 回旋(第1～4回旋)	
		⑦ 児頭の変形	心形機能、骨重積、産瘤
		⑧ 児の娩出	排臨、発露
		⑨ 胎盤娩出	
	3 産褥 約8%	A 産褥の経過	① 後陣痛
② 子宮復古			
③ 悪露			
④ 産褥無月経、授乳性無月経			
⑤ 全身の復古			
B 乳汁分泌	① 乳汁分泌の機序		
	② 初乳		
	③ 成熟乳<成乳>		
4 胎児 約8%	A 胎児の発育	① 妊卵<胚>、胎芽、胎児	
		② 器官形成期	
		③ 成長の評価	
		④ 妊娠期間、胎児の形態	
	B 器官形成と臓器の成熟	① 皮膚	
		② 感覚器	

IV 生殖、発生、成長、発達、加齢[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
		③ 呼吸器	
		④ 循環器	
		⑤ 消化器	
		⑥ 血液、造血器	
		⑦ 腎、泌尿器、生殖器	Wolff管、Müller管
		⑧ 神経、運動器	
		⑨ 内分泌、代謝	
		⑩ 免疫	
5 新生児 約15%	A 成熟徴候	① 在胎週数	
		② 出生時の身長・体重	
		③ 身体的特徴	
		④ 頭囲、胸囲	
		⑤ 大泉門	
	B 新生児の生理	① 呼吸	
		② 循環	臍帯脱落
		③ 体温	
		④ 腎臓、体液	
		⑤ 肝臓、ビリルビン代謝	生理的黄疸
		⑥ 消化	胎便、移行便、生理的体重減少
		⑦ 血液、免疫	IgG、IgA、IgM、胎児ヘモグロビン
6 小児期 約15%	A 小児の成長	① 発育区分	乳児期、幼児期、学童期
		② 身体発育	成長速度曲線、身長、体重、頭囲、胸囲、プロポーシオン
		③ 生菌	
		④ 骨年齢	
		⑤ 成長の評価	成長曲線、成長速度曲線、発育指数(Kaup指数、Rohrer指数、肥満度)
	B 小児の発達	① 反射(原始反射と姿勢反射)	Moro反射、背反射、緊張<強直>性頸反射、交叉伸展反射、探索反射、吸啜反射、把握反射、Babinski反射、立ち直り反射、Landau反射、パラシュート反射
		② 運動	
		③ 精神	
		④ 言語発達	
		⑤ 生活習慣	
		⑥ 社会性	
		⑦ 視力、聴力	
		⑧ 評価	スクリーニング法、発達指数、知能指数
C 小児栄養	① 栄養所要量		

IV 生殖、発生、成長、発達、加齢[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
		② 母乳栄養	
		③ 人工栄養	
		④ 離乳	
		⑤ 幼児・学童の栄養	
		⑥ 栄養状態の評価	
		⑦ 過剰と欠乏	
7 思春期、青年期 約8%	A 身体の成長・発達	① 成長スパーク<growth spurt>	
		② 二次性徴	
		③ 思春期の発来機序	
	B 精神発達	① 発達区分	
		② 発達理論	
		③ 思春期危機	
		④ 自我<自己>同一性形成	性役割、職業役割
		⑤ 学習と社会経験	
8 加齢、老化 約15%	A 細胞・組織の加齢現象	① 細胞の老化	
		② 組織の機能低下	
	B 加齢による変化、疾患の特徴	① 皮膚	
		② 感覚器	
		③ 呼吸器	
		④ 消化器	
		⑤ 心臓、脈管	
		⑥ 腎、泌尿器、生殖器	
		⑦ 中枢神経、末梢神経	
		⑧ 運動器	骨密度測定、運動器症候群<ロコモティブシンドローム>
		⑨ 血液、造血	
		⑩ 内分泌、代謝	
		⑪ 免疫	
	C 高齢者の生理的特徴	① 予備力・適応能力の低下	
		② 検査値の加齢変化	
	D 高齢者の心理的特徴	① 認知機能の低下	
		② 感情・意欲・性格の変化	
		③ 行動の変化	
	E 高齢者の疾患の特徴と頻度の変化	① 非定型的症状	
		② 多疾患合併	
		③ 老年症候群	誤嚥、転倒、失禁、褥瘡
④ 日常生活障害		運動器不安定症	
F 寿命	① 余命への配慮		

V 病因、病態生理[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 疾病と影響因子 約6%	A 疾病の自然経過	① 病理発生	
		② 病期(前臨床期、臨床期)	
		③ 病型	
	B 内因と外因	① 疾患関連遺伝子	
		② 遺伝子異常と環境因子	
	C 生活・職業・社会環境と疾病	① 生活習慣<ライフスタイル>	
		② 環境因子	
		③ 労働適応	
		④ 妊娠・出産・育児と労働	
		⑤ 技術革新と健康障害	
	D ストレス	① 心理・社会的要因	
		② 自律神経・内分泌機能の変化	
		③ 感情と行動の変化	
		④ ストレス関連疾患の誘発と症状増悪	
		⑤ 災害、移民	
2 先天異常 約11%	A 原因と分類	① 単一遺伝子病	
		② 多因子遺伝	
		③ 細胞質遺伝	ミトコンドリア病
		④ 染色体異常	
		⑤ 環境因子による奇形	
	B 遺伝形式	① Mendel遺伝様式	
		② 非Mendel遺伝様式	
	C 染色体異常の種類	① 染色体異常の原因	
		② 数的異常	trisomy、monosomy
		③ 構造異常	欠失、転座、iso染色体
		④ モザイク	
		⑤ 隣接遺伝子症候群	
	D 遺伝相談	① 遺伝カウンセリング	
		② 出生前診断	
	3 損傷、炎症 約11%	A 創傷の治癒過程	① 一次治癒、二次治癒
② 肉芽組織、瘢痕組織、肥厚性瘢痕、ケロイド			
③ 創傷治癒に影響する因子			
B 物理的損傷		① 鋭的外傷、穿通性損傷	刺創、銃創、杵創
		② 鈍的外傷、非穿通性損傷	墜落、転落、転倒、狭圧
		③ 爆傷	
		④ 熱傷	
		⑤ 凍傷	
		⑥ 電撃傷	
		⑦ 放射線障害	
		⑧ 褥瘡	
C 化学的損傷		① アルカリによる損傷	
		② 酸による損傷	

V 病因、病態生理[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
	D 炎症の局所的变化	① 組織反応	
		② 症候	
	E 炎症の全身的变化	① 呼吸・循環の変化	
		② 代謝性反応	
		③ 免疫反応	
4 感染 約11%	A 概念	① 病原体	
		② 感染防御機構	易感染性宿主 <compromised host>
		③ 感染と発症	キャリア(保菌者)
		④ 感染様式と経路	
	B 病態	① 市中感染症	
		② 院内<病院>感染症	
		③ 菌交代現象、菌交代症	
		④ 薬剤耐性[antimicrobial resistance<AMR>]	
		⑤ 日和見感染症<opportunistic infection>	
		⑥ 二次感染、複数菌感染	
		⑦ 性感染症<STD、STI>	
		⑧ 垂直感染	母子感染(子宮、産道、母乳)
		⑨ 輸入感染症	
		⑩ 新興・再興感染症	
⑪ 人獣共通感染症			
⑫ バイオテロに関連する感染症			
5 アレルギー、 免疫異常 約6%	A 免疫異常疾患	① 免疫不全	
	② 自己免疫疾患		
B アレルギー	① Coombs分類	アナフィラキシー	
6 腫瘍 約11%	A 腫瘍の疫学	① 罹患<発生>率	
		② 生存率	
		③ 死亡率	
		④ 予防	
	B 腫瘍の病因	① 発がん因子	
		② がんと遺伝的要因・外的要因	
		③ がん遺伝子、がん抑制遺伝子	
	C 腫瘍の病理・病態	① 腫瘍の定義	
		② 良性、悪性	
		③ 上皮性、非上皮性	
		④ 腫瘍細胞の異型性と多形性	異形成
		⑤ 潜在がん、偶発がん、上皮内がん、表在がん	
		⑥ 早期がん、進行がん、転移がん、重複がん	
⑦ 局所浸潤			

V 病因、病態生理[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
		⑧ 転移	リンパ行性転移、血行性転移
		⑨ 播種	
		⑩ 悪液質	
		⑪ 臨床病期分類	TNM分類
		⑫ 再発	
7 循環障害、臓器不全 約6%	A 血行障害	① 阻血、虚血	
		② 充血	
		③ うっ血	
		④ 出血	
	B 梗塞	① 血栓	
		② 塞栓	
	C リンパ還流障害	① 水腫	
		② リンパ漏	
	D ショック	① 血流分布異常性ショック	アナフィラキシー、感染性<敗血症性>、神経原性
		② 循環血液量減少性ショック	出血性、体液喪失
		③ 心原性ショック	心筋性、機械性、不整脈
		④ 閉塞性ショック	心タンポナーデ、肺塞栓症、緊張性気胸
	E 血圧異常	① 高血圧	高血圧緊急症
		② 低血圧	起立性低血圧、起立性調節障害
F 臓器不全	① 多臓器不全<MOF>、多臓器機能障害症候群<MODS>		
8 内分泌・代謝・栄養の異常 約11%	A ホルモンの合成・分泌の異常	① 欠乏と過剰	
		② 機能異常	
	B エネルギー及び栄養素の欠乏と過剰	① 低栄養、肥満	
		② 糖{質}・脂質・タンパク{質}代謝(核酸代謝を含む)の異常	
		③ ビタミン、無機質<ミネラル>、必須<微量>元素、必須<微量>栄養素	
9 中毒、放射線障害 約11%	A 中毒の発生要因		
	B 中毒の病態生理	① 毒物の吸収・分布・代謝・排泄	
		② 中毒量、致死量、LD ₅₀	用量反応曲線
		③ 急性中毒、慢性中毒	
		④ 発がん性	
		⑤ 生殖毒性	
		⑥ 依存	
	C 放射線の身体的影響	① 急性反応<障害>	放射線防護
		② 晩期反応<障害>	
		③ 妊娠時期と放射線感受性	
D 放射線の確率的影響・確定的影響	① 閾<しきい>線量		
	② 放射線による発がん		

V 病因、病態生理[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
		③ 遺伝的影響	生殖腺線量、遺伝的有意線量、LNT仮説
10 医原病 約6%	A 診断に伴う医原病	① 医師の対応による医原病	
		② 診断による医原病	
	B 治療に伴う医原病		
11 死 約11%	A 死因の究明	① 急死、突然死	
		② 乳幼児突然死症候群<SIDS>	
		③ 診療関連死	
		④ 監察医制度	
		⑤ 司法解剖、行政解剖、承諾解剖、病理解剖	
		⑥ 臨床病理検討会<CPC>	
	B 死後変化	① 早期死体現象	
		② 晩期死体現象	
③ 死後経過時間の推定			

VI 症候[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 全身症候 約17%	A 発熱		
	B 全身倦怠感		
	C 体重減少・増加		
	D ショック		
	E 意識障害		
	F けいれん		
	G めまい		
	H 脱水		皮膚の緊張度<ツルゴール>
	I 浮腫		
	J 黄疸		
	K 顔貌の異常		
2 皮膚、外表 約6%	A 皮疹	① 紅斑	
		② 紫斑、出血斑	
		③ 色素斑、色素異常	
		④ 丘疹	
		⑤ 結節	
		⑥ 腫瘤	
		⑦ 水疱	
		⑧ 膿疱	
		⑨ 囊腫	
		⑩ 膨疹	
		⑪ びらん	
		⑫ 潰瘍	
		⑬ 毛細血管拡張<telangiectasia>	
		⑭ 硬化、癬痕、萎縮	
		⑮ 鱗屑、痂皮	
		⑯ 苔癬化	
		⑰ 壊疽	
	B 粘膜疹	① アфта	
	C 爪・毛髪異常	① 脱毛	円形脱毛症
		② 爪の異常	匙状爪
	D 光線過敏		
	E Raynaud現象		
	F 皮膚分泌異常	① 発汗	
		② 皮脂	
	G デルマドローム		
	H 多形皮膚萎縮		
	I 脈管異常	① 血管・リンパ管奇形	くも状血管拡張<血管腫>
J 小奇形			
K リンパ節腫脹	① リンパ節転移	Virchow結節	
L 循環障害	① 末梢循環障害		
M 角化異常			
N そう痒			
O 疼痛			

VI 症候[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
3 頭頸部、感覚器 約11%	A 頸部の異常	① 頸部腫瘤	
		② 甲状腺腫	
		③ 頸部腫脹	
	B 視機能障害	① 視力障害	
		② 光覚異常	夜盲、昼盲
		③ 色覚異常	
		④ 視野異常	視野狭窄、半盲、暗点
		⑤ 斜視、斜位	
		⑥ 異常眼球運動、眼振	
	C 眼症状	① 眼精疲労	
		② 眼痛	
		③ 眼の充血	
		④ 眼脂	
		⑤ 流涙	
		⑥ 眼の乾燥感	
		⑦ 羞明	
		⑧ 飛蚊症、光視症	
		⑨ 変視症	
		⑩ 眼球運動異常、複視	
	D 眼組織の異常	① 角膜混濁	
		② 房水セル、房水フレア	
		③ 虹彩ルベオーシス	
		④ 水晶体混濁	
		⑤ 白色瞳孔	
		⑥ 網膜・脈絡膜の異常	
	E 外眼部の異常	① 眼瞼下垂	
		② {眼}瞼裂狭小	
	F 眼球の異常	① 眼球突出	
		② 眼球陥凹	
	G 耳の異常	① 難聴	伝音難聴、感音難聴、混合性難聴
		② 耳鳴	
		③ 耳閉感	
		④ 耳漏	
		⑤ 耳痛	
	H 鼻の異常	① 鼻閉	
		② 鼻漏	
		③ 鼻出血	Kiesselbach部位
		④ 嗅覚障害	
	I 咽頭・口腔の異常	① 咽頭痛	
		② いびき	
		③ 嚥下障害	
		④ 味覚障害	

VI 症候[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
4 呼吸器、心臓、 血管 約11%	A 喉頭の異常	① 嘔声、音声障害	
		② 咳嗽	
		③ 呼吸困難	
		④ 咽喉頭異常感	
	B 気管・気管支の異常	① 咳嗽	
		② 喀痰	
		③ 血痰、喀血	
		④ 喘鳴	
	C 呼吸の異常	① 呼吸困難、息切れ	低酸素<O ₂ >血症、 高二酸化炭素<CO ₂ >血症、 低二酸化炭素<CO ₂ >血症
		② 頻呼吸	
		③ 徐呼吸	
		④ 無呼吸	
	D 呼吸リズムの異常	① Kussmaul呼吸	
		② Cheyne-Stokes呼吸	
		③ Biot呼吸	
		④ 呼気延長	
	E 呼吸音の変化	① 呼吸音の増強	
		② 呼吸音の減弱・消失	
		③ 気管支呼吸音	
		④ 気管支肺胞呼吸音	
	F 副雑音	① 水泡音<coarse crackles>	
		② 捻髪音<fine crackles>	
		③ いびき音<rhonchi>	
		④ 笛音<wheezes>	
		⑤ stridor	
		⑥ 胸膜摩擦音	
		⑦ 声音振盪	増強、減弱
	G 胸痛		
	H 失神		Adams-Stokes症候群
	I 胸水		
J 異常心音	① III音		
	② IV音		
	③ opening snap		
	④ 収縮中期クリック		
	⑤ 奔馬調律		
	⑥ 心膜ノック音		
K 心雑音	① 無害性雑音		
	② 収縮期駆出性<収縮中期性>雑音		
	③ 汎<全>収縮期雑音		
	④ 拡張期輪転様雑音<拡張期ランブル>		
	⑤ 拡張早期灌水様雑音<拡張早期雑音>		

VI 症候[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考	
		⑥ 連続性雑音		
		⑦ 心膜摩擦音		
		L 不整脈	① 脈拍の欠損、絶対的不整脈	期外収縮、心房細動
		M 脈拍異常	① 速脈、遅脈	
			② 大脈、小脈	
			③ 奇脈	
		N 血管雑音		
		O 血圧異常	① 高血圧	
			② 低血圧	
		P 間欠性跛行		
Q その他	① チアノーゼ			
	② ばち指			
5 消化器 約11%	A 食欲異常	① 食思<欲>不振		
		② 過食		
	B 口および口腔内の異常	① 舌の異常	舌苔、巨大舌、潰瘍、硬結	
		② 口腔粘膜の異常	アフタ	
		③ 唾液分泌異常	口腔乾燥症	
		④ 口腔内感染	口腔内カンジダ症	
		⑤ 歯、歯肉の異常	う歯	
		⑥ 口臭	肝性口臭	
		⑦ 開口障害、咀嚼障害		
	C 嚥下障害	① 嚥下痛		
		② 通過障害		
		③ 誤嚥	廃用症候群、脳血管障害	
	D 上部消化管逆流症状	① むねやけ、吞酸		
		② 悪心、嘔吐		
	E 腹痛	① 内臓痛		
		② 体性痛		
		③ 関連痛		
	F 腹膜刺激症状	① 筋性防御		
		② 反跳痛	Blumberg徴候	
	G 消化管出血	① 吐血		
		② 下血	黒色便<タール便>、血便	
	H 便通異常	① 下痢		
		② 便秘		
	I 皮膚の異常	① 黄疸	{灰}白色便	
		② 腹壁血管怒張		
	J 腹部膨隆、腹部腫瘍	① 鼓腸		
		② 腹水		
③ 腹部腫瘍				
K 臓器腫大	① 肝腫大			
	② 脾腫			

VI 症候[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
6 血液、造血器、 免疫 約11%	A 貧血		
	B リンパ節腫脹	① 反応性	
		② 腫瘍性	
	C 脾腫	① 反応性	
		② 腫瘍性	
	D 出血傾向	① 紫斑	
		② 点状出血	
		③ 関節内出血、筋肉内出血	
	E 血栓傾向	① 動脈血栓	
		② 静脈血栓	
7 腎、泌尿器、生 殖器 約11%	A 尿の量の異常	① 無尿	
		② 乏尿	
		③ 多尿	夜間多尿
	B 下部尿路症状	① 排尿症状	尿勢低下、尿線途絶、排尿遅延、腹圧排尿
		② 蓄尿症状	頻尿、夜間頻尿、尿意切迫感、尿失禁、遺尿<夜尿>
		③ 排尿後症状	残尿感
	C その他の排尿の異常	① 排尿痛	
		② 尿閉	
	D 尿の性状の異常	① タンパク尿	
		② 糖尿	
		③ ビリルビン尿	
		④ 血尿	
		⑤ 膿尿	無菌性膿尿
		⑥ 血色素<ヘモグロビン>尿	
		⑦ ミオグロビン尿	
		⑧ 色素尿	
		⑨ 乳び尿	
	E 精液の性状	① 血精液症	
	F 男性性機能の異常	① 勃起障害	
		② 射精障害	
	G 女性生殖器の異常	① 外生殖器<外陰部>の異常	
		② 女性性器・膀胱の下垂・脱出	
		③ 帯下	
		④ 月経異常(月経痛、中間痛<排卵痛>、月経周期と量の異常)	
		⑤ 性器出血	
		⑥ 不妊、不育	
H 妊娠時の異常	① 妊娠悪阻		
	② 性器出血		
	③ 下腹痛		
	④ 破水		
8 心理、精神機能 約6%	A 知能障害	① 知的障害<精神遅滞>	
		② 認知症	

VI 症候[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考	
		③ 二次性認知症		
	B 記憶障害	① Korsakoff症候群 ② 健忘		
	C 発達障害	① 学習障害 ② 言語発達遅滞		
	D 失見当識			
	E 知覚障害	① 錯覚 ② 幻覚		
	F 思考障害	① 思路障害 ② 妄想 ③ 強迫観念		
	G 感情障害	① 不安、パニック発作 ② 恐怖 ③ うつ状態 ④ 躁状態 ⑤ 両価性		
	H 自我障害	① 離人症、転換、解離 ② させられ<作為>体験		
	I 意欲と行動の障害	① 食欲異常 ② 性欲異常 ③ 精神運動性興奮 ④ 緊張病症候群 ⑤ 注意欠陥、多動 ⑥ 無為、自閉		
	J 睡眠障害	① 不眠 ② 過眠		
	K 不定愁訴	① 心気症		
	L 病識欠如			
	M 疎通性障害			
	N 脳器質精神症候群			
	O 意識障害	① 意識混濁 ② もうろう状態 ③ せん妄		
	9 神経、運動器 約11%	A 高次脳機能障害	① 失語	Broca失語、Wernicke失語、 Gerstmann症候群
			② 失行	
			③ 失認	
			④ 注意障害	
			⑤ 遂行機能障害	
		B 広範な脳機能障害	① 植物状態	
			② 失外套症候群	
			③ 無動性無言症	
④ 閉じ込め症候群<locked-in syndrome>				

VI 症候[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
	C 脳神経障害		Bell麻痺
	D 言語障害	① 構音障害	
		② 言語発達障害	
	E 髄膜刺激症候	① 項部硬直	髄膜炎、くも膜下出血
		② Kernig徴候	
	F 頭囲の異常	① 大頭	
		② 小頭	
		③ 狭頭	
	G 筋の障害	① 筋萎縮	
		② 筋力低下	
		③ 筋肉痛	
	H 反射異常		Babinski徴候<Babinski反射>、Chaddock反射
	I 運動系の異常	① 運動麻痺	
		② 不随意運動	振戦、ミオクローヌス、舞踏運動、ジストニア、固定姿勢保持困難<asterixis>、アテトーシス、チック
		③ 運動失調	
		④ 錐体路徴候	痙縮
		⑤ 錐体外路徴候	強剛
		⑥ 起立・歩行障害	
	J 平衡・感覚・自律神経系の障害	① 感覚鈍麻	
		② 異常感覚	
		③ 平衡障害	
		④ 自律神経障害	
	K 頭蓋内圧亢進	① 脳ヘルニア	
	L 脊髄・神経根障害	① 脊髄障害	横断性脊髄症、Brown-Séquard症候群
		② 神経根障害	神経根症
		③ 末梢神経障害	
	M 脊柱の異常	① 姿勢の異常	不良姿勢
		② 脊柱変形	側弯、後弯、前弯、円背、平背
		③ 脊椎運動制限	
	N 関節の障害	① 関節拘縮	良肢位<機能肢位>
		② 関節強直	
		③ 関節弛緩	
		④ 関節動揺性	
		⑤ 関節不安定性	
		⑥ 関節痛	
		⑦ 関節腫脹	
		⑧ 関節破壊、関節変形	
	O その他	① 頭痛、頭重感	
		② 肩凝り	

VI 症候[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
		③ 背部痛	
		④ 腰痛	
10 内分泌、代謝、 栄養 約6%	A 肥満、やせ		
	B 身長 of 異常	① 高身長、低身長	
	C 体毛 of 異常	① 多毛、脱毛、男性化徴候	
	D 乳腺 of 異常	① 女性化乳房、乳汁漏出	
	E 糖尿		

VII 診察[約7%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 二次・三次救急の診察 約30%	A 初診時の評価	① バイタルサイン	動脈血酸素飽和度<SpO ₂ >
		② 意識レベル	Japan coma scale<JCS>、Glasgow coma scale<GCS>
		③ 心停止	院外心停止<OHCA>
		④ 血液ガス・電解質分析	ガス交換・酸塩基平衡・電解質の評価
		⑤ 臓器障害の状態把握	
		⑥ 運動機能障害の判定	
		⑦ 緊急治療の要否・部位別治療優先順位の判断	
		⑧ 重症度と緊急度	
	B 病態に応じた診察、評価と原因の鑑別	① ショック	ショック指数<shock index>
		② 意識障害	
		③ 脳血管障害	
		④ 急性呼吸不全	
		⑤ 急性心不全	
		⑥ 急性冠症候群	
		⑦ 急性腹症	
		⑧ 急性消化管出血	
		⑨ 急性肝不全	肝性昏睡
		⑩ 急性腎障害	
⑪ 内分泌・代謝疾患	糖尿病性昏睡、低血糖昏睡、甲状腺クリーゼ、副腎不全		
⑫ 精神科救急	自傷他害、精神運動興奮		
⑬ 重症感染症			
⑭ 外傷			
⑮ 急性中毒	トキシドローム		
⑯ 熱傷(電撃症、化学的損傷を含む)			
⑰ バイオテロ			
⑱ 急性放射線障害			
2 高齢者の診察と評価 約30%	A 高齢者の診察	① 診察時の注意	
		② 既往歴・合併症の評価	
	B 高齢者総合機能評価 [comprehensive geriatric assessment <CGA>]	① 日常生活動作<ADL>、手段的日常生活動作<IADL>	
		② 認知機能	
		③ 気分・意欲	
		④ 運動機能	
		⑤ 嚥下障害	
⑥ 生活環境			
⑦ 介護の必要度	フレイルの評価		
3 小児の診察 約20%	A 乳幼児の診察	① 一般的診察	
		② 成長・発達の評価	
		③ 育児環境の評価	
		④ 乳幼児の救急時の状態把握	

VII 診察[約7%]

大項目	中項目	小項目	備考
4 胎児・新生児の診察と評価 約10%	B 学童期の児の診察	① 一般的診察	
		② 成長・発達の評価	
		③ 生活環境の評価	
		④ 心理的評価	
	C 思春期の児の診察	① 一般的診察	
		② 二次性徴の評価	
③ 心理的評価			
5 妊・産・褥婦と胎児の診察 約10%	A 胎児の診察	① 胎児の位置の診断	胎位、胎向、胎勢
		② 胎動	
		③ 胎児心拍数の測定	
		④ 発育・成熟の診断	
		⑤ 出生前診断	
	B 胎児付属物の診察	① 胎盤・臍帯・羊水の診断	羊水量、羊水の性状、胎盤の位置、臍帯動脈血pH
	C 新生児の診察	① 一般的診察、Apgarスコア	
		② 神経学的診察	フロッピーインファント
		③ 診察時の注意	
		④ 外表奇形	
A 妊婦の診察		① 妊娠の診断	
	② 妊娠時期の診断		
	③ 妊婦健康診査		
	④ 胎位・胎向の診断	Leopold診察法	
	⑤ 頸管成熟度	Bishopスコア	
B 産婦の診察	① 分娩時期の診断		
	② 胎児下降度の診断・表現法		
	③ 児頭回旋の診断・表現法		
	④ 頸管開大度の診断・表現法		
	⑤ 陣痛の観察	胎児心拍数陣痛図<CTG>	
	⑥ パルトグラム		
	⑦ 胎盤剥離徴候		
C 褥婦の診察	① 性器の復古		
	② 全身の復古		
	③ 乳汁分泌		

VIII 検査[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 検体検査 約23%	A 検体の採取と保存	① 採血(種類、部位)	静脈血、動脈血、毛細血管血
		② 採尿	
		③ 採便	
		④ 喀痰	
		⑤ 穿刺	胸水、腹水、脳脊髄液、骨髄、Douglas窩、関節液、嚢胞貯留液、膿、羊水
		⑥ 生検、細胞診	
		⑦ 新生児・乳幼児の採血と穿刺法	
		⑧ 法医学的試料の採取	
		⑨ 抗凝固剤、血清・血漿分離法、検体保存法	
		⑩ 保存期間	
	B 一般臨床検査	① 尿	定性、定量、沈渣
		② 糞便	潜血、虫卵
		③ 喀痰	
		④ 脳脊髄液	
		⑤ 穿刺液	
		⑥ 関節液	
		⑦ 精液	
		⑧ 子宮頸管粘液	
		⑨ 膣分泌物	
	C 血液学検査	① 赤沈	
		② 血球(網赤血球、赤血球・白血球・血小板形態を含む)	May-Giemsa染色、Wright染色、ペルオキシダーゼ染色、PAS染色、エステラーゼ染色、鉄染色、フローサイトメトリー
		③ 凝固・線溶・血小板機能検査	
		④ 骨髄検査	骨髄穿刺、骨髄生検
		⑤ 溶血に関する検査	
		⑥ 血液型、交差適合試験<クロスマッチ>、輸血関連検査	
	D 生化学検査	① タンパク、タンパク分画	
		② 生体色素	ビリルビン
		③ 酵素、アイソザイム	
		④ 含窒素成分	
		⑤ 糖質および糖代謝関連物質	
		⑥ 脂質および脂質代謝関連物質	
		⑦ 水、電解質、酸塩基平衡	
		⑧ 重金属、微量元素	
		⑨ ビタミン	
		⑩ ホルモン	
		⑪ 血中薬物・毒物と代謝産物	
		⑫ 腫瘍マーカー	
	E 免疫血清学検査	① 炎症反応	CRP

VIII 検査[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
		② 感染の抗原・抗体	
		③ 自己抗体	抗GAD抗体、抗インスリン抗体
		④ 免疫グロブリン	クラス、サブクラス
		⑤ IgE、特異的IgE検査	
		⑥ 補体	
		⑦ 細胞性免疫	ツベルクリン反応
		⑧ 食菌能	
		⑨ 移植免疫	組織適合{性}抗原<HLA>
		⑩ 細胞表面抗原	
		⑪ 抗体検査法[補体結合反応<CF>、赤血球凝集抑制試験<HI>、中和試験<NT>]	イムノアッセイ
	F 微生物学検査	① 病原微生物の同定・検鏡	単染色、Gram染色、Ziehl-Neelsen染色、墨汁染色<墨汁法>、PAS染色、Grocott染色、Giemsa染色、Gimenez染色
		② 病原微生物の培養・分離・同定	
		③ 免疫学的検査による診断	結核菌特異的全血インターフェロン γ 遊離測定法<IGRA>、尿中抗原
		④ 薬剤感受性試験	
		⑤ 病原体別検査	細菌、抗酸菌、梅毒トレポネーマ、リケッチア、クラミジア、マイコプラズマ、レプトスピラ、ウイルス、真菌、原虫、寄生虫
		⑥ ウレアーゼ試験、尿素呼気試験、尿中・血清抗体、便中抗原	<i>Helicobacter pylori</i>
		⑦ PCR法、RT-PCR法、pulsed field gel electrophoresis	
	G 病理組織学検査、細胞診	① 生検検体採取法、内視鏡的鉗子生検、ポリープ切除、内視鏡的粘膜切除、経皮的生検	
		② 生検・手術切除検体取扱法	固定法、包埋法
		③ 標本作製法(凍結切片を含む)	
		④ 迅速診断の適応、標本の取扱法、診断限界	
		⑤ 細胞診(検体の採取、取扱法、染色法、報告様式)	Papanicolaou染色
		⑥ 病理学的組織検体の染色法	H-E染色、PAS染色、PAM染色、SudanⅢ染色、Congo-Red染色、Gram染色、Ziehl-Neelsen染色、Grocott染色、KB<Klüver-Barrera>染色、May-Giemsa染色、免疫組織化学染色、酵素組織化学染色、FISH法
		⑦ 電子顕微鏡による病理検査	固定法

VIII 検査[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
	H 染色体検査、体細胞遺伝子検査	① 分染法 ② 常染色体 ③ 性染色体 ④ 悪性腫瘍細胞の遺伝子検査	
2 生体機能検査 約23%	A 呼吸機能検査	① スパイロメトリ	
		② 肺気量分画	
		③ 肺拡散能力	
		④ flow-volume曲線	
		⑤ 動脈血ガス分析	
		⑥ 睡眠時無呼吸症候群検査	ポリソムノグラフィ
		⑦ ピークフローメトリ	
	B 心機能検査	① 心電図検査	Holter心電図検査
		② 心エコー検査	ドプラ法、カラードプラ法
		③ 心筋シンチグラフィ	
		④ 心血管CT・MRI	
		⑤ 心臓カテーテル検査	
		⑥ 心臓電気生理学的検査<EPS>	
	C 消化管機能検査	① 唾液分泌検査	
		② 消化管運動機能検査	食道内圧検査、肛門内圧検査
		③ pHモニタリング	
		④ タンパク漏出試験	α_1 -アンチトリプシン法
		⑤ ガストリン・ペプシノゲン測定	
	D 肝・胆道機能検査	① 色素排泄試験	ICG<indocyanine green>試験
	E 膵機能検査	① 外分泌機能検査	BT-PABA試験<PFD試験>
		② 内分泌機能検査	経口グルコース負荷試験<75g OGTT試験>
	F 内分泌・代謝機能検査	① 血中・尿中ホルモン測定	
		② 内分泌機能検査、負荷試験	
		③ 代謝機能検査	
		④ 核医学的機能検査	甲状腺 ¹²³ I摂取率
	G 腎機能検査	① 推定糸球体濾過量<eGFR>	クレアチニンクリアランス
		② 尿タンパク・酵素	尿中アルブミン、 β_2 -マイクログロブリン
H 排尿機能検査	① 尿流測定		
	② 膀胱内圧測定		
	③ 残尿量測定		
I 脳波検査	① 波形診断	発作性異常波	
	② 異常脳波賦活法		
	③ 聴性脳幹反応<ABR>		
J 筋電図・神経伝導検査	① 針筋電図検査		
	② 反復誘発筋電図検査		
	③ 末梢神経伝導検査		

VIII 検査[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
3 皮膚・感覚器・発声機能検査 約8%	A 皮膚検査	① プリックテスト、皮内テスト	
		② 針反応	
		③ パッチテスト、光パッチテスト	
		④ 光線テスト	
		⑤ 薬剤リンパ球刺激試験(DLST)	
		⑥ 皮膚温測定法、サーモグラフィ	
		⑦ Tzanck試験	
		⑧ Nikolsky現象	
		⑨ ダーモスコピー	
		⑩ 苛性カリ<KOH>直接鏡検法	
		⑪ 皮膚描記法	Darier徴候
		⑫ 硝子圧法	
		⑬ 発汗テスト	
	B 視器一般検査	① 徹照法	
		② 細隙灯顕微鏡検査	
		③ 眼圧検査	
		④ 眼底検査、蛍光眼底造影検査	
		⑤ 隅角検査	
		⑥ 涙液分泌検査	
		⑦ フレアセルフオートメトリ	
		⑧ スペキュラーマイクロスコーピー	
		⑨ 角膜知覚検査	
		⑩ 角膜曲率測定	
		⑪ 眼軸長検査	
		⑫ 光干渉断層計<OCT>	
	C 視機能検査	① 視力検査	Landolt環
		② 視野検査	
		③ 暗点検査	
		④ 色覚検査	
		⑤ 光覚<暗順応>検査	
		⑥ 屈折検査	
		⑦ 調節検査	
		⑧ 眼位検査	
		⑨ 眼球運動検査、眼球電図検査<EOG>	
		⑩ 両眼視機能検査	
		⑪ 網膜電図検査<ERG>	
		⑫ 視覚誘発電位<VEP>	
	D 聴覚・平衡機能検査	① 純音聴力検査<気導・骨導聴力閾値検査>	
		② 自記オージオメトリ	
		③ 語音聴力検査	
		④ 音叉検査	
		⑤ 他覚的聴力検査	聴性脳幹反応<ABR>、耳音響放射<OAE>

VIII 検査[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考	
		⑥ 幼児聴力検査	遊戯聴力検査	
		⑦ インピーダンスオージオメトリ	あぶみ骨筋反射	
		⑧ 平衡機能検査	重心動揺検査	
		⑨ 眼球運動・眼振の検査	自発眼振、頭位・頭位変換眼振、温度眼振、回転眼振	
	E 嗅覚・味覚検査	① オルファクトメトリ		
		② 電気味覚検査		
		③ 濾紙ディスク検査		
	F 発声・発語検査	① 発声機能検査		
		② 構音検査		
	4 心理・精神機能検査 約8%	A 心理学的検査	① 質問紙法	
② Rorschachテスト				
③ 簡易精神症状評価尺度[Brief Psychiatric Rating Scale<BPRS>]				
④ Hamiltonうつ病評価尺度<Hamilton Rating Scale for Depression>				
⑤ Beckのうつ病自己評価尺度				
⑥ 状態特性不安検査<STAI>				
B 知能検査		① Wechsler成人知能検査<WAIS-III>		
		② Wechsler児童用知能検査<WISC-IV>		
		③ 田中・Binet知能検査		
		④ Mini-Mental State Examination<MMSE>		
		⑤ 改訂長谷川式簡易知能評価スケール		
		⑥ Wechsler記憶検査<WMS-R>		
C 神経心理学的検査		① 標準型失語症検査<SLTA>		
		② リバーミード行動記憶検査<RBMT>		
		③ Wechsler記憶スケール<WMS>		
		④ 前頭葉機能検査<FAB>		
D 発達テスト		① 津守・稲毛式発達検査		
		② スクリーニング法(日本版Denver式、遠城寺式を含む)		
5 妊娠・分娩・胎児・新生児の検査 約8%		A 妊娠の検査	① 妊娠反応	
			② 超音波検査	
		B 妊娠中の検査	① 血液検査	血液型、不規則抗体、感染症検査
			② 超音波検査	子宮頸管長
			③ 分泌物検査	B群連鎖球菌
		C 分娩の検査	① 超音波検査	
	② 胎児心拍数陣痛図<CTG>			

VIII 検査[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
	D 胎児発育・成熟の検査	① 超音波検査	頭殿長<CRL>、大横径<BPD>、大腿骨長<FL>、腹囲<AC>、推定胎児体重<EFBW>
		② 胎児成熟度検査	肺サーファクタント、マイクロバブルテスト
	E 胎児の健全性<健全性、fetal well-being>の検査	① 胎児心拍数陣痛図<CTG>	
		② ノンストレステスト<NST>	
		③ コントラクションストレステスト<CST>	
		④ biophysical profile score <BPS>	
		⑤ 超音波ドブラ法	パルスドブラ法
		⑥ 羊水量	
		⑦ 胎動	
		⑧ 血液ガス分析	臍帯動脈血pH
	F 胎盤・臍帯・羊水の検査	① 超音波検査	羊水ポケット、羊水指数<AFI>
	G 先天異常の検査	① 羊水検査	
		② 絨毛検査	
		③ 胎児血液検査	
		④ 超音波検査	
	H 新生児の検査	① 新生児マススクリーニング	タンデムマス・スクリーニング
		② マイクロバブルテスト	
6 画像検査 約15%	A 超音波検査	① 原理と検査技術	
		② ドブラ法、カラードブラ法、パワードブラ法	造影超音波診断法
		③ 超音波所見	高・低エコー域、音響陰影、音響増強
		④ エコー下穿刺生検	
		⑤ 血流測定	
		⑥ 管腔内超音波検査(血管、胆管、膵管、気管支)	
	B 電離放射線	① 種類と性質	
		② 発生装置	
		③ 線質	
		④ 放射性同位元素	
		⑤ 放射能	
	C 放射線の単位と測定	① 単位[吸収線量(Gy)、線量当量(Sv)、放射能(Bq)]	
		② 測定	
	D 放射線等検査用機器・器材	① エックス線撮影・透視装置	フィルム、蛍光増倍管、イメージングプレート、平面検出器
		② 血管撮影装置、digital subtraction angiography<DSA>装置	
		③ CT装置	
		④ 核医学検査装置	ガンマカメラ、PETカメラ

VIII 検査[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
		⑤ 磁気共鳴画像<MRI>装置	
	E 医療放射線被曝の軽減	① 正当化 ② 最適化 ③ 線量限度 ④ 被ばく低減3原則	時間、距離、遮蔽
	F 画像検査における医療情報	① 画像情報システム ② 画像診断支援システム<CAD>	
	G エックス線単純撮影	① 種類と適応 ② コントラスト ③ 鮮鋭度	デジタルラジオグラフィ<DR>、コンピューテッドラジオグラフィ<CR>
	H 血管造影検査	① 種類、適応、禁忌 ② 造影剤 ③ 合併症	
	I 消化管造影検査	① 種類、適応、禁忌 ② 造影剤 ③ 合併症	
	J 尿路造影検査	① 種類、適応、禁忌 ② 造影剤 ③ 合併症	
	K その他の造影検査	① 唾液腺造影検査 ② 咽頭造影検査 ③ 胆道<胆嚢・胆管>造影検査 ④ 経皮経肝胆道造影検査<PTC> ⑤ 内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査<ERCP> ⑥ 子宮卵管造影検査<HSG> ⑦ 関節造影検査 ⑧ 脊髓腔造影検査<ミエログラフィ> ⑨ 椎間板造影検査	嚥下機能検査
	L CT	① 原理、CT値 ② ヘリカルCT ③ multidetector-row CT<MDCT> ④ 三次元再構成画像(冠状断、矢状断) ⑤ 適応	window幅、windowレベル 三次元CT血管撮影<3D-CTA>
	M 造影CT	① 適応と禁忌 ② 造影剤 ③ 造影効果 ④ 副作用 ⑤ ダイナミックCT	アナフィラキシーショック、ヨードアレルギー、造影剤腎症 動脈優位相、門脈相、平衡相

VIII 検査[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考	
	N 磁気共鳴画像検査<MRI>の原理と技術	① 原理、MR信号		
		② 安全管理	絶対禁忌と相対禁忌	
		③ 撮像法	T1強調像、T2強調像、プロトン密度強調像、T2*強調像、FLAIR像、拡散強調像、脂肪抑制像	
		④ 磁気共鳴胆管膵管撮影<MRCP>		
		⑤ 磁気共鳴血管撮影<MRA>		
		⑥ MRスペクトロスコピー<MRS>		
	O 造影磁気共鳴画像検査<造影MRI>	① 種類、適応、禁忌		
		② 造影剤と副作用	Nephrogenic systemic fibrosis<NSF>	
		③ 造影効果		
		④ ダイナミックMRI		
	P 核医学検査の原理と技術	① 放射性医薬品		
		② ポジトロン核種	FDG	
		③ トレーサー原理		
	Q シンチグラフィ	① 種類と適応		
		② 撮影法	早期相、遅延相、動態検査	
		③ シングルフォトンエミッションCT<SPECT>		
		④ ポジトロンエミッション断層撮影<PET>	PET/CT	
	7 内視鏡検査 約15%	A 内視鏡の種類と原理	① 硬性鏡	
			② ファイバースコープ	
③ 電子スコープ			強調画像観察	
④ 拡大内視鏡				
⑤ カプセル内視鏡				
⑥ 超音波内視鏡				
B 内視鏡検査の適用部位		① 外耳、中耳		
		② 鼻腔、副鼻腔		
		③ 咽頭、喉頭		
		④ 気管、気管支	気管支肺胞洗浄<BAL>	
		⑤ 胸腔、縦隔		
		⑥ 食道、胃、十二指腸		
		⑦ 小腸	ダブルバルーン内視鏡	
		⑧ 結腸、直腸、肛門		
	⑨ 胆道、膵管			
	⑩ 腹腔			
	⑪ 泌尿器(腎杯、腎盂、尿管、膀胱、尿道)			
	⑫ 女性性器	コルポスコピー、ヒステロスコピー		
	⑬ 関節腔			
	⑭ 血管			

VIII 検査[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
	C 内視鏡検査の基本手技と合併症	① 適応と禁忌	検査前全身状態の評価
		② 前処置とその合併症	咽頭麻酔、局所麻酔、鎮痛薬、消化管運動抑制薬、腸管洗浄
		③ 基本手技	挿入、観察、生検、擦過、散布
		④ 合併症	穿孔、出血

IX 治療[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 食事・栄養療法 約10%	A 食事・栄養療法の基本	① 栄養アセスメント	
		② 栄養サポートチーム<NST>	
		③ 食事摂取基準量	
		④ 栄養療法	食事療法
		⑤ 妊・産婦の栄養マネジメント<栄養管理>	
		⑥ 乳幼児の栄養マネジメント<栄養管理>	
		⑦ 高齢者の栄養マネジメント<栄養管理>	
	B 栄養摂取の方法	① 経口栄養	
		② 経管・経腸栄養	
		③ 経静脈栄養	末梢静脈栄養、中心静脈栄養
	C 適応	① 過栄養	
		② 栄養不良	
		③ ビタミン欠乏症	
		④ 微量元素欠乏	
	D 合併症	① 機械的合併症	
		② 代謝性合併症	
2 薬物療法 約10%	A 薬物の選択	① 病態	
		② 薬物動態	
		③ 患者要因	
	B 薬物動態	① 吸収、分布、代謝、排泄	
		② 一回投与、反復投与	
		③ 治療薬物モニタリング<TDM>	
		④ ゲノム要因	
	C 薬効	① 薬物の相互作用(相乗、拮抗、酵素誘導、酵素阻害)	併用禁忌
		② 食物・嗜好品との相互作用	
		③ 薬効の評価、プラセボ効果	
		④ 適応と禁忌	
	D 用法・用量	① 投与経路と種類の特徴(経口、舌下、皮膚、粘膜、直腸、注射、吸入、点眼、点鼻)	
		② 剤型	
		③ 服薬計画	併用薬
		④ 服薬指導	
		⑤ アドヒアランス	
		⑥ 新生児、小児、妊婦、高齢者	ポリファーマシー
		⑦ 肝・腎障害	
	E 有害事象	① 種類	
		② 機序	
		③ 対策	
	F 疾患に応じた薬物治療	① 中枢神経作用薬	
		② 自律神経作用薬	
		③ 循環器作用薬	

IX 治療[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
		④ 呼吸器作用薬	
		⑤ 消化器作用薬	
		⑥ 利尿薬	
		⑦ 副腎皮質ステロイド及び非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)	
		⑧ 抗菌薬	感受性試験、抗菌スペクトル
		⑨ 抗腫瘍薬	
		⑩ 麻薬性鎮痛薬・鎮静薬	
3 輸液、輸血、血液浄化 約10%	A 輸液	① 適応と一般的注意	
		② 輸液の種類と用法	
	B 輸血	① 適応と一般的注意	
		② 適正使用	
		③ 血液型、交差適合試験<クロスマッチ>	
		④ 同種輸血と自己輸血	
		⑤ 成分輸血(赤血球液、洗浄赤血球液、濃厚血小板、新鮮凍結血漿、血漿分画製剤)	アルブミン製剤、免疫グロブリン製剤、血液凝固因子製剤
		⑥ 交換輸血	
		⑦ 輸血副作用	アナフィラキシー
		⑧ 輸血後GVHD	
		⑨ 輸血関連急性肺障害	
		⑩ 輸血による感染症	
	C 血液浄化	① 血液透析	
		② 腹膜透析	
		③ 血漿交換	
④ 血液濾過			
⑤ 血液吸着			
4 手術、周術期の管理、麻酔 約10%	A 手術	① 手術適応	
		② 手術時期	
		③ 消毒と滅菌	
		④ 出血	
		⑤ 止血	
		⑥ 凝固・線溶異常	
		⑦ 外科的侵襲に対する反応	
	B 基本的な手術手技	① 切開法	
		② 止血法	
		③ 縫合法、結紮法	
		④ 切除術	
		⑤ 摘出術	
		⑥ 植皮術	
		⑦ ドレナージ	
		⑧ 減圧法	
	C 術後合併症	① 腎不全	
		② 肝機能障害	

IX 治療[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
		③ 急性呼吸窮迫症候群<ARDS>	
		④ 心不全	
		⑤ ショック	
		⑥ 呼吸器合併症	
		⑦ 多臓器不全<MOF>	
		⑧ 多臓器機能障害症候群<MODS>	
	D 術前麻酔管理	① 術前評価	
		② 術前処置	
		③ 麻酔前投薬	
	E 全身麻酔	① 吸入麻酔	
		② 静脈麻酔	
		③ 筋弛緩薬とその拮抗薬	
		④ 覚醒	
	F 麻酔導入	① 気道確保	
		② 気管挿管	
		③ ラリンジアルマスク	
		④ 急速・緩徐導入	
	G 術中麻酔管理	① 麻酔の維持	
		② 輸液	細胞外液補充液、膠質液
		③ 輸血	
		④ 酸塩基平衡	
		⑤ 呼気終末二酸化炭素濃度<ETCO ₂ >	
		⑥ P/F<PaO ₂ /FI _{O₂} >比	
		⑦ 人工呼吸	
		⑧ 悪性高熱症	
		⑨ 体温	
		⑩ モニタリング	
		⑪ 麻酔事故	
		⑫ 麻酔合併症	
		⑬ 年齢に応じた麻酔法	小児・高齢者麻酔
		⑭ 産科麻酔	
		⑮ 特殊疾患の麻酔	心臓疾患・内分泌代謝疾患・肺疾患・頭蓋内疾患の麻酔
		⑯ 緊急手術	
		⑰ 低体温療法	
	H 術後管理と集中治療	① 体位	
		② 術後鎮痛法	
		③ 呼吸循環管理	
		④ 脳圧管理	
		⑤ 輸液管理	
		⑥ 栄養管理	静脈栄養・経腸栄養の選択
		⑦ 感染予防	

IX 治療[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考	
		⑧ 手術創の処置	創傷被覆・保護材	
		⑨ 離床		
		I 局所麻酔	① 脊髄くも膜下麻酔	
			② 硬膜外麻酔	
			③ 伝達麻酔法	
			④ 浸潤・表面麻酔	
			⑤ 適応、禁忌	
			⑥ 局所麻酔薬中毒	
	J 疼痛の管理	① ペインクリニック		
		② 神経障害性疼痛		
		③ アロディニア		
④ 術後創部痛				
⑤ 神経ブロック		末梢神経、神経叢、星状神経節		
5 臓器・組織・細胞移植、人工臓器、再生医療 約5%	A 移植の種類と適応	① 臓器・組織・細胞移植		
	B 提供者<ドナー>と被移植者<レシピエント>	① 自家・同種・異種移植		
		② 生体臓器提供、心停止下での臓器提供、脳死下での臓器提供		
		③ 日本臓器移植ネットワーク、アイバンク、組織バンク、骨髄バンク		
		④ 臓器提供、意思表示、同意の条件	意思表示カード	
		⑤ 倫理的・社会的・文化的配慮		
	C 移植と免疫			
	D 人工臓器の種類と適応	① 人工腎臓、血液浄化法		
		② 人工血管、人工弁(機械弁、生体弁、同種生体弁)		
		③ 人工心肺、機械的補助循環(VAD、ECMO、PCPS、IABP)		
		④ ペースメーカー、植込み型除細動器		
⑤ 人工関節・骨・腱・靭帯				
⑥ 眼内レンズ				
⑦ 人工聴覚器(人工内耳・中耳)				
6 放射線治療 約5%	A 放射線感受性	① 正常組織の放射線感受性		
		② 腫瘍の放射線感受性	放射線増感剤	
		③ 放射線治療可能比<正常組織耐容線量/腫瘍致死線量>		
	B 放射線効果の修飾	① 酸素効果		
		② 化学療法の併用		
		③ 温熱効果		
		④ 細胞周期		
		⑤ 線エネルギー付与<LET>		
		⑥ 線量率効果		
	C 空間的線量分布	① 深部線量百分率		
		② 線量分布図		

IX 治療[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
		③ 治療計画	
		④ 標的体積、リスク臓器	
	D 時間的線量配分	① 通常分割照射	
		② 多<過>分割照射	
		③ 少<寡>分割照射	
		④ 回復・再増殖・再酸素化・再分布<4R>	
	E 外照射	① 多門照射	直線加速器
		② 定位放射線照射	
		③ 強度変調放射線治療<IMRT>	
		④ 画像誘導放射線治療<IGRT>	
		⑤ 粒子線治療	
	F 小線源治療	① 密封小線源治療	腔内照射、組織内照射
		② 放射性同位元素<RI>内用療法<内{部}照射療法>	
	G 放射線治療の適応	① 根治的照射	
		② 予防的照射	
		③ 緩和的照射	
	H 集学的治療	① 術前・術中・術後<周術期>照射	
		② 化学放射線療法	
	I 照射の合併症	① 急性反応<障害>	
		② 晩期反応<障害>	
7 インターベンショナルラジオロジー<IVR> 約5%	A 血管系治療	① 適応	
		② 動脈塞栓術<TAE>	出血、動脈瘤、腫瘍
		③ 動脈化学塞栓療法<TACE>	肝細胞癌
		④ バルーン閉塞下経静脈的静脈瘤閉塞<BRTO>	胃静脈瘤
		⑤ 経皮血管形成術<PTA>、ステント留置{術}	冠動脈、頸動脈、腎動脈、末梢動脈
		⑥ ステントグラフト内挿術	胸部・腹部大動脈瘤
		⑦ 血栓溶解療法、血栓回収術	
		⑧ カテーテルアブレーション	
		⑨ 異物除去術	
		⑩ 動注化学療法	動注リザーバー留置
		⑪ 下大静脈フィルター留置術	
		⑫ 硬化療法	静脈瘤
		⑬ 経皮的中心静脈<CV>ポート留置術	
		⑭ 動脈瘤コイル塞栓術	脳動脈瘤
B 非血管系治療	① 適応		
	② 方法(エックス線透視下・超音波下・CT{ガイド}下治療)		
	③ 経皮的ドレナージ	胆道、尿路、膿瘍	
	④ 嚢胞穿刺		
	⑤ 除石術	胆石、腎結石	
	⑥ 拡張術、ステント留置{術}	気道、食道、胆道、消化管	

IX 治療[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
		⑦ 経皮的胃瘻造設	
		⑧ 神経ブロック	
		⑨ 経皮的局所療法	ラジオ波焼灼術、凍結治療、硬化療法
		⑩ 経皮的生検	CTガイド下生検
8 内視鏡治療 約5%	A 種類と適応	① 止血、凝固、結紮、クリッピング	
		② 硬化療法	
		③ 切開、切除	
		④ 拡張、ステント留置{術}	
		⑤ 照射、レーザー	
		⑥ 異物除去術	
		⑦ 内視鏡下手術	
9 リハビリテーション 約10%	A リハビリテーションの概念	① 理念	
		② 急性期リハビリテーション	
		③ 回復期リハビリテーション	
		④ 維持期リハビリテーション	
		⑤ 地域リハビリテーション	
		⑥ 小児リハビリテーション	
		⑦ リハビリテーション・チーム	
		⑧ 自立生活支援	
		⑨ 社会参加	
	B リハビリテーションの技術	① 理学療法	筋力増強訓練、関節可動域訓練、基本動作訓練、歩行訓練、促通訓練
		② 作業療法	
		③ 言語聴覚療法	失語症訓練、構音障害訓練、摂食・嚥下訓練
		④ 日常生活動作<ADL>訓練	
		⑤ 認知リハビリテーション	
		⑥ 物理療法	
		⑦ リハビリテーション工学	
		⑧ 職業リハビリテーション	
		⑨ 福祉用具	義肢、装具、移動機器(杖、白杖、歩行器、車椅子、リフト)、自助具
		⑩ 住宅改修	
	C 身体障害のリハビリテーション	① 脳血管障害	
		② 頭部外傷	
		③ 脊髄損傷	
		④ 脳性麻痺	
		⑤ 神経・筋疾患	
		⑥ 骨・関節疾患	
		⑦ 切断	
		⑧ 視覚障害<ロービジョン>	ロービジョンケア
		⑨ 音声・言語・咀嚼機能障害	

IX 治療[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
		⑩ 内部障害	心臓、呼吸器、腎臓、膀胱、直腸、小腸
		⑪ 廃用症候群	
	D 精神・知的・発達障害のリハビリテーション	① 生活指導、療育	
		② 作業療法	
		③ レクリエーション療法	
		④ 生活技能訓練[social skills training<SST>]	
		⑤ デイケア、ナイトケア、ナイトホスピタル	
		⑥ 作業所、授産所	就労支援
		⑦ 地域生活支援センター	グループホーム、福祉ホーム、福祉工場、援護寮
		⑧ 患者会、患者クラブ	
10 二次・三次救急の治療 約15%	A 二次・三次救急に必要な処置	① 気道確保	気管挿管、輪状甲状靭帯穿刺・切開<輪状甲状軟骨間膜穿刺・切開>、気管切開
		② 呼吸療法	酸素投与法、人工呼吸療法
		③ 胸骨圧迫	心肺蘇生法<CPR>
		④ 電気ショック(同期、非同期)	AED、除細動、カルディオバージョン
		⑤ 致死的不整脈の治療	緊急ペーシング
		⑥ 輸液療法	蘇生の投与速度・量、静脈選択と確保
		⑦ 輸血療法	緊急度、投与法、合併症
		⑧ 機械的呼吸・循環補助	PCPS、ECMO
		⑨ 外科的気道確保	
		⑩ 脳室ドレナージ	
		⑪ 心嚢穿刺・ドレナージ	心膜開窓術
		⑫ 胸腔穿刺・ドレナージ	
		⑬ 腹腔穿刺・ドレナージ	
		⑭ 膀胱穿刺・ドレナージ	
		⑮ 内視鏡的止血術	
		⑯ 緊急血液浄化法	
		⑰ 消化管内圧減圧治療	胃管、イレウス管
	B ショックの治療	① 循環血液量減少性ショック	
		② 心原性ショック	
		③ 血流分布異常性ショック	
		④ 閉塞性ショック	
	C 重症救急病態	① 急性呼吸不全、急性肺損傷<ALI>、急性呼吸窮迫症候群<ARDS>	
		② 急性心不全	
		③ 急性腎障害	

IX 治療[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
		④ 急性肝不全	
		⑤ 播種性血管内凝固<DIC>	
		⑥ 多臓器不全<MOF>	
		⑦ 二次性脳障害	
	D 外傷の治療・処置	① 創傷の治療・処置	洗浄、デブリドマン、止血、縫合、創閉鎖、皮膚欠損の処置、破傷風とガス壊疽の予防
		② 捻挫・骨折・脱臼の治療・処置	整復、固定(非観血的、観血的)
		③ 頭部外傷	
		④ 顔面・頸部外傷	眼外傷、頸部刺創
		⑤ 胸部外傷	
		⑥ 腹部外傷	
		⑦ 骨盤・四肢外傷	
		⑧ 脊椎・脊髄外傷	
		⑨ 泌尿器・生殖器外傷	
		⑩ 挫滅<圧挫>症候群<crush syndrome>	
		⑪ 区画<コンパートメント>症候群	筋膜切開
		⑫ 多発外傷、爆傷	部位別治療優先順位の判断、ダメージコントロール
	E 急性中毒の治療・処置	① 胃洗浄、腸洗浄	
		② 強制利尿	
		③ 血液浄化法	
		④ 解毒・拮抗薬	
		⑤ 特殊な治療法	アルカリ化、高濃度酸素療法
	F 熱傷の治療・処置	① 全身療法	輸液の公式、感染防止
		② 重症度判定	熱傷面積の評価、熱傷指数、予後指数
		③ 局所療法	減張切開、デブリドマン、局所療法薬、早期焼痂切除、植皮
		④ 気道熱傷の治療	
		⑤ 合併症	急性腎障害、Curling潰瘍、敗血症、栄養障害
	G 環境異常の治療	① 熱中症	
		② 低体温{症}	
		③ 凍傷	
		④ 減圧症、酸素欠乏症、高山病	
		⑤ 急性放射線障害	
	H 異物・溺水・刺咬症の治療・処置	① 異物	
		② 窒息、溺水	
		③ 刺咬症	

IX 治療[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
	I 産科的救急治療・処置	① 母体・新生児搬送	
		② 急速遂娩	帝王切開、鉗子、吸引分娩
		③ 胎児機能不全[non-reassuring fetal status<NRFS>]	
		④ 産科ショック	
	J 新生児の救急治療・処置	① 新生児蘇生法	
		② 新生児集中治療室	
	K 乳児の救急治療・処置		
11 緩和ケア 約10%	A 全人的苦痛の緩和	① 緩和ケアの概念	
		② 全人的苦痛<トータルペイン>の種類と原因	スピリチュアルペイン、慢性疼痛
		③ 身体的苦痛	
		④ 精神的苦痛	
		⑤ 社会的苦痛	
		⑥ チームアプローチ	
		⑦ 家族ケア	
		⑧ 緩和ケアチーム	
		⑨ ホスピス、緩和ケア病棟<PCU>	
		⑩ 癒し環境	
	B 身体的苦痛の緩和	① がん性疼痛の種類と原因	
		② 疼痛のアセスメント	
		③ 疼痛緩和の薬物療法	
		④ がん疼痛治療法	WHO方式がん疼痛治療法
		⑤ がん悪液質の概念と病状把握	
		⑥ 全身倦怠感・食思<欲>不振・呼吸困難の治療とケア	
		⑦ 胸水・腹水・全身浮腫の治療とケア	
		⑧ 緩和的外科治療	
		⑨ 緩和的放射線治療	
		⑩ インターベンショナルラジオロジー<IVR>	
		⑪ 鎮静<セデーション>	
	C オピオイド<医療用麻薬>	① オピオイドの種類と効果	弱オピオイド、強オピオイド
		② タイトレーション	
		③ レスキュードーズ	
		④ オピオイドローテーション	
		⑤ 鎮痛補助薬	
		⑥ オピオイドの副作用と対策	
	D ホスピス・緩和ケア	① ホスピスケアの基準	
		② 生活の質[quality of life<QOL>]の改善・維持	quality of death<QOD>
		③ 緩和ケア病棟<PCU>	

IX 治療[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
		④ 緩和ケアチーム	デスカンファレンス
		⑤ 在宅ホスピス・緩和ケア	
		⑥ レスパイトケア	
		⑦ 悲嘆のケア<グリーンケア>	
		⑧ 遺族ケア	
12 その他の治療 約5%	A 酸素療法(急性期、慢性期)	① 合併症	CO ₂ ナルコーシス
		② 在宅酸素療法	
	B 人工換気	① 持続的気道陽圧法<CPAP>	
		② 圧支持換気<PSV>	
		③ 持続的陽圧換気<CPPV>	呼気終末陽圧換気<PEEP>
		④ 同期式間欠的強制換気<SIMV>	
		⑤ 非侵襲的陽圧換気<NPPV>	
	C 呼吸理学療法	① 排痰法	
		② 呼吸訓練	
	D 物理療法	① 凍結療法	
		② 温熱療法	
		③ 電気治療	
	E 光線療法	① 新生児黄疸に対する治療	
		② PUVA療法	
	F レーザー療法		
	G 体外衝撃波結石破砕術<ESWL>		
	H 高圧酸素療法	① 合併症	
	I 電気けいれん療法		
	J 免疫療法	① 減感作療法	
		② 抗体療法	生物学的製剤
	K 生殖補助技術<ART>	① 体外受精-胚移植<IVF-ET>、顕微授精<ICSI>	
	L 精神療法	① 精神分析療法	
		② 自律訓練法	
③ 森田療法			
④ 行動療法			
⑤ 認知行動療法			
⑥ 心理教育<psychoeducation>			
⑦ 芸術療法			
⑧ 遊戯療法			
⑨ 家族療法			
⑩ 集団療法			
⑪ カウンセリング			
M リエゾン精神医学<精神科コンサルテーション>			

医学各論

I 先天異常、周産期の異常、成長・発達の異常[約5%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 妊娠の異常	A 妊娠初期の異常	① 妊娠悪阻	
		② 異所性妊娠	
		③ 流産、切迫流産	
		④ 胞状奇胎	
		⑤ 頸管無力症	頸管縫縮術
		⑥ 不育症、習慣流産	
	B 妊娠中・後期の異常	① ハイリスク妊娠	
		② 妊娠高血圧症候群、子癇、HELLP症候群、加重型妊娠高血圧腎症	高血圧合併、腎炎合併
		③ 多胎妊娠	
		④ 早産、切迫早産、前期破水	
		⑤ 過期妊娠	
		⑥ 血液型不適合妊娠	
		⑦ 羊水過多症、羊水過少症	羊水指数<AFI>、羊水ポケット、Potter症候群
		⑧ 絨毛膜羊膜炎、頸管炎	細菌性膣症
		⑨ 常位胎盤早期剝離、前置胎盤、癒着胎盤	
		⑩ 臍帯卵膜付着、前置血管	
		⑪ 臍帯過捻転	
		⑫ 胎盤機能不全	
	C 合併症妊娠	① 妊娠貧血、鉄欠乏性貧血	
		② 妊娠糖尿病、糖尿病	
③ 甲状腺機能亢進症・低下症			
④ 免疫性血小板減少性紫斑病<ITP>			
⑤ 膠原病と類縁疾患			
D 母子感染	① HBV、HCV、HIV、HTLV-I、パルボウイルスB19(伝染性紅斑)、B群連鎖球菌、TORCH症候群		
2 分娩・産褥の異常	A 前期破水	① 前期破水、早期破水	
	B 陣痛の異常	① 微弱陣痛、過強陣痛	
	C 産道の異常	① 児頭骨盤不均衡<CPD>、狭骨盤、頸部子宮筋腫	
	D 胎位の異常	① 骨盤位、横位、斜位	
	E 回旋進入の異常	① 後方後頭位、低在横定位、高在縦定位、不正軸進入	
	F 胎盤の異常	① 癒着胎盤、胎盤嵌頓、胎盤形態異常	
	G 臍帯の異常	① 臍帯巻絡、臍帯下垂、臍帯脱出、臍帯結節	
	H その他の難産	① 遷延分娩、分娩停止、多胎分娩、肩甲難産	
	I 分娩時裂傷	① 子宮破裂、頸管・膣・会陰裂傷	帝王切開後分娩
	J 出血と産科ショック	① 弛緩出血、子宮内反症、羊水塞栓症、血栓塞栓症、仰臥位低血圧症候群	産科DIC、ショック指数<shock index>
		② 播種性血管内凝固<DIC>	
K 産褥の異常	① 子宮復古不全、産褥熱、恥骨結合離開		
	② 乳腺炎、乳汁分泌不全		

I 先天異常、周産期の異常、成長・発達の異常[約5%]

大項目	中項目	小項目	備考
		③ 産褥血栓症、肺塞栓症	
		④ 産褥期精神障害	
3 胎児・新生児の異常	A 胎児異常	① 胎児機能不全 [non-reassuring fetal status <NRFS>]	ノンストレステスト<NST>、胎児心拍数陣痛図<CTG>、biophysical profile score<BPS>
		② 多胎、双胎間輸血症候群	一児胎児死亡
		③ 胎児発育不全 [fetal growth restriction<FGR>]	
		④ 溶血性疾患、血液型不適合妊娠	
		⑤ 形態異常	
		⑥ 胎児水腫・胸水・腹水	
		⑦ 貧血	胎児母体間輸血症候群、胎児中大脳動脈最大血流速度
		⑧ 肺低形成	
		⑨ 子宮内胎児死亡	
	B 新生児仮死	① 新生児仮死	Apgarスコア、臍帯動脈血液ガス
	C 新生児の分類と異常	① 低出生体重児、早期産児	
		② 過期産児	
		③ 巨大児	
	D 新生児の呼吸障害	① 呼吸窮迫症候群<RDS>	
		② 胎便吸引症候群<MAS>	
		③ 一過性多呼吸	
		④ 未熟児無呼吸発作	
		⑤ 新生児慢性肺疾患	Wilson-Mikity症候群
	E 新生児黄疸	① 高ビリルビン血症	
		② 新生児溶血性疾患	
	F 新生児のけいれん	① 低血糖、低カルシウム血症	
	G 新生児の感染症	① 敗血症、髄膜炎	B群連鎖球菌
	H その他の新生児疾患	① 低体温{症}	
		② 新生児クレチン症	
		③ 未熟児貧血	
		④ ビタミンK欠乏症	メレナ
⑤ 頭蓋内出血			
⑥ 帽状腱膜下出血			
⑦ 頭血腫			
⑧ 未熟{児}網膜症			
⑨ 分娩外傷			
⑩ 壊死性腸炎			
⑪ 髄膜瘤			

I 先天異常、周産期の異常、成長・発達の異常[約5%]

大項目	中項目	小項目	備考
4 性分化・染色体異常、先天異常および成長・発達の障害	A 染色体・遺伝子異常	① Down症候群	
		② Turner症候群	
		③ Klinefelter症候群	
		④ ネコ鳴き<5p->症候群、 trisomy (13番、18番)	
	B 性分化・性器の異常	① 膣欠損症、Mayer-Rokitansky-Küster-Hauser<MRKH>症候群	
		② 性分化疾患<真性・仮性半陰陽>	
	C 内分泌の異常	① アンドロゲン不応症<精巢性女性化症候群>	
		② 先天性副腎皮質過形成	
		③ 先天性男性ホルモン生成障害	
	D 成長・発達の障害		

II 精神・心身医学的疾患[約5%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 症状性を含む器質性精神障害、精神作用物質使用による精神および行動障害	A 認知症	① Alzheimer型認知症	
		② 脳血管性認知症	
		③ Lewy小体型認知症	
		④ 前頭側頭型認知症	Pick病
	B 器質性精神病		
	C 症状性精神病		
D せん妄			
E 精神作用物質関連精神障害		① アルコール依存症	
		② 精神病性障害(アルコール精神病、覚醒剤精神病、大麻精神病)	急性中毒、乱用、依存、離脱症状
2 気分障害、統合失調症と類縁疾患	A 気分<感情>障害	① うつ病	
		② 双極性障害<躁うつ病>	
	B 統合失調症	① 妄想型統合失調症	
		② 破瓜型統合失調症	
		③ 緊張型統合失調症	
	C 妄想性障害		
D 急性一過性精神病性障害<非定型精神病>			
E 統合失調感情障害			
3 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	A 不安障害	① パニック障害	
		② 全般性不安障害	
		③ 社交<社会>不安障害	
	B 強迫性障害		
	C 重度ストレス反応および適応障害	① 急性ストレス障害	
		② 心的外傷後ストレス障害<PTSD>	
		③ 適応障害	
	D 解離性<転換性>障害		
	E 身体表現性障害	① 身体化障害	
		② 心気症	
③ 身体表現性自律神経機能不全			
④ 持続性身体表現性疼痛障害		線維筋痛症	
4 生理的障害、身体的要因に関連した障害	A 摂食障害	① 神経性食思<欲>不振症<拒食症>	
		② 神経性過食症<大食症>	
	B 睡眠障害	① 不眠症	
		② 過眠症(ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群)	
		③ 概日リズム障害	
		④ 夢中遊行症	
		⑤ むずむず脚症候群	
		⑥ 周期性四肢運動障害	
		⑦ レム<REM>睡眠行動障害	
	C 性機能不全		
	D 心身症		

Ⅱ 精神・心身医学的疾患[約5%]

大項目	中項目	小項目	備考
5 小児・青年期の精神・心身医学的疾患、成人の人格・行動障害	A 知的障害<精神遅滞>		
	B 特異的発達障害	① 学習障害	
	C 広汎性発達障害	① 自閉症	
		② Asperger症候群	
	D 多動性障害	① 注意欠陥多動障害<ADHD>	
	E 素行障害		
	F 選択緘黙		
	G 不登校		
	H 非行		
	I チック障害	① Tourette症候群	
	J 吃音{症}		
	K 被虐待児症候群		
	L パーソナリティ障害	① 境界性パーソナリティ障害	
	M 習慣および衝動の障害	① 病的賭博、病的放火、病的窃盗	
		② 抜毛症	
N 性同一性障害			
O 性嗜好障害			

Ⅲ 皮膚・頭頸部疾患[約11%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 炎症性皮膚疾患	A 湿疹、皮膚炎	① アトピー性皮膚炎	Kaposi水痘様発疹症
		② 接触皮膚炎	
		③ 脂漏性皮膚炎	
		④ 貨幣状湿疹	
		⑤ 自家感作性皮膚炎	
		⑥ うっ滞性皮膚炎	
		⑦ 皮脂欠乏性湿疹	
	B 蕁麻疹	① 血管性浮腫	Quinke浮腫
	C 痒疹、紅皮症		色素性痒疹
	D 皮膚そう痒症		
	E 薬疹、中毒疹	① 固定薬疹	
		② Stevens-Johnson症候群	
		③ 中毒性表皮壊死症 <toxic epidermal necrolysis>	
		④ 薬剤性過敏症症候群 <drug-induced hypersensitivity syndrome>	
	F 紅斑症	① 多形滲出性紅斑	
		② 結節性紅斑	
		③ 硬結性紅斑	
		④ 環状紅斑	
	G 移植片対宿主病 <GVHD>		
	H 好中球性皮膚症	① Sweet病	
		② 壊疽性膿皮症	
	I 皮膚血流障害	① 網状皮斑	リベド
		② 血栓性静脈炎	
2 腫瘍・母斑性皮膚疾患	A 母斑	① 脂腺母斑、表皮母斑、色素性母斑、太田母斑	
	B 母斑症	① 神経線維腫症1型 <von Recklinghausen病>	café au lait斑
		② 結節性硬化症	
	C 血管腫	① 毛細血管奇形<単純性血管腫>	
		② 幼児血管腫<イチゴ状血管腫>	
		③ Kasabach-Merritt症候群	
		④ 静脈奇形<海綿状血管腫>	
	D リンパ管腫		
	E 皮膚良性腫瘍	① 脂漏性角化症	Leser-Trélat徴候
		② 粉瘤	
		③ ケラトアカントーマ	
		④ 皮膚線維腫	
		⑤ ケロイド	
		⑥ 毛細血管拡張性肉芽腫	
⑦ グロムス腫瘍			
⑧ 色素性蕁麻疹			
F 皮膚悪性腫瘍	① 日光角化症<老人性角化症>		
	② 乳房外Paget病		

Ⅲ 皮膚・頭頸部疾患[約11%]

大項目	中項目	小項目	備考	
		③ Bowen病		
		④ 有棘細胞癌		
		⑤ 基底細胞癌		
		⑥ 血管肉腫		
		⑦ 悪性黒色腫		
		⑧ Kaposi肉腫		
		G 皮膚悪性リンパ腫	① 菌状息肉症	
		② Sézary症候群		
3 その他の皮膚疾患	A 遺伝性水疱症	① 先天性表皮水疱症		
	B 後天性水疱症	① 天疱瘡	Nikolsky現象	
		② 水疱性類天疱瘡		
		③ 疱疹状皮膚炎、後天性表皮水疱症		
	C 遺伝性角化症	① 魚鱗癬		
		② 掌蹠角化症		
		③ Darier病		
		④ 汗孔角化症		
	D 炎症性角化症	① 乾癬	Auspitz現象、Köbner現象	
		② 類乾癬		
		③ 扁平苔癬		
		④ Gibertばら色糝糠疹		
	E 膿疱症	① 膿疱性乾癬		
		② 掌蹠膿疱症		
	F 光線過敏症	① 慢性光線性皮膚炎	ペラグラ	
	G 色素異常症	① 尋常性白斑		
	H 遺伝性皮膚疾患	① Werner症候群		
		② 色素性乾皮症		
	I 発汗異常症	① 汗疹、多汗症、無汗症		
	J 細菌感染症	① せつ、癰		
② 蜂巣炎<蜂窩織炎>				
③ ひょう疽				
④ 丹毒				
⑤ 伝染性膿痂疹				
⑥ ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群				
⑦ 壊死性筋膜炎		劇症型 A 群 β 溶連菌感染症、 <i>Vibrio vulnificus</i>		
⑧ ガス壊疽				
K 皮膚抗酸菌症	① 尋常性狼瘡			
	② 皮膚腺病			
	③ 硬結性紅斑			
	④ 非結核性抗酸菌症			
L 皮膚真菌症	① 白癬、カンジダ症	Celsus禿瘡		
	② 癬風			
	③ スポロトリコーシス			
M 動物性皮膚疾患	① 疥癬			
N 瘡瘡	① 尋常性瘡瘡、酒皷様皮膚炎			
O 脱毛症	① 円形脱毛症、男性型脱毛症	抜毛症		

Ⅲ 皮膚・頭頸部疾患[約11%]

大項目	中項目	小項目	備考
	P 肉芽腫症	① 環状肉芽腫	
	Q ムチン沈着症	① 脛骨前粘液水腫 ② 糖尿病性浮腫性硬化症	
4 視機能異常、 視神経疾患	A 視機能異常	① 弱視	
		② 色覚異常	
		③ 屈折異常	
		④ 調節異常	
	B 視神経疾患	① 視神経炎・症	
		② 視神経萎縮	
		③ うっ血乳頭	
	C 眼位・眼球運動 障害	① 斜視、斜位	
		② 眼筋麻痺	
③ 動眼神経麻痺			
④ 滑車神経麻痺			
⑤ 外転神経麻痺			
5 眼窩・外眼部・前眼部・ 眼球の疾患	A 眼窩の異常	① 眼窩腫瘍	
		② 眼球突出	
	B 眼瞼の異常	① 眼瞼内反	
		② 眼瞼外反	
		③ 兔眼{症}	
		④ 麦粒腫	
		⑤ 霰粒腫	
		⑥ 眼瞼炎	
		⑦ 眼瞼腫瘍	
	C 眼表面・涙器の 異常	① 涙道狭窄・閉塞	
		② 涙嚢炎	
		③ 涙液分泌障害	
		④ 翼状片	
		⑤ 結膜炎	
		⑥ 春季カタル	
		⑦ 結膜下出血	
		⑧ 角膜感染症	
		⑨ 角膜ジストロフィー・変性症	
		⑩ 角膜炎	
		⑪ 角膜潰瘍	
		⑫ 角膜の色素沈着	Kayser-Fleischer輪
⑬ 強膜炎			
D 眼組織の異常	① 白内障	眼内レンズ挿入術	
	② 水晶体偏位・脱臼		
	③ 緑内障		
6 ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	A ぶどう膜炎	① 前部ぶどう膜炎<虹彩炎、虹彩毛様体炎>	
		② 後部ぶどう膜炎<脈絡膜炎、網脈絡膜炎>	
		③ Vogt-小柳-原田病	
		④ Behçet病	

Ⅲ 皮膚・頭頸部疾患[約11%]

大項目	中項目	小項目	備考						
	B 汎ぶどう膜炎	⑤ サルコイドーシス							
		① 眼内炎 ② 全眼球炎							
	C 網膜の異常	① 網膜静脈閉塞症 ② 網膜動脈閉塞症 ③ 糖尿病網膜症 ④ 網膜色素変性 ⑤ 中心性漿液性脈絡網膜症 ⑥ 加齢黄斑変性 ⑦ 網膜剥離 ⑧ 未熟{児}網膜症 ⑨ 変性近視 ⑩ 黄斑円孔、網膜上膜<網膜前膜>							
		D 硝子体の異常	① 硝子体混濁 ② 硝子体出血						
			E 眼内腫瘍	① 脈絡膜腫瘍 ② 網膜芽細胞腫					
		7 外耳・中耳疾患		A 外耳道の異常	① 急性化膿性限局性外耳炎<耳せつ> ② 外耳道異物 ③ 耳垢栓塞 ④ 耳性帯状疱疹<Ramsay Hunt症候群> ⑤ 外耳腫瘍 ⑥ 悪性外耳道炎				
			B 鼓膜の異常		① 鼓膜炎				
			C 中耳の異常		① 急性中耳炎 ② 滲出性中耳炎 ③ 慢性穿孔性<化膿性>中耳炎 ④ 好酸球性中耳炎 ⑤ 真珠腫性中耳炎 ⑥ 耳硬化症 ⑦ 耳管機能不全	鼓膜チューブ挿入術 鼓室形成術 乳突洞削開術			
					8 内耳・神経疾患	A 内耳の異常	① 内耳炎 ② 音響外傷 ③ 騒音性難聴 ④ 薬剤性難聴 ⑤ 老人性難聴 ⑥ 乳幼児の難聴 ⑦ ウイルス性難聴 ⑧ 突発性難聴 ⑨ 遺伝性難聴 ⑩ 外リンパ瘻 ⑪ 機能性難聴	人工内耳埋込み術 若年発症型両側性感音難聴	
							B 前庭の異常	① Ménière病 ② 良性発作性頭位めまい症 ③ 前庭神経炎	遅発性内リンパ水腫

Ⅲ 皮膚・頭頸部疾患[約11%]

大項目	中項目	小項目	備考
	C その他の神経の異常	④ 薬剤性平衡障害	
		⑤ 動揺病	
		① 顔面神経麻痺	Bell麻痺
		② 軟口蓋麻痺	
		③ 舌下神経麻痺	
		④ 三叉神経痛	
		⑤ 小脳橋角部腫瘍	聴神経腫瘍
		⑥ 舌咽神経麻痺、舌咽神経痛	
		⑦ 反回神経麻痺	
		⑧ 頸静脈孔症候群	
9 鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	A 鼻・副鼻腔の異常	① 鼻せつ	
		② 鼻炎	
		③ 副鼻腔炎	好酸球性副鼻腔炎
		④ 歯性上顎洞炎	
		⑤ 副鼻腔真菌症	
		⑥ 術後副鼻腔嚢胞	
		⑦ 上顎洞癌	
	B 喉頭の異常	① 感冒<かぜ>症候群	
		② クループ症候群	
		③ 急性喉頭蓋炎	
		④ 急性喉頭炎	
		⑤ 急性声門下喉頭炎	仮性クループ
		⑥ 慢性喉頭炎	
		⑦ 声帯ポリープ、声帯結節	
⑧ 喉頭癌			
⑨ 喉頭乳頭腫			
10 咽頭・口腔・唾液腺疾患	A 口腔の異常	① 口角炎、舌炎	
		② アフタ性口内炎	
		③ 急性ヘルペス性口内炎	
		④ ヘルパンギーナ	
		⑤ 鵝口瘡	
		⑥ 白斑<板>症	
		⑦ 口腔・口唇の癌、舌癌	
	B 顎骨の異常	① 顎骨腫瘍	
		② 顎関節症	
	C 咽頭の異常	① 咽頭炎	
		② 咽後膿瘍	
		③ 口蓋扁桃肥大症、咽頭扁桃<アデノイド>増殖症	
		④ 急性扁桃炎	
		⑤ 扁桃周囲炎・膿瘍	
		⑥ 慢性扁桃炎	
		⑦ 若年性血管線維腫	
		⑧ 悪性リンパ腫	

Ⅲ 皮膚・頭頸部疾患[約11%]

大項目	中項目	小項目	備考
		⑨ 上咽頭癌	
		⑩ 中咽頭癌	
		⑪ 下咽頭癌	
	D 唾液腺の異常	① 唾液腺炎	
		② 唾石症	
		③ 唾液腺良性腫瘍	多形腺腫、Walthin腫瘍
		④ 唾液腺癌	
	E 頸部の異常	① 頸部リンパ節炎	頸部リンパ節結核
		② 頸部膿瘍	
		③ 先天性頸嚢胞・瘻	正中頸嚢胞、側頸嚢胞、下咽頭梨状陥凹瘻
		④ リンパ管腫	
⑤ リンパ節転移			
11 損傷、奇形	A 物理・化学的外傷	① 熱傷	
		② 凍傷	
		③ 電撃傷	
		④ 褥瘡	
		⑤ 角・結膜化学損傷	角・結膜アルカリ・酸損傷
		⑥ 光線性眼障害	紫外線、赤外線、電離放射線、レーザー光線、可視光線
	B 眼の外傷	① 鈍的眼外傷	
		② 鋭的眼外傷	
		③ 異物	
	C 耳の損傷	① 耳介血腫	
		② 鼓膜損傷	外傷性耳小骨離断
	D 顔面の骨折	① 側頭骨骨折	
		② 鼻骨骨折	
		③ 顔面骨折	Le Fort型骨折、下顎骨骨折、頬骨骨折、上顎骨骨折
		④ 前頭骨骨折	
		⑤ 吹き抜け骨折	
		⑥ 視神経損傷、視神経管骨折	
	E 喉頭損傷		
	F 皮膚・頭頸部の先天異常	① 耳介奇形	
		② 先天性耳瘻孔	
		③ 外耳道閉鎖症	Treacher Collins症候群
		④ 中耳奇形	
		⑤ 内耳奇形	
		⑥ 眼の先天異常	無眼球、ぶどう膜欠損、白子症、Peters異常
	G 唇・口蓋の先天異常	① 唇裂、口蓋裂	

IV 呼吸器・胸壁・縦隔疾患[約7%]

大項目	中項目	小項目	備考	
1 感染性呼吸器疾患	A 気道感染症	① 感冒<かぜ症候群>、上気道炎		
		② 気管支炎、細気管支炎		
	B 肺実質感染症	① 市中肺炎	細菌、非定型病原体	
		② 院内肺炎	耐性菌、日和見感染症 <opportunistic infection>	
		③ 医療・介護関連肺炎	嚥下性肺疾患	
	C 肺真菌症	① アスペルギルス症、クリプトコックス症、カンジダ症、ニューモシスチス肺炎		
	D 抗酸菌症	① 肺結核症		
		② 非結核性<非定型>抗酸菌症	<i>M. avium</i> <i>M. intracellulare</i> <i>M. kansasii</i>	
	E ウイルス	① インフルエンザ、サイトメガロウイルス肺炎		
	F 寄生虫症	① 吸虫症、線虫症		
	G 胸膜・縦隔の感染症	① 胸膜炎	細菌性、結核性	
		② 膿胸		
		③ 縦隔炎	降下性縦隔炎	
2 気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷	A 気管・気管支の異常	① 気管支拡張症	Kartagener症候群	
		② びまん性汎細気管支炎		
		③ 閉塞性細気管支炎		
		④ 気管・気管支の狭窄・閉塞		
		⑤ 気道異物		
	B 肺の異常	① 気腫性嚢胞<ブラ、ブレブ>		
		② 無気肺		
		③ 肺形成不全		
		④ 肺分画症		
	C 気管支・肺の異常	① 慢性閉塞性肺疾患<COPD>	慢性気管支炎、肺気腫	
	D 外傷	① 気管・気管支損傷		
		② 肺損傷		
	3 免疫学的機序が考えられる肺疾患	A アレルギー性疾患	① 気管支喘息、咳喘息	
			② 好酸球性肺炎	急性、慢性
③ アレルギー性気管支肺アスペルギルス症				
④ 過敏性肺炎				
B 全身性疾患に伴う肺病変		① 膠原病および類縁疾患に伴う肺病変		
		② サルコイドーシス		
		③ 顕微鏡的多発血管炎 [microscopic polyangitis <MPA>]	ANCA関連血管炎	
		④ 多発血管炎性肉芽腫症 <Wegener肉芽腫症>	ANCA関連血管炎	
		⑤ 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 <Churg-Strauss症候群>		
		⑥ Langerhans細胞組織球症		

IV 呼吸器・胸壁・縦隔疾患[約7%]

大項目	中項目	小項目	備考
		⑦ アミロイドーシス	
		⑧ 悪性リンパ腫、白血病	
4 実質性・間質性肺障害	A 特発性間質性肺炎<IIPs>	① 特発性肺線維症<IPF>	
		② 非特異性間質性肺炎<NSIP>	
		③ 特発性器質化肺炎<COP>	
	B IIPs以外の原因不明疾患	① 肺リンパ脈管筋腫症<LAM>	
		② 炎症性腫瘤	
	C 医原性肺疾患及び化学物質による肺障害	① 薬剤性肺障害	分子標的薬
		② 化学薬品、重金属などによる肺障害	
		③ 酸素中毒	
		④ パラコート中毒	
		⑤ 放射線肺炎	
	D 急性呼吸不全	① 急性呼吸窮迫症候群<ARDS>	
	E じん肺症	① 珪肺<silicosis>	
		② 石綿肺<asbestosis>	
	F 先天異常・代謝異常に基づく疾患	① 肺胞微石症	
② 肺胞タンパク症			
5 肺循環異常	A 肺水腫	① 心原性肺水腫	
		② 透過性亢進型肺水腫	
	B 肺血栓塞栓症	① 急性肺血栓塞栓症	
		② 慢性肺血栓塞栓症	
	C 肺高血圧症	① 肺動脈性肺高血圧症	特発性、遺伝性、続発性
		② 左心系疾患に伴う肺高血圧症	
		③ 肺疾患あるいは低酸素血症に続発する肺高血圧症	
D 肺性心			
E 肺動静脈瘻			
6 気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍	A 肺悪性腫瘍	① 肺癌	腺癌、扁平上皮癌、小細胞癌、大細胞神経内分泌癌、カルチノイド、大細胞癌
		② 転移性肺腫瘍	
	B 他の気管支・肺腫瘍	① 良性肺腫瘍	過誤腫、硬化性血管腫
		② 気管・気管支腫瘍	
	C 縦隔腫瘍	① 胸腺腫瘍	重症筋無力症
		② 神経原性腫瘍	
		③ 胚細胞腫瘍	
		④ 悪性リンパ腫	
		⑤ 嚢胞性腫瘍	
	D 胸膜腫瘍	① 胸膜中皮腫	胸膜プラーク
	E 癌性胸膜炎		
F 癌性リンパ管症			

IV 呼吸器・胸壁・縦隔疾患[約7%]

大項目	中項目	小項目	備考
7 胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態・機能異常と外傷	A 胸膜	① 気胸、緊張性気胸	
		② 血胸	
		③ 乳び胸	
	B 縦隔	① 縦隔気腫、皮下気腫	
		② 気管食道瘻、食道気管瘻	
		③ 上大静脈症候群	
		④ 反回神経麻痺	嗝声
	C 胸壁、横隔膜	① 肋骨骨折	flail chest
		② 胸郭変形	漏斗胸
		③ 横隔神経麻痺	
		④ 横隔膜ヘルニア	
		⑤ 横隔膜弛緩症	
8 呼吸調節異常	A 異常呼吸	① 睡眠時無呼吸症候群	中枢性、閉塞性
		② 過換気症候群	
		③ 肺泡低換気症候群	原発性、肥満

V 心臓・脈管疾患[約10%]

大項目	中項目	小項目	備考	
1 不整脈	A 上室{性}頻脈性不整脈	① 上室期外収縮		
		② 発作性上室頻拍	カテーテルアブレーション	
		③ WPW症候群		
		④ 心房粗動		
		⑤ 心房細動	カテーテルアブレーション、Maze手術	
	B 心室{性}頻脈性不整脈	① 心室期外収縮		
		② 心室頻拍	植込み型除細動器	
		③ 心室細動		
	C 徐脈性不整脈	① 洞不全症候群	ペースメーカー	
		② 房室ブロック		
	D 心臓{性}突然死をきたす症候群	① QT延長症候群	torsades de pointes	
		② Brugada症候群		
2 心不全	A 心不全	① 左心不全		
		② 右心不全	肺高血圧症	
		③ 急性心不全	慢性心不全の急性増悪	
		④ 慢性心不全		
	B 心原性ショック			
3 先天性心疾患	A 左右短絡疾患	① 心房中隔欠損症		
		② 心室中隔欠損症		
		③ 房室中隔欠損症<心内膜床欠損症>		
		④ 動脈管開存症		
	B 右左短絡疾患	① 肺動脈閉鎖症	純型肺動脈閉鎖	
		② Fallot四徴症	Blalock-Taussig短絡手術	
		③ 三尖弁閉鎖症	Fontan手術	
	C その他の複雑心奇形	① Ebstein奇形		
		② 完全大血管転位症	Rastelli手術、Jatene手術	
		③ 修正大血管転位症		
		④ 両大血管右室起始症		
		⑤ 大動脈縮窄症、大動脈離断症		
		⑥ 総肺静脈還流異常症		
	⑦ 部分肺静脈還流異常症	Scimitar症候群		
	⑧ 単心房、単心室	内臓心房錯位、無脾症、多脾症、Fontan手術		
	⑨ 総動脈幹症			
	4 弁膜症	A 僧帽弁疾患	① 僧帽弁狭窄症	
			② 僧帽弁閉鎖不全症	僧帽弁逸脱症候群
B 大動脈弁疾患		① 大動脈弁狭窄症		
		② 大動脈弁閉鎖不全症		
C その他		① 三尖弁閉鎖不全症		
		② 連合弁膜症		
	③ 感染性心内膜炎			
	④ リウマチ性心炎			
5 虚血性心疾患	A 狭心症	① 労作性狭心症	冠動脈バイパス術、経皮的冠動脈インターベンション	
		② 冠攣縮性狭心症		

V 心臓・脈管疾患[約10%]

大項目	中項目	小項目	備考
	B 急性冠症候群	① 急性心筋梗塞(ST上昇型・非ST上昇型心筋梗塞)、不安定狭心症	心筋梗塞後合併症、経皮的冠動脈インターベンション、冠動脈バイパス術
		② 心臓{性}突然死	
	C 陳旧性心筋梗塞		心室瘤
	D 無痛性虚血性心疾患		
	E 川崎病		冠動脈瘤
6 心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	A 心筋炎	① ウイルス性心筋炎	
	B 特発性心筋症	① 肥大型心筋症	心臓{性}突然死
		② 拡張型心筋症	心臓移植
		③ 拘束型心筋症	
	C 二次性心筋疾患	① 心アミロイドーシス	
		② 心サルコイドーシス	
		③ アルコール性心筋症	
		④ 虚血性心筋症	
		⑤ 筋ジストロフィー	
	D 心膜疾患	① 急性心膜炎	
		② Dressler症候群	
		③ 心嚢液貯留	
		④ 収縮性心膜炎	
E 心タンポナーデ			
F 心臓腫瘍	① 粘液腫		
	② 転移性腫瘍		
G 外傷	① 心臓外傷		
	② 血管損傷		
7 血圧異常	A 本態性高血圧		
	B 二次性高血圧	① 腎実質性高血圧症	
		② 腎血管性高血圧症	
		③ 内分泌性高血圧症	アルドステロン過剰症、Cushing症候群、褐色細胞腫、先端巨大症、甲状腺機能亢進症
		④ 睡眠時無呼吸症候群	
C 高血圧緊急症			
D 起立性低血圧		Shy-Drager症候群	
8 脈管疾患	A 大動脈疾患	① 胸部大動脈瘤	
		② 腹部大動脈瘤	Leriche症候群
		③ 胸腹部大動脈瘤	
		④ 大動脈解離	DeBakey分類、Stanford分類
		⑤ 高安動脈炎<大動脈炎症候群>	
		⑥ Marfan症候群	大動脈弁輪拡張症、Bentall手術
	B 末梢動脈疾患	① 閉塞性動脈硬化症	
		② Buerger病	
		③ Raynaud症候群	

V 心臓・脈管疾患[約10%]

大項目	中項目	小項目	備考
		④ 急性動脈閉塞症	挫滅<圧挫>症候群<crush syndrome>
	C 静脈疾患	① 深部静脈血栓症 [deep vein thrombosis<DVT>]	肺血栓塞栓症
		② Budd-Chiari症候群	
	D リンパ管疾患	① リンパ浮腫	

VI 消化器・腹壁・腹膜疾患[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 食道疾患	A 機能異常	① 食道アカラシア	
	B 炎症、感染症	① 胃食道逆流症<GERD>	Barrett上皮、Barrett食道
		② 逆流性食道炎、非びらん性胃食道逆流症<NERD>	
	C 腫瘍	① 食道癌	
	D 血管病変	① 食道静脈瘤	胃静脈瘤
E 損傷、外傷	① Mallory-Weiss症候群		
	② 食道穿孔・破裂	Boerhaave症候群	
2 胃・十二指腸疾患	A 形態異常	① 上腸間膜動脈性十二指腸閉塞症<上腸間膜動脈症候群>	
	B 機能異常	① 機能性ディスぺプシア<FD>	
		② 胃切除後症候群	ダンピング症候群
	C 炎症、感染症	① 急性胃炎、急性胃粘膜病変	
		② 慢性胃炎	萎縮性胃炎、自己免疫性胃炎(A型胃炎)
		③ 消化性潰瘍(胃潰瘍、十二指腸潰瘍)	
		④ ヘリコバクター・ピロリ感染症	
		⑤ 胃アニサキス症	
	D 腫瘍	① 胃ポリープ	胃底腺ポリープ、過形成性ポリープ
		② 胃腺腫	
		③ 胃癌	スキルス型胃癌
		④ 十二指腸腫瘍	十二指腸腺腫・癌、十二指腸乳頭部腫瘍
3 小腸・結腸疾患	A 機能異常	① 吸収不良症候群	短腸症候群
		② 便秘症	
		③ 過敏性腸症候群	
	B 炎症、感染症	① 感染性腸炎	感染性胃腸炎、感染性大腸炎
		② 虫垂炎	McBurney圧痛点、Lanz圧痛点
		③ 薬物性腸炎	偽膜性腸炎、出血性腸炎
		④ 放射線性腸炎	
		⑤ Crohn病	
		⑥ 潰瘍性大腸炎	
		⑦ 腸結核	
	C 腫瘍	① 小腸癌	
		② 大腸ポリープ、大腸腺腫	
		③ 結腸癌	
D 血管病変	① 虚血性大腸炎		
	② 血管形成異常<angiodysplasia>		
4 直腸・肛門疾患	A 形態異常	① 直腸脱	
	B 炎症、感染症	① 肛門周囲膿瘍、痔瘻	
	C 腫瘍	① 直腸癌	
		② 肛門癌、肛門管癌	
	D 血管病変	① 痔核	
E 損傷、外傷	① 裂肛		

VI 消化器・腹壁・腹膜疾患[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
5 消化管共通疾患	A 炎症、感染症	① 抗血小板薬による粘膜障害	
		② 消化管アレルギー、好酸球性胃腸炎、好酸球性食道炎	
		③ 消化管Behçet	
	B 腫瘍	① 消化管神経内分泌腫瘍	消化管カルチノイド [Neuroendocrine tumor <NET>]
		② 悪性リンパ腫	粘膜関連リンパ組織<MALT>リンパ腫
		③ 消化管粘膜下腫瘍<SMT>	gastrointestinal stromal tumor<GIST>、筋腫、脂肪腫、血管腫
		④ 消化管ポリポース	家族性腺腫性ポリポース<FAP>、Turcot症候群、Peutz-Jeghers症候群、Gardner症候群
	C 代謝性疾患	① 消化管アミロイドーシス	
	D 形態異常	① 食道憩室、胃憩室、十二指腸憩室、Meckel憩室、大腸憩室	憩室炎、憩室出血
	E 血管性病変	① 虚血性小腸炎・大腸炎	胃前庭部毛細血管拡張症<GAVE>
6 肝疾患	A 形態異常	① 肝嚢胞	
	B 炎症、感染症	① 急性肝炎	A型肝炎、B型肝炎、C型肝炎、D型肝炎、E型肝炎
		② 劇症肝炎	B型肝炎ウイルスの再活性化
		③ 慢性肝炎	B型肝炎、C型肝炎
		④ 肝硬変	特発性細菌性腹膜炎
		⑤ 原発性胆汁性肝硬変<原発性胆汁性胆管炎>	肝内胆汁うっ滞
		⑥ 自己免疫性肝炎	
		⑦ 薬物性肝障害	細胞障害型、胆汁うっ滞型
		⑧ 肝膿瘍	細菌性・アメーバ性肝膿瘍
		⑨ 寄生虫性肝疾患	肝包虫症、日本住血吸虫症
	C 腫瘍	① 肝血管腫	
		② 肝細胞癌	
		③ 肝内胆管癌	
		④ 転移性肝癌	
	D 血管病変	① 門脈圧亢進症	特発性門脈圧亢進症、肝外門脈閉塞症
		② Budd-Chiari症候群	
	E 代謝性疾患	① ビリルビン代謝の異常	Gilbert症候群、Dubin-Johnson症候群、Rotor症候群
		② 脂肪肝	非アルコール性脂肪性肝疾患<NAFLD>、非アルコール性脂肪性肝炎<NASH>
		③ アルコール性肝障害	アルコール性肝炎
		④ ヘモクロマトーシス	
		⑤ Wilson病	

VI 消化器・腹壁・腹膜疾患[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考	
7 胆道疾患	A 形態異常	① 先天性胆道拡張症		
		② 膵・胆管合流異常症		
	B 炎症、感染症	① 胆嚢炎		Charcot 3徴、Reynolds 5徴、急性閉塞性化膿性胆管炎
		② 胆管炎		
		③ 原発性硬化性胆管炎		
	C 腫瘍	① 胆嚢ポリープ		
		② 胆嚢腺筋腫症		
		③ 胆嚢癌、胆管癌		
	D 代謝性疾患	① 胆石症		
	8 膵疾患	A 炎症、感染症	① 急性膵炎	重症急性膵炎、被包化膵臓壊死<WON>、仮性嚢胞
② 慢性膵炎・膵石症				
③ 自己免疫性膵炎				
B 腫瘍		① 膵嚢胞性腫瘍	膵管内乳頭粘液性腫瘍<IPMN>、粘液性嚢胞腫瘍<MCN>	
		② 膵神経内分泌腫瘍	インスリノーマ、グルカゴノーマ、ガストリノーマ<Zollinger-Ellison症候群>、WDHA症候群	
		③ 膵癌		
9 横隔膜・腹膜・腹壁疾患	A 形態異常	① 食道裂孔ヘルニア		
		② 鼠径ヘルニア		
		③ 大腿ヘルニア		
		④ 閉鎖孔ヘルニア		
		⑤ 腹壁癒痕ヘルニア		
	B 炎症、感染症	① 細菌性腹膜炎		
		② 横隔膜下・Douglas窩膿瘍		
	C 腫瘍	① 癌性腹膜炎		
		② 腹膜中皮腫		
		③ 腹膜偽粘液腫		
		④ 後腹膜腫瘍		
	10 急性腹症	A 形態異常	① 単純性イレウス	
			② 腸管軸捻転症	
B 機能異常		① 麻痺性イレウス		
C 炎症、感染症		① 急性腹膜炎		
D 血管病変		① 腸間膜動脈閉塞症、非閉塞性腸管虚血症<NOMI>		
		② 腸間膜静脈血栓症		
		③ 嵌頓ヘルニア		
		④ 絞扼性イレウス		
E 損傷、外傷		① 消化管穿孔		
11 損傷、異物		A 外傷	① 腹部外傷	
		B 損傷	① 消化管損傷	
	② 肝損傷			
	③ 胆道損傷			
	④ 膵損傷			

VI 消化器・腹壁・腹膜疾患[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
		⑤ 脾損傷	
		⑥ 横隔膜損傷	
	C 異物	① 消化管異物	食道異物
12 その他の重要な小児領域の疾患	A 食道の異常	① 先天性食道閉鎖症	Gross分類
	B 胃・十二指腸の異常	① 肥厚性幽門狭窄症	Ramstedt手術
		② 新生児胃穿孔・破裂	
		③ 先天性十二指腸閉鎖・狭窄症	ダブルバブルサイン
	C 小腸・結腸の異常	① 先天性小腸狭窄・閉鎖症	
		② 胎便性腹膜炎	
		③ 腸回転異常症	中腸軸捻転
		④ Hirschsprung病<先天性巨大結腸症、腸管無神経節症>	
		⑤ 乳児下痢症	
		⑥ 新生児壊死性腸炎	
		⑦ 腸重積症	カニ爪陰影欠損、target sign
	D 直腸・肛門の異常	① 鎖肛	
	E 肝の異常	① 新生児肝炎	
		② 体質性黄疸	Crigler-Najjar症候群
		③ 肝芽腫	α-フェトプロテイン<AFP>
	F 胆道の異常	① 胆道閉鎖症	肝門部空腸吻合術
	G 横隔膜・腹壁疾患	① 尿管管遺残	
		② 臍帯ヘルニア	
		③ 腹壁破裂	
		④ 横隔膜弛緩症	
		⑤ 横隔膜ヘルニア	Bochdalekヘルニア
		⑥ 臍ヘルニア	
		⑦ 鼠径ヘルニア	
⑧ 精巣水腫			

VII 血液・造血器疾患[約5%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 赤血球系疾患	A 鉄代謝障害	① 鉄欠乏性貧血	
		② 鉄過剰症	ヘモクロマトーシス、ヘモジデロシス
	B 巨赤芽球性貧血	① ビタミンB ₁₂ 欠乏性貧血	悪性貧血
		② 葉酸欠乏性貧血	
	C 溶血性貧血	① 自己免疫性溶血性貧血	
		② 冷式抗体による溶血性貧血	寒冷凝集素症、発作性寒冷血色素尿症
		③ 遺伝性球状赤血球症	
		④ 赤血球破碎症候群	
		⑤ 薬剤誘発免疫性溶血性貧血	
	D 造血不全症	① 発作性夜間ヘモグロビン尿症	GPIアンカータンパク
		② 再生不良性貧血	Fanconi貧血
		③ 赤芽球癆	Diamond-Blackfan症候群
		④ 骨髄異形成症候群<MDS>	後天性鉄芽球性貧血
E 二次性貧血	① 慢性疾患に伴う貧血<ACD>		
	② 腎性貧血、内分泌異常による貧血		
F 出血性貧血			
G メトヘモグロビン血症			
H 二次性赤血球増加症		エリスロポエチン産生過剰	
2 白血球系疾患 とその他の骨髄性疾患	A 無顆粒球症	① 薬剤性無顆粒球症	
	B 好中球機能異常症	① 慢性肉芽腫症	
		② Chédiak-Higashi症候群	
	C 骨髄系腫瘍	① 急性骨髄性白血病	二次性白血病<治療関連白血病>
		② 慢性骨髄性白血病	Philadelphia染色体、BCR-ABL融合遺伝子
		③ 原発性骨髄線維症	
		④ 本態性血小板血症	
⑤ 真性赤血球増加症		JAK2遺伝子変異	
⑥ 慢性好酸球性白血病		好酸球増多症候群<HES>	
D 類白血病反応			
3 リンパ系疾患	A 急性リンパ性白血病		
	B Hodgkinリンパ腫		Hodgkin細胞、Reed-Sternberg細胞
	C 成熟B細胞性腫瘍	① 慢性リンパ性白血病	
		② 濾胞性リンパ腫	
		③ びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	
		④ Burkittリンパ腫	
		⑤ 粘膜関連リンパ組織<MALT>リンパ腫	
⑥ hairy cell leukemia			
⑦ 多発性骨髄腫	Mタンパク、Bence Jonesタンパク、続発性アミロイドーシス		

VII 血液・造血器疾患[約5%]

大項目	中項目	小項目	備考	
		⑧ マクログロブリン血症	Waldenstrom、過粘稠度症候群<hyperviscosity症候群>	
		⑨ 意義不明の単クローン性免疫グロブリン血症 [monoclonal gammopathy of undetermined significance <MGUS>]		
	D 成熟T細胞・NK細胞腫瘍	① 成人T細胞白血病		
		② 末梢T細胞性リンパ腫		
		③ 菌状息肉症		
		④ Sézary症候群		
	E 組織球および樹状細胞腫瘍	① Langerhans細胞由来腫瘍		
F 血球貪食症候群<hemophagocytic syndrome>	① 血球貪食性リンパ組織球症 [Hemophagocytic lymphohistiocytosis<HLH>]			
G 伝染性単核{球}症		Epstein-Barr<EB>ウイルス感染症		
4 出血性疾患と血栓傾向	A 血小板の異常	① 免疫性血小板減少性紫斑病<ITP>	ヘリコバクター・ピロリ感染症	
		② 二次性血小板減少症	脾機能亢進症、薬剤性	
		③ 血栓性血小板減少性紫斑病<TTP>	ADAMTS-13	
		④ 溶血性尿毒症症候群<HUS>	Vero毒素	
		⑤ 後天性血小板機能異常症		
	B 凝固因子の異常	① 血友病	第Ⅷ因子、第Ⅸ因子	
		② von Willebrand病		
		③ 循環抗凝固因子による出血傾向 (後天性血友病、後天性von Willebrand病)		
		④ 播種性血管内凝固<DIC>		
		⑤ ビタミンK欠乏症		
	C 血管の異常による出血傾向	① IgA血管炎<Schönlein-Henoch紫斑病>		
		② 単純性紫斑		
		③ 老人性紫斑		
		④ 遺伝性出血性末梢血管拡張症<Osler病>		
	D 血栓性疾患	① 先天性血栓形成傾向	プロテインC・プロテインS・アンチトロンビン欠乏症	
		② 後天性血栓形成傾向	抗リン脂質抗体症候群、血栓性血小板減少性紫斑病<TTP>、溶血性尿毒症症候群<HUS>	
	5 その他の重要な小児領域の疾患	A 小児血液疾患	① 異常ヘモグロビン症	
			② サラセミア	
			③ 遺伝性球状赤血球症	
			④ 赤血球酵素異常症	

VII 血液・造血器疾患[約5%]

大項目	中項目	小項目	備考
		⑤ 先天性血小板機能異常症	血小板無力症、 Bernard-Soulier症候群
		⑥ ビタミンK欠乏症	
		⑦ 新生児出血性疾患	
	B 小児造血器腫瘍	① 白血病	
		② 悪性リンパ腫	

VIII 腎・泌尿器・生殖器疾患[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 糸球体病変	A 糸球体腎炎	① 急性糸球体腎炎	
		② 急速進行性糸球体腎炎症候群	Goodpasture症候群、ANCA関連血管炎
		③ 慢性糸球体腎炎	IgA腎症
	B 原発性ネフローゼ症候群	① 微小変化群	先天性ネフローゼ症候群
		② 巣状分節性糸球体硬化症	
		③ 膜性腎症	
		④ 膜性増殖性糸球体腎炎	
	C 全身疾患に伴う腎疾患	① 糖尿病腎症	
		② アミロイド腎症	
		③ 二次性膜性腎症	
		④ 紫斑病性腎炎	
	D 膠原病に伴う腎病変	① 全身性エリテマトーデス<SLE>	
		② 全身性強皮症	
		③ 関節リウマチ	
		④ 結節性多発動脈炎	
		⑤ 顕微鏡的多発血管炎	
		⑥ 多発血管炎性肉芽腫症<Wegener肉芽腫症>	ANCA関連血管炎
	E 無症候性血尿・タンパク尿症候群	① 無症候性血尿	
		② 無症候性タンパク尿	
	F 遺伝性腎炎	① Alport症候群	
		② 基底膜菲薄化症候群<良性家族性血尿>	
③ Fabry病			
2 血管・尿細管・間質病変	A 腎血管疾患	① 高血圧性腎硬化症	
		② 腎血管性高血圧症	
		③ 悪性腎硬化症、悪性高血圧症	
		④ 腎梗塞	
		⑤ 腎静脈血栓症	
		⑥ 腎皮質壊死	
		⑦ コレステロール塞栓症	
	B 尿細管間質疾患	① 急性尿細管壊死	
		② 骨髄腫腎	
		③ 尿酸腎症<痛風腎>	
		④ 急性間質性腎炎	薬剤性
		⑤ 慢性間質性腎炎	
		⑥ Sjögren症候群	
		⑦ 中毒性腎障害	
	C 尿細管機能異常	① 腎性尿崩症	
		② Fanconi症候群	
		③ 尿細管性アシドーシス	
		④ シスチン尿症	
		⑤ 家族性低リン血症性くる病	
		⑥ Bartter症候群	
		⑦ Gitelman症候群	

VIII 腎・泌尿器・生殖器疾患[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
		⑧ Liddle症候群	
		⑨ 特発性尿細管性タンパク尿<Dent病>	
		⑩ 家族性低尿酸血症	
3 腎機能の障害による異常	A 急性腎障害<AKI>	① 急性腎不全(腎前性・腎性・腎後性)	
		② 急性尿細管壊死	
		③ 横紋筋融解症	
		④ 溶血性尿毒症症候群<HUS>	
	B 慢性腎臓病<CKD>		心腎連関
	C 慢性腎不全	① 腎性貧血	
		② ミネラル骨代謝異常<CKD-MBD>	腎性骨異常栄養症<ROD>
	D 長期透析患者の合併症	① 透析アミロイドーシス	
	E 水・電解質の異常	① 脱水と浮腫	
		② ナトリウム代謝異常	
		③ カリウム代謝異常	
		④ カルシウム代謝異常	
		⑤ リン代謝異常	
		⑥ マグネシウム代謝異常	
F 酸塩基平衡の異常	① アシドーシス		
	② アルカローシス		
4 腎・尿路結石と尿路閉塞性疾患	A 結石症	① 腎結石、尿管結石	サンゴ状結石、エックス線陰性結石
		② 膀胱結石、尿道結石	
	B 尿路閉塞性疾患	① 上部尿路閉塞性疾患	水腎症
		② 下部尿路閉塞性疾患	
	C その他の異常	① 神経因性膀胱	
		② 膀胱尿管逆流症	
5 腎・尿路・生殖器の炎症	A 腎・尿路の炎症	① 急性腎盂腎炎	
		② 慢性腎盂腎炎	
		③ 腎膿瘍	
		④ 腎乳頭壊死	
		⑤ 膀胱炎	間質性膀胱炎
		⑥ 尿道炎	
	B 男性生殖器の炎症	① 前立腺炎	
		② 精巣上体炎	
		③ 精巣炎	
		④ 亀頭包皮皮炎	
	C 女性生殖器の炎症	① 外陰炎	
		② Bartholin腺嚢腫、Bartholin腺炎	Bartholin腺膿瘍
		③ 膣炎	細菌性膣症、外陰膣カンジダ症、トリコモナス膣炎
		④ 骨盤内炎症性疾患<PID>	
		⑤ 子宮頸管炎	
		⑥ 子宮内膜炎・筋層炎	
		⑦ 卵管留膿症・腫	

VIII 腎・泌尿器・生殖器疾患[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考		
		⑧ 子宮留膿症・腫			
	D 性感染症<STD、STI>	① 淋菌性尿道炎 ② 非淋菌性尿道炎 ③ 性器ヘルペス ④ 尖圭コンジローマ	クラミジア性尿道炎		
6 腎・尿路・男性生殖器の腫瘍	A 腎・上部尿路腫瘍	① 腎細胞癌 ② Wilms腫瘍 ③ 腎盂・尿管癌			
		B 下部尿路腫瘍	① 膀胱癌 ② 尿膜管癌 ③ 尿道癌 ④ 尿道カルンクル	上皮内癌	
			C 男性生殖器腫瘍	① 前立腺肥大症 ② 前立腺癌 ③ セミノーマ<精上皮腫> ④ 非セミノーマ ⑤ 陰茎癌	
	A 外陰の腫瘍			① Bowen病 ② 外陰Paget病 ③ 外陰癌	
				B 子宮頸部の類腫瘍・腫瘍	① 子宮頸管ポリープ ② 異形成<子宮頸部上皮内腫瘍> ③ 子宮頸癌
		C 子宮体部の類腫瘍・腫瘍			① 子宮内膜ポリープ ② 子宮内膜増殖症 ③ 子宮内膜異型増殖症 ④ 子宮体癌<子宮内膜癌> ⑤ 子宮筋腫 ⑥ 子宮肉腫
	D 卵巣腫瘍				① 機能的卵巣嚢胞 ② 表層上皮性・間質性腫瘍 ③ 性索間質性腫瘍 ④ 胚細胞腫瘍 ⑤ 卵巣・卵管・腹膜癌 ⑥ 二次性<転移性>腫瘍 ⑦ 茎捻転
			E 子宮内膜症、子宮腺筋症	① 子宮内膜症 ② 子宮腺筋症	子宮内膜症性嚢胞<卵巣チョコレート嚢胞>
				F 絨毛性疾患	① 胞状奇胎 ② 存続絨毛症 ③ 絨毛癌
			G その他の婦人科腫瘍		① 膣癌 ② 腹膜偽粘液腫
8 月経異常、不妊、不育					A 無月経

VIII 腎・泌尿器・生殖器疾患[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
		② 下垂性無月経	
		③ 卵巣性無月経	
		④ 子宮性無月経	
	B 月経周期と量の異常	① 希発月経	
		② 過多月経	
		③ 過少月経	
	C 月経困難症	① 機能性月経困難症	
		② 器質性月経困難症	
	D その他の月経異常	① 無排卵	
		② 黄体機能不全	
		③ 高プロラクチン血症、乳汁漏出症	
		④ 多嚢胞性卵巣症候群<PCOS>	
		⑤ 月経前症候群	
		⑥ 早発閉経	
		⑦ 機能性子宮出血	
	E 不妊、不育	① 女性不妊症	生殖補助技術<ART>、卵巣過剰刺激症候群
		② 男性不妊症	精液検査
		③ 不育症	抗リン脂質抗体症候群
	F 避妊		経口避妊薬、緊急避妊
9 更年期・閉経後障害	A 更年期障害		ホルモン補充療法
	B 閉経後障害	① 萎縮性膣炎	
		② 骨粗鬆症	
		③ 脂質異常症	
		④ 動脈硬化	
⑤ 冠動脈疾患			
10 その他の尿路・生殖器異常	A 腎・尿路の形態異常	① 単純性腎嚢胞	
		② 嚢胞腎	
		③ 海綿腎	
		④ 馬蹄腎	
		⑤ 重複腎盂尿管	
		⑥ 異所性尿管開口	
		⑦ 尿管瘤	
		⑧ 膀胱憩室	
		⑨ 膀胱瘤	
	B 男性生殖器の形態異常	① 尿道下裂	
		② 包茎	
		③ 停留精巣	
		④ 精巣・精索水腫	
		⑤ 精索静脈瘤	
		⑥ 精巣捻転症	
	C 女性生殖器の形態異常	① 子宮の奇形	
		② 子宮の位置異常	
		③ 膣脱、子宮脱	直腸瘤
	D 尿路・生殖器の機能異常	① 夜尿症<夜間遺尿症>	
		② 過活動膀胱	

VIII 腎・泌尿器・生殖器疾患[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
		③ 腹圧性尿失禁	
		④ 勃起障害	
		⑤ 持続勃起症	
	E 尿路・生殖器の損傷	① 腎・尿路損傷	
		② 陰茎折症	
		③ 精巣損傷	
		④ 尿路・性器異物	
		⑤ 女性性器損傷	
		⑥ 尿管腔瘻	
		⑦ 膀胱腔瘻	
		⑧ 直腸腔瘻、膀胱腸瘻	
		⑨ 月経瘻	
		⑩ 子宮腔癒着{症}<Asherman症候群>	

IX 神経・運動器疾患[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 脳血管障害	A 脳内出血	① 高血圧性脳出血	
		② アミロイドアンギオパチー	
	B くも膜下出血	① 脳動脈瘤、解離性脳動脈瘤	脳血管攣縮、正常圧水頭症
	C 脳梗塞	① 心原性脳塞栓症	無症候性脳梗塞、Wallenberg症候群、Weber症候群、tissue plasminogen activator<t-PA>
		② アテローム血栓性脳梗塞	
		③ ラクナ梗塞	
		④ 一過性脳虚血発作	
		⑤ 脳動脈狭窄・閉塞	
	D その他の血管性障害	① 脳動静脈奇形	
		② 静脈洞血栓症	
		③ 脳動脈解離	
		④ 硬膜動静脈瘻	内頸動脈海綿静脈洞瘻
		⑤ もやもや病	
	E 脳卒中後遺症	① 偽性球麻痺	脳卒中後の急性期・回復期・維持期リハビリテーション
		② 半側空間無視	
③ 廃用性萎縮			
④ 脳血管性認知症			
2 脳腫瘍	A 脳実質内腫瘍	① 神経膠腫	
		② 胚細胞腫瘍	
		③ 悪性リンパ腫	
		④ 血管芽腫	
	B 脳実質外腫瘍	① 髄膜腫	
		② 下垂体腺腫	
		③ 神経鞘腫	
		④ 頭蓋咽頭腫	
	C 転移性脳腫瘍	① 転移性脳腫瘍	
		② 髄膜癌腫症<癌性髄膜炎>	
	D 頭蓋骨腫瘍	① 頭蓋骨転移	
	3 神経・運動器の感染性・炎症性疾患	A ウイルス感染症	① 脳炎
② 髄膜炎			
③ 亜急性硬化性全脳炎<SSPE>			
④ 進行性多巣性白質脳症			
⑤ AIDS認知症<HIV脳症>			
⑥ HTLV-I 関連脊髄症<HAM>			
B プリオン病		① Creutzfeldt-Jakob病	
C 静脈洞感染症			
D 細菌・真菌感染症		① 細菌性髄膜炎	
		② 真菌性髄膜炎	
		③ 結核性髄膜炎	
		④ 脳膿瘍	
E 急性脳炎、急性脳症		① 急性散在性脳脊髄炎	インフルエンザ脳症
		② Reye脳症	
		③ 急性小脳性失調症	
F 骨・関節感染症		① 化膿性脊椎炎	椎間板炎、椎体炎

IX 神経・運動器疾患[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
		② 結核性骨関節炎	結核性脊椎炎<脊椎カリエス>、結核性関節炎
		③ 化膿性骨髄炎	Brodie骨膿瘍
		④ 化膿性関節炎	乳児化膿性股関節炎
4 神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	A 認知症	① Alzheimer型認知症	
		② Lewy小体型認知症	
		③ 前頭側頭型認知症	Pick病
	B Parkinson病と類縁疾患	① Parkinson病	ジスキネジア
		② Parkinson症候群	
		③ 進行性核上性麻痺	
		④ 大脳皮質基底核変性症	
		⑤ 本態性振戦	
	C Huntington病と類縁疾患	① Huntington病	
		② 小舞踏病	
		③ 捻転ジストニア	
		④ 痙性斜頸	
		⑤ 書痙	
	D 代謝性疾患	① ビタミンB ₁₂ 欠乏症	亜急性連合性脊髄変性症
		② Wernicke脳症	
		③ ミトコンドリア脳筋症	MELAS、MERRF、Kearns-Sayre症候群、Leigh脳症
	E 白質変性症	① 副腎白質ジストロフィー	
		② 異染性白質ジストロフィー	
	F 脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、痙性対麻痺	① Machado-Joseph病	
		② Shy-Drager症候群	
		③ オリーブ橋小脳萎縮症	
		④ 線条体黒質変性症	
	G 運動ニューロン疾患	① 筋萎縮性側索硬化症<ALS>	
② 脊髄性筋萎縮症		Werdnig-Hoffmann病、球脊髄性筋萎縮症	
H 脱髄疾患	① 多発性硬化症		
	② 視神経脊髄炎		
I 中毒性疾患	① 一酸化炭素中毒<CO中毒>		
	② 低酸素脳症		
	③ 悪性症候群		
5 末梢神経・神経筋接合部・筋疾患	A 末梢神経の炎症性・遺伝性・代謝性疾患	① Guillain-Barré症候群、慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー	
		② 多発ニューロパチー	
		③ 遺伝性運動感覚性ニューロパチー	Charcot-Marie-Tooth病
		④ アミロイドニューロパチー	
		⑤ 腫瘍随伴性多発ニューロパチー	
		⑥ 単ニューロパチー	Bell麻痺
		⑦ 多発単ニューロパチー	
	B 末梢神経の絞扼性疾患	① 手根管症候群	Tinel徴候
		② 肘部管症候群	

IX 神経・運動器疾患[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考	
	C 神経痛	① 三叉神経痛		
		② Tolosa-Hunt症候群		
		③ 坐骨神経痛		
	D 神経筋接合部・筋疾患	① 重症筋無力症		
		② Lambert-Eaton症候群		
		③ 進行性筋ジストロフィー	Duchenne型、Becker型、肢帯型、顔面肩甲上腕型	
		④ 筋強直性ジストロフィー		
⑤ 内分泌・代謝性ミオパチー				
⑥ 多発性筋炎				
⑦ 周期性四肢麻痺				
6 発作性・機能的・自律神経系疾患	A 全般てんかん	① 強直間代発作		
	B 局在関連性<焦点性、部分性>てんかん	① 単純部分発作	側頭葉てんかん、前頭葉てんかん	
		② 複雑部分発作		
	C 慢性頭痛	① 片頭痛		
		② 緊張型頭痛		
		③ 群発頭痛		
	D その他	① むずむず脚症候群		
		② 筋けいれん		
		③ てんかん重積状態		
		④ Horner症候群		
	7 脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	A 脊椎・脊髄疾患	① 斜頸	筋性斜頸
			② Klippel-Feil症候群	
③ 側弯症				
④ 後弯症<円背>				
⑤ 平背				
⑥ 椎間板ヘルニア				
⑦ 変形性脊椎症				
⑧ 脊髄症、神経根症				
⑨ 脊柱靱帯骨化症			後縦靱帯骨化症、黄色靱帯骨化症	
⑩ 脊柱管狭窄症				
⑪ 脊椎分離症				
⑫ 脊椎すべり症				
⑬ 腰痛症			急性腰痛症	
⑭ 強直性脊椎炎				
⑮ 脊椎腫瘍				
⑯ 脊髄腫瘍				
⑰ 脊髄血管障害				
B 骨系統疾患		① 軟骨無形成症		
		② 骨形成不全症		
		③ 脊椎骨端異形成症		
	④ 大理石骨病			
	⑤ 先天性多発性関節拘縮症			
C 代謝性骨疾患	① 骨粗鬆症			

IX 神経・運動器疾患[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
		② くる病、骨軟化症	
		③ 骨Paget病	
8 上肢・下肢の運動器疾患、非感染性骨・関節・四肢軟部疾患	A 肩関節の疾患	① 反復性脱臼	
		② 胸郭出口症候群	
		③ 肩関節周囲炎	
		④ 腱板断裂	
	B 肘関節の疾患	① 肘内障	
		② 上腕骨外側上顆炎	テニス肘
		③ 外反肘、内反肘	
	C 手の疾患	① 強剛母指	
		② 多指症、合指症	
		③ Dupuytren拘縮	
	D 股関節の疾患	① 発育性股関節形成不全<先天性股関節脱臼>	
		② 大腿骨頭すべり症	
		③ Perthes病	
		④ 特発性大腿骨頭壊死症	
		⑤ 変形性股関節症	Trendelenburg徴候
	E 膝関節の疾患	① Osgood-Schlatter病	
		② 半月板障害	
		③ 膝蓋軟骨軟化症	
		④ 変形性膝関節症	
		⑤ 外反膝、内反膝、反張膝	
	F 下腿・足の疾患	① 先天性下腿偽関節	
		② 内反足	
		③ 外反母趾	
	G 骨壊死	① Kienböck病、膝関節壊死	
H 滑膜炎、関節炎	① 関節リウマチ		
	② 痛風、偽痛風		
	③ 滑液包炎、腱鞘炎	de Quervain病、ばね指	
I 関節症	① 神経病性関節症	Charcot関節	
	② 血友病性関節症		
	③ 変形性関節症	Heberden結節	
J 四肢軟部病変	① 腱付着部炎		
	② 異所性骨化		
	③ ガングリオン		
9 骨・軟部腫瘍と類似疾患	A 原発性良性骨腫瘍	① 骨軟骨腫	多発性軟骨性外骨腫
		② 内軟骨腫	
		③ 類骨骨腫	
		④ 骨巨細胞腫	
	B 原発性悪性骨腫瘍	① 骨肉腫	
		② 軟骨肉腫	
		③ Ewing肉腫	
		④ 骨悪性線維性組織球腫	
		⑤ 脊索腫	
	C 転移性骨腫瘍		

IX 神経・運動器疾患[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考	
	D 骨腫瘍類似疾患	① 単発性骨嚢腫		
		② 動脈瘤様骨嚢腫		
		③ 線維性骨異形成		
	E 良性軟部腫瘍	① 脂肪腫		
		② 血管腫		
		③ グロムス腫瘍		
		④ 神経鞘腫		
		⑤ 類腱腫		
	F 悪性軟部腫瘍	① 脂肪肉腫		
		② 悪性線維性組織球腫		
		③ 滑膜肉腫		
		④ 悪性末梢神経鞘腫		
		⑤ 平滑筋肉腫		
	10 神経・運動器の外傷、脳・脊髄の奇形、神経皮膚症候群、その他	A 頭部外傷	① 脳挫傷	外傷性てんかん、高次脳機能障害
			② 脳振盪	
③ びまん性軸索損傷				
④ 急性硬膜外血腫				
⑤ 急性硬膜下血腫、慢性硬膜下血腫				
⑥ 脳内血腫				
⑦ 頭蓋骨骨折				
⑧ 髄液漏				
B 脊髄損傷		① 頸髄損傷	脊椎脱臼骨折	
		② 胸髄損傷		
		③ 腰髄損傷		
C 骨折		① 脊椎骨折	脊椎圧迫骨折	
		② 骨盤骨折	大腿骨近位部骨折、橈骨遠位端骨折	
		③ 四肢骨折		
		④ 開放骨折	golden period	
D 関節の外傷	① 捻挫<靭帯損傷>			
	② 関節内骨折			
	③ 脱臼、亜脱臼			
E 四肢軟部損傷	① 末梢神経損傷	腕神経叢損傷、分娩麻痺		
	② 四肢血管損傷			
	③ 筋断裂、腱断裂			
	④ 区画<コンパートメント>症候群	Volkman拘縮		
	⑤ 挫滅<圧挫>症候群<crush syndrome>			
F 四肢切断	① 外傷性切断、関節離断			
G スポーツ外傷	① 肩関節脱臼			
	② 離断性骨軟骨炎			
	③ 突き指	槌指<mallet finger>		
	④ 肉離れ			
	⑤ 膝靭帯損傷			
	⑥ 半月板損傷			
	⑦ 足関節捻挫			
	⑧ アキレス腱断裂			

IX 神経・運動器疾患[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
11 その他の重要な 小児領域の疾患	H 外傷の合併症	① 偽関節	
		② 変形治癒骨折	
		③ 関節拘縮	
		④ 骨壊死	
		⑤ 塞栓症	脂肪塞栓症、静脈血栓塞栓症
		⑥ 複合性局所疼痛症候群<CRPS>	
	I 水頭症	① 閉塞性水頭症	
		② 交通性水頭症	
		③ 特発性正常圧水頭症	
	J 先天奇形	① 頭蓋骨早期癒合症	Crouzon病
		② 二分頭蓋、脳瘤	
		③ 二分脊椎、髄膜瘤	
		④ Chiari奇形	
		⑤ 脊髄空洞症	
	K 神経皮膚症候群、母斑症	① 神経線維腫症	神経線維腫症1型 <von Recklinghausen病>
		② 結節性硬化症	
		③ Sturge-Weber症候群	
		④ von Hippel-Lindau病	
	A 神経変性疾患	① 脊髄性筋萎縮症	Werdnig-Hoffmann病
B 先天性筋疾患		① 先天性筋ジストロフィー	福山型
		② 先天性筋強直性ジストロフィー	
C けいれん性疾患、てんかん		① 熱性けいれん	
		② 憤怒けいれん<泣き入りひきつけ>	
		③ West症候群<點頭てんかん>	
		④ Lennox-Gastaut症候群	
		⑤ 欠神てんかん	
		⑥ 中心・側頭部に棘波をもつ良性小児てんかん	
D 脳・脊髄の奇形		① 小頭症	
E その他		① 脳性麻痺	
		② 亜急性硬化性全脳炎<SSPE>	
		③ 急性乳児片麻痺、急性小児片麻痺症候群	

X 内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患[約8%]

大項目	中項目	小項目	備考	
1 間脳・下垂体疾患	A 視床下部機能障害	① 中枢性性早熟症		
		② 低ゴナドトロピン性性腺機能低下症	Kallmann症候群、Prader-Willi症候群	
		③ 中枢性摂食異常症	神経性食思〈欲〉不振症〈拒食症〉	
		④ 視床下部腫瘍	頭蓋咽頭腫、胚{細胞}腫	
	B 下垂体機能障害	① 先端巨大症		
		② Cushing病	Nelson症候群	
		③ 高プロラクチン血症	プロラクチノーマ	
		④ 下垂体前葉機能低下症	Sheehan症候群	
		⑤ 視床下部下垂体炎	自己免疫性視床下部下垂体炎〈リンパ球性下垂体炎〉、IgG4関連疾患	
		⑥ 中枢性尿崩症		
		⑦ ADH不適合分泌症候群〈SIADH〉		
		⑧ 下垂体腫瘍	下垂体腺腫、ラトケ嚢胞	
2 甲状腺疾患	A 甲状腺機能障害	① 甲状腺機能亢進症	Basedow病〈Graves病〉、Plummer病	
		② 甲状腺機能低下症		
	B 甲状腺の炎症	① 慢性甲状腺炎〈橋本病〉		
		② 無痛性甲状腺炎		
		③ 亜急性甲状腺炎		
	C 甲状腺の腫瘍	① 単純性甲状腺腫		
		② 腺腫様甲状腺腫		
		③ 甲状腺良性腫瘍		
		④ 甲状腺悪性腫瘍		
	3 副甲状腺〈上皮小体〉疾患とカルシウム・リン代謝異常	A 副甲状腺〈上皮小体〉機能障害	① 副甲状腺〈上皮小体〉機能亢進症	
② 副甲状腺〈上皮小体〉機能低下症				
B カルシウム・リン代謝異常		① 骨粗鬆症	骨密度測定〈DXA〉	
		② くる病、骨軟化症		
		③ 悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症		
		④ 腫瘍性低リン血症性骨軟化症		
4 副腎皮質・髄質疾患	A 副腎皮質機能障害	① Cushing症候群	副腎腺腫、副腎過形成(ACTH非依存性大結節性副腎皮質過形成〈AIMAH〉)	
		② アルドステロン過剰症、原発性アルドステロン症		
		③ 慢性副腎不全〈Addison病〉	Schmidt症候群	
		④ 急性副腎不全		
		⑤ 副腎偶発腫		
		⑥ 副腎{皮質}癌		
	B 副腎髄質機能障害	① 褐色細胞腫		
		② 神経芽腫		
	5 その他の内分泌疾患	A 性腺機能障害	① 原発性性腺機能低下症	Klinefelter症候群、Turner症候群
			② 多嚢胞性卵巣症候群〈PCOS〉	

X 内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患[約8%]

大項目	中項目	小項目	備考	
	B 内分泌腫瘍	① 多発性内分泌腫瘍症	MEN I型・II型	
		② 消化管ホルモン産生腫瘍(消化管神経内分泌腫瘍)		
		③ 膵神経内分泌腫瘍		
		④ 異所性ホルモン産生腫瘍		
	C その他の機能障害	① ホルモン受容体異常症		
6 糖{質}代謝異常	A 糖尿病	① 1型糖尿病	自己免疫性、劇症1型	
		② 2型糖尿病		
		③ 二次性糖尿病、遺伝子異常による糖尿病		
		④ 妊娠糖尿病		
	B 糖尿病の高血糖緊急症(急性合併症)	① 糖尿病ケトアシドーシス<DKA>		
		② 高血糖高浸透圧症候群		
		③ 乳酸アシドーシス		
	C 糖尿病の慢性合併症	① 糖尿病網膜症		
		② 糖尿病腎症		
		③ 糖尿病神経障害		
		④ 糖尿病足病変		
		⑤ 大血管障害		
	D 低血糖症	① インスリノーマ		
		② インスリン自己免疫症候群		
		③ 薬剤による低血糖		
		④ 内分泌異常による低血糖		
		⑤ 膵外腫瘍		
		⑥ 反応性低血糖		
	E 糖代謝異常	① 乳糖分解酵素障害症<乳糖不耐症>		
	7 脂質代謝異常	A 脂質異常症	① 原発性高脂血症	家族性高コレステロール血症<FH>
			② 二次性高脂血症	
B 肥満症		① 単純性肥満		
		② 症候性肥満		
		③ メタボリックシンドローム		
8 タンパク・アミノ酸代謝異常	A 血清タンパクの異常	① 低タンパク血症		
	B アミロイドーシス	① 全身性アミロイドーシス	原発性、続発性	
9 その他の代謝異常	A ビタミン類の代謝異常	① ビタミン欠乏症	ビタミンB ₁ 欠乏症(Wernicke脳症)、ナイアシン<ニコチン酸>欠乏(ペラグラ)	
		② ビタミン過剰症		
	B プリン(尿酸)代謝の異常	① 痛風		
		② 高尿酸血症	Lesch-Nyhan症候群	
	C ポルフィリン代謝の異常	① ポルフィリン症		
	D ビリルビン代謝の異常	① 体質性黄疸		

X 内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患[約8%]

大項目	中項目	小項目	備考	
	E 金属代謝の異常	① ヘモクロマトーシス		
		② Wilson病	Kayser-Fleischer輪	
		③ Menkes病		
		④ 亜鉛欠乏症候群<腸性肢端皮膚炎>		
	F コラーゲン代謝の異常	① Marfan症候群		
		② Ehlers-Danlos症候群		
	G エラスチン代謝の異常	① 弾性線維性偽性黄色腫		
10 その他の重要な小児領域の疾患	A 間脳、下垂体、甲状腺、副腎その他の疾患	① 成長ホルモン分泌不全性低身長		
		② クレチン症		
		③ 先天性副腎皮質過形成		
		④ 性早熟症<思春期早発症>	McCune-Albright症候群	
	B 糖{質}代謝異常	① アセトン血性嘔吐症<周期性嘔吐症>		
		② 新生児低血糖症		
		③ ケトン性低血糖症		
	C 先天代謝異常	① 糖原病	von Gierke病、Pompe病	
		② ガラクトース血症		
		③ リピドーシス	Tay-Sachs病、Gaucher病、Niemann-Pick病、Fabry病	
		④ ムコ多糖症	Hurler症候群、Hunter症候群	
		⑤ 先天性アミノ酸代謝異常症	フェニルケトン尿症<高フェニルアラニン血症>、ホモシスチン尿症、メープルシロップ尿症	
		⑥ 尿素サイクル異常症	オルニチントランスカルバミラーゼ欠損症	
		⑦ 有機酸代謝異常症		
	11 乳腺・乳房疾患	A 炎症、感染症	① 乳腺炎	
		B 腫瘍	① 乳管内乳頭腫	
			② 乳腺線維腺腫	
			③ 乳腺葉状腫瘍	
			④ 乳癌	乳管癌、小葉癌、乳房Paget病
C その他の疾患		① 乳腺症		

XI アレルギー性疾患、膠原病、免疫病[約5%]

大項目	中項目	小項目	備考	
1 アレルギー性疾患	A 全身性	① アナフィラキシー		
		② 薬物アレルギー		
		③ 食物アレルギー	食物依存性運動誘発アナフィラキシー	
		④ 血清病		
		⑤ 昆虫アレルギー		
		⑥ 職業性アレルギー		
	B 皮膚、粘膜	① アレルギー性結膜炎		
		② 鼻アレルギー<アレルギー性鼻炎>		
		③ 花粉症	口腔アレルギー症候群	
		④ 蕁麻疹		
		⑤ アトピー性皮膚炎		
		⑥ アレルギー性接触皮膚炎		
		⑦ 血管性浮腫	C1インヒビター欠損症	
	C 呼吸器	① 気管支喘息	NSAIDs過敏喘息	
		② 好酸球性肺疾患		
		③ アレルギー性気管支肺アスペルギルス症		
		④ 過敏性肺炎		
	2 膠原病と類縁疾患	A 膠原病	① 全身性エリテマトーデス<SLE>	
			② 全身性強皮症	
③ 皮膚筋炎、多発性筋炎				
④ 結節性多発動脈炎				
⑤ 関節リウマチ				
B 血管炎を主とする類縁疾患		① 巨細胞性動脈炎<側頭動脈炎>		
		② 高安動脈炎<大動脈炎症候群>		
		③ 顕微鏡的多発血管炎	ANCA関連血管炎	
		④ 多発血管炎性肉芽腫症<Wegener肉芽腫症>		
		⑤ 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症<Churg-Strauss症候群>		
		⑥ 皮膚白血球破砕性血管炎		
		⑦ IgA血管炎<Schönlein-Henoch紫斑病>		
		⑧ クリオグロブリン血症性血管炎		
		⑨ 抗GBM病	Goodpasture症候群	
C 関節炎を主体とする類縁疾患		① 悪性関節リウマチ		
		② 成人Still病		
		③ 強直性脊椎炎		
		④ 反応性関節炎	Reiter症候群	
		⑤ Felty症候群		
		⑥ 乾癬性関節炎		
		⑦ 掌蹠膿疱症性関節炎		
		⑧ 結晶誘発性関節炎	痛風、偽痛風	

XI アレルギー性疾患、膠原病、免疫病[約5%]

大項目	中項目	小項目	備考
	D その他の類縁疾患	① 混合性結合組織病<MCTD> ② Sjögren症候群 ③ 抗リン脂質抗体症候群 ④ リウマチ性多発筋痛症 ⑤ サルコイドーシス ⑥ Behçet病 ⑦ 再発性多発軟骨炎 ⑧ アミロイドーシス ⑨ IgG4関連疾患 ⑩ 線維筋痛症 ⑪ 慢性疲労症候群	
3 原発性免疫不全症	A 複合型免疫不全症	① 重症複合免疫不全症	
	B 抗体産生不全を主とする免疫不全症	① 無ガンマグロブリン血症	
		② 分類不能型免疫不全症	
		③ 高IgM症候群	
	C 他のよく定義された免疫不全症	① Wiskott-Aldrich症候群	
		② 毛細血管拡張性失調症<ataxia telangiectasia>	
		③ 胸腺低形成<DiGeorge症候群>	
D 免疫調節不全症	① Chédiak-Higashi症候群		
E 食細胞機能不全症	① 慢性肉芽腫症、重症先天性好中球減少症		
F 補体欠損症		C1インヒビター欠損症	
G 自己炎症性疾患	① 家族性地中海熱		
4 続発性免疫不全症	A 感染による免疫不全症	① 後天性免疫不全症候群<AIDS>	
	B 悪性腫瘍による免疫不全症		
	C 自己免疫疾患による免疫不全症		
	D 医原性免疫不全症		
5 その他の重要な小児領域の疾患	A 膠原病と類縁疾患	① 若年性特発性関節炎<JIA>	
		② 川崎病	
		③ リウマチ熱	心弁膜症

XII 感染性疾患[約8%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 ウイルス	A ウイルスによる感染症	① インフルエンザ	
		② RSウイルス感染症	
		③ 流行性耳下腺炎<ムンプス>	
		④ 麻疹	
		⑤ 風疹	
		⑥ 突発性発疹	
		⑦ 急性灰白髄炎<ポリオ>	
		⑧ コクサッキーウイルス感染症、エコー<ECHO>ウイルス感染症	ヘルパンギーナ、手足口病、急性出血性結膜炎
		⑨ アデノウイルス感染症	咽頭結膜熱、流行性角結膜炎
		⑩ ウイルス性下痢症	
		⑪ 単純ヘルペスウイルス感染症	
		⑫ 水痘・帯状疱疹	
		⑬ Epstein-Barr<EB>ウイルス感染症	
		⑭ バルボウイルスB19感染症	伝染性紅斑
		⑮ サイトメガロウイルス感染症	
		⑯ デング熱	
		⑰ ジカウイルス感染症	
		⑱ エボラ出血熱	
		⑲ ヒトパピローマウイルス<HPV>感染症	尖圭コンジローマ、尋常性疣贅、結膜乳頭腫、子宮頸癌
		⑳ 伝染性軟属腫	
		㉑ ヒト免疫不全ウイルス<HIV>感染症、後天性免疫不全症候群<AIDS>	
		㉒ ヒトT細胞白血病ウイルス<HTLV-I>感染症	
		㉓ ウイルス性肝炎	
		㉔ ウイルス性髄膜炎	
		㉕ 日本脳炎	
		㉖ ノロウイルス感染症	
		㉗ ロタウイルス感染症	
2 クラミジア、マイコプラズマ、リケッチア	A クラミジア・マイコプラズマ・リケッチアによる感染症	① オウム病	
		② クラミジア肺炎	
		③ クラミジア結膜炎<トラコーマ>	
		④ 性器クラミジア感染症	
		⑤ マイコプラズマ肺炎	
		⑥ ツツガ虫病	
		⑦ Q熱	
3 細菌(抗酸菌<マイコバクテリア>を除く)	A 細菌(抗酸菌<マイコバクテリア>を除く)による感染症	① 連鎖球菌感染症	
		② 腸球菌感染症	
		③ 肺炎球菌感染症	

XII 感染性疾患[約8%]

大項目	中項目	小項目	備考
		④ 黄色ブドウ球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌<MRSA>感染症	トキシックショック症候群<TSS>
		⑤ 表皮ブドウ球菌感染症	
		⑥ 淋菌感染症	
		⑦ 髄膜炎菌感染症	Waterhouse-Friderichsen症候群
		⑧ ヘリコバクター・ピロリ感染症	
		⑨ リステリア感染症	
		⑩ ジフテリア	
		⑪ ヘモフィルス感染症	インフルエンザ{桿}菌感染症、軟性下疳
		⑫ モラクセラ・カタラリス感染症	
		⑬ 細菌性赤痢	
		⑭ サルモネラ感染症	腸チフス、パラチフス、非チフス性サルモネラ症
		⑮ 百日咳	
		⑯ 大腸菌感染症	腸管出血性大腸菌感染症
		⑰ クレブシエラ感染症	
		⑱ セラチア感染症	
		⑲ 腸炎ビブリオ感染症	
		⑳ コレラ	
		㉑ レジオネラ症	
		㉒ 緑膿菌感染症	
		㉓ アシネトバクター感染症	
		㉔ 破傷風	
		㉕ ガス壊疽	壊死性筋膜炎
		㉖ ボツリヌス症	バイオテロ
		㉗ クロストリジウム・ディフィシル腸炎	CDトキシン
		㉘ バクテロイデス感染症	
		㉙ 放線菌症	
		㉚ ノカルジア症	
		㉛ 梅毒	
4	抗酸菌<マイコバクテリア>	A 抗酸菌<マイコバクテリア>による感染症	① 結核 ② 非結核性<非定型>抗酸菌症 ③ Hansen病
5	真菌、寄生虫、その他の病原体	A 真菌、寄生虫、その他の病原体による感染症	① カンジダ症 ② クリプトコックス症 ③ アスペルギルス症 ④ 白癬 ⑤ 癩風 ⑥ スポロトリコーシス ⑦ ニューモシスチス肺炎 ⑧ アメーバ赤痢
			輸入感染症

XII 感染性疾患[約8%]

大項目	中項目	小項目	備考
		⑨ マラリア	輸入感染症
		⑩ 回虫症	
		⑪ アニサキス症	
		⑫ 吸虫症	
		⑬ トキソプラズマ症	
		⑭ クリプトスポリジウム症	人獣共通感染症
		⑮ トリコモナス症	
		⑯ ジアルジア症	ランブル鞭毛虫
		⑰ プリオン病	Creutzfeldt-Jakob病、ウシ海綿状脳症<BSE、狂牛病>

XIII 生活環境因子・職業性因子による疾患[約5%]

大項目	中項目	小項目	備考	
1 食中毒、病害動物による疾患	A 食中毒	① 細菌性食中毒		
		② ウイルス性食中毒		
		③ 化学性食中毒		
		④ 自然毒食中毒	フグ、キノコ	
	B 病害動物および鼠族・昆虫による疾患	① 毒蛇咬傷		
		② 節足動物による疾患	ダニ、クモ	
C 旅行者疾患	① 旅行者下痢症			
2 アルコールによる障害、薬物依存・中毒	A アルコールによる障害	① 急性アルコール中毒		
		② アルコール依存症		
		③ アルコール精神病	Korsakoff精神病、Wernicke脳症	
		④ 慢性アルコール性臓器障害		
		⑤ 妊婦・胎児への影響、胎児性アルコール症候群		
	B 薬物依存・中毒	① 睡眠薬依存・中毒		
		② 向精神薬依存・中毒		
		③ 解熱鎮痛薬依存・中毒		
		④ 麻薬依存・中毒		
		⑤ 覚醒剤依存・中毒		
		⑥ 有機溶剤依存・中毒		
	C 毒劇物中毒			
	3 喫煙による障害	A タバコ煙	① タバコ煙中の有害物質、未成年者の喫煙、受動喫煙	
		B 喫煙による健康障害	① タバコ依存	ニコチン代替療法
② 呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患<COPD>)、がん、循環器疾患			Brinkman指数	
③ 妊婦・胎児への影響				
4 産業中毒とその他の職業性疾患	A 産業中毒	① 金属中毒		
		② ガス中毒		
		③ 有機溶剤中毒		
		④ 化学物質中毒		
		⑤ 農薬中毒	有機リン剤、有機塩素剤	
	B 作業態様による障害	① 職業性腰痛		
		② 頸肩腕障害		
		③ VDT作業による障害		
	C 過重労働による障害	① 脳血管疾患		
		② 虚血性心疾患		
		③ 自殺		
	D 職業性ストレスによる障害	① 適応障害		
		② 心身症		
		③ うつ病		
	E 職業性アレルギー	① 職業性喘息		
		② 過敏性肺炎		
		③ 鼻アレルギー<アレルギー性鼻炎>		
④ アレルギー性接触皮膚炎				

XIII 生活環境因子・職業性因子による疾患[約5%]

大項目	中項目	小項目	備考
	F その他の職業性疾患	① 職業がん ② じん肺 ③ 酸素欠乏症	
5 物理的原因・生活環境因子による障害	A 低温・高温環境による疾患	① 熱中症	
		② 偶発性低体温{症}	
		③ 凍傷	
	B 騒音障害	① 騒音性難聴	
	C 振動による障害	① 動揺病	
		② 手腕振動障害	
	D 気圧による障害	① 減圧症	
		② 高山病	
	E 電離放射線障害	① 急性放射線障害	
		② 放射線による発がん	
	F 非電離放射線障害		レーザー、紫外線、赤外線
	G 家庭用品による障害	① 誤飲	
		② 誤嚥	
		③ 創傷	
④ 熱傷			
⑤ 急性中毒			
H 家庭におけるアレルギー・過敏症	① 化学物質過敏症		
	② シックハウス症候群<シックビル症候群>		
I 事故による障害	① 交通事故		
	② 家庭内事故		
	③ 自然災害		

索 引

索引

%
%VC..... 11

1
{12誘導}心電図検査..... 11
13番..... 86
17 α -ヒドロキシprogステ
ロン..... 9
18番..... 86
1型糖尿病..... 120
1歳6か月児健康診査... 36
1日の摂取許容量..... 37

2
2型糖尿病..... 120

3
3D-CT..... 12
3D-CTA..... 69
III音..... 55
3歳児健康診査..... 36

4
4R..... 76
IV音..... 55

5
5-HIAA..... 10
5p-症候群..... 86
5-ヒドロキシインドール酢酸
..... 10

7
75g OGTT試験..... 65

9
95%信頼区間..... 35

A
A-aDO₂..... 41
ABR..... 65, 66

AC..... 68
ACD..... 105
ACE..... 9
ACTH..... 9
ACTH試験..... 11
ACTH非依存性大結節性副腎皮
質過形成..... 119
activity limitations... 30
Adams-Stokes症候群..... 55
ADAMTS-13..... 106
Addison病..... 119
ADH..... 9
ADHD..... 88
ADH不適合分泌症候群... 119
ADI..... 37
ADL..... 36, 61
ADL訓練..... 77
AED..... 78
AFI..... 68, 84
AFP..... 10, 104
AIDS..... 123, 124
AIDS認知症..... 113
AIMAH..... 119
AKI..... 109
Alb..... 9
ALI..... 78
Alma Ata宣言..... 33
ALP..... 9
Alport症候群..... 108
ALS(筋萎縮性側索硬化症)
..... 114
ALS(二次救命処置)..... 21
ALT..... 9
Alzheimer型認知症.....
..... 87, 114
AMR..... 15, 50
AMS..... 15
ANCA関連血管炎.....
..... 95, 108, 122
angiodyplasia..... 101
antimicrobial resistance .
..... 15, 50
antimicrobial stewardship
..... 15
Apgarスコア..... 62, 85
APTT..... 8
ARDS..... 23, 74, 78, 96
ART..... 81, 111
asbestosis..... 96
Asherman症候群..... 112
ASO..... 10

Asperger症候群..... 88
AST..... 9
asterixis..... 59
ataxia telangiectasia...
..... 123
attributable risk.. 21, 35
Auspitz現象..... 90
A型胃炎..... 101
A型肝炎..... 102

B

Babinski徴候..... 59
Babinski反射..... 47, 59
BAL..... 70
Barrett上皮..... 101
Barrett食道..... 101
Bartholin腺..... 43
Bartholin腺炎..... 109
Bartholin腺嚢腫..... 109
Bartholin腺膿瘍..... 109
Bartter症候群..... 108
Basedow病..... 119
BCR-ABL融合遺伝子..... 105
Becker型..... 115
Beckのうつ病自己評価尺度.
..... 67
Behçet病..... 91, 123
Bell麻痺..... 59, 93, 114
Bence Jonesタンパク.....
..... 10, 105
Bentall手術..... 99
Bernard-Soulier症候群....
..... 107
biophysical profile score
..... 68, 85
Biot呼吸..... 55
Bishopスコア..... 62
Blalock-Taussig短絡手術..
..... 98
BLS..... 21
Blumberg徴候..... 56
BNP..... 10
Bochdalekヘルニア..... 104
Boerhaave症候群..... 101
Bowen病..... 90, 110
BPD..... 68
BPRS..... 67
BPS..... 68, 85
BPSD・機能訓練・医療関連行為
..... 31

Bq..... 68
 Brief Psychiatric Rating
 Scale..... 67
 Brinkman指数..... 127
 Broca失語..... 58
 Brodie骨膿瘍..... 114
 Brown-Séquard症候群.... 59
 BRT0..... 76
 Brugada症候群..... 98
 BSE..... 126
 BT-PABA試験..... 11, 65
 Budd-Chiari症候群.....
 100, 102
 Buerger病..... 99
 BUN..... 9
 Burkittリンパ腫..... 105
 B型肝炎..... 102
 B型肝炎ウイルスの再活性化
 102
 B群連鎖球菌.... 67, 84, 85
 Bリンパ球..... 45
 B細胞..... 45

C

C1インヒビター欠損症....
 122, 123
 C3..... 10
 C4..... 10
 Ca..... 9
 CA125..... 10
 CA19-9..... 10
 CAD..... 69
 café au lait斑..... 89
 CD4/8比..... 10
 CDトキシシン..... 125
 CEA..... 10
 Celsus禿瘡..... 90
 CF..... 64
 CGA..... 16, 61
 CH₅₀..... 10
 Chaddock反射..... 59
 Charcot 3徴..... 103
 Charcot-Marie-Tooth病....
 114
 Charcot関節..... 116
 ChE..... 9
 Chédiak-Higashi症候群....
 105, 123
 Cheyne-Stokes呼吸..... 55
 Chiari奇形..... 118
 Churg-Strauss症候群.....
 95, 122
 CK..... 9
 CKD..... 109
 CKD-MBD..... 109

CK-MB..... 9
 Cl..... 9
 closing volume..... 41
 CO₂ナルコーシス..... 81
 coarse crackles..... 55
 comprehensive geriatric
 assessment..... 16, 61
 compromised host..... 50
 Congo-Red染色..... 11, 64
 Coombs分類..... 50
 COP..... 96
 COPD..... 23, 95, 127
 CO中毒..... 114
 CPAP..... 81
 CPC..... 52
 CPD..... 84
 CPPV..... 81
 CPR..... 9, 78
 Cr..... 9
 CR..... 69
 Creutzfeldt-Jakob病.....
 113, 126
 CRH負荷試験..... 11
 Crigler-Najjar症候群.. 104
 CRL..... 68
 Crohn病..... 23, 101
 Crouzon病..... 118
 CRP..... 10, 63
 CRPS..... 118
 crush syndrome.....
 79, 100, 117
 CST..... 68
 CT..... 12, 21, 65, 68, 69
 CT{ガイド}下治療..... 76
 CTG..... 62, 67, 68, 85
 CTL..... 45
 CTガイド下生検..... 77
 CT装置..... 68
 CT値..... 69
 Cu..... 9
 Curling潰瘍..... 79
 Cushing症候群.... 99, 119
 Cushing病..... 119
 CVポート留置術..... 76
 Cペプチド..... 9
 C型肝炎..... 102
 C反応性タンパク..... 10

D

Darier徴候..... 66
 Darier病..... 90
 DeBakey分類..... 99
 deep vein thrombosis.. 100
 Dent病..... 109
 de Quervain病..... 116

Diamond-Blackfan症候群...
 105
 DIC..... 24, 79, 84, 106
 DiGeorge症候群..... 123
 digital subtraction
 angiography..... 12
 digital subtraction
 angiography装置..... 68
 disaster medical assistance
 team..... 33
 DKA..... 120
 DLST..... 66
 DMAT..... 33
 DNAR..... 26
 do not attempt resuscitation
 26
 Douglas窩..... 43, 63
 Douglas窩膿瘍..... 103
 Down症候群..... 86
 DR..... 69
 Dressler症候群..... 99
 drug-induced
 hypersensitivity syndrome
 89
 DSA..... 12
 DSA装置..... 68
 Dubin-Johnson症候群... 102
 Duchenne型..... 115
 Dupuytren拘縮..... 116
 DVT..... 100
 DV法..... 32
 DXA..... 119
 Dダイマー..... 8
 D型肝炎..... 102

E

E₂..... 9
 E₃..... 9
 EBM..... 21
 Ebstein奇形..... 98
 EBウイルス感染症.....
 106, 124
 ECHOウイルス感染症.... 124
 ECMO..... 75, 78
 EFBW..... 68
 eGFR..... 65
 Ehlers-Danlos症候群... 121
 EOG..... 66
 EPS..... 65
 Epstein-Barrウイルス感染症
 106, 124
 ERCP..... 12, 69
 ERG..... 66
 ESWL..... 81
 ETCO₂..... 74

Ewing肉腫..... 116
E型肝炎..... 102

F

FAB..... 67
Fabry病..... 108, 121
Fallot四徴症..... 98
Fanconi症候群..... 108
Fanconi貧血..... 105
FAP..... 102
FAST..... 12
FBS..... 9
FD..... 23, 101
FDG..... 70
FDP..... 8
Fe..... 9
Felty症候群..... 122
fetal growth restriction.
..... 85
FEV₁%..... 11
FGR..... 85
FH..... 120
fine crackles..... 55
FISH法..... 64
FL..... 68
flail chest..... 97
FLAIR像..... 70
flow-volume曲線..... 65
Fontan手術..... 98
FSH..... 9
FT₃..... 9
FT₄..... 9

G

Gaffky号数..... 11
Gardner症候群..... 102
gastrointestinal stromal
tumor..... 102
Gaucher病..... 121
GAVE..... 102
GCP..... 14
GCS..... 61
G-CSF..... 42
GERD..... 23, 101
Gerstmann症候群..... 58
GH..... 9
GHRH負荷試験..... 11
Gibertばら色糞糠疹..... 90
Giemsa染色..... 64
Gilbert症候群..... 102
Gimenez染色..... 64
GIST..... 102
Gitelman症候群..... 108
Glasgow coma scale..... 61

golden period..... 117
Gomori-Trichrome染色... 11
Goodpasture症候群.....
..... 108, 122
GPIアンカータンパク... 105
Gram染色..... 11, 64
Graves病..... 119
Grocott染色..... 11, 64
Gross分類..... 104
growth spurt..... 48
Guillain-Barré症候群... 114
GVHD..... 73, 89
Gy..... 68

H

HACCP..... 37
hairy cell leukemia... 105
HAM..... 113
Hamilton Rating Scale for
Depression..... 67
Hamiltonうつ病評価尺度...
..... 67
Ham試験..... 9
hANP..... 10
Hansen病..... 125
Hb..... 8
HbA1c..... 9
HBc抗体..... 10
HBs抗原..... 10
HBs抗体..... 10
HBV..... 84
hCG..... 9
HCO₃⁻..... 11
HCV..... 84
HCV抗体..... 10
HDLコレステロール..... 9
Heberden結節..... 116
Helicobacter pylori... 64
HELLP症候群..... 84
Hematoxylin-eosin染色.. 11
Hemophagocytic
lymphohistiocytosis...
..... 106
hemophagocytic syndrome..
..... 106
HES..... 105
H-E染色..... 11, 64
HI..... 64
Hirschsprung病..... 104
HIV..... 84
HIV感染症..... 124
HIV抗体..... 10
HIV脳症..... 113
HLA..... 45, 64
HLH..... 106

Hodgkinリンパ腫..... 105
Hodgkin細胞..... 105
Holter心電図検査... 11, 65
Horner症候群..... 93, 115
HPV感染症..... 124
HSG..... 12, 69
Ht..... 8
HTLV-1抗体..... 10
HTLV-I..... 84
HTLV-I感染症..... 124
HTLV-I関連脊髄症..... 113
Hunter症候群..... 121
Huntington病..... 114
Huntington病と類縁疾患...
..... 114
Hurler症候群..... 121
HUS..... 106, 109
hyperviscosity症候群.. 106

I

IABP..... 75
IADL..... 61
ICD..... 35
ICF..... 35
ICG試験..... 65
ICSI..... 81
ICT..... 15
IgA..... 9, 47
IgA血管炎..... 106, 122
IgA腎症..... 108
IgE..... 9, 10, 64
IgG..... 9, 47
IgG%..... 8
IgG4関連疾患..... 119, 123
IgM..... 9, 47
IGRA..... 64
IGRT..... 76
IIPs..... 96
IIPs以外の原因不明疾患...
..... 96
ILO..... 33
impairment..... 30
IMRT..... 76
indocyanine green試験.. 65
intention to treat..... 35
interprofessional
education..... 31
IPE..... 31
IPF..... 96
IPMN..... 103
IRB..... 14
ISO..... 15
iso染色体..... 49
ITP..... 84, 106
ITT..... 35

IVF-ET..... 81
IVR..... 76, 80

J

JAK2遺伝子変異..... 105
Japan coma scale..... 61
Jatene手術..... 98
JCS..... 61
JIA..... 123
JICA..... 33

K

K..... 9
Kallmann症候群..... 119
Kaposi水痘様発疹症..... 89
Kaposi肉腫..... 90
Kartagener症候群..... 95
Kasabach-Merritt症候群...
..... 89
Kaup指数..... 47
Kayser-Fleischer輪.....
..... 91, 121
KB染色..... 64
Kearns-Sayre症候群..... 114
Kernig徴候..... 19, 59
Kienböck病..... 116
Kiesselbach部位..... 54
KL-6..... 10
Klinefelter症候群.....
..... 86, 119
Klippel-Feil症候群..... 115
Klüver-Barrera染色..... 64
Köbner現象..... 90
KOH直接鏡検法..... 66
Korsakoff症候群..... 58
Korsakoff精神病..... 127
Kussmaul呼吸..... 55

L

LAM..... 96
Lambert-Eaton症候群... 115
Landau反射..... 47
Landolt環..... 66
Langerhans細胞..... 40
Langerhans細胞組織球症...
..... 95
Langerhans細胞由来腫瘍...
..... 106
Lanz圧痛点..... 101
LD..... 9
LD₅₀..... 51
LDH..... 9
LDLコレステロール..... 9

Le Fort型骨折..... 94
Leigh脳症..... 114
Lennox-Gastaut症候群.. 118
Leopold診察法..... 62
Leriche症候群..... 99
Lesch-Nyhan症候群..... 120
Leser-Trélat徴候..... 89
LET..... 75
Lewy小体型認知症.. 87, 114
LH..... 9
LHRH負荷試験..... 11
Liddle症候群..... 109
LNT仮説..... 52
locked-in syndrome..... 58

M

M. avium..... 95
M. intracellulare..... 95
M. kansasii..... 95
Machado-Joseph病..... 114
mallet finger..... 117
Mallory-Weiss症候群... 101
MALT..... 45
MALTリンパ腫..... 102, 105
Marfan症候群..... 99, 121
MAS..... 85
Mayer-Rokitansky-Küster-Ha
user症候群..... 86
May-Giemsa染色.....
..... 11, 63, 64
Maze手術..... 98
McBurney圧痛点..... 101
McCune-Albright症候群...
..... 121
MCH..... 8
MCHC..... 8
MCN..... 103
MCTD..... 123
MCV..... 8
MDCT..... 69
MDS..... 105
Meckel憩室..... 102
MELAS..... 114
MEN I型・II型..... 120
Mendel遺伝様式..... 49
Ménière病..... 92
Menkes病..... 121
MERRF..... 114
Mg..... 9
MGUS..... 106
microscopic polyangitis..
..... 95
Mini-Mental State
Examination..... 67
MMSE..... 67

MODS..... 51, 74
MOF..... 51, 74, 79
monoclonal gammopathy of
undetermined significance
..... 106
monosomy..... 49
Montgomery腺..... 41
Moro反射..... 47
MPA..... 95
MPO-ANCA..... 10
MR..... 12
MRA..... 12, 70
MRCP..... 12, 70
MRI..... 12, 21, 65, 70
MRIの原理と技術..... 70
MRI装置..... 69
MRKH症候群..... 86
MRS..... 70
MRSA感染症..... 125
MRスペクトロスコーピー... 70
MR信号..... 70
Müller管..... 47
multidetector-row CT... 69
Mタンパク..... 105

N

Na..... 9
NAFLD..... 102
NASH..... 102
NCD..... 33
Nelson症候群..... 119
Nephrogenic systemic
fibrosis..... 70
NERD..... 101
NET..... 102
Neuroendocrine tumor.. 102
NGO..... 34
Niemann-Pick病..... 121
Nikolsky現象..... 66, 90
NK細胞..... 45
NK細胞腫瘍..... 106
NOMI..... 103
non-reassuring fetal status
..... 80, 85
NPPV..... 81
NRFS..... 80, 85
NSAIDs..... 73
NSAIDs過敏喘息..... 122
NSF..... 70
NSIP..... 96
NST(栄養サポートチーム)..
..... 72
NST(ノンストレステスト)..
..... 68, 85
NT..... 64

O

OAE 66
 OCT 66
 ODA 34
 odds ratio 21, 35
 OGTT 9
 OHCA 21, 61
 opening snap 55
 opportunistic infection ..
 50, 95
 Osgood-Schlatter病 116
 Osler病 106

P

P 9
 PaCO₂ 11
 PAM染色 11, 64
 PaO₂ 11
 PaO₂/FIO₂比 74
 Papanicolaou染色 ... 11, 64
 Parkinson症候群 114
 Parkinson病 24, 114
 Parkinson病と類縁疾患
 114
 participation restrictions
 30
 PAS染色 11, 63, 64
 PCOS 111, 119
 PCPS 75, 78
 PCR法 64
 PCU 25, 80
 PEEP 81
 Perthes病 116
 PET 12, 21, 70
 PET/CT 70
 Peters異常 94
 PETカメラ 68
 Peutz-Jeghers症候群 ... 102
 PFD試験 65
 P/F比 74
 pH 8, 11
 Philadelphia染色体 105
 pHモニタリング 65
 PIC 8
 Pick病 87, 114
 PID 109
 Plummer病 119
 Pompe病 121
 POMR 14
 Potter症候群 84
 PR3-ANCA 10
 PRA 9
 Prader-Willi症候群 119
 PRL 9

PSA 10
 PSV 81
 psychoeducation 81
 PT 8
 PTA 76
 PTC 69
 PTH 9
 PTSD 22, 87
 pulsed field gel
 electrophoresis 64
 PUVA療法 81

Q

QOD 80
 QOL 14, 30, 36
 QOLの改善・維持 80
 QOLの向上 26
 QT延長症候群 98
 quality of death 80
 quality of life
 14, 30, 36
 quality of lifeの改善・維持
 80
 quality of lifeの向上 .. 26
 Queckenstedt現象 8
 Quinke浮腫 89
 Q熱 124

R

Ramsay Hunt症候群 92
 Ramstedt手術 104
 Rastelli手術 98
 Raynaud現象 53
 Raynaud症候群 99
 RBMT 67
 RCT 35
 RDS 85
 receiver operating
 characteristics曲線 .. 21
 Reed-Sternberg細胞 105
 Reiter症候群 122
 relative risk 21, 35
 REM睡眠 43
 REM睡眠行動障害 87
 review of systems 16
 Reye脳症 113
 Reynolds 5徴 103
 RF 10
 rhonchi 55
 RI内用療法 76
 ROC曲線 21
 ROD 109
 Rohrer指数 47
 Rorschachテスト 67

Rotor症候群 102
 RSウイルス感染症 124
 RT-PCR法 64

S

Schmidt症候群 119
 Schönlein-Henoch紫斑病...
 106, 122
 Scimitar症候群 98
 SCU 33
 SDGs 33
 Sézary症候群 90, 106
 Sheehan症候群 119
 shock index 61, 84
 Shy-Drager症候群 .. 99, 114
 SIADH 119
 SIDS 52
 silicosis 96
 SIMV 81
 Sjögren症候群 ... 108, 123
 Skene腺 43
 SLE 24, 108, 122
 SLTA 67
 SMR 35
 SMT 102
 SOAP 14
 social skills training...
 78
 SPECT 12, 70
 SPIKESモデル 17
 SpO₂ 61
 SSPE 113, 118
 SST 78
 staging care unit 33
 STAI 67
 standard precautions....
 15, 19
 Stanford分類 99
 STD 50, 110
 Stevens-Johnson症候群 .. 89
 STI 50, 110
 stridor 55
 Sturge-Weber症候群 118
 ST上昇型・非ST上昇型心筋梗
 塞 99
 SudanIII染色 11, 64
 Sv 68
 Sweet病 89

T

T1強調像 70
 T2強調像 70
 T2*強調像 70
 TACE 76

TAE..... 76
target sign..... 104
TAT..... 8
Tay-Sachs病..... 121
TC..... 9
TDM..... 72
telangiectasia..... 53
Tenon囊..... 40
TG..... 9
Th1..... 45
Th17..... 45
Th2..... 45
THP..... 37
TIBC..... 9
Tinel徴候..... 114
tissue plasminogen
 activator..... 113
TLR..... 45
TNM分類..... 51
toll-like receptor..... 45
Tolosa-Hunt症候群..... 115
TORCH症候群..... 84
torsades de pointes..... 98
Tourette症候群..... 88
toxic epidermal necrolysis
 89
TP..... 9
t-PA..... 113
TPO抗体..... 10
TRAb..... 10
Treacher Collins症候群...
 94
T reg..... 45
Trendelenburg徴候..... 116
TRH負荷試験..... 11
trisomy..... 49, 86
TSH..... 9
TSS..... 125
TTP..... 106
Turcot症候群..... 102
Turner症候群..... 86, 119
Tzanck試験..... 66
Tリンパ球..... 45
T細胞..... 45

U

UA..... 9
UHC..... 33
UIBC..... 9
UN..... 33
UNAIDS..... 33

V

VAD..... 75

VDT作業による障害..... 127
VEP..... 66
Vero毒素..... 106
Vibrio vulnificus..... 90
Virchow結節..... 53
VMA..... 10
Vogt-小柳-原田病..... 91
Volkmann拘縮..... 117
von Gierke病..... 121
von Hippel-Lindau病... 118
von Recklinghausen病....
 89, 118
von Willebrand病..... 106

W

WAIS-III..... 67
Waldenstrom..... 106
Wallenberg症候群..... 113
Walthin腫瘍..... 94
Waterhouse-Friderichsen症
 候群..... 125
WDHA症候群..... 103
Weber症候群..... 113
Wechsler記憶スケール... 67
Wechsler記憶検査..... 67
Wechsler児童用知能検査...
 67
Wechsler成人知能検査... 67
Wegener肉芽腫症.....
 95, 108, 122
Weil-Felix反応..... 10
Werdnig-Hoffmann病.....
 114, 118
Werner症候群..... 90
Wernicke失語..... 58
Wernicke脳症.....
 114, 120, 127
West症候群..... 118
wheezes..... 55
WHO..... 33
WHO方式がん疼痛治療法.. 80
Willis動脈輪..... 44
Wilms腫瘍..... 110
Wilson-Mikity症候群... 85
Wilson病..... 102, 121
windowレベル..... 69
window幅..... 69
WISC-IV..... 67
Wiskott-Aldrich症候群...
 123
WMS..... 67
WMS-R..... 67
Wolff管..... 47
WON..... 103
WPW症候群..... 98

Wright染色..... 63

Z

Ziehl-Neelsen染色.. 11, 64
Zollinger-Ellison症候群..
 103

α

α₁・β₂-マイクログロブリン
 9
α₁-アンチトリプシン法.. 65
α-フェトプロテイン.....
 10, 104

β

β₂-マイクログロブリン...
 9, 65
β-D-グルカン..... 10

γ

γ-GT..... 9
γ-GTP..... 9

あ

挨拶..... 16
アイソザイム..... 9, 63
アイバンク..... 75
アウトカム..... 21
亜鉛欠乏症候群..... 121
亜急性硬化性全脳炎.....
 113, 118
亜急性甲状腺炎..... 119
亜急性連合性脊髄変性症...
 114
アキレス腱断裂..... 117
悪液質..... 51
アクシデント..... 15
悪性関節リウマチ..... 122
悪性外耳道炎..... 92
悪性高血圧症..... 108
悪性高熱症..... 74
悪性黒色腫..... 90
悪性腫瘍細胞の遺伝子検査..
 65
悪性腫瘍に伴う高カルシウム
 血症..... 119
悪性腫瘍による免疫不全症
 123
悪性症候群..... 114
悪性腎硬化症..... 108
悪性線維性組織球腫.... 117

悪性軟部腫瘍..... 117
 悪性貧血..... 105
 悪性末梢神経鞘腫..... 117
 悪性リンパ腫.....
 24, 93, 96, 102, 107, 113
 アシドーシス..... 109
 アシネトバクテラ感染症...
 125
 足の疾患..... 116
 アスペルギルス症.. 95, 125
 アセトン血性嘔吐症.... 121
 亜脱臼..... 117
 圧..... 8
 圧覚..... 41
 圧挫症候群... 79, 100, 117
 圧支持換気..... 81
 圧痛..... 19
 アテトーシス..... 59
 アテローム血栓性脳梗塞...
 113
 アデノイド増殖症..... 93
 アデノウイルス感染症.. 124
 アトピー性皮膚炎.....
 22, 89, 122
 アドヒアランス..... 17, 72
 アドレナリン..... 9
 アナフィラキシー.....
 24, 50, 51, 73, 122
 アナフィラキシーショック...
 69
 アニサキス症..... 126
 アフタ..... 53, 56
 アフタ性口内炎..... 93
 あぶみ骨筋反射..... 67
 アミノ酸代謝異常..... 120
 アミラーゼ..... 8, 9
 アミロイドアンギオパチー...
 113
 アミロイドーシス.....
 96, 120, 123
 アミロイド腎症..... 108
 アミロイドニューロパチー...
 114
 アメーバ性肝膿瘍..... 102
 アメーバ赤痢..... 125
 アルカリ化..... 79
 アルカリによる損傷.... 49
 アルカローシス..... 109
 アルコール依存症.....
 25, 87, 127
 アルコール依存への支援...
 27
 アルコール性肝炎..... 102
 アルコール性肝障害.... 102
 アルコール性心筋症.... 99
 アルコール精神病.. 87, 127

アルコールによる障害.. 127
 アルドステロン..... 9
 アルドステロン過剰症.....
 99, 119
 アルブミン..... 9
 アルブミン製剤..... 73
 アルマ・アタ宣言..... 33
 アレルギー..... 50
 アレルギー性気管支肺アスペ
 ルギルス症..... 95, 122
 アレルギー性結膜炎.... 122
 アレルギー性疾患.....
 24, 95, 122
 アレルギー性接触皮膚炎...
 122, 127
 アレルギー性鼻炎.....
 23, 122, 127
 アレルギーに関する検査...
 10
 アレルギー歴..... 16
 アレルゲン検査..... 10
 アロディニア..... 75
 アンジオテンシン..... 9
 アンジオテンシン変換酵素...
 9
 暗順応..... 40
 暗順応検査..... 66
 安全..... 22
 安全管理..... 70
 安全への配慮..... 19
 アンチトロンビン欠乏症...
 106
 暗点..... 54
 暗点検査..... 66
 アンδροゲン不応症.... 86
 アンモニア..... 9
 安楽死..... 26

い

胃..... 70
 胃アニサキス症..... 101
 胃液検査..... 11
 胃液の分泌..... 42
 胃潰瘍..... 23, 101
 胃管..... 78
 易感染性宿主..... 50
 胃管の挿入..... 25
 医学・医療に関する人文・社
 会科学・自然科学・芸術な
 どに関連する一般教養的知
 識や考え方..... 27
 医学及び歯学の教育のための
 献体に関する法律..... 31
 医学研究と倫理..... 14
 医学史..... 27

胃癌..... 23, 101
 息切れ..... 17, 55
 意義と目標..... 20
 意義不明の単クローン性免疫
 グロブリン血症..... 106
 育児..... 16
 育児環境の評価..... 61
 育児休業制度..... 36
 育児指導..... 36
 育児と労働..... 49
 胃憩室..... 102
 異形成..... 50, 110
 医原性肺疾患及び化学物質に
 よる肺障害..... 96
 医原性免疫不全症..... 123
 医原病..... 52
 医行為と診療補助行為... 31
 移行便..... 47
 医師以外の医療専門職の役割
 26
 医師会..... 32
 医師間の連携..... 26
 意識..... 43
 意識啓発とその継続.... 17
 意識混濁..... 58
 意識障害.....
 17, 22, 53, 58, 61
 意識レベル..... 19, 61
 医師と自治体の対応.... 37
 医師の職業倫理指針.... 14
 医師の対応による医原病...
 52
 医師のプロフェッショナル
 ズム..... 14
 意思表示..... 75
 意思表示カード..... 75
 医師法..... 14, 31
 異種移植..... 75
 萎縮..... 53
 萎縮性胃炎..... 101
 萎縮性膣炎..... 111
 移植と免疫..... 75
 胃食道逆流症..... 23, 101
 移植の種類と適応..... 75
 移植片対宿主病..... 89
 移植免疫..... 10, 64
 異所性骨化..... 116
 異所性尿管開口..... 111
 異所性妊娠..... 84
 異所性ホルモン産生腫瘍...
 120
 石綿..... 38
 石綿肺..... 96
 医師を含む医療専門職の連携
 26
 医事..... 31

維持期リハビリテーション	77	遺伝子治療等臨床研究に関する指針	14	医療機関でのチームワーク	26
医事紛争	15	遺伝性	96	医療機器管理	15
胃・十二指腸疾患	101	遺伝性運動感覚性ニューロパチー	114	医療機器の副作用・不具合	15
胃・十二指腸の異常	104	遺伝性角化症	90	医療救護班	33
異常感覚	59	遺伝性球状赤血球症	105, 106	医療記録	14
異常眼球運動	54	遺伝性出血性末梢血管拡張症	106	医療計画	33
異常呼吸	97	遺伝性腎炎	108	医療経済	14, 30
異状死	25	遺伝性水疱症	90	医療圏	33
異常心音	55	遺伝性難聴	92	医療裁判	15
異常値と原因	21	遺伝性皮膚疾患	90	医療事故調査制度	15
異常脳波賦活法	65	遺伝相談	49	医療事故の内容	15
異常ヘモグロビン症	106	遺伝的影響	52	医療事故の発生と再発の防止	15
胃静脈瘤	23, 76, 101	遺伝的有意線量	52	医療事故の発生要因	15
椅子の配置	16	遺伝的要因	50	医療事故報告書	15
胃切除後症候群	101	移動機器	77	医療事故防止マニュアル	15
胃腺腫	101	遺尿	57	医療従事者の確保	33
胃洗浄	79	医の倫理	14	医療情報	21
異染性白質ジストロフィー	114	いびき	54	医療情報の収集	16
胃前庭部毛細血管拡張症	102	いびき音	55	医療制度	14
遺族ケア	81	衣服環境と健康	39	医療訴訟	15
依存	51, 87	衣服の機能と健康	39	医療の質と安全の確保	15
依存症対策	36	異物	79, 94, 103, 104	医療の質に関する評価指標	15
イチゴ状血管腫	89	異物除去術	76, 77	医療の質の確保	15
一次救命処置	21	異物・溺水・刺咬症の治療・処置	79	医療廃棄物	38
一次情報	21	胃ポリープ	101	医療廃棄物処理	15
一児胎児死亡	85	移民	49	医療費負担と給付	30
一次治療	49	イムノアッセイ	64	医療・福祉と介護の連携	25
一次・二次・三次予防	35	イメージングプレート	68	医療法	14, 31
胃腸反射	42	医薬品医療機器総合機構	31	医療放射線被曝の軽減	69
一回投与	72	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律	31	医療保険	30, 32
一過性多呼吸	85	医薬品医療機器等法	31	医療保険制度	14
一過性脳虚血発作	24, 113	医薬品・医療機器の副作用・不具合	15	医療保険の種類と対象	30
一酸化炭素中毒	114	医薬品管理	15	医療面接	16
一般教養の事項	27	医薬品の臨床試験実施の基準	14	医療面接の意義	16
一般の手技	25	癒し環境	80	医療用麻薬	80
一般的診察	61, 62	意欲	61	医療連携	32
一般的な生化学検査	20	意欲と行動	43	イレウス管	78
一般的な身体診察	19	意欲と行動の障害	58	院外心停止	21, 61
一般的な治療の基本	25	意欲の変化	48	陰茎	43
一般廃棄物	38	医療安全管理部門	15	陰茎癌	110
一般臨床検査	20, 63	医療安全支援センター	15, 30	陰茎折症	112
胃底腺ポリープ	101	医療・介護関連肺炎	95	咽喉頭異常感	55
遺伝カウンセリング	49	医療過誤と医療事故	15	咽後間隙	40
遺伝学的検査	20	医療観察法	32	咽後膿瘍	93
遺伝形式	49			インシデント	15
遺伝子	15			インシデントレポート	15
遺伝子異常	86			飲酒	26, 36
遺伝子異常と環境因子	49			飲酒状況	26
遺伝子異常による糖尿病	120			飲酒の有害性	26
遺伝子関連検査	20			インスリンノーマ	103, 120
遺伝子組換え食品	37				

インスリン..... 9
 インスリン自己免疫症候群..... 120
 インスリン負荷試験..... 11
 インターベンショナルラジオロジー..... 76, 80
 咽頭..... 19, 54, 70
 咽頭炎..... 93
 咽頭結膜熱..... 124
 咽頭・口腔・唾液腺疾患..... 93
 咽頭・口腔の異常..... 54
 咽頭造影検査..... 69
 咽頭痛..... 17, 54
 咽頭の異常..... 93
 咽頭の構造・機能..... 42
 咽頭扁桃増殖症..... 93
 咽頭麻酔..... 71
 院内感染..... 37
 院内感染サーベイランス..... 15
 院内感染症..... 50
 院内感染対策..... 15
 院内感染対策委員会..... 15
 院内感染対策チーム..... 15
 院内肺炎..... 95
 インピーダンスオージオメトリ..... 67
 インフォームド・コンセントとセカンドオピニオン..... 14
 インフルエンザ..... 95, 124
 インフルエンザ{桿}菌感染症..... 125
 インフルエンザ脳症..... 113

う

ウイルス.. 11, 64, 95, 124
 ウイルス感染症..... 113
 ウイルス血清反応..... 10
 ウイルス性肝炎..... 124
 ウイルス性下痢症..... 124
 ウイルス性食中毒..... 127
 ウイルス性心筋炎..... 99
 ウイルス性髄膜炎..... 124
 ウイルス性難聴..... 92
 ウイルス性発疹症..... 22
 ウイルスによる感染症.. 124
 植込み型除細動器... 75, 98
 う歯..... 56
 ウシ海綿状脳症..... 126
 右心不全..... 98
 うっ血..... 51
 うっ血乳頭..... 91
 うつ状態..... 58

うつ滞性皮膚炎..... 89
 うつ病..... 22, 87, 127
 ウレアーゼ試験..... 64
 ウロビリノゲン..... 8
 運動..... 26, 47
 運動器..... 18, 43, 47, 48, 58
 運動器疾患..... 24
 運動器症候群..... 48
 運動機能..... 61
 運動機能障害の判定..... 61
 運動器の構造・機能..... 44
 運動器不安定症..... 48
 運動系..... 19
 運動系伝導路..... 44
 運動系の異常..... 59
 運動失調..... 18, 59
 運動生理..... 44
 運動ニューロン疾患..... 114
 運動の効用..... 26
 運動負荷心電図検査..... 11
 運動麻痺..... 18, 22, 59

え

鋭的外傷..... 49
 鋭的眼外傷..... 94
 栄養..... 15, 18, 19, 26, 44, 60
 栄養アセスメント..... 72
 栄養管理..... 26, 72, 74
 栄養教育・指導..... 37
 栄養サポートチーム..... 72
 栄養疾患..... 24
 栄養障害..... 79
 栄養所要量..... 47
 栄養状態の評価..... 48
 栄養摂取の方法..... 72
 栄養素の役割とバランス..... 45
 栄養の異常..... 51
 栄養不良..... 72
 栄養マネジメント..... 26
 栄養療法..... 25, 72
 栄養療法の基本..... 72
 会陰..... 43
 会陰裂傷..... 84
 疫学指標..... 35
 疫学的因果関係..... 35
 疫学とその応用..... 35
 疫学の概念..... 35
 エコーウイルス感染症.. 124
 エコー下穿刺生検..... 68
 壊死性筋膜炎..... 90, 125
 壊死性腸炎..... 85
 エステラーゼ染色..... 63

エストラジオール..... 9
 エストリオール..... 9
 壊疽..... 53
 壊疽性膿皮症..... 89
 エックス線陰性結石.... 109
 エックス線撮影..... 12
 エックス線撮影(胸部、腹部、骨)..... 21
 エックス線撮影・透視装置..... 68
 エックス線造影撮影..... 12
 エックス線単純撮影..... 69
 エックス線透視下・超音波下・CT{ガイド}下治療..... 76
 エネルギー及び栄養素の欠乏と過剰..... 51
 エビデンスレベル..... 21
 エピデミック..... 33
 エボラ出血熱..... 124
 エラスチン代謝の異常.. 121
 エリスロポエチン..... 9, 42, 43
 エリスロポエチン産生過剰..... 105
 遠隔医療..... 33
 円形脱毛症..... 53, 90
 嚥下..... 42
 嚥下機能..... 42
 嚥下機能検査..... 69
 嚥下訓練..... 77
 嚥下障害... 17, 54, 56, 61
 嚥下性肺疾患..... 95
 嚥下痛..... 56
 援護寮..... 78
 炎症..... 49, 101, 102, 103, 121
 炎症性角化症..... 90
 炎症性腫瘍..... 96
 炎症性腸疾患..... 23
 炎症性皮膚疾患..... 89
 炎症の局所的变化..... 50
 炎症の全身的变化..... 50
 炎症反応..... 63
 炎症マーカー..... 10, 20
 遠心路..... 44
 遠城寺式..... 67
 円背..... 59, 115
 延命治療..... 26

お

横位..... 84
 横隔神経..... 40, 41
 横隔神経麻痺..... 97
 横隔膜..... 41, 97

横隔膜下・Douglas窩膿瘍... 103
 横隔膜弛緩症... 97, 104
 横隔膜損傷... 104
 横隔膜の形態・機能異常... 97
 横隔膜・腹壁疾患... 104
 横隔膜・腹膜・腹壁疾患... 103
 横隔膜ヘルニア... 97, 104
 応急処置... 33
 応急手当... 33
 応形機能... 46
 黄色靭帯骨化症... 115
 黄色ブドウ球菌感染症... 125
 往診... 30
 黄体化ホルモン... 9
 黄体機能不全... 111
 黄疸... 18, 53, 56
 横断研究... 35
 横断性脊髄症... 59
 嘔吐... 18, 56
 黄斑円孔... 92
 オウム病... 124
 横紋筋融解症... 109
 太田母斑... 89
 オープニング... 16
 お薬手帳... 31
 屋内環境の管理... 39
 悪心... 18, 56
 汚染処理... 38
 汚染の指標... 38
 オゾン層破壊... 38
 オタワ憲章... 33
 オッズ比... 21, 35
 オピオイド... 80
 オピオイドの種類と効果... 80
 オピオイドの副作用と対策... 80
 オピオイドローテーション... 80
 主な感染症の疫学と流行状況... 36
 主な公害のエピソード... 38
 オリブ橋小脳萎縮症... 114
 オリゴクローナルバンド... 8
 オルニチントランスカルバミ
 ラーゼ欠損症... 121
 オルファクトメトリ... 67
 悪露... 46
 音響陰影... 68
 音響外傷... 92
 音響増強... 68
 音叉検査... 66

音声・言語・咀嚼機能障
 害... 77
 音声障害... 55
 温度覚... 19, 41
 温度眼振... 67
 温熱効果... 75
 温熱療法... 81

か

海外渡航歴... 16
 開眼... 40
 開口期... 46
 開口障害... 56
 介護... 32
 介護関連肺炎... 95
 介護支援専門員... 31
 介護の必要度... 61
 介護保険... 30
 介護保険施設... 31
 介護保険主治医意見書... 31
 介護保険制度... 14
 介護保険法... 32
 介護予防... 36
 介護療養型医療施設... 31
 介護老人福祉施設... 31
 介護老人保健施設... 31
 開散... 40
 解釈的態度... 16
 解釈モデル... 16
 回旋... 46
 疥癬... 90
 回旋進入の異常... 84
 回虫症... 126
 改訂長谷川式簡易知能評価ス
 ケール... 67
 回旋眼振... 67
 介入研究... 35
 海馬... 44
 {灰}白色便... 56
 回避義務... 31
 回復期リハビリテーション... 77
 回復・再増殖・再酸素化・再
 分布... 76
 開放骨折... 117
 海綿状血管腫... 89
 海綿腎... 111
 潰瘍... 53, 56
 潰瘍性大腸炎... 23, 101
 解離... 58
 解離性障害... 87
 解離性脳動脈瘤... 113
 下咽頭... 42
 下咽頭癌... 94
 下咽頭梨状陥凹瘻... 94

カウンセリング... 81
 過栄養... 72
 過活動膀胱... 111
 過換気症候群... 22, 97
 下顎骨骨折... 94
 化学性食中毒... 127
 化学的外傷... 94
 化学的損傷... 49, 61
 化学物質過敏症... 128
 化学物質中毒... 127
 化学放射線療法... 76
 化学薬品... 96
 化学療法の併用... 75
 過期産児... 85
 下気道の構造・機能... 41
 過期妊娠... 84
 過強陣痛... 84
 蝸牛... 40
 蝸牛窓... 40
 核医学検査... 12, 21
 核医学検査装置... 68
 核医学検査の原理と技術... 70
 核医学的機能検査... 65
 角化... 40
 角化異常... 53
 角・結膜アルカリ・酸損傷... 94
 角・結膜化学損傷... 94
 拡散... 41
 拡散強調像... 70
 核酸検査... 11, 20
 核酸代謝... 51
 覚醒... 74
 覚醒剤依存・中毒... 127
 覚醒剤精神病... 87
 覚せい剤取締法... 31
 喀痰... 17, 55, 63
 喀痰検査... 8
 拡大内視鏡... 70
 拡張... 77
 拡張型心筋症... 99
 拡張期ランブル... 55
 拡張期輪転様雑音... 55
 拡張術... 76
 拡張早期灌水様雑音... 55
 拡張早期雑音... 55
 確定的影響... 51
 獲得免疫... 45
 角膜... 40
 角膜炎... 23, 91
 角膜潰瘍... 91
 角膜感染症... 91
 角膜曲率測定... 66
 角膜混濁... 54

角膜ジストロフィー・変性症 91
 角膜知覚検査 66
 角膜の色素沈着 91
 確率的影響 51
 過形成性ポリープ 101
 下喉頭神経 41
 過誤腫 96
 可視光線 94
 下肢静脈瘤 23
 過失 31
 過失傷害 31
 過少月経 111
 過食 56
 加重型妊娠高血圧腎症 ... 84
 過重労働対策 26, 38
 過重労働による障害 ... 127
 過剰と欠乏 48
 下垂体 9, 44, 121
 下垂体機能障害 119
 下垂体系 43
 下垂体疾患 119
 下垂体腫瘍 119
 下垂体性無月経 111
 下垂体腺腫 113, 119
 下垂体前葉機能低下症 ... 119
 苛性カリ直接鏡検法 66
 仮性クループ 93
 仮性嚢胞 103
 仮性半陰陽 86
 かぜ症候群 93, 95
 家族機能 14
 家族ケア 26, 80
 家族計画 36
 家族構成 30
 家族性高コレステロール血症 120
 家族性腺腫性ポリポーシス .
 102
 家族性地中海熱 123
 家族性低尿酸血症 109
 家族性低リン血症性くる病
 108
 家族との連携 26
 家族の医療への参加(相互参
 加医療) 14
 家族の心理 25
 家族療法 81
 家族歴 16
 下腿・足の疾患 116
 肩関節周囲炎 116
 肩関節脱臼 117
 肩関節の疾患 116
 過多月経 111
 肩凝り 59

下大静脈フィルター留置術 .
 76
 滑液包炎 116
 咯血 17, 55
 滑車神経麻痺 91
 褐色細胞腫 99, 119
 活性化部分トロンボプラスチ
 ン時間 8
 カットオフ値 20
 活動制限 30
 活動性低下 18
 滑膜 44
 滑膜炎 116
 滑膜肉腫 117
 家庭環境 16
 家庭内事故 128
 家庭におけるアレルギー・過
 敏症 128
 家庭用品による障害 ... 128
 カテーテルアブレーション .
 76, 98
 カテコラミン 10
 可動域 19
 カニ爪陰影欠損 104
 過粘稠度症候群 106
 化膿性関節炎 114
 化膿性骨髄炎 114
 化膿性脊椎炎 113
 化膿性中耳炎 92
 痂皮 53
 過敏症 128
 過敏性腸症候群 ... 23, 101
 過敏性肺炎 ... 95, 122, 127
 下腹痛 57
 花粉症 122
 下部消化管内視鏡検査 ... 12
 下部尿路腫瘍 110
 下部尿路症状 57
 下部尿路閉塞性疾患 ... 109
 寡分割照射 76
 過分割照射 76
 カプセル内視鏡 70
 カプセル内視鏡検査 12
 貨幣状湿疹 89
 過眠 58
 過眠症 87
 カラー Doppler 心エコー検査 .
 12
 カラー Doppler 法 65, 68
 カリウム代謝異常 109
 顆粒球コロニー刺激因子 ...
 42
 カルシウム代謝異常 ... 109
 カルシウム・リン代謝異常 .
 119
 カルシトニン 9

カルチノイド 96
 カルディオバージョン ... 78
 加齢 48
 加齢黄斑変性 92
 加齢と健康状態 36
 加齢による身体・心理・精神
 機能の変化 16
 加齢による変化 48
 川崎病 99, 123
 簡易精神症状評価尺度 ... 67
 感音機構 40
 感音難聴 54
 感覚 19
 感覚器 17, 40, 46, 48, 54
 感覚器機能検査 66
 感覚系伝導路 44
 感覚障害 18, 22
 感覚鈍麻 59
 感覚の障害 59
 肝外門脈閉塞症 102
 肝芽腫 104
 肝癌 23
 換気 39, 41
 換気血流比 41
 肝機能障害 73
 換気分布 41
 環境 30, 35
 環境アセスメント 38
 環境異常の治療 79
 環境因子 49
 環境因子と胎児障害 ... 36
 環境因子による奇形 ... 49
 環境影響評価 38
 環境汚染 36
 環境汚染の概念(エピソード)
 38
 環境汚染の発生要因と健康影
 響 38
 環境汚染の評価と対策 ... 38
 環境基準 38
 環境基本法 32
 環境整備 25
 環境と健康 30
 環境と適応 38
 環境の概念 38
 環境への配慮 16
 環境保健 32, 38
 環境保全 38
 環境モニタリング 38
 環境レベル 27
 換気力学 41
 換気量 41
 管腔内超音波検査 68
 冠血管 41
 肝血管腫 102
 間欠性跛行 56

観血的.....	79	環状肉芽腫.....	91	感染性大腸炎.....	101
汗孔角化症.....	90	感情面への対応.....	16	感染性腸炎.....	101
肝硬変.....	23, 102	緩徐導入.....	74	感染性廃棄物.....	38
肝細胞癌.....	76, 102	肝・腎障害.....	72	感染対策マニュアル.....	15
観察.....	71	肝性口臭.....	56	感染と発症.....	50
監察医制度.....	52	肝性昏睡.....	61	感染による免疫不全症..	123
観察研究.....	35	肝性脳症.....	23	感染の抗原・抗体... 10,	64
鉗子.....	80	関節.....	19, 44	感染防御機構.....	50
間質.....	43	間接Coombs試験.....	10	感染防止.....	79
肝疾患.....	102	関節液.....	63	感染マーカー.....	10
間質性腫瘍.....	110	関節炎.....	116	感染様式と経路.....	50
間質性肺疾患.....	23	関節炎を主体とする類縁疾患	122	感染予防.....	74
間質性肺障害.....	96		完全大血管転位症.....	98
間質性膀胱炎.....	109	関節可動域訓練.....	77	肝損傷.....	103
間質病変.....	108	関節感染症.....	113	肝臓.....	19, 47
肝腫大.....	56	関節強直.....	59	肝臓の機能.....	42
汗疹.....	90	関節腔.....	70	肝・胆道機能検査.....	65
カンジダ症... 90, 95, 125		関節系統疾患.....	115	肝・胆道・膵の構造... 42	
患者医師関係.....	14	関節拘縮.....	59, 118	肝・胆道・膵の構造・機能.	42
患者医師関係の構築.....	16	関節弛緩.....	59	42
患者会.....	78	関節疾患.....	77, 116	嵌頓ヘルニア.....	103
患者確認と検体の確認... 20		関節腫脹.....	18, 59	感度.....	21
患者・家族の医療への参加(相		関節症.....	116	冠動脈.....	76
互参加医療).....	14	関節造影検査.....	69	冠動脈疾患.....	111
患者・家族の心理.....	25	関節痛.....	18, 59	冠動脈バイパス術... 98, 99	
患者クラブ.....	78	関節動揺性.....	59	冠動脈瘤.....	99
患者・障害者の社会活動と社		関節内骨折.....	117	肝内胆管癌.....	102
会参加.....	14	関節内出血.....	57	肝内胆汁うっ滞.....	102
患者・障害者の心理と態度.		関節軟骨.....	44	肝の異常.....	104
.....	14	関節の外傷.....	117	間脳.....	121
患者・障害者のもつ心理・社		関節の障害.....	59	間脳・下垂体疾患.....	119
会的問題.....	14	関節破壊.....	59	肝嚢胞.....	102
患者説明文書.....	15	関節不安定性.....	59	肝膿瘍.....	102
患者中心医療.....	14	関節変形.....	18, 59	カンファレンスでのプレゼン	
患者調査.....	35	関節包.....	44	テーション.....	17
患者の意向の尊重.....	14	関節リウマチ.....		肝不全.....	23
患者の教育.....	16	24, 108, 116, 122	肝包虫症.....	102
患者の権利と義務.....	14	関節離断.....	117	感冒.....	93, 95
患者の問題の定式化.....	21	乾癬.....	90	肝門部空腸吻合術.....	104
患者の理解度.....	17	感染.....	15, 50	管理濃度.....	37
患者への声かけと例示... 19		感染経路別予防策.....	15	寒冷凝集素症.....	105
患者への適用.....	21	感染症.....		寒冷凝集反応.....	10
患者への配慮.....	19	33, 36, 101, 102, 103, 121		寒冷による障害.....	25
患者本人であることの確認.		感染症検査.....	67	冠攣縮性狭心症.....	98
.....	16	感染症対策.....	32, 36	関連痛.....	56
患者満足度.....	15	感染症の疫学.....	36	関連を表す指標.....	35
患者要因.....	72	感染症の予防及び感染症の患		緩和ケア.....	25, 80, 81
感受性試験.....	11, 73	者に対する医療に関する法		緩和ケアチーム.....	
冠循環.....	41	律.....	32	25, 80, 81
感情.....	43	感染症発生动向調査.....	36	緩和ケアの概念.....	25, 80
感情・意欲・性格の変化... 48		感染症法.....	32	緩和ケア病棟.....	25, 80
.....	48	感染性.....	51	緩和的外科治療.....	80
環状紅斑.....	89	感染性胃腸炎.....	101	緩和的照射.....	76
感情障害.....	58, 87	乾癬性関節炎.....	122	緩和的放射線治療.....	80
冠状断.....	69	感染性呼吸器疾患.....	95		
感情と行動の変化.....	49	感染性心内膜炎.....	98		

が

臥位..... 19
 外陰..... 43
 外陰Paget病..... 110
 外陰炎..... 109
 外陰癌..... 110
 外陰腔カンジダ症..... 109
 外陰の腫瘍..... 110
 外陰部の異常..... 57
 外眼筋..... 40
 外眼部の異常..... 54
 外眼部の疾患..... 91
 外傷.....
 15, 22, 61, 95, 99, 101,
 103
 外傷患者初期診療..... 21
 外照射..... 76
 外傷性気胸..... 23
 外傷性耳小骨離断..... 94
 外傷性切断..... 117
 外傷性てんかん..... 117
 外傷の合併症..... 118
 外傷の治療・処置..... 79
 外耳..... 40, 70
 外耳腫瘍..... 92
 外耳・中耳疾患..... 92
 概日リズム..... 43
 概日リズム障害..... 87
 外耳道..... 40
 外耳道異物..... 92
 外耳道の異常..... 92
 外耳道閉鎖症..... 94
 外生殖器の異常..... 57
 咳嗽..... 17, 55
 外側膝状体..... 40
 外的妥当性..... 21
 外的要因..... 50
 外転神経麻痺..... 91
 概念..... 50
 概念と活動内容..... 33
 外反膝..... 116
 外反肘..... 116
 外反母趾..... 116
 外表..... 53
 外表奇形..... 62
 外鼻孔..... 40
 外分泌機能検査..... 65
 外リンパ瘻..... 92
 顎関節症..... 93
 学習障害..... 58, 88
 学習と社会経験..... 48
 学童期..... 47
 学童期の児の診察..... 62
 学童の栄養..... 48
 学齢期好発疾患と予防... 37

鷺口瘡..... 93
 ガス壊疽..... 90, 125
 ガス交換・酸塩基平衡・電解
 質の評価..... 61
 ガス中毒..... 127
 ガストリノーマ..... 103
 ガストリン..... 9
 ガストリン・ペプシノゲン測
 定..... 65
 ガス・物質交換と代謝... 46
 画像検査..... 68
 画像検査における医療情報...
 69
 画像診断支援システム... 69
 画像情報システム..... 69
 画像・内視鏡検査..... 21
 画像の記録..... 14
 画像誘導放射線治療..... 76
 学校安全教育・安全管理...
 37
 学校医と保健管理..... 37
 学校医の職務..... 37
 学校精神保健..... 36, 37
 学校における感染症の予防...
 37
 学校における出席停止... 37
 学校保健..... 32, 37
 学校保健安全法..... 32
 学校保健の現状と動向... 37
 顎骨腫瘍..... 93
 顎骨の異常..... 93
 合併症.....
 69, 71, 72, 78, 79, 81
 合併症妊娠..... 84
 合併症の評価..... 61
 ガラクトース血症..... 121
 がん..... 127
 がん悪液質の概念と病状把握
 80
 眼圧..... 40
 眼圧検査..... 66
 眼位..... 40
 眼位・眼球運動障害..... 91
 眼位検査..... 66
 がん遺伝子..... 50
 眼窩..... 40
 眼窩・外眼部・前眼部・眼球
 の疾患..... 91
 眼窩腫瘍..... 91
 眼窩の異常..... 91
 眼外傷..... 79
 眼球..... 19, 40
 眼球運動..... 40
 眼球運動異常..... 54
 眼球運動・眼振の検査... 67
 眼球運動検査..... 66

眼球運動障害..... 17, 91
 眼球陥凹..... 54
 眼球電図検査..... 66
 眼球突出..... 54, 91
 眼球的異常..... 54
 眼球的疾患..... 91
 眼球付属器..... 40
 眼筋麻痺..... 91
 ガングリオン..... 116
 眼瞼..... 19, 40
 眼瞼炎..... 91
 眼瞼下垂..... 54
 眼瞼外反..... 91
 眼瞼けいれん..... 93
 眼瞼腫瘍..... 91
 眼瞼内反..... 91
 眼瞼の異常..... 91
 {眼}瞼裂狭小..... 54
 眼脂..... 17, 54
 眼症状..... 54
 眼振..... 54
 眼振の検査..... 67
 眼軸長検査..... 66
 癌性胸膜炎..... 96
 癌性髄膜炎..... 113
 がん性疼痛の種類と原因...
 80
 眼精疲労..... 54
 癌性腹膜炎..... 103
 癌性リンパ管症..... 96
 眼組織の異常..... 54, 91
 がん対策..... 32
 がん対策基本法..... 32
 含窒素成分..... 9, 63
 眼痛..... 17, 54
 眼底検査..... 66
 がんと遺伝的要因・外的要因
 50
 がん疼痛治療法..... 26, 80
 眼内炎..... 92
 眼内腫瘍..... 92
 眼内レンズ..... 75
 眼内レンズ挿入術..... 91
 眼表面・涙器の異常..... 91
 眼房..... 40
 顔貌..... 19
 顔貌の異常..... 53
 ガンマカメラ..... 68
 顔面・頸部外傷..... 79
 顔面けいれん..... 93
 顔面肩甲上腕型..... 115
 顔面骨折..... 94
 顔面神経..... 40
 顔面神経麻痺..... 93
 顔面の構造..... 40
 顔面の骨折..... 94

がん抑制遺伝子 50

き

気圧による障害 128
 既往歴 16
 既往歴・合併症の評価 ... 61
 記憶 43
 記憶障害 18, 58
 機械性 51
 機械的合併症 72
 機械的呼吸・循環補助 ... 78
 機械的補助循環 75
 機械弁 75
 気管 19, 41, 70
 気管・気管支腫瘍 96
 気管・気管支損傷 95
 気管・気管支の異常 55, 95
 気管・気管支の狭窄・閉塞 95
 気管・気管支・肺の形態・機能異常 95
 器官形成期 46
 器官形成と臓器の成熟 ... 46
 気管支 19, 41, 68, 70
 気管支炎 23, 95
 気管支拡張症 95
 気管支呼吸音 55
 気管支腫瘍 96
 気管支喘息 23, 95, 122
 気管支損傷 95
 気管支内視鏡検査 12
 気管支の異常 55, 95
 気管支の狭窄・閉塞 95
 気管支の形態・機能異常 ... 95
 気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍 96
 気管支・肺の異常 95
 気管支肺胞呼吸音 55
 気管支肺胞洗浄 70
 気管食道瘻 97
 気管切開 78
 気管挿管 22, 74, 78
 期外収縮 56
 気胸 97
 奇形 94
 気質 43
 器質性月経困難症 111
 器質性精神病 87
 気腫性嚢胞 95
 記述疫学 35
 基準値 20, 21
 基準範囲の概念 21
 基準病床数 33

機序 72
 寄生虫 11, 64, 125
 寄生虫症 95
 寄生虫性肝疾患 102
 基礎体温 43
 喫煙 26, 36
 喫煙状況 26
 喫煙による健康障害 127
 喫煙による障害 127
 喫煙の有害性 26
 吃音{症} 88
 拮抗 72
 拮抗薬 79
 基底細胞癌 90
 基底膜 40
 基底膜菲薄化症候群 ... 108
 亀頭包皮炎 109
 気道 76
 気道異物 95
 気道確保 ... 22, 25, 74, 78
 気道感染症 95
 気導・骨導聴力閾値検査 ... 66
 気道熱傷の治療 79
 機能異常 51, 101, 103
 機能障害 30
 機能性月経困難症 111
 機能性子宮出血 111
 機能性疾患 115
 機能性消化管障害 23
 機能性ディスぺプシア 23, 101
 機能性難聴 92
 機能性卵巣嚢胞 110
 キノコ 127
 希発月経 111
 気分 43
 気分・意欲 61
 気分障害 87
 基本概念 26
 基本手技 71
 基本的緊急薬物療法 22
 基本的手技 25
 基本的な救急処置 21
 基本的な手術手技 73
 基本動作訓練 77
 奇脈 56
 客観的所見 14
 キャリア 50
 吸引分娩 80
 嗅覚系・味覚系の構造・機能 40
 嗅覚障害 54
 嗅覚・味覚検査 67
 嗅覚路 44
 吸気の加温・加湿 41

救急医療 33
 救急医療機関 33
 救急医療情報 33
 救急医療体制 33
 救急医療の確保 33
 救急医療用ヘリコプター ... 33
 救急患者の診察 21
 救急患者の治療 25
 救急救命士 33
 救急指定病院 33
 救急車 33
 救急初期診療 21
 救急隊員 33
 救急搬送 33
 球形嚢 40
 救護活動の基本 22
 急死 52
 吸入 72
 吸入線量 68
 吸入不良症候群 101
 丘疹 53
 求心路 44
 休日夜間急患センター ... 33
 嗅上皮 40
 急性アルコール中毒 ... 127
 急性胃炎 101
 急性胃腸炎 23
 急性一過性精神病性障害 ... 87
 急性胃粘膜病変 101
 急性灰白髄炎 124
 急性化膿性限局性外耳炎 ... 92
 急性肝炎 23, 102
 急性間質性腎炎 108
 急性冠症候群 ... 23, 61, 99
 急性肝不全 61, 79
 急性合併症 120
 急性期 81
 急性期リハビリテーション ... 77
 急性喉頭炎 93
 急性喉頭蓋炎 93
 急性硬膜外血腫 117
 急性硬膜下血腫 117
 急性呼吸窮迫症候群 23, 74, 78, 96
 急性呼吸不全 ... 61, 78, 96
 急性骨髄性白血病 105
 急性散在性脳脊髄炎 ... 113
 急性糸球体腎炎 108
 急性糸球体腎炎症候群 ... 24
 急性出血性結膜炎 124
 急性消化管出血 22, 61
 急性小児片麻痺症候群 .. 118

急性小脳性失調症 113
 急性心筋梗塞 23, 99
 急性心不全 61, 78, 98
 急性心膜炎 99
 急性腎盂腎炎 109
 急性腎障害
 24, 61, 78, 79, 109
 急性腎不全 109
 急性脾炎 24, 103
 急性ストレス障害 ... 22, 87
 急性声門下喉頭炎 93
 急性大動脈解離 23
 急性中耳炎 23, 92
 急性虫垂炎 23
 急性中毒 .. 51, 61, 87, 128
 急性中毒の治療・処置 ... 79
 急性動脈閉塞症 100
 急性乳児片麻痺 118
 急性尿細管壊死 ... 108, 109
 急性脳炎 113
 急性脳症 113
 急性肺血栓塞栓症 96
 急性肺損傷 78
 急性白血病 24
 急性反応<障害> 51, 76
 急性腹症 61, 103
 急性副腎不全 119
 急性副鼻腔炎 23
 急性腹膜炎 103
 急性閉塞性化膿性胆管炎 ...
 103
 急性ヘルペス性口内炎 ... 93
 急性扁桃炎 93
 急性放射線障害
 61, 79, 128
 急性腰痛症 115
 急性リンパ性白血病 105
 球脊髄性筋萎縮症 114
 急速・緩徐導入 74
 急速進行性糸球体腎炎症候群
 108
 急速遂婉 80
 吸虫症 95, 126
 吸啜反射 47
 吸入 72
 吸入麻酔 74
 救命救急センター 33
 休養・心の健康 26
 狭圧 49
 胸囲 47
 強オピオイド 80
 境界性パーソナリティ障害 .
 88
 胸郭 19, 41, 44
 胸郭出口症候群 116
 胸郭の形態・機能異常 ... 97

胸郭の構造・機能 41
 胸郭変形 97
 共感 16
 胸管 42
 共感的態度 16
 狂牛病 126
 胸腔 70
 胸腔穿刺・ドレナージ ... 78
 胸腔内圧 41
 胸骨圧迫 78
 頬骨骨折 94
 狭骨盤 84
 強剛 59
 強剛母指 116
 狭心症 23, 98
 胸水 55, 63
 胸水・腹水・全身浮腫の治療
 とケア 80
 胸水・腹水の検査 20
 胸髄損傷 117
 強制利尿 79
 胸腺 41, 45
 胸腺腫瘍 96
 胸腺低形成 123
 強調画像観察 70
 強直間代発作 115
 強直性頸反射 47
 強直性脊椎炎 115, 122
 胸痛 17, 22, 55
 狭頭 59
 強度変調放射線治療 76
 強迫 18
 強迫観念 58
 強迫性障害 87
 恐怖 18, 58
 胸腹部大動脈瘤 99
 胸部圧迫感 17
 胸部エックス線撮影 12
 胸部外傷 79
 胸部大動脈瘤 99
 胸部の診察 19
 胸部・腹部大動脈瘤 76
 胸壁 41, 97
 胸壁疾患 23
 胸膜 41, 97
 強膜 40
 強膜炎 91
 胸膜炎 95
 胸膜腫瘍 96
 胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の
 形態機能異常と外傷 ... 97
 胸膜・縦隔の感染症 95
 胸膜中皮腫 96
 胸膜の腫瘍 96
 胸膜プラーク 96
 胸膜摩擦音 55

寄与危険度 21, 35
 局在関連性てんかん 115
 局所解剖 40
 局所浸潤 50
 局所振動 38
 局所麻酔 71, 75
 局所麻酔薬中毒 75
 局所療法 79
 局所療法薬 79
 虚血 51
 虚血性小腸炎・大腸炎 .. 102
 虚血性心筋症 99
 虚血性心疾患 98, 127
 虚血性大腸炎 101
 巨細胞性動脈炎 122
 拒食症 87, 110, 119
 居住・衣服環境と健康 ... 39
 巨赤芽球性貧血 105
 居宅介護支援事業所 31
 居宅サービス 31
 巨大児 85
 巨大舌 56
 許容濃度 37
 距離 69
 起立性調節障害 51
 起立性低血圧 51, 99
 起立・歩行障害 59
 筋 44
 筋萎縮 59
 筋萎縮性側索硬化症 ... 114
 禁煙支援 26
 禁忌 69, 70, 75
 緊急血液浄化法 78
 緊急手術 74
 緊急治療の要否の判断 ... 21
 緊急治療の要否・部位別優先
 順位の判断 61
 緊急度 78
 緊急避妊 111
 緊急ペーシング 22, 78
 筋強直性ジストロフィー ...
 115
 筋けいれん 115
 菌交代現象 50
 菌交代症 50
 筋骨格系の診察 19
 筋弛緩薬 15
 筋弛緩薬とその拮抗薬 ... 74
 筋疾患 77, 114, 115
 筋腫 102
 筋ジストロフィー 99
 菌状息肉症 90, 106
 筋性斜頸 115
 筋性防御 19, 56
 金属代謝の異常 121
 金属中毒 127

筋断裂..... 117
 緊張型頭痛..... 24, 115
 緊張型統合失調症..... 87
 緊張性気胸..... 23, 51, 97
 緊張性頸反射..... 47
 緊張病症候群..... 58
 筋電図・神経伝導検査..... 65
 筋肉..... 25
 筋肉痛..... 18, 59
 筋肉内出血..... 57
 筋の障害..... 59
 筋膜切開..... 79
 筋力増強訓練..... 77
 筋力低下..... 18, 59

き

偽関節..... 118
 義肢..... 77
 技術革新と健康障害..... 49
 偽性球麻痺..... 113
 偽痛風..... 116, 122
 偽膜性腸炎..... 101
 逆流性食道炎..... 101
 逆行性尿路造影検査..... 12
 仰臥位..... 19
 仰臥位低血圧症候群..... 84
 凝固..... 77
 凝固因子の異常..... 106
 凝固・線溶異常..... 73
 凝固・線溶系..... 42
 凝固・線溶系検査..... 20
 凝固・線溶・血小板機能検査..... 8, 63
 行政解剖..... 52
 業務上疾病の発生状況..... 37
 魚鱗癬..... 90

く

空間的線量分布..... 75
 空腹時血糖..... 9
 区画症候群..... 79, 117
 口および口腔内の異常..... 56
 唇・口蓋の先天異常..... 94
 苦痛の緩和..... 25
 苦痛への配慮..... 19
 屈折異常..... 91
 屈折検査..... 66
 国と地方公共団体..... 30
 クモ..... 127
 くも状血管拡張..... 53
 くも状血管腫..... 53
 くも膜下出血..... 24, 59, 113
 クラス..... 64
 クラミジア..... 11, 64, 124

クラミジア結膜炎..... 124
 クラミジア性尿道炎..... 110
 クラミジア肺炎..... 124
 クラミジア・マイコプラズマ・リケッチアによる感染症..... 124
 クリアランス..... 43
 クリオグロブリン血症性血管炎..... 122
 クリッピング..... 77
 クリニカルインディケータ..... 15
 クリニカルパス..... 15, 26
 クリプトコックス症..... 95, 125
 クリプトスポリジウム症..... 126
 クループ症候群..... 93
 くる病..... 116, 119
 車椅子..... 77
 クレアチニン..... 9
 クレアチニンクリアランス..... 65
 クレチン症..... 121
 クレブシエラ感染症..... 125
 クロール定量..... 8
 クロストリジウム・ディフィシル腸炎..... 125
 クロスマッチ..... 9, 63, 73

く

隅角..... 40
 隅角検査..... 66
 偶然誤差..... 35
 偶発がん..... 50
 偶発性低体温{症}..... 128
 グリーフケア..... 26, 81
 グループホーム..... 31, 78
 グルカゴノーマ..... 103
 グルカゴン..... 9
 グルカゴン負荷試験..... 11
 グロムス腫瘍..... 89, 117
 群発頭痛..... 115

け

ケアプラン..... 31
 ケアマネジャー..... 31
 計画..... 14
 頸管炎..... 84
 頸管開大度の診断・表現法..... 62
 経管・経腸栄養..... 72
 頸管成熟度..... 62
 頸管・腔・会陰裂傷..... 84

頸管縫縮術..... 84
 頸管無力症..... 84
 頸筋群..... 40
 頸筋膜..... 40
 頸肩腕障害..... 127
 経口..... 72
 経口栄養..... 72
 蛍光眼底造影検査..... 66
 経口グルコース負荷試験..... 65
 蛍光増倍管..... 68
 経口避妊薬..... 111
 脛骨前粘液水腫..... 91
 靨室炎..... 102
 形質細胞..... 45
 靨室出血..... 102
 痙縮..... 59
 刑事裁判..... 15
 形状..... 19
 頸静脈..... 40
 経静脈栄養..... 72
 頸静脈孔..... 40
 頸静脈孔症候群..... 93
 頸髄損傷..... 117
 痙性斜頸..... 114
 痙性対麻痺..... 114
 形態異常..... 85, 101, 102, 103
 経腔超音波検査..... 12
 経腸栄養..... 72
 経腸栄養の選択..... 74
 傾聴の仕方..... 16
 頸椎..... 22
 頸動脈..... 40, 76
 茎捻転..... 110
 珪肺..... 96
 経皮吸収..... 40
 経皮経肝胆道造影検査..... 69
 経皮血管形成術..... 76
 経皮的胃瘻造設..... 77
 経皮的冠動脈インターベンション..... 98, 99
 経皮的局所療法..... 77
 経皮的生検..... 64, 77
 経皮的中心静脈ポート留置術..... 76
 経皮的ドレナージ..... 76
 頸部外傷..... 79
 頸部血管..... 19
 頸部子宮筋腫..... 84
 頸部刺創..... 79
 頸部腫脹..... 54
 頸部腫瘍..... 54
 頸部超音波検査..... 12
 頸部の異常..... 54, 94
 頸部膿瘍..... 94

頸部の構造..... 40
 頸部リンパ節炎..... 94
 頸部リンパ節結核..... 94
 刑法..... 31
 けいれん..... 17, 22, 53
 けいれん重積状態..... 22
 けいれん性疾患..... 118
 血圧..... 19, 41
 血圧異常..... 51, 56, 99
 血圧の調節..... 43
 血液... 18, 42, 47, 48, 57
 血液学検査..... 20, 63
 血液ガス・電解質分析... 61
 血液ガス分析..... 68
 血液型... 9, 20, 63, 67, 73
 血液型不適合妊娠... 84, 85
 血液吸着..... 73
 血液凝固因子製剤..... 73
 血液・血液製剤の安全性... 15
 血液検査..... 67
 血液浄化..... 73
 血液浄化法..... 75, 79
 血液製剤の安全性..... 15
 血液・造血器疾患..... 24
 血液・造血器の構造・機能...
 42
 血液中のガス運搬..... 41
 血液透析..... 73
 血液濾過..... 73
 結核..... 125
 結核菌特異的全血インター
 フェロン γ 遊離測定法...
 64
 結核・抗酸菌検査..... 11
 結核性..... 95
 結核性関節炎..... 114
 結核性骨関節炎..... 114
 結核性髄膜炎..... 113
 結核性脊椎炎..... 114
 結果の解釈..... 20
 血管..... 17, 55, 68, 70
 血管炎を主とする類縁疾患
 122
 血管芽腫..... 113
 血管系..... 43
 血管形成異常..... 101
 血管系治療..... 76
 血管撮影装置..... 68
 血管雑音..... 19, 56
 血管腫..... 89, 102, 117
 血管性病変..... 102
 血管性浮腫..... 89, 122
 血管損傷..... 99
 血管造影検査..... 12, 69
 血管肉腫..... 90

血管・尿細管・間質病変...
 108
 血管の異常による出血傾向
 106
 血管の構造・機能..... 41
 血管病変... 101, 102, 103
 血管・リンパ管奇形..... 53
 血球..... 63
 血球検査..... 8, 20
 血球貪食症候群..... 106
 血球貪食性リンパ組織球症
 106
 血球の産生・崩壊とその調節
 42
 血胸..... 97
 血行障害..... 51
 血行性転移..... 51
 結婚と離婚..... 35
 結合組織の代謝..... 40
 結紮..... 77
 結紮法..... 73
 血色素尿..... 57
 欠失..... 49
 血漿アンチトロンビン... 8
 血漿交換..... 73
 血漿とその成分..... 42
 血小板..... 8, 42
 血小板機能検査..... 8, 63
 血小板凝集能..... 8
 血小板形態..... 63
 血小板の異常..... 106
 血小板無力症..... 107
 血漿フィブリノゲン... 8
 血漿分画製剤..... 73
 血漿分離法..... 63
 結晶誘発性関節炎..... 122
 血漿レニン活性..... 9
 欠伸てんかん..... 118
 血清FDP..... 8
 血精液症..... 57
 血清学的診断..... 20
 血清・血漿分離法..... 63
 血清抗体..... 64
 血清タンパクの異常... 120
 血清病..... 122
 血清補体価..... 10
 結石症..... 109
 結節..... 53
 結節性硬化症..... 89, 118
 結節性紅斑..... 89
 結節性多発動脈炎.....
 108, 122
 血栓..... 51
 血栓回収術..... 76
 血栓傾向..... 57

血栓性血小板減少性紫斑病
 106
 血栓性疾患..... 106
 血栓性静脈炎..... 89
 血栓塞栓症..... 84
 血栓溶解療法..... 76
 血痰..... 17, 55
 血中・尿中ホルモン測定...
 65
 血中薬物・毒物と代謝産物...
 63
 結腸..... 70
 結腸癌..... 101
 結腸疾患..... 101
 血糖..... 9
 血尿..... 18, 57
 血便..... 18, 56
 欠乏と過剰..... 51
 結膜..... 40
 結膜アルカリ・酸損傷... 94
 結膜炎..... 23, 91
 結膜化学損傷..... 94
 結膜下出血..... 91
 結膜充血..... 17
 結膜乳頭腫..... 124
 血友病..... 106
 血友病性関節症..... 116
 血流測定..... 68
 血流分布異常性ショック...
 51, 78
 ケトン性低血糖症..... 121
 ケトン体..... 8
 ケモカイン..... 45
 ケラトアカントーマ..... 89
 ケロイド..... 49, 89
 腱..... 44
 検案書..... 14
 検疫..... 37
 検疫法..... 32
 研究デザイン..... 21
 健康管理..... 37
 健康管理の概念・方法... 35
 健康教育・学習..... 35
 健康・疾病・障害の概念と社
 会環境..... 30
 健康障害..... 49
 健康食品..... 37
 健康診断..... 20, 37
 健康診断・診査と健康管理...
 35
 健康診断・診査と事後指導...
 35
 健康診断と事後指導..... 38
 健康寿命の延伸と生活の質の
 向上..... 26
 健康相談..... 35

- 健康増進とヘルスプロモーション 33
 健康増進の概念 33
 健康増進法 31
 健康づくり支援のための環境整備 26
 肩甲難産 84
 健康の概念 30
 健康の概念の歴史的変遷 30
 健康の定義 30
 健康保険法 32
 健康保持・増進 35
 健康保持増進対策 37
 健康保持・増進の概念 35
 検査・画像・手術の記録 14
 検索方法 21
 検査後確率 21
 検査前確率 21
 検査前全身状態の評価 71
 検査値の加齢変化 48
 検査の安全性 20
 検査の合併症 20
 検査の基本 20
 検査や治療に対する希望・好み 17
 腱鞘炎 116
 検体検査 63
 検体の採取 20, 64
 検体の採取と保存 63
 検体の保存 20
 検体保存法 63
 腱断裂 117
 建築物衛生 39
 建築物衛生法 32
 建築物における衛生的環境の確保に関する法律 32
 検定と推定 35
 見当識 43
 腱反射 19
 腱板断裂 116
 顕微鏡検査(虫卵など) 8
 顕微鏡的多発血管炎 95, 108, 122
 顕微授精 81
 腱付着部炎 116
 健忘 58
- げ**
- 芸術療法 81
 外科手技 25
 外科的気道確保 22, 78
 外科的侵襲に対する反応 73
- 劇症1型 120
 劇症肝炎 102
 劇症型A群β溶連菌感染症 90
 下血 18, 56
 下水道法 32
 月経 43
 月経異常 18, 57, 110
 月経困難症 24, 111
 月経周期と量の異常 57, 111
 月経前症候群 111
 月経痛 57
 月経痙 112
 解毒・拮抗薬 79
 解熱鎮痛薬依存・中毒 127
 ゲノム要因 72
 下痢 18, 56
 減圧症 79, 128
 減圧法 73
 原因と分類 49
 幻覚 18, 58
 減感作療法 81
 言語機能障害 77
 言語障害 59
 言語聴覚療法 77
 言語的コミュニケーション 16
 言語発達 47
 言語発達障害 59
 言語発達遅滞 58
 原始反射と姿勢反射 47
 現状と動向 36, 37
 原虫 11, 64
 減張切開 79
 原発性 97, 120
 原発性悪性骨腫瘍 116
 原発性アルドステロン症 119
 原発性硬化性胆管炎 103
 原発性高脂血症 120
 原発性骨髄線維症 105
 原発性性腺機能低下症 119
 原発性胆汁性肝硬変 102
 原発性胆汁性胆管炎 102
 原発性ネフローゼ症候群 108
 原発性免疫不全症 123
 原発性良性骨腫瘍 116
 現病歴 16
 原理 69, 70
 原理と検査技術 68
- か**
- 抗ARS抗体 10
 抗CCP抗体 10
 高CO₂血症 55
 抗dsDNA抗体 10
 抗GAD抗体 10, 64
 抗GBM病 122
 高IgM症候群 123
 抗Jo-1抗体 10
 抗RNAポリメラーゼⅢ抗体 10
 抗RNP抗体 10
 抗Sc1-70抗体 10
 抗Sm抗体 10
 抗SS-A抗体 10
 抗SS-B抗体 10
 抗ssDNA抗体 10
 抗TSH受容体抗体 10
 抗アクアポリリン4抗体 10
 抗アセチルコリン受容体抗体 10
 高圧酸素療法 81
 抗アミノアシルtRNA合成酵素抗体 10
 広域医療搬送 33
 抗インスリン抗体 10, 64
 高温環境による疾患 128
 構音検査 67
 構音障害 18, 59
 構音障害訓練 77
 硬化 53
 光覚 40
 口角 40
 光覚異常 54
 口角炎 93
 光覚検査 66
 抗核抗体 10
 硬化性血管腫 96
 降下性縦隔炎 95
 硬化療法 76, 77
 光干渉断層計 66
 交感神経幹 40, 41
 交換輸血 73
 口蓋 42
 口蓋裂 94
 公害健康被害の補償等に関する法律 32
 公害健康被害補償制度 38
 公害の概念 38
 公害の健康被害と対策 38
 口蓋の先天異常 94
 口蓋扁桃肥大症 93
 抗菌スペクトル 73
 抗菌薬 73
 抗菌薬の適正使用 15
 抗凝固剤 63
 口腔 19
 口腔アレルギー症候群 122

口腔・咽頭の構造・機能...	42	高在縦定位	84	好中球機能異常症	105
口腔環境	42	高山病	79, 128	好中球機能検査	10
口腔乾燥症	56	光視症	54	好中球性皮膚症	89
口腔・口唇の癌	93	膠質液	74	高張食塩水負荷試験	11
口腔疾患	93	口臭	56	交通事故	128
口腔内カンジダ症	56	公衆衛生と医療	30	交通性水頭症	118
口腔内感染	56	公衆衛生の概念と機能	35	肯定	16
口腔粘膜の異常	56	抗腫瘍薬	73	高・低エコー域	68
口腔の異常	54, 93	口唇	19, 40	公的扶助	30
硬結	56	高身長	60	後天性von Willebrand病	106
高血圧	17, 51, 56	口唇の癌	93	後天性血小板機能異常症	106
高血圧合併	84	高次脳機能	44	後天性血拴形成傾向	106
高血圧緊急症	51, 99	高次脳機能障害	58, 117	後天性血友病	106
高血圧症	23	後縦隔	41	後天性水疱症	90
高血圧性腎硬化症	108	後縦靱帯骨化症	115	後天性鉄芽球形貧血	105
高血圧性脳出血	113	甲状腺	9, 19, 44, 121	後天性表皮水疱症	90
高血圧による眼底変化	23	甲状腺 ¹²³ I摂取率	65	後天性免疫不全症候群	123, 124
抗血小板薬による粘膜障害	102	甲状腺悪性腫瘍	119	喉頭	41, 70
硬結性紅斑	89, 90	甲状腺機能亢進症	24, 99, 119	後頭蓋窩	40
高血糖高浸透圧症候群	120	甲状腺機能亢進症・低下症	84	喉頭癌	93
光頭・電頭標本	11	甲状腺機能障害	119	喉頭疾患	93
抗原提示細胞	45	甲状腺機能低下症	24, 119	喉頭損傷	94
膠原病	24, 122	甲状腺クリーゼ	61	喉頭内視鏡検査	12
膠原病および類縁疾患に伴う肺病変	95	甲状腺刺激ホルモン	9	喉頭乳頭腫	93
膠原病と類縁疾患	84, 122, 123	甲状腺疾患	119	喉頭の異常	55, 93
膠原病に伴う腎病変	108	甲状腺腫	54	行動	30
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体	10	甲状腺の炎症	119	行動障害	88
咬合	42	甲状腺の腫瘍	119	行動の変化	48
虹彩	40	甲状腺良性腫瘍	119	行動変容	14, 26
虹彩炎	91	後陣痛	46	行動療法	81
虹彩毛様体炎	91	硬性鏡	70	行動レベルと行動変容	27
虹彩ルベオーシス	54	向精神薬	15	高二酸化炭素血症	55
抗サイログロブリン抗体	10	向精神薬依存・中毒	127	高尿酸血症	24, 120
交叉伸展反射	47	光線過敏	53	更年期	16
交差適合試験	9, 63, 73	光線過敏症	90	更年期障害	24, 111
後産期	46	光線性眼障害	94	更年期・閉経後障害	111
好酸球	45	光線テスト	66	高濃度酸素療法	79
好酸球性胃腸炎	102	抗セントロメア抗体	10	紅斑	53
好酸球性食道炎	102	光線療法	81	紅斑症	89
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	95, 122	酵素	9, 63	広汎性発達障害	88
好酸球性中耳炎	92	梗塞	51	広範な脳機能障害	58
好酸球性肺炎	95	拘束型心筋症	99	公費医療	30
好酸球性肺疾患	122	酵素阻害	72	公費医療の種類と対象	30
好酸球性副鼻腔炎	93	酵素組織化学	11	紅皮症	89
好酸球增多症候群	105	酵素組織化学染色	64	高ビリルビン血症	85
抗酸菌	64, 125	酵素誘導	72	高フェニルアラニン血症	121
抗酸菌検査	11	構造異常	49	後腹膜腫瘍	103
抗酸菌症	95	高体温	22	後腹膜臓器	42
抗酸菌による感染症	125	抗体検査法	64	項部硬直	19, 59
		抗体産生不全を主とする免疫不全症	123	後部ぶどう膜炎	91
		抗体療法	81	高プロラクチン血症	111, 119
		叩打痛	19		
		好中球	45		

抗平滑筋抗体	10	呼吸器	17, 41, 47, 48, 55, 78, 122	骨・関節感染症	113
後方後頭位	84	呼吸器合併症	74	骨・関節系統疾患	115
硬膜外麻酔	75	呼吸器・胸壁・縦隔疾患	23	骨・関節疾患	77
硬膜静脈洞	44	呼吸器作用薬	73	骨巨細胞腫	116
硬膜動静脈瘻	113	呼吸器疾患	127	骨形成・吸収	44
抗ミトコンドリア抗体	10	呼吸機能	11, 41	骨形成不全症	115
肛門	70	呼吸機能検査	20, 65	骨系統疾患	115
肛門管癌	101	呼吸窮迫症候群	85	骨産道	46
肛門癌	101	呼吸筋	41	骨腫瘍類似疾患	117
肛門疾患	101	呼吸訓練	81	骨重積	46
肛門周囲膿瘍	101	呼吸困難	17, 22, 55	骨髄	42, 45, 63
肛門と直腸の診察	19	呼吸困難の治療とケア	80	骨髄異形成症候群	105
肛門内圧検査	11, 65	呼吸循環管理	74	骨髄系腫瘍	105
肛門の異常	104	呼吸・循環の変化	50	骨髄血塗抹	8
絞扼性イレウス	103	呼吸中枢	41	骨髄検査	63
交絡因子	21, 35	呼吸調節	41	骨髄腫	24
抗利尿ホルモン	9	呼吸調節異常	97	骨髄腫腎	108
抗リン脂質抗体症候群	106, 111, 123	呼吸の異常	55	骨髄生検	63
高齢者	72	呼吸理学療法	81	骨髄穿刺	63
高齢者医療確保法	32	呼吸リズムの異常	55	骨髄バンク	75
高齢者虐待の防止	32	呼吸療法	78	骨折	24, 117
高齢者総合機能評価	16, 61	国際協力機構	33	骨折の治療・処置	79
高齢者の医療の確保に関する法律	32	国際疾病分類	35	骨粗鬆症	24, 111, 115, 119
高齢者の栄養マネジメント	72	国際生活機能分類	35	骨導聴力閾値検査	66
高齢者の健康保持・増進	36	国際標準化機構	15	骨軟化症	116, 119
高齢者の疾患の特徴と頻度の変化	48	国際保健	33	骨軟骨腫	116
高齢者の診察	61	国際保健・医療協力	33	骨・軟部腫瘍と類似疾患	116
高齢者の診察と評価	61	国際連合	33	骨肉腫	116
高齢者の心理的特徴	48	国際労働機関	33	骨年齢	47
高齢者の人口・死因・受療率・有訴率	36	コクサッキーウイルス感染症	124	骨の成長と骨形成・吸収	44
高齢者の生理的特徴	48	黒色便	56	骨盤	22, 44
高齢者の養護者に対する支援等に関する法律	32	国勢調査	35	骨盤位	84
高齢者保健	32, 36	告知	17	骨盤骨	43
高齢者麻酔	74	国民医療費	14, 30	骨盤骨折	117
高齢者労働	37	国民栄養と食品保健	37	骨盤・四肢外傷	79
後弯	59	国民栄養の現状と対策	37	骨盤底	43
後弯症	115	国民健康・栄養調査	37	骨盤内炎症性疾患	109
股関節の疾患	116	国民健康づくり運動	26	骨密度測定	48, 119
呼気延長	55	国民健康保険法	32	固定	79
呼気終末二酸化炭素濃度	74	国民生活基礎調査	35	固定姿勢保持困難	59
呼気終末陽圧換気	81	国連合同エイズ計画	33	固定法	64
呼吸	15, 19, 47	心の健康	26	固定薬疹	89
呼吸運動	41	心の健康づくり	36	コホート研究	35
呼吸音	19	鼓室形成術	92	鼓膜	40
呼吸音の減弱・消失	55	個人情報保護	14	鼓膜炎	92
呼吸音の増強	55	個人情報保護法	31	鼓膜損傷	94
呼吸音の変化	55	個体の構造	40	鼓膜チューブ挿入術	92
		鼓腸	56	鼓膜の異常	92
		骨	44	コミュニティヘルス	35
		骨Paget病	116	コラーゲン代謝の異常	121
		骨悪性線維性組織球腫	116	コリンエステラーゼ	9
		骨壊死	116, 118	コルチ器	40
		骨格	44	コルチゾール	9

コルポスコピー 70
 コレステロール塞栓症 .. 108
 コレラ 125
 根拠に基づいた医療 21
 混合性結合組織病 123
 混合性難聴 54
 コンサルテーション 26
 根治的照射 76
 昆虫アレルギー 122
 昆虫による疾患 127
 コントラクションストレステ
 スト 68
 コントラスト 69
 コンパートメント症候群 ...
 79, 117
 コンピューテッドラジオグラ
 フィ 69
 コンプライアンス 17

こ

誤飲 22, 128
 合計特殊出生率 35
 合指症 116
 誤嚥 .. 17, 22, 48, 56, 128
 語音聴力検査 66
 誤差 20
 誤差と精度 21
 誤認 15
 誤薬 15

さ

サーカディアンリズム ... 43
 サーベイランス 36
 サーモグラフィ 66
 災害 49
 災害医療 22, 33
 災害拠点病院 33
 災害時保健医療 33
 災害派遣医療チーム 33
 細気管支炎 23, 95
 細菌 64, 95
 細菌感染症 90
 細菌検査 8, 11
 細菌(抗酸菌<マイコバクテリ
 ア>を除く) 124
 細菌(抗酸菌<マイコバクテリ
 ア>を除く)による感染症
 124
 細菌・真菌感染症 113
 細菌性 95
 細菌性・アメーバ性肝膿瘍
 102
 細菌性食中毒 127
 細菌性髄膜炎 113

細菌性赤痢 125
 細菌性腔症 84, 109
 細菌性腹膜炎 103
 採血 20, 63
 細隙灯顕微鏡検査 66
 再現性 21
 採光 39
 再興感染症 50
 採取法 20
 再生医療 75
 再生産率 35
 再生不良性貧血 105
 砕石位 19
 臍帯 46
 臍帯下垂 84
 臍帯過捻転 84
 臍帯結節 84
 臍帯巻絡 84
 臍帯脱出 84
 臍帯脱落 47
 臍帯動脈血pH 62, 68
 臍帯動脈血液ガス 85
 臍帯の異常 84
 臍帯の検査 68
 臍帯の診断 62
 臍帯ヘルニア 104
 臍帯卵膜付着 84
 採痰 20
 最適化 69
 再投与試験 10
 サイトカイン 42, 45
 サイトメガロウイルス感染症
 124
 サイトメガロウイルス肺炎 .
 95
 採尿 20, 63
 再発 51
 再発性多発軟骨炎 123
 臍ヘルニア 104
 採便 20, 63
 細胞 40
 細胞移植 75
 細胞間脂質 40
 細胞間接着 40
 細胞外液補充液 74
 細胞質遺伝 49
 細胞周期 75
 細胞障害型 102
 細胞傷害性T細胞 45
 細胞診 8, 20, 63, 64
 細胞数(種類) 8
 細胞数(種類と比率) 8
 細胞性免疫 64
 細胞・組織の加齢現象 ... 48
 細胞の老化 48
 細胞表面抗原 64

細胞免疫・食菌能検査... 10
 サイログロブリン 9
 作業環境管理 37
 作業管理 37
 作業所 78
 作業態様による障害 127
 作業療法 77, 78
 作為体験 58
 鎖肛 104
 左心系疾患に伴う肺高血圧症
 96
 左心不全 98
 匙状爪 53
 嘔声 17, 55, 97
 させられ体験 58
 撮影法 70
 擦過 20, 71
 錯覚 58
 撮像法 70
 砂漠化 38
 サブクラス 64
 サラセミア 106
 サルコイドーシス
 92, 95, 123
 サルコペニア 36
 サルモネラ感染症 125
 酸塩基平衡
 9, 41, 43, 61, 63, 74
 酸塩基平衡の異常 109
 産科DIC 84
 産科医療補償制度 15
 産科シヨック 80
 参加制約 30
 産科的救急治療・処置... 80
 産科的骨盤エックス線撮影 .
 12
 産科麻酔 74
 産休制度 36
 産業界と労働安全衛生管理 .
 37
 産業界の資格と職務 37
 産業界 30
 産業界精神保健 36
 産業界中毒 127
 産業界中毒とその他の職業性疾
 患 127
 産業界廃棄物 38
 産業界保健 32, 37
 産業界保健総合支援センター .
 38
 産業界保健の仕組み 37
 サンゴ状結石 109
 三叉神経 40
 三叉神経痛 93, 115
 三次救急医療 33
 三次救急に必要処置... 78

三次救急の診察 61
 三次救急の治療 78
 三次元CT血管撮影 69
 三次元再構成画像 69
 産褥 15, 46
 産褥期精神障害 85
 産褥血栓症 85
 産褥熱 84
 産褥の異常 18, 84
 産褥の経過 46
 産褥無月経 46
 酸性雨 38
 三尖弁閉鎖症 98
 三尖弁閉鎖不全症 98
 酸素欠乏症 79, 128
 酸素効果 75
 酸素中毒 96
 酸素投与方法 78
 酸素療法 81
 産徴 46
 産道 46, 50
 産道の異常 84
 酸による損傷 49
 三半規管 40
 散布 71
 産婦と胎児の診察 62
 産婦の栄養マネジメント 72
 産婦の診察 62
 産瘤 46
 霰粒腫 91

カ

座位 19
 剤型 72
 在胎週数 47
 在宅医療 30
 在宅医療と介護 25
 在宅栄養療法 25
 在宅介護 30
 在宅ケア 30
 在宅酸素療法 25, 81
 在宅での看取り 25
 在宅当番医 33
 在宅ホスピス・緩和ケア 81
 在宅リハビリテーション 30
 坐骨神経痛 115
 瘻瘡 90
 控減症候群 79, 100, 117
 残尿感 57
 残尿量測定 65

シ

死 25, 52
 死因の究明 52
 支援 16
 視覚系の構造・機能 40
 視覚障害 77
 視覚誘発電位 66
 視覚路 44
 子癩 84
 弛緩出血 84
 紫外線 94, 128
 闊くしきい線量 51
 視器一般検査 66
 色覚 40
 色覚異常 54, 91
 色覚検査 66
 色素異常 53
 色素異常症 90
 色素性乾皮症 90
 色素性蕁麻疹 89
 色素性母斑 89
 色素性痒疹 89
 色素内視鏡検査 12
 色素尿 57
 色素排泄試験 65
 色素斑 53
 指揮と統制 22
 視機能 40
 視機能異常 91
 視機能検査 66
 視機能障害 54
 子宮 43, 50
 子宮筋腫 24, 110
 子宮腔癒着{症} 112
 子宮頸管炎 109
 子宮頸管長 67
 子宮頸管粘液 63
 子宮頸管ポリープ 110
 子宮頸癌 24, 110, 124
 子宮頸部上皮内腫瘍 110
 子宮頸部の類腫瘍・腫瘍 110
 子宮支持組織 43
 子宮性無月経 111
 子宮腺筋症 110
 糸球体 43
 子宮体癌 24, 110
 糸球体腎炎 108
 糸球体病変 108
 子宮体部の類腫瘍・腫瘍 110
 糸球体濾過 43
 子宮脱 111
 子宮内胎児死亡 85
 子宮内反症 84

子宮内膜異型増殖症 110
 子宮内膜炎・筋層炎 109
 子宮内膜癌 110
 子宮内膜症 24, 110
 子宮内膜症性嚢胞 110
 子宮内膜増殖症 110
 子宮内膜の周期性変化 43
 子宮内膜ポリープ 110
 子宮肉腫 110
 子宮の位置異常 111
 子宮の奇形 111
 子宮破裂 84
 子宮復古 46
 子宮復古不全 84
 子宮卵管造影検査 12, 69
 子宮留膿症・腫 110
 死腔 41
 止血 73, 77, 79
 止血機能と血管壁 42
 止血法 22, 73
 思考 43
 嗜好 16
 刺咬症 79
 思考障害 18, 58
 刺咬症の治療・処置 79
 嗜好品との相互作用 72
 死後経過時間の推定 52
 死後変化 52
 視索 40
 死産 35, 36
 死産証書 14
 死産の届出に関する規定 31
 四肢 19, 44
 四肢エックス線撮影 12
 四肢外傷 79
 四肢血管損傷 117
 四肢骨折 117
 四肢切断 117
 脂質異常症 24, 111, 120
 脂質および脂質代謝関連物質 63
 脂質代謝異常 120
 脂質代謝関連 9
 脂質代謝の異常 51
 四肢軟部疾患 116
 四肢軟部損傷 117
 四肢軟部病変 116
 四肢の診察 20
 思春期 16, 48
 思春期危機 48
 思春期の健康問題 16
 思春期の児の診察 62
 思春期の発来機序 48
 思春期発現 16
 思春期早発症 121

手術時期.....	73
手術切除検体取扱法.....	64
手術創の処置.....	75
手術適応.....	73
手術の記録.....	14
主訴.....	16
手段の日常生活動作.....	61
腫脹.....	19
出血... 15, 51, 71, 73, 76	
出血傾向.....	18, 57
出血時間.....	8
出血性.....	51
出血性疾患と血栓傾向..	106
出血性腸炎.....	101
出血性貧血.....	105
出血と産科ショック.....	84
出血斑.....	53
出産と労働.....	49
出生.....	36
出生証明書.....	14
出生時の身長・体重.....	47
出生前診断.....	49, 62
出生と死亡.....	35
腫瘍.....	
50, 76, 101, 102, 103, 121	
腫瘍細胞の異型性と多形性..	50
.....	50
主要疾患・症候群.....	22
主要症候.....	17
腫瘍随伴性多発ニューロパ	
チー.....	114
腫瘍性.....	57
腫瘍性低リン血症性骨軟化症	
.....	119
腫瘍の疫学.....	50
腫瘍の定義.....	50
腫瘍の病因.....	50
腫瘍の病理・病態.....	50
腫瘍の放射線感受性.....	75
腫瘍・母斑性皮膚疾患... 89	
腫瘍マーカー.....	10, 63
腫瘍.....	53
手腕振動障害.....	128
春季カタル.....	91
初圧.....	8
消化.....	42, 47
消化管.....	9, 76
消化管Behçet.....	102
消化管アミロイドーシス...	
.....	102
消化管アレルギー.....	102
消化管異物.....	104
消化管運動.....	42
消化管運動機能検査.....	65
消化管運動抑制薬.....	71
消化管壁の構造.....	42
消化管カルチノイド.....	102
消化管機能検査.....	65
消化管共通疾患.....	102
消化管出血.....	56
消化管神経内分泌腫瘍.....	
.....	102, 120
消化管生理活性物質.....	42
消化管穿孔.....	103
消化管損傷.....	103
消化管造影検査.....	69
消化管内圧減圧治療.....	78
消化管粘膜下腫瘍.....	102
消化管の構造・機能.....	42
消化管の消化・吸収.....	42
消化管の免疫.....	42
消化管ホルモン.....	42
消化管ホルモン産生腫瘍...	
.....	120
消化管ポリポーシス.....	102
消化器.....	
.....	17, 42, 47, 48, 56
消化器系.....	11
消化器作用薬.....	73
消化器・腹壁・腹膜疾患...	
.....	23
消化性潰瘍.....	23, 101
障害者基本計画.....	30
障害者基本法.....	32
障害者の心理と態度.....	14
障害者のもつ心理・社会的問	
題.....	14
障害者への対応.....	30
障害児への対応.....	30
生涯設計.....	27
障害の概念と構造.....	14
障害の概念と社会.....	30
障害の概念と社会環境... 30	
小奇形.....	53
使用記録保管義務.....	15
症候.....	50
症候性肥満.....	120
小細胞癌.....	96
硝子圧法.....	66
少子化社会の対応.....	30
硝子体.....	40
硝子体混濁.....	92
硝子体疾患.....	91
硝子体出血.....	92
硝子体の異常.....	92
照射.....	77
照射の合併症.....	76
症状・傷病別の初期対応...	
.....	22
症状性精神病.....	87
症状性を含む器質性精神障害	
.....	87
掌蹠角化症.....	90
掌蹠膿疱症.....	90
掌蹠膿疱症性関節炎... 122	
小線源治療.....	76
承諾解剖.....	52
小腸.....	70, 78
小腸癌.....	101
小腸・結腸疾患.....	101
小腸・結腸の異常.....	104
小腸造影検査.....	12
小腸内視鏡検査.....	12
焦点性てんかん.....	115
小頭.....	59
小頭症.....	118
消毒と滅菌.....	73
小児.....	72
小児栄養.....	47
小児期.....	15, 47
小児血液疾患.....	106
小児・高齢者麻酔.....	74
小児・青年期の精神・心身医	
学的疾患.....	88
小児喘息.....	23
小児造血管腫瘍.....	107
小児特有の全身症状.....	18
小児の行動.....	16
小児の診察.....	61
小児の成長.....	47
小児の特殊性.....	26
小児の発達.....	47
小児の保健・福祉.....	36
小児リハビリテーション...	
.....	77
小脳機能.....	20
小脳橋角部腫瘍.....	93
小脳とその連絡路.....	44
小舞蹈病.....	114
少分割照射.....	76
小脈.....	56
照明.....	39
証明書.....	14
小葉癌.....	121
症例対照研究.....	35
ショートステイ.....	31
初期・二次・三次救急医療.	
.....	33
食菌能.....	64
食菌能検査.....	10
職業がん.....	128
職業性アレルギー.....	
.....	122, 127
職業性因子による疾患... 25	
職業性ストレスによる障害	
.....	127
職業性喘息.....	127
職業性腰痛.....	127

- 職業と疾病..... 49
- 職業役割..... 48
- 職業リハビリテーション... .. 77
- 食行動..... 26
- 食細胞機能不全症..... 123
- 食思不振..... 17, 56
- 食思不振の治療とケア... 80
- 職種と社会資源..... 14
- 職種連携..... 14
- 触診..... 19
- 食事・栄養療法..... 25, 72
- 食事・栄養療法の基本... 72
- 食事摂取基準... 26, 37, 44
- 食事摂取基準量..... 72
- 食事調査..... 37
- 食事バランスガイド..... 37
- 食事療法..... 72
- 食生活..... 26
- 食生活指針..... 37
- 食中毒..... 25, 127
- 食道..... 70, 76
- 食道アカラシア..... 101
- 食道・胃24時間pHモニタリング検査..... 11
- 食道異物..... 104
- 食道癌..... 23, 101
- 食道気管瘻..... 97
- 食道憩室..... 102
- 食道疾患..... 101
- 食道静脈瘤..... 23, 101
- 食道穿孔・破裂..... 101
- 食道内圧..... 42
- 食道内圧検査..... 11, 65
- 食道の異常..... 104
- 食道裂孔ヘルニア..... 103
- 植皮..... 79
- 植皮術..... 73
- 食品衛生法..... 32
- 食品中の汚染物質..... 37
- 食品添加物..... 37
- 食品の安全性と機能性... 37
- 食品保健..... 32
- 植物状態..... 58
- 食物アレルギー..... 122
- 食物依存性運動誘発アナフィラキシー..... 122
- 食物・嗜好品との相互作用... .. 72
- 食欲異常..... 56, 58
- 食欲不振..... 17, 56
- 食欲不振の治療とケア... 80
- 書痙..... 114
- 初診時の評価..... 61
- 食塊形成..... 42
- 触覚..... 19, 41
- ショック..... . 17, 22, 51, 53, 61, 74
- ショック指数..... 61, 84
- ショックの治療..... 78
- 初乳..... 46
- 処方箋..... 14
- 処方内容..... 17
- 白子症..... 94
- 視力..... 40, 47
- 視力検査..... 66
- 視力障害..... 17, 54
- 視路..... 40
- 脂漏性角化症..... 89
- 脂漏性皮膚炎..... 89
- 思路障害..... 58
- 心アミロイドーシス..... 99
- 心エコー検査..... 12, 65
- 心音..... 19
- 心気症..... 22, 58, 87
- 心機能..... 11, 41
- 心機能検査..... 65
- 真菌..... 11, 64, 125
- 心筋炎..... 23, 99
- 真菌感染症..... 113
- 心筋梗塞後合併症..... 99
- 心筋収縮性・拡張性..... 41
- 心筋症..... 23
- 心筋シンチグラフィ..... 65
- 心筋・心膜疾患..... 99
- 心筋性..... 51
- 真菌性髄膜炎..... 113
- 心筋トロポニンI..... 9
- 心筋トロポニンT..... 9
- シングルフォトンエミッションCT..... 12, 70
- 神経..... . 11, 18, 40, 43, 47, 58
- 神経因性膀胱..... 109
- 神経・運動器疾患..... 24
- 神経・運動器の感染性・炎症性疾患..... 113
- 神経・運動器の外傷..... 117
- 神経学的診察..... 62
- 神経芽腫..... 119
- 神経・筋疾患..... 77
- 神経筋接合部・筋疾患... 115
- 神経筋接合部疾患..... 114
- 神経系..... 42, 43
- 神経系の診察..... 19
- 神経原性..... 51
- 神経原性腫瘍..... 96
- 神経膠腫..... 113
- 神経根..... 44
- 神経根症..... 59, 115
- 神経根障害..... 59
- 神経疾患..... 92
- 神経支配..... 44
- 神経障害性疼痛..... 75
- 神経鞘腫..... 113, 117
- 神経症性障害..... 87
- 神経心理学的検査..... 67
- 神経性過食症..... 87
- 神経性食思不振症..... . 87, 110, 119
- 神経性食欲不振症..... . 87, 110, 119
- 神経線維腫症..... 118
- 神経線維腫症1型.. 89, 118
- 神経叢..... 75
- 神経痛..... 115
- 神経伝達物質..... 43
- 神経皮膚症候群... 117, 118
- 神経病性関節症..... 116
- 神経ブロック..... 75, 77
- 神経変性疾患..... 118
- 神経変性・代謝性・脱髄疾患..... 114
- 心血管CT・MRI..... 65
- 心原性ショック..... . 51, 78, 98
- 心原性脳塞栓症..... 113
- 心原性肺水腫..... 96
- 進行がん..... 50
- 新興・再興感染症..... 50
- 進行性核上性麻痺..... 114
- 進行性筋ジストロフィー... .. 115
- 進行性多巣性白質脳症.. 113
- 診察時の患者の体位..... 19
- 診察時の注意..... 61, 62
- 診察前後の標準予防策... 19
- 診察のあり方..... 19
- 診察の基本手技..... 19
- 心サルコイドーシス..... 99
- 心雑音..... 19, 55
- 心室期外収縮..... 98
- 心室細動..... 98
- 心室{性}頻脈性不整脈... 98
- 心室中隔欠損症..... 98
- 心室頻拍..... 98
- 心室瘤..... 99
- 心周期と時相..... 41
- 滲出性中耳炎..... 92
- 心身医学的疾患..... 22
- 心身症..... 22, 87, 127
- 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律... .. 32
- 真珠腫性中耳炎..... 92
- 浸潤・表面麻酔..... 75
- 心腎連関..... 109

- 真性・仮性半陰陽 86
 新生児 47, 72
 新生児胃穿孔・破裂 104
 新生児壊死性腸炎 104
 新生児黄疸 85
 新生児黄疸に対する治療 81
 新生児仮死 85
 新生児肝炎 104
 新生児期 15
 新生児クレチン症 85
 新生児集中治療室 80
 新生児出血性疾患 107
 新生児蘇生法 80
 新生児低血糖症 121
 新生児・乳児死亡 36
 新生児・乳幼児の採血と穿刺法 63
 新生児の異常 18, 85
 新生児の感染症 85
 新生児の救急治療・処置 80
 新生児のけいれん 85
 新生児の検査 67, 68
 新生児の呼吸障害 85
 新生児の診察 62
 新生児の診察と評価 62
 新生児の生理 47
 新生児の分類と異常 85
 新生児搬送 80
 新生児マスキング 36, 68
 新生児慢性肺疾患 85
 新生児溶血性疾患 85
 真性赤血球増加症 105
 振戦 59
 新鮮凍結血漿 73
 心臓 10, 17, 41, 48, 55, 78
 心臓移植 99
 心臓カテーテル検査 11, 65
 心臓外傷 99
 心臓・血管の構造・機能 41
 心臓死 25
 心臓疾患・内分泌代謝疾患・肺疾患・頭蓋内疾患の麻酔 74
 心臓腫瘍 99
 心臓(性)突然死 99
 心臓(性)突然死をきたす症候群 98
 心臓電気生理学的検査 65
 心臓の興奮と伝導 41
 心臓・脈管疾患 23
 身体化障害 87
 身体活動 26
 身体活動とエネルギー消費 26
 身体障害者福祉法 32
 身体障害のリハビリテーション 77
 身体正常値 16
 身体的苦痛 80
 身体的苦痛の緩和 80
 身体的特徴 47
 身体的要因に関連した障害 87
 身体の成長・発達 48
 身体発育 47
 身体表現性障害 22, 87
 身体表現性自律神経機能不全 87
 心タンポナーデ 51, 99
 診断 20
 診断限界 64
 診断書 14
 診断に伴う医原病 52
 診断による医原病 52
 シンチグラフィ 12, 70
 身長 19, 47
 身長の異常 60
 心停止 22, 61
 心停止下での臓器提供 75
 心的外傷後ストレス障害 22, 87
 心電図検査 11, 20, 65
 浸透圧 8, 9
 振動による障害 128
 振動の健康影響と対策 38
 心内膜床欠損症 98
 心嚢液貯留 99
 心嚢穿刺・ドレナージ 78
 心拍出量 41
 心肺蘇生法 78
 真皮 40
 心不全 23, 74, 98
 深部感覚 19, 41
 深部静脈血栓症 23, 100
 深部線量百分率 75
 心弁膜症 123
 心房細動 56, 98
 心房性ナトリウム利尿ペプチド 10
 心房粗動 98
 心房中隔欠損症 98
 心膜開窓術 78
 心膜疾患 99
 心膜ノック音 55
 心膜摩擦音 56
 信頼区間 21
 心理 18, 43, 57
 心理学的検査 67
 心理教育 81
 心理・社会的状況 17
 心理・社会的情報 16
 心理・社会的要因 49
 心理・精神機能 43
 心理・精神機能検査 67
 心理的評価 62
 診療関連死 52
 診療ガイドライン 21
 診療所 31
 診療情報と諸証明書 14
 診療情報の開示 14
 診療に関する諸記録 14
 診療に必要な一般的な医学英語 27
 診療録 14
 診療録・医療記録の管理と保存 14
 診療録の内容 14
 唇裂 94
 じ
 ジアルジア症 126
 耳音響放射 66
 耳介 40
 耳介奇形 94
 耳介血腫 94
 ジカウイルス感染症 124
 自家感作性皮膚炎 89
 痔核 23, 101
 自家・同種・異種移植 75
 時間 69
 耳管 40, 42
 耳管機能不全 92
 時間的線量配分 76
 自我 43
 自我障害 58
 自我同一性形成 48
 自記オージオメトリ 66
 磁気共鳴画像 21
 磁気共鳴画像検査の原理と技術 70
 磁気共鳴画像装置 69
 磁気共鳴血管撮影 70
 磁気共鳴胆管膵管撮影 70
 磁気共鳴胆管膵管撮像 12
 耳硬化症 92
 耳垢栓塞 92
 自己炎症性疾患 123
 自己決定権 14
 自己抗体 10, 20, 64
 自己紹介 16
 自己責任と自分の限界 26

自己同一性形成	48	ジフテリア	125	樹状細胞	45
事故による障害	128	自閉	58	受精	46
自己免疫疾患	50	耳閉感	54	受精卵の卵割と輸送	46
自己免疫疾患による免疫不全症	123	自閉症	88	術後管理と集中治療	74
自己免疫性	120	耳鳴	17, 54	術後合併症	73
自己免疫性胃炎	101	弱オピオイド	80	術後照射	76
自己免疫性肝炎	102	弱視	91	術後創部痛	75
自己免疫性視床下部下垂体炎	119	若年性血管線維腫	93	術後鎮痛法	74
自己免疫性膵炎	103	若年性特発性関節炎	123	術後副鼻腔嚢胞	93
自己免疫性溶血性貧血	105	若年発症型両側性感音難聴	92	術前処置	74
事後確率	21	縦隔	41, 70, 97	術前・術中・術後照射	76
自殺	127	縦隔炎	95	術前評価	74
自殺企図	15	縦隔気腫	97	術前麻酔管理	74
自殺対策	36	縦隔疾患	23	術中照射	76
自殺対策基本法	32	縦隔腫瘍	96	術中麻酔管理	74
自殺の予防	26, 37	縦隔の感染症	95	受動喫煙	26, 127
耳小骨	40	縦隔の形態・機能異常	97	授乳性無月経	46
自傷他害	61	縦隔の腫瘍	96	ジュネーブ宣言	14
地震	22	重金属	9, 63	寿命	48
自助具	77	重金属などによる肺障害	96	受療行動	17
ジスキネジア	114	重金属類	38	純音聴力検査	66
ジストニア	59	充血	51	循環	15, 47
耳性帯状疱疹	92	重症感染症	61	循環器	47
次世代育成支援対策推進法	30	重症救急病態	78	循環器作用薬	72
耳せつ	92	重症急性膵炎	103	循環器疾患	127
事前確率	21	重症筋無力症	96, 115	循環血液量	41
持続可能な開発のための2030アジェンダ	33	重症先天性好中球減少症	123	循環血液量減少性ショック	51, 78
持続性身体表現性疼痛障害	87	重症度と緊急度	61	循環抗凝固因子による出血傾向	106
持続的気道陽圧法	81	重症度判定	79	循環障害	51, 53
持続的陽圧換気	81	重症複合免疫不全症	123	循環動態の調節	42
持続勃起症	112	重心動揺検査	67	循環の変化	50
自治体との連携	32	銃創	49	純型肺動脈閉鎖	98
耳痛	54	住宅改修	77	準言語的コミュニケーション	16
実質性・間質性肺障害	96	重度ストレス反応および適応障害	87	常位胎盤早期剥離	84
実施の説明	20	十二指腸	70	上咽頭癌	94
児頭回旋の診断・表現法	62	十二指腸潰瘍	23, 101	上顎骨骨折	94
児頭骨盤不均衡	84	十二指腸憩室	102	上顎洞癌	93
児頭の浮動・下降・進入・固定・嵌入	46	十二指腸疾患	101	上眼窩裂	40
児頭の変形	46	十二指腸腫瘍	101	上気道炎	23, 95
児童虐待の防止等に関する法律	32	十二指腸腺腫・癌	101	上気道・下気道の構造・機能	41
児童虐待の予防	36	十二指腸乳頭部腫瘍	101	上級医への説明と報告	17
児童相談所	30	十二指腸の異常	104	上喉頭神経	41
児童の事故と対策	37	重複がん	50	上肢・下肢の運動器疾患	116
児童の慢性疾患と保健管理	37	重複腎盂尿管	111	上室期外収縮	98
児童福祉法	32	絨毛癌	110	上室{性}頻脈性不整脈	98
児の娩出	46	絨毛検査	68	上縦隔	41
自発眼振	67	絨毛性ゴナドトロピン	9	上水道と下水道	38
		絨毛性疾患	110	浄水法と消毒	38
		絨毛膜羊膜炎	84	常染色体	65
		重要臓器機能の障害を招く病態・疾患	21	状態特性不安検査	67
		授産所	78	上大静脈症候群	97

上・中・下咽頭..... 42
 上腸間膜血管..... 42
 上腸間膜動脈症候群..... 101
 上腸間膜動脈性十二指腸閉塞症..... 101
 上皮小体..... 9, 44
 上皮小体機能亢進症..... 119
 上皮小体機能障害..... 119
 上皮小体機能低下症..... 119
 上皮小体疾患とカルシウム・リン代謝異常..... 119
 上皮性..... 50
 上皮内がん..... 50
 上皮内癌..... 110
 上部消化管逆流症状..... 56
 上部消化管造影検査..... 12
 上部消化管内視鏡検査..... 12
 上部尿路腫瘍..... 110
 上部尿路閉塞性疾患..... 109
 情報収集法..... 21
 情報伝達..... 22
 静脈..... 20, 25
 静脈栄養・経腸栄養の選択..... 74
 静脈確保..... 22, 25
 静脈管..... 46
 静脈還流..... 42
 静脈奇形..... 89
 静脈血..... 63
 静脈血栓..... 57
 静脈血栓塞栓症..... 118
 静脈採血..... 25
 静脈疾患..... 100
 静脈性尿路造影検査..... 12
 静脈選択と確保..... 78
 静脈洞感染症..... 113
 静脈洞血栓症..... 113
 静脈麻酔..... 74
 静脈瘤..... 76
 常用薬..... 16
 上腕骨外側上顆炎..... 116
 褥瘡... 15, 22, 48, 49, 94
 褥瘡の処置・治療..... 25
 褥婦と胎児の診察..... 62
 褥婦の診察..... 62
 徐呼吸..... 55
 除細動..... 22, 78
 女性..... 19
 女性化乳房..... 60
 女性性器..... 70
 女性性器損傷..... 112
 女性性器・膀胱の下垂・脱出..... 57
 女性生殖器の異常..... 57
 女性生殖器の炎症..... 109
 女性生殖器の形態異常... 111

女性生殖器の構造・機能... 43
 女性生殖器の類腫瘍・腫瘍..... 110
 女性不妊症..... 111
 除石術..... 76
 徐脈..... 17
 徐脈性不整脈..... 98
 自立..... 26
 自律訓練法..... 81
 自立支援医療..... 36
 自律神経系..... 44
 自律神経系疾患..... 115
 自律神経系の障害..... 59
 自律神経作用薬..... 72
 自律神経障害..... 59
 自律神経・内分泌機能の変化..... 49
 自立生活支援..... 77
 痔瘻..... 23, 101
 耳漏..... 54
 腎..... 18, 43, 44, 47, 48, 57
 腎盂..... 43, 70
 腎盂・尿管癌..... 110
 腎炎合併..... 84
 人格..... 43
 腎機能検査..... 65
 腎機能の障害による異常... 109
 腎血管疾患..... 108
 腎血管性高血圧症... 99, 108
 腎結石..... 76, 109
 人工栄養..... 48
 人工換気..... 81
 人工関節・骨・腱・靭帯... 75
 人工血管..... 75
 人口構造..... 30
 人工呼吸..... 74
 人工呼吸療法..... 22, 78
 人工心肺..... 75
 人工腎臓..... 75
 人口静態..... 35
 腎梗塞..... 108
 人工臓器..... 25, 75
 人工臓器の種類と適応... 75
 人工聴覚器..... 75
 人口統計と保健統計..... 35
 人口動態..... 35
 人工内耳埋込み術..... 92
 人工内耳・中耳..... 75
 人工妊娠中絶..... 36
 人工弁..... 75
 腎後性腎不全..... 109
 腎細胞癌..... 24, 110

腎障害..... 72
 腎実質性高血圧症..... 99
 人獣共通感染症... 50, 126
 人獣共通感染症対策..... 37
 尋常性瘡瘡..... 90
 尋常性白斑..... 90
 尋常性狼瘡..... 90
 腎・上部尿路腫瘍..... 110
 腎静脈血栓症..... 108
 腎性骨異常栄養症..... 109
 腎性尿崩症..... 108
 腎性貧血..... 105, 109
 腎性不全..... 109
 腎前性・腎性・腎後性腎不全..... 109
 迅速簡易超音波検査..... 12
 迅速診断の適応..... 64
 腎臓..... 9, 19, 47, 78
 靭帯..... 44
 靭帯損傷..... 117
 人体の構造と機能..... 15
 人中..... 40
 陣痛..... 46
 陣痛の異常..... 84
 陣痛の観察..... 62
 人的支援..... 26
 腎動脈..... 76
 腎乳頭壊死..... 109
 腎・尿路結石と尿路閉塞性疾患..... 109
 腎・尿路・生殖器の炎症... 109
 腎・尿路損傷..... 112
 腎・尿路・男性生殖器の腫瘍..... 110
 腎・尿路の炎症..... 109
 腎・尿路の形態異常..... 111
 腎膿瘍..... 109
 腎の構造・機能..... 43
 腎の内分泌機能..... 43
 じん肺..... 128
 腎杯..... 43, 70
 じん肺症..... 96
 じん肺法..... 32
 腎皮質壊死..... 108
 腎・泌尿器・生殖器疾患... 24
 腎不全..... 73
 蕁麻疹..... 22, 89, 122

す

膝管..... 68, 70
 膝管内乳頭粘性性腫瘍... 103
 膝外腫瘍..... 120
 膝癌..... 24, 103

膵機能検査..... 65
 水系感染..... 38
 遂行機能障害..... 58
 水質汚濁..... 38
 膵疾患..... 103
 水質基準..... 38
 水腫..... 51
 水晶体..... 40
 水晶体混濁..... 54
 水晶体偏位・脱臼..... 91
 膵神経内分泌腫瘍.....
 103, 120
 水腎症..... 109
 膵石症..... 103
 膵損傷..... 103
 錐体..... 40
 錐体外路徴候..... 59
 錐体路徴候..... 59
 膵・胆管合流異常症..... 103
 垂直感染..... 50
 推定糸球体濾過量..... 65
 推定胎児体重..... 68
 膵島..... 9, 44
 水痘..... 22
 水頭症..... 118
 水痘・帯状疱疹..... 124
 水道法..... 32
 膵内外分泌..... 42
 膵嚢胞性腫瘍..... 103
 膵の構造..... 42
 膵の構造・機能..... 42
 水疱..... 53
 水泡音..... 55
 水疱性類天疱瘡..... 90
 睡眠..... 43
 睡眠障害..... 18, 58, 87
 睡眠時無呼吸症候群.....
 23, 87, 97, 99
 睡眠時無呼吸症候群検査...
 65
 睡眠の質..... 26
 睡眠薬依存・中毒..... 127
 数的異常..... 49
 スキルス型胃癌..... 101
 スクリーニング..... 20
 スクリーニング法... 47, 67
 健やか親子21..... 30
 スtentグラフト内挿術...
 76
 スtent留置(術)... 76, 77
 ストレス..... 49
 ストレス関連疾患の誘発と症
 状増悪..... 49
 ストレス関連障害... 22, 87
 ストレス対策..... 26
 スパイロメトリ..... 65

スピリチュアルペイン... 80
 スピロヘータ..... 11
 スペキュラーマイクロスコ
 ピー..... 66
 スポーツ外傷..... 117
 スポロトリコーシス.....
 90, 125
 座り方..... 16

ず

髄液の分泌・循環・吸収...
 44
 髄液漏..... 117
 髄外造血..... 42
 {随時}血糖..... 9
 髄膜..... 44
 髄膜炎... 24, 59, 85, 113
 髄膜炎菌感染症..... 125
 髄膜癌腫症..... 113
 髄膜刺激症候..... 19, 59
 髄膜腫..... 113
 髄膜瘤..... 85, 118
 頭蓋..... 44
 頭蓋咽頭腫..... 113, 119
 頭蓋腔の構造..... 40
 頭蓋骨骨折..... 117
 頭蓋骨腫瘍..... 113
 頭蓋骨早期癒合症..... 118
 頭蓋骨転移..... 113
 頭蓋・頭蓋腔の構造..... 40
 頭蓋内圧亢進..... 59
 頭蓋内血腫..... 24
 頭蓋内疾患の麻酔..... 74
 頭蓋内出血..... 85
 頭重感..... 18, 59
 頭痛..... 18, 22, 59

せ

精液..... 63
 精液検査..... 111
 精液の性状..... 57
 声音振盪..... 55
 生化学検査..... 20, 63
 性格..... 43
 正確度..... 21
 性格の変化..... 48
 生活環境..... 16, 61
 生活環境因子・職業性因子に
 よる疾患..... 25
 生活環境因子による障害...
 128
 生活環境の評価..... 62
 生活技能訓練..... 78
 生活指導..... 78

生活習慣..... 16, 47, 49
 生活習慣と疾病..... 16
 生活習慣とリスク..... 26
 生活習慣病と保健対策... 36
 生活習慣病の罹患と死亡...
 36
 生活習慣病のリスクファク
 ター..... 26, 36
 生活・職業・社会環境と疾病
 49
 生活の質... 14, 26, 30, 36
 生活の質の改善・維持... 80
 生活のしづらさなどに関する
 調査..... 35
 生活保護法..... 32
 生活様式..... 30
 精管..... 43
 性感染症..... 50, 110
 性器以外..... 46
 性器異物..... 112
 性器外周期..... 43
 性器クラミジア感染症.. 124
 正規雇用..... 37
 性器出血..... 18, 57
 性器の異常..... 86
 性機能不全..... 87
 性器の復古..... 62
 性器の変化..... 46
 性器ヘルペス..... 110
 制御性T細胞..... 45
 清潔操作..... 25
 生検..... 20, 63, 71
 生検検体採取法..... 64
 生検・手術切除検体取扱法...
 64
 性差..... 21
 性索間質性腫瘍..... 110
 精索静脈瘤..... 111
 精索水瘤..... 111
 生歯..... 47
 性嗜好障害..... 88
 性周期..... 43
 生殖器.....
 18, 43, 47, 48, 57
 生殖器異常..... 111
 生殖器外傷..... 79
 生殖器疾患..... 24
 生殖機能..... 16
 生殖器の炎症..... 109
 生殖器の機能異常..... 111
 生殖器の診察..... 19
 生殖器の損傷..... 112
 生殖腺線量..... 52
 生殖毒性..... 51
 生殖補助技術..... 81, 111
 精神..... 43, 47

精神運動興奮	61	性腺機能障害	119	性役割	48
精神運動性興奮	58	性染色体	65	性欲異常	58
精神運動発達	15	精巣	43	生理的黄疸	47
精神科救急	22, 61	精巣炎	109	生理的障害	87
精神科コンサルテーション	81	精巣系	43	生理的体重減少	47
精神機能	18, 43, 57	性早熟症	121	生理的変動	20, 21
精神機能検査	67	精巣上体	43	世界の人口	35
精神機能と身体	43	精巣上体炎	109	世界の保健・医療問題	33
精神作用物質関連精神障害	87	精巣水腫	104	世界保健機関	33
精神作用物質使用による精神 および行動障害	87	精巣・精索水腫	111	セカンドオピニオン	14
精神障害者	36	精巣性女性化症候群	86	赤外線	94, 128
精神障害者社会復帰施設	36	精巣損傷	112	赤芽球瘍	105
精神神経系	44	精巣痛	22	脊索腫	116
精神・心身医学的疾患	22	精巣捻転症	111	脊髄	44
精神状態の評価	19	生存率	50	脊髄外傷	79
精神遅滞	57, 88	声帯	41	脊髄腔造影検査	69
精神・知的・発達障害のリハ ビリテーション	78	生体機能検査	20, 65	脊髄空洞症	118
精神的苦痛	80	生態系と生物濃縮	38	脊髄くも膜下麻酔	75
精神的健康の保持・増進	36	声帯結節	93	脊髄血管系とその支配領域	44
精神発達	48	生体色素	9, 63	脊髄血管障害	115
精神病的障害	87	生体臓器提供	75	脊髄疾患	115
精神分析療法	81	生体弁	75	脊髄腫瘍	115
精神保健	32	声帯ポリープ	93	脊髄症	115
精神保健及び精神障害者福祉 に関する法律	32	正中頸嚢胞	94	脊髄障害	59
精神保健福祉	36	成長曲線	47	脊髄小脳変性症	114
精神保健福祉センター	36	成長スパート	48	脊髄・神経根障害	59
精神保健福祉相談	36	成長速度曲線	47	脊髄性筋萎縮症	114, 118
精神保健福祉法	32	成長軟骨	44	脊髄損傷	24, 77, 117
精神療法	81	成長の評価	46, 47	脊髄動脈系	44
成熟B細胞性腫瘍	105	成長・発達の障害	86	脊髄の奇形	117, 118
成熟T細胞・NK細胞腫瘍	106	成長・発達の評価	61, 62	脊髄の機能局在と主な伝導路	44
成熟徴候	47	成長ホルモン	9	咳喘息	95
成熟乳	46	成長ホルモン分泌不全性低身 長	121	脊柱	19, 44
成熟の診断	62	正当化	69	脊柱管狭窄症	24, 115
正常圧水頭症	113	生と死にかかわる倫理的問題	14	脊柱靱帯骨化症	115
正常画像	40	性同一性障害	88	脊柱の異常	59
星状神経節	40, 75	制度・組織エラー	15	脊柱変形	59
正常組織耐容線量/腫瘍致死 線量	75	成乳	46	赤沈	8, 63
正常組織の放射線感受性	75	青年期	16, 48	脊椎	44, 115
精上皮腫	110	青年期の精神・心身医学的疾 患	88	脊椎圧迫骨折	117
成人Still病	122	成年後見制度	32	脊椎運動制限	59
成人T細胞白血病	106	精嚢	43	脊椎エックス線撮影	12
成人・高齢者保健	32	性発達の異常	18	脊椎カリエス	114
成人の人格・行動障害	88	政府開発援助	34	脊椎骨折	117
成人保健	36	整復	79	脊椎骨端異形成症	115
性腺	44	生物学的製剤	81	脊椎腫瘍	115
		生物学的モニタリング	37	脊椎すべり症	115
		性分化疾患	86	脊椎・脊髄外傷	79
		性分化・性器の異常	86	脊椎・脊髄疾患	115
		性分化・染色体異常	86	脊椎脱臼骨折	117
		成分輸血	73	脊椎分離症	115
		精密度	21	セキュリティ	14
		生命表	35	せつ	90
				切開	77

切開法..... 73
 赤血球..... 8
 赤血球液..... 73
 赤血球凝集抑制試験..... 64
 赤血球系疾患..... 105
 赤血球形態..... 63
 赤血球酵素異常症..... 106
 赤血球浸透圧抵抗試験..... 9
 赤血球の形態・機能..... 42
 赤血球破砕症候群..... 105
 摂食・嚥下訓練..... 77
 摂食機能..... 42
 摂食障害..... 87
 接触皮膚炎..... 22, 89
 切除..... 77
 切除術..... 73
 節足動物による疾患..... 127
 切断..... 77
 切迫早産..... 84
 切迫流産..... 84
 説明義務..... 31
 説明と報告..... 17
 セデーション..... 80
 セミノーマ..... 110
 セラチア感染症..... 125
 線維化マーカー..... 10
 線維筋痛症..... 87, 123
 線維性骨異形成..... 117
 鮮鋭度..... 69
 線エネルギー付与..... 75
 遷延分娩..... 84
 腺癌..... 96
 尖圭コンジローマ.....
 110, 124
 潜血..... 63
 穿孔..... 71
 潜在がん..... 50
 穿刺..... 20, 25, 63
 穿刺液..... 63
 穿刺液検査..... 8
 線質..... 68
 腺腫様甲状腺腫..... 119
 染色体..... 15
 染色体異常..... 49, 86
 染色体異常の原因..... 49
 染色体異常の種類..... 49
 染色体・遺伝子異常..... 86
 染色体検査..... 65
 染色法..... 11, 20, 64
 洗浄..... 79
 洗浄赤血球液..... 73
 線条体黒質変性症..... 114
 選択緘黙..... 88
 選択的動脈造影検査..... 12
 先端巨大症..... 99, 119
 線虫症..... 95

穿通性損傷..... 49
 先天異常..... 49
 先天異常および成長・発達の
 障害..... 86
 先天異常・代謝異常に基づく
 疾患..... 96
 先天異常の検査..... 68
 先天奇形..... 118
 先天性アミノ酸代謝異常症
 121
 先天性下腿偽関節..... 116
 先天性巨大結腸症..... 104
 先天性筋強直性ジストロ
 フィー..... 118
 先天性筋疾患..... 118
 先天性筋ジストロフィー...
 118
 先天性頸嚢胞・瘻..... 94
 先天性血小板機能異常症...
 107
 先天性血栓形成傾向..... 106
 先天性股関節脱臼..... 116
 先天性小腸狭窄・閉鎖症...
 104
 先天性食道閉鎖症..... 104
 先天性心疾患..... 23, 98
 先天性十二指腸閉鎖・狭窄症
 104
 先天性耳瘻孔..... 94
 先天性多発性関節拘縮症...
 115
 先天性胆道拡張症..... 103
 先天性男性ホルモン生成障害
 86
 先天性ネフローゼ症候群...
 108
 先天性表皮水疱症..... 90
 先天性副腎皮質過形成...
 86, 121
 先天代謝異常..... 121
 せん妄..... 58, 87
 線溶異常..... 73
 線溶機能検査..... 63
 線溶系..... 42
 線溶系検査..... 20
 線溶検査..... 8
 線量限度..... 69
 線量当量..... 68
 線量分布図..... 75
 線量率効果..... 75

ぜ

舌..... 42
 舌咽神経痛..... 93
 舌咽神経麻痺..... 93

舌炎..... 93
 舌下..... 72
 舌下神経..... 40
 舌下神経麻痺..... 93
 舌癌..... 93
 絶食試験..... 11
 舌神経..... 40
 舌苔..... 56
 絶対禁忌と相対禁忌..... 70
 絶対的不整脈..... 56
 舌の異常..... 56
 全眼球炎..... 92
 前眼部の疾患..... 91
 前期破水..... 84
 前駆陣痛..... 46
 全収縮期雑音..... 55
 前処置とその合併症..... 71
 全身倦怠感..... 17, 53
 全身倦怠感の治療とケア...
 80
 全身疾患に伴う腎疾患... 108
 全身症候..... 17, 53
 全身振動..... 38
 全身性..... 122
 全身性アミロイドーシス...
 120
 全身性エリテマトーデス...
 24, 108, 122
 全身性強皮症..... 108, 122
 全身性疾患に伴う肺病変...
 95
 全身の外観..... 19
 全身の診察..... 19
 全身の復古..... 46, 62
 全身の変化..... 46
 全身浮腫の治療とケア... 80
 全身麻酔..... 74
 全身療法..... 79
 前縦隔..... 41
 前陣痛..... 46
 全人的苦痛..... 25
 全人的苦痛の緩和..... 80
 全人的苦痛の種類と原因...
 80
 前置血管..... 84
 前置胎盤..... 84
 前徴..... 46
 前庭神経炎..... 92
 前庭窓..... 40
 前庭の異常..... 92
 前庭反射..... 40
 前庭平衡系の構造・機能...
 40
 前庭路..... 44
 前頭蓋窩..... 40
 前頭骨骨折..... 94

前頭側頭型認知症 . . . 87, 114
 前頭葉機能検査 67
 前頭葉てんかん 115
 全般性不安障害 87
 全般てんかん 115
 前部ぶどう膜炎 91
 喘鳴 17, 22, 55
 前立腺 43
 前立腺炎 109
 前立腺癌 24, 110
 前立腺経直腸超音波検査 12
 前立腺肥大症 24, 110
 前臨床期 49
 前弯 59

そ

躁うつ病 22, 87
 騒音障害 128
 騒音・振動の健康影響と対策 38
 騒音性難聴 38, 92, 128
 騒音の生理的・心理的影響 38
 騒音の聴器・聴覚への影響 38
 早期がん 50
 早期産児 85
 早期死体現象 52
 早期焼痂切除 79
 早期相 70
 早期破水 84
 双極性障害 22, 87
 装具 77
 総コレステロール 9
 相互参加医療 14
 早産 22, 84
 創傷 128
 創傷治癒に影響する因子 49
 創傷の治癒過程 49
 創傷の治療・処置 79
 創傷被覆・保護材 75
 相乗 72
 躁状態 18, 58
 巣状分節性糸球体硬化症 108
 双胎間輸血症候群 85
 相対危険度 21, 35
 総タンパク 9
 総鉄結合能 9
 総動脈幹症 98
 挿入 71
 壮年期 16
 創の消毒 25

創の被覆 25
 総肺静脈還流異常症 98
 早発閉経 111
 総ビリルビン 9
 創閉鎖 79
 僧帽弁逸脱症候群 98
 僧帽弁狭窄症 98
 僧帽弁疾患 98
 僧帽弁閉鎖不全症 98
 僧帽弁膜症 23
 そう痒 17, 53
 足関節捻挫 117
 側臥位 19
 側頸嚢胞 94
 塞栓 51
 塞栓症 118
 促通訓練 77
 測定 68
 側頭骨骨折 94
 側頭動脈炎 122
 側頭葉てんかん 115
 速脈 56
 側弯 59
 側弯症 115
 鼠径ヘルニア 24, 103, 104
 阻血 51
 素行障害 88
 組織 40
 組織移植 25, 75
 組織球および樹状細胞腫瘍 106
 組織診 20
 組織適合検査 10
 組織適合(性)抗原 45, 64
 組織内照射 76
 組織の加齢現象 48
 組織の機能低下 48
 組織反応 50
 組織バンク 75
 咀嚼 42
 咀嚼機能障害 77
 咀嚼障害 56
 蘇生的投与速度・量 78
 蘇生的輸液療法 22
 疎通性障害 58
 その他 56, 59, 98, 115, 117, 118
 その他の異常 109
 その他の機能障害 120
 その他の血管性障害 113
 その他の月経異常 111
 その他の疾患 121
 その他の職業性疾患 128
 その他の神経の異常 93
 その他の新生児疾患 85

その他の重要な小児領域の疾患 104, 106, 118, 121, 123
 その他の造影検査 69
 その他の代謝異常 120
 その他の治療法 81
 その他の内分泌疾患 119
 その他の難産 84
 その他の尿路・生殖器異常 111
 その他の排尿の異常 57
 その他の皮膚疾患 90
 その他の病原体 125
 その他の病原体による感染症 125
 その他の複雑心奇形 98
 その他の婦人科腫瘍 110
 その他のマニュアル 15
 その他の類縁疾患 123
 尊厳死 26
 損傷 22, 49, 94, 101, 103
 存続絨毛症 110
 尊重 16

ぞ

造影 21
 造影CT 12, 69
 造影MRI 12, 70
 造影効果 69, 70
 造影剤 69
 造影剤腎症 69
 造影剤と副作用 70
 造影磁気共鳴画像検査 70
 造影超音波診断法 68
 臓器腫大 56
 臓器障害の状態把握 61
 臓器・組織移植 25
 臓器・組織・細胞移植 75
 臓器提供 75
 臓器の移植に関する法律 31
 臓器不全 51
 増強 55
 造血 48
 造血因子 42
 造血幹細胞 42
 造血器 18, 42, 47, 57
 造血器疾患 24
 造血器の構造・機能 42
 造血ビタミンの代謝 42
 造血不全症 105
 増殖因子 42
 造精機能 43
 続発性 96, 120

続発性アミロイドーシス... 105
続発性免疫不全症... 123

た

タール便... 56
体位... 74
胎位... 46, 62
胎位・胎向の診断... 62
胎位の異常... 84
退院時要約... 14
体液... 47
体液喪失... 51
体液の分布と組成... 43
体温... 19, 47, 74
体温異常に対する救急処置... 22
体温管理療法... 22
体格... 37
体格の評価... 19
胎芽... 46
体外衝撃波結石破砕術... 81
体外受精-胚移植... 81
大気汚染... 38
体型... 19
帯下... 57
胎向... 46, 62
胎向の診断... 62
体細胞遺伝子検査... 65
対策... 72
体質性黄疸... 104, 120
代謝... 18, 41, 44, 47, 48, 60, 72
代謝異常に基づく疾患... 96
代謝機能... 11
代謝機能検査... 21, 65
代謝経路... 44
代謝疾患... 24, 61
代謝性合併症... 72
代謝性骨疾患... 115
代謝性疾患... 102, 103, 114
代謝性反応... 50
代謝調節... 44
代謝と栄養... 44
代謝と内分泌... 44
代謝の異常... 51
大食症... 87
対処行動... 17
胎児... 46
胎児異常... 85
胎児下降度の診断・表現法... 62
胎児機能不全... 80, 85
胎児血液検査... 68
胎児・新生児期... 15

胎児・新生児の異常... 18, 85
胎児・新生児の診察と評価... 62
胎児心拍数陣痛図... 62, 67, 68, 85
胎児心拍数の測定... 62
胎児水腫・胸水・腹水... 85
胎児性アルコール症候群... 127
胎児成熟度検査... 68
胎児・胎盤系... 46
胎児・胎盤循環... 46
胎児中大脳動脈最大血流速度... 85
胎児の位置の診断... 62
胎児の形態... 46
胎児の検査... 67
胎児の健全性<健全性、fetal well-being>の検査... 68
胎児の診察... 62
胎児の発育... 15, 46
胎児発育・成熟の検査... 68
胎児発育不全... 85
胎児付属物... 46
胎児付属物の診察... 62
胎児への影響... 127
胎児ヘモグロビン... 47
胎児母体間輸血症候群... 85
体重... 19, 47
体重減少・増加... 17, 53
体重増加不良... 18
他医受診... 17
体循環... 41
胎勢... 46, 62
体性感覚系の構造・機能... 41
耐性菌... 95
体性痛... 56
苔癬化... 53
体調への配慮... 16
タイトレーション... 80
胎動... 62, 68
胎盤... 46
胎盤嵌頓... 84
胎盤機能不全... 84
胎盤系... 46
胎盤形態異常... 84
胎盤・臍帯・羊水の検査... 68
胎盤・臍帯・羊水の診断... 62
胎盤循環... 46
胎盤の異常... 84
胎盤の位置... 62
胎盤剝離徴候... 62

胎盤娩出... 46
胎便... 47
胎便吸引症候群... 85
胎便性腹膜炎... 104
大麻精神病... 87
体毛の異常... 60
体力... 37
多因子遺伝... 49
他覚的聴力検査... 66
高安動脈炎... 99, 122
多汗症... 90
多形滲出性紅斑... 89
多形腺腫... 94
多系統萎縮症... 114
多形皮膚萎縮... 53
多国間協力... 34
多指症... 116
多疾患合併... 48
多職種連携教育... 31
多数傷病者事故... 22
多臓器機能障害症候群... 74
多臓器不全... 51, 74, 79
多胎... 85
多胎妊娠... 84
多胎分娩... 84
立ち直り反射... 47
多動... 58
多動性障害... 88
田中・Binet知能検査... 67
多尿... 18, 57
多嚢胞性卵巣症候群... 111, 119
他の気管支・肺腫瘍... 96
他のよく定義された免疫不全症... 123
多発外傷... 79
多発血管炎性肉芽腫症... 95, 108, 122
多発性筋炎... 115, 122
多発性硬化症... 114
多発性骨髄腫... 105
多発性内分泌腫瘍症... 120
多発性軟骨性外骨腫... 116
多発単ニューロパチー... 114
多発ニューロパチー... 114
タバコ依存... 127
タバコ煙... 127
タバコ煙中の有害物質... 127
多脾症... 98
多分割照射... 76
多毛... 60
多門照射... 76
単位... 68
単一遺伝子病... 49
胆管... 68
胆管炎... 24, 103

胆管癌..... 103
 胆管造影検査..... 69
 単球..... 45
 探索..... 16
 探索反射..... 47
 単心室..... 98
 単心房..... 98
 胆汁うっ滞型..... 102
 胆汁および胆汁分泌..... 42
 胆汁酸..... 42
 単純..... 21
 単純性イレウス..... 103
 単純性血管腫..... 89
 単純性甲状腺腫..... 119
 単純性紫斑..... 106
 単純性腎嚢胞..... 111
 単純性肥満..... 120
 単純・造影CT..... 12
 単純・造影MRI..... 12
 単純部分発作..... 115
 単純ヘルペスウイルス感染症..... 124
 単純ヘルペス脳炎..... 113
 胆石..... 76
 胆石症..... 24, 103
 単染色..... 64
 短腸症候群..... 101
 タンデムマス・スクリーニング..... 68
 胆道..... 70, 76
 胆道機能検査..... 65
 胆道疾患..... 103
 胆道損傷..... 103
 胆道造影検査..... 69
 胆道の異常..... 104
 胆道の構造..... 42
 胆道の構造・機能..... 42
 胆道閉鎖症..... 104
 丹毒..... 90
 単ニューロパチー..... 114
 胆嚢炎..... 24, 103
 胆嚢癌..... 103
 胆嚢収縮の調節..... 42
 胆嚢腺筋腫症..... 103
 胆嚢・胆管造影検査..... 69
 胆嚢ポリープ..... 103
 タンパク..... 63
 タンパク・アミノ酸代謝異常..... 120
 タンパク{質}代謝の異常..... 51
 タンパク・タンパク分画..... 9
 タンパク定量..... 8
 タンパク尿..... 18, 57
 タンパク分画..... 9, 20, 42, 63

タンパク漏出試験..... 65
 単発性骨嚢腫..... 117

だ

ダーモスコピー..... 66
 第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ相試験..... 14
 第1期..... 46
 第2期..... 46
 第3期..... 46
 第Ⅷ因子..... 106
 第Ⅸ因子..... 106
 第1～4回旋..... 46
 大横径..... 68
 ダイオキシシン類..... 38
 大規模災害..... 22
 大血管..... 41
 大血管障害..... 120
 大後頭孔..... 40
 大細胞癌..... 96
 大細胞神経内分泌癌..... 96
 大泉門..... 47
 大腿..... 22
 大腿骨近位部骨折..... 117
 大腿骨長..... 68
 大腿骨頭すべり症..... 116
 大腿ヘルニア..... 103
 大腸癌..... 23
 大腸菌感染症..... 125
 大腸憩室..... 102
 大腸腺腫..... 101
 大腸ポリープ..... 101
 大頭..... 59
 大動脈炎症候群..... 99, 122
 大動脈解離..... 99
 大動脈疾患..... 99
 大動脈縮窄症..... 98
 大動脈弁狭窄症..... 98
 大動脈弁疾患..... 98
 大動脈弁閉鎖不全症..... 98
 大動脈弁膜症..... 23
 大動脈弁輪拡張症..... 99
 大動脈離断症..... 98
 大動脈瘤破裂..... 23
 ダイナミックCT..... 69
 ダイナミックMRI..... 70
 大脳基底核とその連絡路..... 44
 大脳皮質基底核変性症..... 114
 大脳皮質と機能局在..... 44
 代表値とばらつき..... 35
 大脈..... 56
 大理石骨病..... 115
 唾液..... 42
 唾液腺..... 19, 42

唾液腺炎..... 94
 唾液腺癌..... 94
 唾液腺疾患..... 93
 唾液腺造影検査..... 69
 唾液腺の異常..... 94
 唾液腺良性腫瘍..... 94
 唾液分泌異常..... 56
 唾液分泌検査..... 11, 65
 打診..... 19
 唾石症..... 94
 堕胎..... 31
 脱臼..... 117
 脱臼の治療・処置..... 79
 脱水..... 17, 53
 脱水と浮腫..... 109
 脱髄疾患..... 114
 脱髄性疾患..... 114
 脱毛..... 53, 60
 脱毛症..... 90
 妥当性..... 35
 ダニ..... 127
 ダブルバブルサイン..... 104
 ダブルバルーン内視鏡..... 70
 ダメージコントロール..... 79
 男性..... 19
 男性化徴候..... 60
 男性型脱毛症..... 90
 男性性機能の異常..... 57
 男性生殖器腫瘍..... 110
 男性生殖器の炎症..... 109
 男性生殖器の形態異常..... 111
 男性生殖器の構造・機能..... 43
 男性生殖器の腫瘍..... 110
 弾性線維性偽性黄色腫..... 121
 男性不妊症..... 111
 ダンピング症候群..... 101

ち

チアノーゼ..... 17, 56
 地域移行..... 36
 地域医療..... 32
 地域医療構想..... 33
 地域医療支援病院..... 31
 地域医療支援病院の整備..... 33
 地域医療でのチームワーク..... 26
 地域医療搬送..... 33
 地域産業保健センター..... 38
 地域社会構造..... 30
 地域社会と公衆衛生..... 35
 地域生活支援センター..... 78
 地域精神保健福祉活動..... 36
 地域包括ケア..... 33

地域包括ケアシステム . . . 30	注意欠陥多動障害 88	聴覚の電気現象 40
地域包括支援センター . . . 30	注意障害 58	聴覚・平衡機能検査 66
地域保健 31, 32	中咽頭 42	腸管出血性大腸菌感染症 . . .
地域保健・地域医療と医師の 役割 32	中咽頭癌 94 125
地域保健福祉活動 31	肘関節の疾患 116	腸管軸捻転症 103
地域保健法 31	中間痛 57	腸肝循環 42
地域リハビリテーション . . .	注射 25, 72	腸管洗浄 71
. 77	中心静脈栄養 72	腸間膜静脈血栓症 103
地域連携クリニカルパス . . .	中心性漿液性脈絡網膜症 . . .	腸間膜動脈閉塞症 103
. 33 92	腸管無神経節症 104
チームアプローチ 80	中心・側頭部に棘波をもつ良 性小児てんかん 118	聴器 40
チーム医療 25, 26	中耳 40, 70	長期透析患者の合併症 . . 109
遅延相 70	中耳奇形 94	腸球菌感染症 124
知覚 43	中耳疾患 92	腸結核 101
知覚障害 58	中耳の異常 92	調査的態度 16
地球温暖化 38	中縦隔 41	腸雑音 19
地球環境の変化と健康影響 . .	虫垂炎 101	聴診 19
. 38	中枢性免疫系臓器 45	聴神経腫瘍 93
蓄尿 43	中枢 44	腸重積症 24, 104
蓄尿症状 57	中枢神経 48	調整 16
治験審査委員会・倫理審査委 員会<IRB> 14	中枢神経作用薬 72	腸性肢端皮膚炎 121
治験と倫理性 14	中枢神経・末梢神経の構造・ 機能 44	聴性脳幹反応 65, 66
恥骨結合離開 84	中枢性 97	調節 40
知識レベル 27	中枢性性早熟症 119	調節異常 91
致命的骨折の固定法 22	中枢性摂食異常症 119	調節検査 66
致命的な病態・疾患・外傷の 鑑別 21	中枢性尿崩症 119	腸洗浄 79
致死的不整脈の治療 78	中腸軸捻転 104	腸チフス 125
致死量 51	注腸造影検査 12	腸内細菌叢 42
膣 43	中頭蓋窩 40	腸閉塞 24
膣炎 109	中毒 51, 114	聴力 40, 47
膣癌 110	中毒疹 89	聴力障害 17
チック 59	中毒性疾患 114	聴力の検査 19
チック障害 88	中毒性腎障害 108	直接・間接Coombs試験 . . 10
膣欠損症 86	中毒性表皮壊死症 89	直接・間接生活介護 31
窒息 79	中毒の発生要因 51	直接ビリルビン 9
膣脱 111	中毒の病態生理 51	直線加速器 76
腔内照射 76	中毒量 51	直腸 70, 72, 78
腔分泌物 63	肘内障 116	直腸癌 101
腔裂傷 84	肘部管症候群 114	直腸・肛門疾患 101
知的障害 57, 88	チューブ抜去 15	直腸・肛門の異常 104
知的障害者福祉法 32	昼盲 54	直腸肛門反射 42
知的障害のリハビリテーショ ン 78	虫卵 8, 63	直腸脱 101
知能 43	中和試験 64	直腸腔瘻 112
知能検査 67	腸炎ピブリオ感染症 125	直腸瘤 111
知能指数 47	超音波下治療 76	治療 15, 22, 25
知能障害 57	超音波検査	治療関連白血病 105
遅発性内リンパ水腫 92 12, 21, 67, 68	治療計画 76
地方衛生研究所 30	超音波所見 68	治療効果判定 20
遅脈 56	超音波ドプラ法 68	治療に伴う医原病 52
着床 46	超音波内視鏡 70	治療の基本 25
注意義務 31	腸回転異常症 104	治療への動機付け 17
注意欠陥 58	聴覚系の構造・機能 40	治療薬物モニタリング . . 72
	聴覚生理 40	陳旧性心筋梗塞 99
	聴覚・前庭路 44	沈渣 63
		鎮静 80
		鎮痛補助薬 80

鎮痛薬..... 71

つ

椎間板..... 44
 椎間板炎..... 113
 椎間板造影検査..... 69
 椎間板ヘルニア... 24, 115
 椎骨・脳底動脈領域..... 44
 椎体炎..... 113
 墜落..... 49
 痛覚..... 19, 41
 通過障害..... 56
 通所介護..... 30
 通所リハビリテーション...
 30
 通常分割照射..... 76
 痛風... 24, 116, 120, 122
 痛風腎..... 108
 杖..... 77
 突き指..... 117
 槌指..... 117
 ツツガ虫病..... 124
 津波..... 22
 ツベルクリン反応... 10, 64
 爪の異常..... 53
 爪・毛髪異常..... 53
 津守・稲毛式発達検査... 67
 ツルゴール..... 53

て

手足口病..... 124
 低CO₂血症..... 55
 低O₂血症..... 55
 定位放射線照射..... 76
 低栄養..... 51
 低エコー域..... 68
 帝王切開..... 80
 帝王切開後分娩..... 84
 低温・高温環境による疾患
 128
 低カルシウム血症..... 85
 啼泣異常..... 18
 提供者と被移植者..... 75
 低血圧..... 51, 56
 低血糖..... 85
 低血糖昏睡..... 61
 低血糖症..... 120
 抵抗..... 41
 低ゴナドトロピン性性腺機能
 低下症..... 119
 低酸素血症..... 55
 低酸素脳症..... 114
 低在横定位..... 84
 低周波空気が振動..... 38

低出生体重児..... 85
 低身長..... 60
 定性..... 63
 低体温{症}..... 22, 79, 85
 低体温療法..... 74
 低タンパク血症..... 120
 低二酸化炭素血症..... 55
 停留精巣..... 111
 定量..... 63
 適応... 69, 70, 72, 75, 76
 適応障害..... 87, 127
 適応と一般的注意..... 73
 適応と禁忌..... 69, 71, 72
 適応と採血法..... 20
 適応能力の低下..... 48
 笛音..... 55
 摘出術..... 73
 適正使用..... 73
 テストステロン..... 9
 鉄過剰症..... 105
 鉄欠乏性貧血... 24, 84, 105
 徹照法..... 66
 鉄染色..... 63
 鉄・造血ビタミンの代謝...
 42
 鉄代謝障害..... 105
 テニス肘..... 116
 手の疾患..... 116
 テロ..... 22
 転移..... 51
 転移がん..... 50
 転移性肝癌..... 102
 転移性骨腫瘍..... 116
 転移性腫瘍..... 99, 110
 転移性脳腫瘍..... 113
 転移性肺腫瘍..... 96
 てんかん..... 24, 118
 転換..... 58
 てんかん重積状態..... 115
 転換性障害..... 87
 点眼..... 72
 転座..... 49
 点状出血..... 57
 転倒..... 15, 48, 49
 點頭てんかん..... 118
 転倒・転落..... 15
 点鼻..... 72
 天疱瘡..... 90
 転落..... 15, 49

で

デイケア..... 30, 78
 デイサービス..... 30
 デジタルサブトラクション
 血管造影検査..... 12

デジタルラジオグラフィ...
 69
 デキサメタゾン抑制試験...
 11
 溺水..... 22, 79
 溺水の治療・処置..... 79
 デスカンファレンス..... 81
 デブリドマン..... 79
 デルマトーム..... 44
 デルマドローム..... 53
 伝音機構..... 40
 伝音難聴..... 54
 電解質..... 9, 63
 電解質の異常..... 109
 電解質の代謝調節..... 43
 電解質の評価..... 61
 電解質分析..... 61
 電気けいれん療法..... 81
 電気ショック..... 78
 電気治療..... 81
 電気味覚検査..... 67
 デング熱..... 124
 電頭標本..... 11
 電撃..... 15
 電撃傷..... 49, 94
 電撃症..... 61
 電子カルテ..... 14
 電子顕微鏡による病理検査...
 64
 電子スコープ..... 70
 伝染性紅斑..... 84, 124
 伝染性単核(球)症..... 106
 伝染性軟属腫..... 124
 伝染性膿痂疹..... 90
 伝達麻酔法..... 75
 癩風..... 90, 125
 電離放射線..... 68, 94
 電離放射線障害..... 128
 電離放射線の健康影響... 38

と

頭囲..... 47
 頭位・頭位変換眼振..... 67
 頭囲の異常..... 59
 頭位変換眼振..... 67
 透過性亢進型肺水腫..... 96
 統計解析..... 35
 頭頸部..... 17, 40, 54
 頭頸部疾患..... 22
 頭頸部の診察..... 19
 頭頸部の生理的間隙..... 40
 頭頸部の先天異常..... 94
 頭血腫..... 85
 凍結切片..... 64
 凍結治療..... 77

凍結療法 81
 糖原病 121
 橈骨遠位端骨折 117
 統合失調感情障害 87
 統合失調症 22, 87
 統合失調症と類縁疾患 ... 87
 透視装置 68
 糖質および糖代謝関連物質
 63
 糖{質}・脂質・タンパク{質}
 代謝(核酸代謝を含む)の異
 常 51
 糖{質}代謝異常 ... 120, 121
 凍傷 49, 79, 94, 128
 透析アミロイドーシス .. 109
 糖代謝異常 120
 糖代謝関連 9
 疼痛 19, 53
 疼痛緩和の薬物療法
 26, 80
 疼痛性障害 22
 疼痛のアセスメント
 25, 80
 疼痛の管理 75
 糖定量 8
 頭殿長 68
 糖尿 57, 60
 糖尿病 24, 84, 120
 糖尿病ケトアシドーシス ...
 120
 糖尿病・高血圧・動脈硬化に
 よる眼底変化 23
 糖尿病神経障害 120
 糖尿病腎症 ... 24, 108, 120
 糖尿病性昏睡 61
 糖尿病性浮腫性硬化症 ... 91
 糖尿病足病変 120
 糖尿病の高血糖緊急症 .. 120
 糖尿病の慢性合併症 ... 120
 糖尿病網膜症 92, 120
 逃避的態度 16
 頭部 19
 頭部エックス線撮影 12
 頭部外傷 .. 24, 77, 79, 117
 投与経路と種類の特徴 ... 72
 投与方法 78
 トータルヘルスプロモーショ
 ンプラン 37
 トータルペイン 25
 トータルペインの種類と原因
 80
 兎眼{症} 91
 トキシックショック症候群
 125
 トキシドローム 61
 トキソプラズマ抗体 10

トキソプラズマ症 126
 特異的IgE 10
 特異的IgE検査 64
 特異的発達障害 88
 特異度 21
 特殊疾患の麻酔 74
 特殊な治療法 79
 特定機能病院 31
 特定健康診査 36
 特定行為 33
 特定保健指導 36
 特発性 96
 特発性間質性肺炎 96
 特発性器質性肺炎 96
 特発性細菌性腹膜炎 ... 102
 特発性心筋症 99
 特発性正常圧水頭症 ... 118
 特発性大腿骨頭壊死症 .. 116
 特発性尿細管性タンパク尿
 109
 特発性肺線維症 96
 特発性門脈圧亢進症 ... 102
 特別養護老人ホーム 31
 特別用途食品 37
 吐血 18, 56
 徒手筋力テスト 19
 閉じ込め症候群 58
 閉じこもり 36
 突然死 52
 突発性難聴 92
 突発性発疹 124
 都道府県労働局 38
 届出 37
 塗抹 11
 トラコーマ 124
 トリアージ 21, 22, 33
 取扱法 64
 トリグリセリド 9
 トリコモナス症 126
 トリコモナス膣炎 109
 トルコ鞍 40
 トレーサー原理 70
 トロンビン・アンチトロンビ
 ン複合体 8
 トロンボポエチン 42

ど

同意書 15
 同意撤回書 15
 同意の条件 75
 動眼神経麻痺 91
 動悸 17
 同期 78
 同期式間欠的強制換気 ... 81
 動機付け 16

洞結節 41
 瞳孔 40
 同種移植 75
 同種生体弁 75
 同種輸血と自己輸血 73
 動態検査 70
 動注化学療法 76
 動注リザーバー留置 76
 同定 11
 洞不全症候群 98
 動物性皮膚疾患 90
 動脈 20
 動脈化学塞栓療法 76
 動脈管 46
 動脈管開存症 98
 動脈血 63
 動脈血ガス分析
 11, 20, 65
 動脈血酸素飽和度 61
 動脈血栓 57
 動脈硬化 111
 動脈硬化による眼底変化...
 23
 動脈採血 25
 動脈塞栓術 76
 動脈優位相 69
 動脈瘤 76
 動脈瘤コイル塞栓術 76
 動脈瘤様骨嚢腫 117
 動揺病 93, 128
 毒劇物中毒 127
 毒劇物咬傷 127
 ドクターカー 33
 ドクターヘリ 33
 毒物及び劇物取締法 31
 毒物と代謝産物 63
 毒物の吸収・分布・代謝・排
 泄 51
 土壌汚染 38
 ドナーと被移植者 75
 ドブラ法 65, 68
 ドレナージ 73
 呑酸 56
 鈍的外傷 49
 鈍的眼外傷 94

な

ナイアシン欠乏 120
 内因と外因 49
 内頸動脈海綿静脈洞瘻 .. 113
 内頸動脈領域 44
 内喉頭筋 41
 内視鏡下手術 77
 内視鏡検査 12, 21, 70

内視鏡検査の基本手技と合併症 71

内視鏡検査の適用部位 ... 70

内視鏡治療 25, 77

内視鏡的鉗子生検 64

内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査 12, 69

内視鏡的止血術 78

内視鏡的超音波検査 12

内視鏡的粘膜切除 64

内視鏡の種類と原理 70

内耳 40

内耳炎 92

内耳奇形 94

内耳・神経疾患 92

内耳道 40

内耳の異常 92

内臓心房錯位 98

内臓痛 56

内的妥当性 21

ナイトケア 78

ナイトホスピタル 78

内軟骨腫 116

内反膝 116

内反足 116

内反肘 116

内部障害 78

内{部}照射療法 76

内分泌 16, 18, 44, 47, 48, 60

内分泌異常による低血糖 ... 120

内分泌異常による貧血 ... 105

内分泌かく乱化学物質 ... 38

内分泌器官 44

内分泌器官の構造・機能 ... 44

内分泌機能 46

内分泌機能検査 65

内分泌機能の変化 49

内分泌系と免疫系・精神神経系 44

内分泌腫瘍 120

内分泌性高血圧症 99

内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患 24

内分泌・代謝・栄養の異常 51

内分泌・代謝機能 11

内分泌・代謝機能検査 21, 65

内分泌・代謝疾患 61

内分泌代謝疾患の麻酔 ... 74

内分泌・代謝性ミオパチー 115

内分泌の異常 86

内リンパ嚢 40

泣き入りひきつけ 118

ナトリウム代謝異常 109

生ワクチンと不活化ワクチン 37

ナルコレプシー 87

軟エックス線撮影 12

軟口蓋麻痺 93

軟骨 44

軟骨肉腫 116

軟骨無形成症 115

軟産道 46

軟性下疳 125

難聴 17, 54

難病対策 32

難病の患者に対する医療等に関する法律 32

難病法 32

軟部腫瘍 116

に

二国間協力 34

肉眼的所見 8

肉芽腫症 91

肉芽組織 49

肉離れ 117

ニコチン酸欠乏 120

ニコチン代替療法 127

二次感染 50

二次救急医療 33

二次救命処置 21

二次・三次救急に必要な処置 78

二次・三次救急の診察 ... 61

二次・三次救急の治療 ... 78

二次情報 21

二次性血小板減少症 106

二次性高血圧 99

二次性高脂血症 120

二次性腫瘍 110

二次性心筋疾患 99

二次性赤血球増加症 105

二次性徴 48

二次性徴の評価 62

二次性糖尿病 120

二次性認知症 58

二次性脳障害 79

二次性白血病 105

二次性貧血 24, 105

二次性膜性腎症 108

二次治癒 49

日常生活障害 48

日常生活動作 36, 61

日常生活動作訓練 77

日光角化症 89

二分脊椎 118

二分頭蓋 118

日本住血吸虫症 102

日本臓器移植ネットワーク 75

日本脳炎 124

日本の人口 35

日本版Denver式 67

入院 37

入院診療計画書 14

乳管癌 121

乳管内乳頭腫 121

乳癌 24, 121

乳酸アシドーシス 120

乳児化膿性股関節炎 ... 114

乳児期 47

乳児健康診査 36

乳児下痢症 23, 104

乳児死亡 36

乳幼児突然死症候群 ... 52

乳児の救急治療・処置 ... 80

乳汁分泌 46, 62

乳汁分泌の機序 46

乳汁分泌不全 84

乳汁漏出 60

乳汁漏出症 111

乳腺 41

乳腺炎 84, 121

乳腺疾患 18, 24

乳腺症 121

乳腺線維腺腫 121

乳腺・乳房疾患 121

乳腺の異常 60

乳腺葉状腫瘍 121

乳糖不耐症 120

乳糖分解酵素障害症 ... 120

乳突洞 40

乳突洞削開術 92

乳び胸 97

乳び尿 57

乳房 19, 41

乳房Paget病 121

乳房外Paget病 89

乳房疾患 121

乳房超音波検査 12

乳房のしこり・左右差・皮膚の陥凹 18

ニューモシスチス肺炎 ... 95, 125

乳幼児の栄養マネジメント 72

乳幼児の救急時の状態把握 61

乳幼児の採血と穿刺法 ... 63

乳幼児の診察 61

乳幼児の難聴 92

尿..... 63
 尿意切迫感..... 57
 尿管..... 43, 70
 尿管癌..... 110
 尿管結石..... 109
 尿管腔瘻..... 112
 尿管瘤..... 111
 尿検査..... 8, 20
 尿細管..... 43
 尿細管間質疾患..... 108
 尿細管機能異常..... 108
 尿細管性アシドーシス .. 108
 尿細管病変..... 108
 尿細胞診..... 8
 尿酸..... 9
 尿酸腎症..... 108
 尿失禁..... 57
 尿潜血..... 8
 尿線途絶..... 57
 尿勢低下..... 57
 尿素呼吸試験..... 64
 尿素サイクル異常症 .. 121
 尿素窒素..... 9
 尿タンパク..... 8
 尿タンパク・酵素..... 65
 尿中アルブミン..... 65
 尿中・血清抗体..... 64
 尿中抗原..... 64
 尿中ホルモン..... 10
 尿中ホルモン測定..... 65
 尿沈渣所見..... 8
 尿糖..... 8
 尿道..... 43, 70
 尿道炎..... 109
 尿道カテーテルの挿入 .. 25
 尿道カルンクル..... 110
 尿道下裂..... 111
 尿道癌..... 110
 尿道結石..... 109
 尿の性状の異常..... 57
 尿の生成..... 43
 尿の濃縮と希釈..... 43
 尿の量の異常..... 57
 尿閉..... 22, 57
 尿膜管遺残..... 104
 尿膜管癌..... 110
 尿流測定..... 65
 尿量..... 8
 尿路..... 76
 尿路異常..... 111
 尿路感染症..... 24
 尿路結石..... 24, 109
 尿路・性器異物..... 112
 尿路・生殖器の機能異常 ..
 111
 尿路・生殖器の損傷..... 112

尿路損傷..... 112
 尿路造影検査..... 69
 尿路の炎症..... 109
 尿路の形態異常..... 111
 尿路の構造・機能..... 43
 尿路の腫瘍..... 110
 尿路閉塞性疾患..... 109
 妊・産・褥婦と胎児の診察 ..
 62
 妊産婦健康診査..... 36
 妊産婦死亡..... 36
 妊・産婦の栄養マネジメント ..
 72
 妊娠..... 15, 46
 妊娠維持の機構..... 46
 妊娠期間..... 46
 妊娠高血圧症候群 .. 22, 84
 妊娠・周産期の異常..... 22
 妊娠・出産・育児と労働 ..
 49
 妊娠初期の異常..... 84
 妊娠時期と放射線感受性 ..
 51
 妊娠時期の診断..... 62
 妊娠持続期間..... 46
 妊娠時の異常..... 57
 妊娠中・後期の異常..... 84
 妊娠中の検査..... 67
 妊娠徴候..... 46
 妊娠悪阻..... 57, 84
 妊娠糖尿病..... 84, 120
 妊娠による母体変化..... 46
 妊娠の異常..... 18, 84
 妊娠の検査..... 67
 妊娠の診断..... 62
 妊娠の成立・維持..... 46
 妊娠反応..... 8, 67
 妊娠貧血..... 84
 妊娠・分娩・胎児・新生児の ..
 検査..... 67
 認知機能..... 61
 認知機能の低下..... 48
 認知行動療法..... 81
 認知症..... 24, 57, 87, 114
 認知リハビリテーション ..
 77
 妊婦..... 19, 72
 妊婦健康診査..... 62
 妊婦・胎児への影響..... 127
 妊婦の栄養..... 46
 妊婦の診察..... 62
 妊卵..... 46

ね

ネコ鳴き症候群..... 86

鼠族・昆虫による疾患.. 127
 熱傷.....
 22, 49, 61, 94, 128
 熱傷指数..... 79
 熱傷の治療・処置..... 79
 熱傷面積の評価..... 79
 熱性けいれん..... 24, 118
 熱中症..... 25, 79, 128
 ネフローゼ症候群..... 24
 粘液腫..... 99
 粘液性嚢胞腫瘍..... 103
 (粘)血便..... 18
 捻挫..... 117
 捻挫・骨折・脱臼の治療・処 ..
 置..... 79
 捻転ジストニア..... 114
 捻髪音..... 55
 粘膜..... 17, 72, 122
 粘膜関連リンパ組織..... 45
 粘膜関連リンパ組織リンパ腫 ..
 102, 105
 粘膜疹..... 17, 53
 粘膜波動..... 41
 年齢差..... 21
 年齢調整率..... 35
 年齢に応じた麻酔法..... 74

の

脳..... 44
 膿..... 63
 脳圧管理..... 74
 脳炎..... 24, 113
 脳幹..... 44
 脳器質精神症候群..... 58
 膿胸..... 95
 脳血管疾患..... 127
 脳血管障害.....
 56, 61, 77, 113
 脳血管性認知症.... 87, 113
 脳血管攣縮..... 113
 濃厚血小板..... 73
 脳梗塞..... 24, 113
 脳挫傷..... 117
 脳死..... 25
 脳死下での臓器提供..... 75
 脳室..... 44
 脳室ドレナージ..... 78
 脳死判定..... 25
 嚢腫..... 53
 脳出血..... 24
 脳腫瘍..... 113
 脳症..... 24
 脳神経..... 19, 44
 脳神経障害..... 59
 脳振盪..... 117

脳実質外腫瘍 113
 脳実質内腫瘍 113
 脳静脈系 44
 脳性ナトリウム利尿ペプチド
 10
 脳性麻痺 24, 77, 118
 脳脊髄液 63
 脳脊髄液検査 8, 20
 脳・脊髄血管系とその支配領
 域 44
 脳・脊髄の奇形... 117, 118
 脳槽 44
 脳卒中後遺症 113
 脳卒中後の急性期・回復期・
 維持期リハビリテーション
 113
 脳底動脈領域 44
 脳動静脈奇形 113
 脳動脈解離 113
 脳動脈狭窄・閉塞 113
 脳動脈瘤 76, 113
 脳内血腫 117
 脳内出血 113
 膿尿 57
 脳膿瘍 113
 脳波検査 11, 21, 65
 脳ヘルニア 59
 脳ヘルニア対策 22
 膿疱 53
 膿疱症 90
 膿胞腎 111
 膿疱性乾癬 90
 膿胞性腫瘍 96
 膿胞穿刺 76
 膿胞貯留液 63
 脳保護療法 22
 農薬 38
 農薬中毒 127
 膿瘍 76
 脳瘤 118
 ノーマライゼーション
 14, 30
 ノカルジア症 125
 ノルアドレナリン 9
 ノロウイルス感染症 124
 ノンストレステスト
 68, 85
 ノンレム睡眠 43

は

歯 42, 56
 把握反射 47
 胚 46
 肺悪性腫瘍 96
 肺炎 23

肺炎球菌感染症 124
 肺炎球菌抗原 8
 肺拡散能力 65
 肺癌 23, 96
 肺気腫 95
 廃棄物処理 38
 廃棄物処理法 32
 廃棄物の処理及び清掃に關す
 る法律 32
 肺気量分画 41, 65
 配偶者からの暴力の防止及び
 被害者の保護に關する法律
 32
 肺形成不全 95
 肺結核 23
 肺結核症 95
 肺血管系 41
 敗血症 22, 79, 85
 敗血症性 51
 肺血栓栓症 96, 100
 肺高血圧症 96, 98
 肺コンプライアンス 41
 肺サーファクタント 68
 胚〔細胞〕腫 119
 胚細胞腫瘍... 96, 110, 113
 肺疾患あるいは低酸素血症に
 続発する肺高血圧症 ... 96
 肺疾患の麻酔 74
 排出規制 38
 肺腫瘍 96
 肺真菌症 23, 95
 肺実質感染症 95
 肺循環 42
 肺循環異常 96
 肺水腫 23, 96
 肺性心 96
 排泄 72
 肺塞栓症 23, 51, 85
 肺損傷 95
 排痰法 81
 肺低形成 85
 肺動静脈瘻 96
 肺動脈性肺高血圧症 96
 肺動脈閉鎖症 98
 排尿 43
 排尿機能検査 65
 排尿後症状 57
 排尿障害 18
 排尿症状 57
 排尿遅延 57
 排尿痛 57
 肺の異常 95
 肺の形態・機能異常 95
 肺の構造・機能 41
 肺の腫瘍 96

肺のリンパ管とリンパ節...
 41
 背反射 47
 肺表面活性物質 41
 背部痛 18, 22, 60
 背部の叩打痛 19
 肺分画症 95
 排便機能 42
 肺胞 19, 41
 肺胞気-動脈血酸素分圧較差
 41
 肺胞タンパク症 96
 肺胞低換気症候群 97
 肺胞微石症 96
 廃用症候群 36, 56, 78
 廃用性萎縮 113
 排卵 43
 排卵痛 57
 ハイリスク妊娠 84
 排臨 46
 肺リンパ脈管筋腫症 96
 破瓜型統合失調症 87
 白質変性症 114
 白色瞳孔 54
 白色便 56
 白杖 77
 白癬 90, 125
 白内障 23, 91
 白斑症 93
 白板症 93
 波形診断 65
 ハサップ手法 37
 橋本病 119
 播種 51
 播種性血管内凝固
 24, 79, 84, 106
 破傷風 125
 破傷風とガス壊疽の予防...
 79
 破水 46, 57
 発育区分 47
 発育指数 47
 発育性股関節形成不全... 116
 発育・成熟の診断 62
 発汗 40, 53
 発汗異常症 90
 発汗テスト 66
 発がん因子 50
 発がん性 51
 白血球 8
 白血球系疾患とその他の骨髄
 性疾患 105
 白血球形態 63
 白血球の形態・機能 42
 白血球反応 8
 白血球分画 8

白血病..... 96, 107
 発語検査..... 67
 発声..... 19
 発声器..... 40
 発声機能検査..... 66, 67
 発声器の構造・機能..... 41
 発生装置..... 68
 発声・発語検査..... 67
 発生率..... 50
 発達区分..... 48
 発達指数..... 47
 発達障害..... 58
 発達障害のリハビリテーショ
 ン..... 78
 発達テスト..... 67
 発達の遅れ..... 18
 発達の障害..... 86
 発達の評価..... 61, 62
 発達理論..... 48
 発熱..... 17, 53
 発露..... 46
 鼻..... 19, 41
 鼻アレルギー..... 122, 127
 話の伝え方..... 17
 鼻の異常..... 54
 鼻・副鼻腔の異常..... 93
 針筋電図検査... 11, 21, 65
 針刺し事故..... 15
 針反応..... 66
 反映..... 16
 反回神経..... 40, 41
 反回神経麻痺..... 93, 97
 半月板..... 44
 半月板障害..... 116
 半月板損傷..... 117
 瘢痕..... 53
 瘢痕組織..... 49
 半座位..... 19
 反射..... 44, 47
 反射異常..... 59
 汎収縮期雑音..... 55
 搬送..... 22
 半側空間無視..... 113
 反張膝..... 116
 反跳痛..... 56
 反応性..... 57
 反応性関節炎..... 122
 反応性低血糖..... 120
 汎発性腹膜炎..... 24
 汎ぶどう膜炎..... 92
 反復性脱臼..... 116
 反復投与..... 72
 反復誘発筋電図検査..... 65
 半盲..... 54

ば

バイアス..... 21, 35
 バイオテロ..... 61, 125
 バイオテロ対策..... 37
 バイオテロに関連する感染症
 50
 賠償..... 15
 バイタルサイン..... 19, 61
 バイタルサインの把握... 21
 梅毒..... 125
 梅毒血清反応..... 10
 梅毒トレポネーマ..... 64
 培養..... 11
 培養検査..... 20
 爆傷..... 49, 79
 バクテロイデス感染症... 125
 麦粒腫..... 91
 バソプレシン..... 9
 ばち指..... 56
 抜糸..... 25
 抜毛症..... 88, 90
 馬蹄腎..... 111
 バニリルマンデル酸..... 10
 ばね指..... 116
 バリアフリー..... 30
 バルーン閉塞下経静脈的静脈
 瘤閉塞..... 76
 晩期死体现象..... 52
 晩期反応<障害>..... 51, 76
 バンコク憲章..... 33

ぱ

パーソナリティ..... 43
 パーソナリティ障害..... 88
 パッチテスト..... 10, 66
 パニック障害..... 22, 87
 パニック値と緊急対応... 20
 パニック発作..... 58
 パラコート中毒..... 96
 パラシュート反射..... 47
 パラチフス..... 125
 パルスドプラ法..... 68
 パルトグラム..... 62
 パルボウイルスB19..... 84
 パルボウイルスB19感染症...
 124
 パワードプラ法..... 68
 パンデミック..... 33

ひ

脾..... 45
 非ST上昇型心筋梗塞..... 99

非アルコール性脂肪性肝炎
 102
 非アルコール性脂肪性肝疾患
 102
 皮下..... 25
 皮下気腫..... 97
 皮下組織..... 40
 光パッチテスト..... 66
 非観血的..... 79
 非感染性骨・関節・四肢軟部
 疾患..... 116
 非感染性疾患..... 33
 引きこもり..... 37
 脾機能亢進症..... 106
 被虐待児症候群..... 88
 非結核性抗酸菌症.....
 90, 95, 125
 非血管系治療..... 76
 非言語的コミュニケーション
 16
 非行..... 88
 肥厚性瘢痕..... 49
 肥厚性幽門狭窄症..... 104
 皮脂..... 40, 53
 皮脂欠乏性湿疹..... 89
 脾腫..... 56, 57
 皮疹..... 17, 53
 非侵襲的陽圧換気..... 81
 比重..... 8
 非上皮性..... 50
 ヒステロスコーピー..... 70
 非正規雇用..... 37
 非政府機関..... 34
 非セミノーマ..... 110
 非穿通性損傷..... 49
 脾損傷..... 104
 脾臓..... 19, 42
 悲嘆のケア..... 26, 81
 肥大型心筋症..... 99
 左右短絡疾患..... 98
 非チフス性サルモネラ症...
 125
 必須栄養素..... 51
 必須元素..... 51
 非定型抗酸菌症... 95, 125
 非定型精神病..... 87
 非定型的症状..... 48
 非定型病原体..... 95
 非電離放射線障害..... 128
 非電離放射線の健康影響...
 38
 ヒトT細胞白血病ウイルス感
 染症..... 124
 非特異性間質性肺炎..... 96
 ヒトゲノム・遺伝子解析研究
 に関する倫理指針..... 14

ヒトパピローマウイルス感染症 124

ヒト免疫不全ウイルス感染症 124

人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 14

非同期 78

皮内 25

皮内テスト 66

皮内反応 10

日内リズム 43

泌尿器 18, 43, 47, 48, 57, 70

泌尿器疾患 24

泌尿器・生殖器外傷 79

避妊 111

批判的吟味 21

被曝 15

被ばく低減3原則 69

非びらん性胃食道逆流症 101

皮膚 17, 19, 40, 46, 48, 53, 72, 122

皮膚悪性腫瘍 89

皮膚悪性リンパ腫 90

皮膚温測定法 66

皮膚炎 22, 89

皮膚潰瘍 22

皮膚・感覚器・発声機能検査 66

皮膚筋炎 122

皮膚欠損の処置 79

皮膚血流障害 89

皮膚検査 66

皮膚抗酸菌症 90

皮膚真菌症 90

皮膚線維腫 89

皮膚腺病 90

皮膚そう痒症 89

皮膚・頭頸部疾患 22

皮膚・頭頸部の先天異常 94

皮膚の異常 56

皮膚の緊張度 53

皮膚の構造・機能 40

皮膚白血球破砕性血管炎 122

皮膚反応 10

皮膚描記法 66

皮膚分泌異常 53

皮膚良性腫瘍 89

飛蚊症 54

非閉塞性腸管虚血症 103

被包化臓臓壊死 103

肥満 18, 51, 60, 97

肥満細胞 40

肥満症 120

肥満度 47

秘密漏示 31

非Mendel遺伝様式 49

百日咳 125

ヒヤリハット 15

ヒューマンエラー 15

評価 14, 22, 25, 47

評価的態度 16

評価と原因の鑑別 61

評価と対策 38

表在がん 50

標準化死亡比 35

標準型失語症検査 67

標準誤差 35

標準偏差 35

標準予防策 15

ひょう疽 90

表層上皮性・間質性腫瘍 110

費用対効果分析 21

標的体積 76

表皮 40

表皮ブドウ球菌感染症 125

表皮母斑 89

標本作製法 64

標本の抽出 35

標本の取扱法 64

表面麻酔 75

日和見感染症 50, 95

非淋菌性尿道炎 110

貧血 18, 57, 85

頻呼吸 55

頻度と分布 35

頻度を表す指標 35

頻尿 57

頻脈 17

び

鼻炎 93

鼻腔 41, 70

鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患 93

鼻骨骨折 94

鼻根 40

鼻出血 17, 54

微小変化群 108

微弱陣痛 84

微生物学検査 20, 64

鼻せつ 93

ビタミン 9, 51, 63

ビタミンB₁ 9

ビタミンB₁₂ 9, 42

ビタミンB₁₂欠乏症 114

ビタミンB₁₂欠乏性貧血 105

ビタミンB₁欠乏症 120

ビタミンD 43

ビタミンK欠乏症 85, 106, 107

ビタミン過剰症 120

ビタミン欠乏症 72, 120

ビタミン類の代謝異常 120

鼻閉 54

びまん性軸索損傷 117

びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 105

びまん性汎細気管支炎 95

病因 30, 35

病院 31

病院感染症 50

病院機能評価 15

病院・診療所・薬局の連携 33

病院前救護 33

病害動物および鼠族・昆虫による疾患 127

病害動物による疾患 127

病型 49

病期 49

病原体 50

病原体遺伝子検査 20

病原体検査 11

病原体の迅速検査 20

病原体別検査 64

病原微生物の同定・検鏡 64

病原微生物の培養・分離・同定 64

病識欠如 58

病診連携 26

病状説明 16

病態 50, 72

病態に応じた診察 61

病的窃盗 88

病的賭博 88

病的反射 19

病的放火 88

病病連携 26

病理解剖 52

病理学的組織検体の染色法 64

病理組織学検査 20, 64

病理発生 49

病歴情報 16

びらん 53

微量アルブミン 8

微量栄養素 51

微量元素 9, 51, 63

微量元素欠乏 72

ビリルビン 8, 63

ビリルビン代謝..... 47
 ビリルビン代謝の異常.....
 102, 120
 ビリルビン尿..... 57
 鼻漏..... 54

び

ピークフローメトリ..... 65

ぶ

ファイバースコープ..... 70
 不安..... 18, 58
 不安障害..... 22, 87
 不安定狭心症..... 99
 不育..... 57, 110, 111
 不育症..... 84, 111
 フィルム..... 68
 風疹..... 22, 124
 フェニルケトン尿症..... 121
 フェリチン..... 9
 負荷試験..... 65
 不規則抗体..... 67
 吹き抜け骨折..... 94
 腹圧..... 46
 腹圧性尿失禁..... 112
 腹圧排尿..... 57
 腹囲..... 68
 副咽頭間隙..... 40
 腹臥位..... 19
 腹腔..... 70
 腹腔穿刺・ドレナージ... 78
 腹腔内臓器..... 42
 副甲状腺..... 9, 44
 副甲状腺機能亢進症..... 119
 副甲状腺機能障害..... 119
 副甲状腺機能低下症..... 119
 副甲状腺疾患とカルシウム・
 リン代謝異常..... 119
 副甲状腺ホルモン..... 9
 複合型免疫不全症..... 123
 複合性局所疼痛症候群... 118
 副作用..... 15, 69
 副作用への対応..... 15
 副雑音..... 19, 55
 複雑部分発作..... 115
 複視..... 17, 54
 福祉工場..... 78
 福祉施設..... 30
 福祉ホーム..... 78
 福祉用具..... 26, 77
 副神経..... 40
 副腎..... 9
 副腎過形成..... 119
 副腎偶発腫..... 119

副腎髄質機能障害..... 119
 副腎腺腫..... 119
 副腎その他の疾患..... 121
 副腎白質ジストロフィー...
 114
 副腎{皮質}癌..... 119
 副腎皮質機能障害..... 119
 副腎皮質刺激ホルモン... 9
 副腎皮質ステロイド及び非ス
 テロイド性抗炎症薬... 73
 副腎皮質・髄質..... 44
 副腎皮質・髄質疾患..... 119
 副腎不全..... 61
 腹水..... 19, 56, 63
 腹水の検査..... 20
 腹水の治療とケア..... 80
 複数菌感染..... 50
 輻湊..... 40
 腹痛..... 17, 22, 56
 副鼻腔..... 70
 副鼻腔炎..... 93
 副鼻腔疾患..... 93
 副鼻腔真菌症..... 93
 副鼻腔の異常..... 93
 腹部外傷..... 79, 103
 腹部腫瘤..... 56
 腹部大動脈瘤..... 76, 99
 腹部超音波検査..... 12
 腹部の診察..... 19
 腹部膨隆..... 56
 腹部膨隆・膨満..... 18
 腹壁..... 42
 腹壁血管怒張..... 56
 腹壁疾患..... 23, 103, 104
 腹壁の筋肉・筋膜..... 42
 腹壁破裂..... 104
 腹壁瘢痕ヘルニア..... 103
 腹壁・腹膜の構造・機能...
 42
 腹膜..... 42
 腹膜偽粘液腫..... 103, 110
 腹膜刺激症状..... 56
 腹膜刺激徴候..... 19
 腹膜疾患..... 23, 103
 腹膜中皮腫..... 103
 腹膜透析..... 73
 服薬計画..... 72
 服薬指導..... 72
 福山型..... 118
 フグ..... 127
 浮腫..... 17, 20, 53
 不随意運動..... 18, 59
 不正軸進入..... 84
 不整脈.....
 17, 23, 51, 56, 98
 付属器..... 40

不定愁訴..... 58
 不登校..... 88
 不妊..... 36, 57, 110, 111
 不飽和鉄結合能..... 9
 不眠..... 26, 58
 不眠症..... 87
 不良姿勢..... 59
 振舞い..... 16
 フレアセルフオトメトリ...
 66
 フレイルの評価..... 61
 フローサイトメトリー... 63
 フロッピーインファント...
 62
 分染法..... 65
 憤怒けいれん..... 118
 糞便..... 63
 糞便検査..... 8, 20
 粉瘤..... 89

ぶ

部位..... 63
 部位別治療優先順位の判断...
 21, 61, 79
 物質交換と代謝..... 46
 物的支援..... 26
 物理・化学的外傷..... 94
 物理的原因・生活環境因子に
 よる障害..... 128
 物理的損傷..... 49
 物理療法..... 77, 81
 舞踏運動..... 59
 ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候
 群..... 90
 ブドウ糖負荷試験..... 9, 11
 ぶどう膜..... 40
 ぶどう膜炎..... 91
 ぶどう膜欠損..... 94
 ぶどう膜・網膜・硝子体疾患
 91
 部分性てんかん..... 115
 部分肺静脈還流異常症... 98
 ブラ..... 95
 ブレブ..... 95
 文化的配慮..... 75
 分子標的薬..... 96
 文書偽造..... 31
 分析モデル..... 35
 分泌物検査..... 67
 分布..... 72
 分娩..... 15, 46
 分娩開始..... 46
 分娩外傷..... 85
 分娩・産褥の異常..... 84
 分娩時期..... 46

分娩時期の診断..... 62
 分娩時裂傷..... 84
 分娩停止..... 84
 分娩の異常..... 18
 分娩の経過..... 46
 分娩の検査..... 67
 分娩の3要素..... 46
 分娩麻痺..... 117
 分類不能型免疫不全症.. 123

か

プライバシー・羞恥心・苦痛
 への配慮..... 19
 プライバシー・体調・環境へ
 の配慮..... 16
 プライバシー保護..... 14
 プライマリヘルスケア... 33
 プラスミン・プラスミンイン
 ヒビター複合体..... 8
 プラセボ..... 35
 プラセボ効果..... 72
 プリオン病..... 113, 126
 プリックテスト..... 10, 66
 プリン(尿酸)代謝の異常...
 120
 プロカルシトニン..... 10
 プロゲステロン..... 9
 プロテインC欠乏症..... 106
 プロテインS欠乏症..... 106
 プロトンポンプ時間..... 8
 プロトン密度強調画像..... 70
 プロブレムリスト..... 16
 プロポーシオン..... 47
 プロラクチノーマ..... 119
 プロラクチン..... 9

へ

平易な表現..... 17
 平滑筋肉腫..... 117
 平均寿命..... 35
 平均赤血球ヘモグロビン.. 8
 平均赤血球ヘモグロビン濃度
 8
 平均赤血球容積..... 8
 平均余命..... 35
 閉経..... 16
 閉経後障害..... 111
 閉瞼..... 40
 平衡・感覚・自律神経系の障
 害..... 59
 平衡機能検査..... 66, 67
 平衡障害..... 59
 平衡相..... 69
 閉鎖孔ヘルニア..... 103

閉塞性..... 97
 閉塞性細気管支炎..... 95
 閉塞性ショック..... 51, 78
 閉塞性水頭症..... 118
 閉塞性動脈硬化症..... 99
 平背..... 59, 115
 平面検出器..... 68
 併用禁忌..... 72
 併用薬..... 72
 へき地医療..... 33
 へき地医療・救急医療の確保
 33
 へき地医療拠点病院..... 33
 へき地医療支援機構..... 33
 へき地診療所..... 33
 へき地保健医療計画..... 33
 ヘプシジン..... 42
 ヘマトクリット..... 8
 ヘモクロマトーシス.....
 102, 105, 121
 ヘモグロビン..... 8
 ヘモグロビン尿..... 57
 ヘモジデロシス..... 105
 ヘモフィルス感染症..... 125
 ヘリカルCT..... 69
 ヘリコバクター・ピロリ感染
 症..... 101, 106, 125
 ヘルシンギ宣言..... 14
 ヘルスプロモーションの概念
 33
 ヘルパーT細胞..... 45
 ヘルパンギーナ..... 93, 124
 ヘルペス..... 22
 辺縁系..... 44
 変形..... 19
 変形性関節症..... 24, 116
 変形性股関節症..... 116
 変形性膝関節症..... 116
 変形性脊椎症..... 24, 115
 変形治癒骨折..... 118
 変視症..... 54
 片頭痛..... 24, 115
 変性近視..... 92
 扁桃..... 19, 42, 45
 扁桃炎..... 23
 扁桃周囲炎・膿瘍..... 93
 扁桃腺..... 44
 扁平上皮癌..... 96
 扁平苔癬..... 90

へ

便細菌検査..... 8
 娩出期..... 46
 娩出物..... 46
 娩出力..... 46

便潜血反応..... 8
 便中抗原..... 64
 便通異常..... 56
 便秘..... 18, 56
 便秘症..... 23, 101
 弁膜症..... 23, 98

へ

ペインクリニック..... 75
 ペースメーカー..... 75, 98
 ペプシノゲン..... 9
 ペプシノゲン測定..... 65
 ペラグラ..... 90, 120
 ペルオキシダーゼ染色... 63

ほ

法医学的試料の採取..... 63
 蜂窩織炎..... 90
 包茎..... 111
 報告義務..... 15
 報告様式..... 64
 縫合..... 25, 79
 縫合法..... 73
 放射性医薬品..... 70
 放射性同位元素..... 68
 放射性同位元素内用療法...
 76
 放射性廃棄物..... 39
 放射線..... 36
 放射線感受性..... 75
 放射線管理..... 38
 放射線効果の修飾..... 75
 放射線障害..... 49, 51
 放射線性腸炎..... 101
 放射線増感剤..... 75
 放射線治療..... 25, 75
 放射線治療可能比..... 75
 放射線治療の適応..... 76
 放射線等検査用機器・器材...
 68
 放射線による発がん.....
 51, 128
 放射線の確率的影響・確定的
 影響..... 51
 放射線の健康影響と管理...
 38
 放射線の身体的影響..... 51
 放射線の単位と測定..... 68
 放射線肺炎..... 96
 放射線防護..... 51
 放射能..... 68
 疱疹状皮膚炎..... 90
 胞状奇胎..... 84, 110
 放線菌症..... 125

蜂巣炎..... 90
 方法..... 76
 包埋法..... 64
 訪問介護..... 30
 訪問看護..... 30
 訪問看護ステーション... 31
 訪問診療..... 30
 訪問リハビリテーション...
 30
 保菌者..... 50
 保険医..... 30
 保険医療機関..... 30
 保険医療機関及び保険医療養
 担当規則..... 30
 保健・医療・福祉・介護関係
 法規..... 31
 保健・医療・福祉・介護・教
 育の制度と連携..... 14
 保健・医療・福祉・介護・教
 育の連携..... 26
 保健・医療・福祉・介護従事
 者..... 31
 保健・医療・福祉・介護従事
 者の現状と役割..... 31
 保健・医療・福祉・介護の仕
 組み..... 30
 保健・医療・福祉・介護の資
 源..... 31
 保健・医療・福祉・介護の施
 設と機能..... 31
 保健・医療・福祉・介護の組
 織と連携..... 30
 保健機能食品..... 37
 保健指導..... 35
 保健所..... 30
 保険薬局..... 31
 歩行..... 19
 歩行器..... 77
 歩行訓練..... 77
 歩行障害..... 18, 59
 保護・防御機能..... 41
 補償..... 15
 ホスピス..... 25, 80
 ホスピス・緩和ケア..... 80
 ホスピスケアの基準..... 80
 保存期間..... 20, 63
 保存方法..... 20
 補体..... 10, 45, 64
 補体結合反応..... 64
 補体欠損症..... 123
 発作性異常波..... 65
 発作性寒冷血色素尿症.. 105
 発作性・機能的・自律神経系
 疾患..... 115
 発作性上室頻拍..... 98

発作性夜間ヘモグロビン尿症
 105
 哺乳力低下..... 18
 ホメオスタシス..... 43, 44
 ホモシスチン尿症..... 121
 ホルモン..... 9, 10, 63
 ホルモン受容体異常症.. 120
 ホルモンの合成・分泌とその
 調節..... 44
 ホルモンの合成・分泌の異常
 51
 ホルモンの作用機序..... 44
 ホルモンの種類..... 44
 ホルモン補充療法..... 111
 本態性血小板血症..... 105
 本態性高血圧..... 99
 本態性振戦..... 114
 奔馬調律..... 55

ぼ

防御機能..... 41
 膀胱..... 43, 70, 78
 膀胱炎..... 109
 膀胱癌..... 24, 110
 膀胱憩室..... 111
 膀胱結石..... 109
 膀胱穿刺・ドレナージ... 78
 膀胱腔瘻..... 112
 膀胱腸瘻..... 112
 膀胱内圧測定..... 65
 膀胱尿管逆流症..... 109
 膀胱の下垂・脱出..... 57
 膀胱瘤..... 111
 房室結節..... 41
 房室中隔欠損症..... 98
 房室ブロック..... 98
 膨疹..... 53
 帽状腱膜下出血..... 85
 房水セル..... 54
 房水フレア..... 54
 乏尿..... 18, 57
 墨汁染色..... 64
 墨汁法..... 64
 母子感染..... 36, 50, 84
 母子健康手帳..... 36
 母子の健康状況..... 33
 母子保健..... 31, 36
 母子保健法..... 31
 母集団..... 35
 母性保健..... 36
 母体・新生児搬送..... 80
 母体保護法..... 31
 勃起..... 43
 勃起障害..... 57, 112
 ボツリヌス症..... 125

母乳..... 50
 母乳栄養..... 48
 母斑..... 89
 母斑症..... 89, 118
 母斑性皮膚疾患..... 89

ぽ

ポジトロンエミッション断層
 撮影..... 70
 ポジトロンエミッション断層
 撮像..... 12
 ポジトロン核種..... 70
 ポリプ切除..... 64
 ポリオ..... 124
 ポリソムノグラフィ..... 65
 ポリファーマシー..... 72
 ポルフィリン症..... 120
 ポルフィリン代謝の異常...
 120

ま

マイクロバブルテスト... 68
 マイコバクテリア..... 125
 マイコバクテリアによる感染
 症..... 125
 マイコプラズマ.....
 11, 64, 124
 マイコプラズマ抗体..... 10
 マイコプラズマによる感染症
 124
 マイコプラズマ肺炎... 124
 膜性腎症..... 108
 膜性増殖性糸球体腎炎.. 108
 マクログロブリン血症.. 106
 マクロファージ..... 45
 マグネシウム代謝異常.. 109
 麻疹..... 22, 124
 麻酔..... 25, 73
 麻酔合併症..... 74
 麻酔事故..... 74
 麻酔導入..... 74
 麻酔の維持..... 74
 麻酔前投薬..... 74
 末梢T細胞性リンパ腫... 106
 末梢血管..... 41
 末梢血管抵抗..... 42
 末梢血・骨髄血塗抹..... 8
 末梢神経..... 44, 48, 75
 末梢神経障害..... 59
 末梢神経・神経筋接合部・筋
 疾患..... 114
 末梢神経損傷..... 117
 末梢神経伝導検査.....
 11, 21, 65

末梢神経の炎症性・遺伝性・代謝性疾患 114

末梢神経の構造・機能 . . . 44

末梢神経の絞扼性疾患 . . 114

末梢受容体 41

末梢循環障害 53

末梢静脈栄養 72

末梢性動脈疾患 23

末梢性免疫系臓器 45

末梢前庭器官 40

末梢動脈 76

末梢動脈疾患 99

マナー 16

麻痺性イレウス 103

麻薬 15

麻薬依存・中毒 127

麻薬及び向精神薬取締法 31

麻薬性鎮痛薬・鎮静薬 . . . 73

マラリア 126

慢性アルコール性臓器障害 127

慢性胃炎 101

慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー 114

慢性肝炎 23, 102

慢性間質性腎炎 108

慢性期 81

慢性気管支炎 95

慢性好酸球性白血病 . . . 105

慢性甲状腺炎 119

慢性光線性皮膚炎 90

慢性喉頭炎 93

慢性硬膜下血腫 117

慢性骨髓性白血病 105

慢性糸球体腎炎 108

慢性糸球体腎炎症候群 . . . 24

慢性疾患に伴う貧血 105

慢性心不全 98

慢性心不全の急性増悪 . . . 98

慢性腎盂腎炎 109

慢性腎臓病 24, 109

慢性腎不全 109

慢性膀胱炎 24

慢性膀胱炎・膀胱石 103

慢性頭痛 115

慢性穿孔性中耳炎 92

慢性中毒 51

慢性疼痛 80

慢性肉芽腫症 105, 123

慢性肺血栓塞栓症 96

慢性白血病 24

慢性疲労症候群 123

慢性副腎不全 119

慢性副鼻腔炎 23

慢性閉塞性肺疾患 23, 95, 127

慢性扁桃炎 93

慢性リンパ性白血病 105

マンモグラフィ 12

み

ミエリン塩基性タンパク . . 8

ミエログラフィ 69

ミオクロオヌス 59

ミオグロビン尿 57

味覚系の構造・機能 40

味覚検査 67

味覚障害 54

右左短絡疾患 98

未熟児貧血 85

未熟児無呼吸発作 85

未熟{児}網膜症 85, 92

水 63

水制限試験 11

水・電解質の異常 109

水・電解質の代謝調節 . . . 43

未成年者の喫煙 127

身だしなみ 16

密封小線源治療 76

ミトコンドリア脳筋症 . . 114

ミトコンドリア病 49

ミネラル 51

ミネラル骨代謝異常 . . . 109

耳 19

耳の異常 54

耳の損傷 94

脈拍 19

脈拍異常 56

脈拍の欠損 56

脈波検査 20

脈絡膜 40

脈絡膜炎 91

脈絡膜腫瘍 92

脈絡膜の異常 54

脈管 40, 41, 48

脈管異常 53

脈管系 42, 43

脈管疾患 23, 99

味蕾 40

民事裁判 15

民法 31, 32

む

無為 58

無医地区 33

無顆粒球症 105

無汗症 90

無害性雑音 55

無眼球 94

無ガンマグロブリン血症 123

無機質 51

無気肺 95

無菌性膿尿 57

無月経 18, 110

無呼吸 55

無呼吸反射 41

ムコ多糖症 121

無症候性血尿 108

無症候性血尿・タンパク尿症候群 108

無症候性タンパク尿 108

無症候性脳梗塞 113

むずむず脚症候群 87, 115

無断離院 15

夢中遊行症 87

ムチン沈着症 91

無痛性虚血性心疾患 99

無痛性甲状腺炎 119

無動性無言症 58

無尿 18, 57

むねやけ 18, 56

無排卵 111

無脾症 98

ムンプス 124

め

迷走神経 40, 41

メーブルシロップ尿症 . . . 121

メタアナリシス 21, 36

メタネフリン・ノルメタネフリン 10

メタ分析 21, 36

メタボリックシンドローム 120

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 125

メトヘモグロビン血症 . . 105

眼の乾燥感 54

眼の外傷 94

眼の充血 54

眼の先天異常 94

めまい 17, 22, 53

メラニン生成 40

メレナ 85

免疫 16, 18, 45, 47, 48, 57

免疫異常 50

免疫異常疾患 50

免疫応答とその調節 45

免疫寛容 45

免疫学的機序が考えられる肺疾患 95

免疫学的検査による診断... 64
 免疫学的便潜血検査... 8
 免疫機能... 40
 免疫グロブリン... 45, 64
 免疫グロブリン製剤... 73
 免疫系... 44
 免疫系臓器... 45
 免疫系の調節... 45
 免疫血清学検査... 20, 63
 免疫性血小板減少性紫斑病... 84, 106
 免疫組織化学... 11
 免疫組織化学染色... 64
 免疫タンパク... 10
 免疫調節不全症... 123
 免疫電気泳動... 10, 20
 免疫反応... 50
 免疫病... 24
 免疫複合体... 10
 免疫不全... 50
 免疫療法... 81
 面接者の態度... 16
 メンタルヘルス対策... 38

も

盲検... 35
 毛細血管拡張... 53
 毛細血管拡張性失調症... 123
 毛細血管拡張性肉芽腫... 89
 毛細血管奇形... 89
 毛細血管血... 63
 毛周期... 40
 網状皮斑... 89
 網赤血球... 8, 63
 妄想... 18, 58
 妄想型統合失調症... 87
 妄想性障害... 87
 毛髪異常... 53
 網膜... 40
 網膜芽細胞腫... 92
 網膜色素変性... 92
 網膜疾患... 91
 網膜上膜... 92
 網膜静脈閉塞症... 92
 網膜前膜... 92
 網膜電図検査... 66
 網膜動脈閉塞症... 92
 網膜の異常... 92
 網膜剝離... 92
 網膜・脈絡膜の異常... 54
 網脈絡膜炎... 91
 毛様体... 40
 もうろう状態... 58
 モザイク... 49

モニタリング... 74
 もやもや病... 113
 モラクセラ・カタラリス感染症... 125
 森田療法... 81
 問題解決への援助的態度... 16
 問題志向型医療記録... 14
 門脈圧亢進症... 102
 門脈系... 42
 門脈相... 69

や

夜間遺尿症... 111
 夜間多尿... 57
 夜間頻尿... 57
 薬剤感受性試験... 11, 20, 64
 薬剤性... 106, 108
 薬剤性過敏症症候群... 89
 薬剤性難聴... 92
 薬剤性肺障害... 96
 薬剤性平衡障害... 93
 薬剤性無顆粒球症... 105
 薬剤耐性... 15, 50
 薬剤耐性・院内感染対策... 15
 薬剤による低血糖... 120
 薬剤誘発免疫性溶血性貧血... 105
 薬剤リンパ球刺激試験... 66
 薬疹... 22, 89
 薬事... 31
 薬物... 36
 薬物アレルギー... 122
 薬物依存症... 25
 薬物依存・中毒... 127
 薬物性肝障害... 102
 薬物性腸炎... 101
 薬物中毒... 22
 薬物動態... 72
 薬物の選択... 72
 薬物の相互作用... 72
 薬物療法... 25, 72
 やせ... 18, 60
 薬効... 72
 薬効の評価... 72
 夜尿... 57
 夜尿症... 111
 夜盲... 54

ゆ

有意水準... 35
 有害事象... 72

有害事象と副作用... 15
 有害物質の吸収・排泄... 38
 有機塩素剤... 127
 有機酸代謝異常症... 121
 有機溶剤依存・中毒... 127
 有機溶剤中毒... 127
 有棘細胞癌... 90
 有機リン剤... 127
 遊戯聴力検査... 67
 遊戯療法... 81
 有効性と効率性... 21
 尤度比... 21
 有病率... 35
 有毛細胞... 40
 遊離コルチゾール... 10
 遊離サイロキシシン... 9
 遊離トリヨードサイロニン... 9
 輸液... 25, 73, 74
 輸液管理... 74
 輸液の公式... 79
 輸液の種類と用法... 73
 輸液療法... 78
 輸血... 25, 73, 74
 輸血関連急性肺障害... 73
 輸血関連検査... 9, 20, 63
 輸血後GVHD... 73
 輸血による感染症... 73
 輸血副作用... 73
 輸血療法... 22, 78
 癒着胎盤... 84
 ユニバーサルデザイン... 30
 ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ... 33
 輸入感染症... 50, 125, 126

よ

癰... 90
 養育医療... 36
 要因分析... 14
 要介護... 31
 要介護認定... 31
 溶血性疾患... 85
 溶血性尿毒症症候群... 106, 109
 溶血性貧血... 105
 溶血に関する検査... 9, 63
 養護教諭... 37
 葉酸... 9, 42
 葉酸欠乏性貧血... 105
 要支援... 31
 要支援・要介護の原因... 36
 痒疹... 89
 幼児・学童の栄養... 48
 幼児期... 47

幼児血管腫..... 89
 幼児聴力検査..... 67
 羊水..... 46, 63
 羊水過少症..... 84
 羊水過多症..... 84
 羊水検査..... 68
 羊水指数..... 68, 84
 羊水塞栓症..... 84
 羊水の検査..... 68
 羊水の診断..... 62
 羊水の性状..... 62
 羊水ポケット..... 68, 84
 羊水量..... 62, 68
 腰髄損傷..... 117
 腰痛..... 22, 60
 腰痛症..... 115
 腰・背部痛..... 18
 用法・用量..... 72
 用量..... 72
 容量血管と抵抗血管..... 42
 用量反応曲線..... 51
 ヨードアレルギー..... 69
 抑うつ・躁状態..... 18
 翼状片..... 91
 杓創..... 49
 予見性..... 31
 予後指数..... 79
 予備力・適応能力の低下..... 48
 予防..... 25, 50
 予防医学..... 35
 予防医学と健康保持増進..... 35
 予防医学の概念..... 35
 予防接種..... 37
 予防接種と検疫..... 37
 予防接種法..... 32
 予防対策とその評価..... 36
 予防的照射..... 76
 余命への配慮..... 48

ら

ライフスタイル..... 49
 ラクナ梗塞..... 113
 ラジオ波焼灼術..... 77
 ラトケ嚢胞..... 119
 ラリンジアルマスク..... 74
 卵円孔..... 46
 卵管..... 43
 卵管留膿症・腫..... 109
 卵形嚢..... 40
 卵巣..... 43
 卵巣過剰刺激症候群..... 111
 卵巣癌..... 24
 卵巣系..... 43

卵巣腫瘍..... 110
 卵巣性無月経..... 111
 卵巣チョコレート嚢胞..... 110
 卵巣嚢腫..... 24
 卵巣・卵管・腹膜癌..... 110
 ランダム化比較試験..... 35
 ランブル鞭毛虫..... 126
 卵胞刺激ホルモン..... 9
 卵膜..... 46
 乱用..... 87

り

リウマチ性心炎..... 98
 リウマチ性多発筋痛症..... 123
 リウマチ熱..... 123
 リウマトイド因子..... 10
 リエゾン精神医学..... 81
 理解的態度..... 16
 理解の確認..... 17
 罹患率..... 35, 50
 理学療法..... 77
 リケッチア..... 11, 64, 124
 リケッチアによる感染症..... 124
 リサイクル..... 38
 離床..... 75
 離人症..... 58
 リスク差..... 21, 35
 リスク臓器..... 76
 リスク比..... 21, 35
 リスクファクター..... 30, 35
 リスクマネジャー..... 15
 リステリア感染症..... 125
 リスボン宣言..... 14
 利他主義..... 14
 離脱症状..... 87
 離断性骨軟骨炎..... 117
 立位..... 19
 立体視..... 40
 離島・へき地医療..... 33
 離乳..... 48
 利尿薬..... 73
 理念..... 77
 リハビリテーション..... 25, 77
 リハビリテーション工学..... 77
 リハビリテーション・チーム..... 77
 リハビリテーションの概念..... 77
 リハビリテーションの技術..... 77
 リハビリテーションの理念..... 14

リバーミード行動記憶検査..... 67
 リパーゼ..... 9
 リビングウイル..... 26
 リピドーシス..... 121
 リフト..... 77
 リベド..... 89
 流行..... 33
 流行性角結膜炎..... 124
 流行性耳下腺炎..... 124
 流産..... 84
 粒子線治療..... 76
 流・早産..... 22
 流涙..... 54
 療育..... 78
 両価性..... 58
 両眼視..... 40
 両眼視機能検査..... 66
 良好なコミュニケーション..... 16
 良性家族性血尿..... 108
 良性軟部腫瘍..... 117
 良性肺腫瘍..... 96
 良性発作性頭位めまい症..... 23, 92
 両大血管右室起始症..... 98
 療養病床..... 31
 緑内障..... 23, 91
 緑膿菌感染症..... 125
 旅行者下痢症..... 127
 旅行者疾患..... 127
 淋菌感染症..... 125
 淋菌性尿道炎..... 110
 臨床疫学的指標..... 21
 臨床期..... 49
 臨床研究中核病院..... 31
 臨床試験..... 35
 臨床試験・治験と倫理性..... 14
 臨床判断の基本..... 21
 臨床病期分類..... 51
 臨床病理検討会..... 52
 輪状甲状腺靱帯穿刺・切開..... 78
 輪状甲状腺軟骨間膜穿刺・切開..... 78
 鱗屑..... 53
 隣接遺伝子症候群..... 49
 リン代謝異常..... 109, 119
 リンパ管奇形..... 53
 リンパ管疾患..... 100
 リンパ管腫..... 89, 94
 リンパ管とリンパ節..... 42
 リンパ管の構造と機能..... 42
 リンパ還流障害..... 51
 リンパ球刺激試験..... 10

リンぱ球性下垂体炎 119
 リンぱ球表面抗原検査 10
 リンぱ行性転移 51
 リンぱ系疾患 105
 リンぱ節 45
 リンぱ節腫脹 18, 53, 57
 リンぱ節転移 53, 94
 リンぱ節の触診 19
 リンぱ組織 42
 リンぱ浮腫 100
 リンぱ漏 51
 リンぱ濾胞 45
 倫理審査委員会 14
 倫理的・社会的・文化的配慮
 75

る

涙液分泌検査 66
 涙液分泌障害 91
 類乾癬 90
 涙器 40
 涙器の異常 91
 類腱腫 117
 類骨骨腫 116
 涙道狭窄・閉塞 91
 涙嚢炎 91
 類白血病反応 105

れ

礼儀 16

冷式抗体による溶血性貧血
 105
 冷暖房 39
 レーザー 77, 128
 レーザー光線 94
 レーザー療法 81
 レクリエーション療法 78
 レシピエント 75
 レジオネラ抗原 8
 レジオネラ症 125
 レスキュードーズ 80
 レスパイトケア 81
 裂肛 101
 レニン 43
 レプトスピラ 64
 レム睡眠 43
 レム睡眠行動障害 87
 連携とチーム医療 31
 連合弁膜症 98
 連鎖球菌感染症 124
 連続性雑音 56

ろ

老化 48
 労作性狭心症 98
 老人性角化症 89
 老人性紫斑 106
 老人性難聴 92
 老人福祉法 32
 漏斗胸 97
 労働安全衛生法 32

労働安全衛生マネジメントシ
 ステム 38
 労働衛生管理体制 37
 労働基準監督署 38
 労働基準法 32
 労働災害 37
 労働災害の補償 37
 労働者災害補償保険法 32
 労働者の安全衛生管理 37
 労働者の健康増進 37
 労働適応 49
 労働力の動向 37
 老年期 16
 老年症候群 48
 ロービジョン 77
 ロービジョンケア 77
 ロコモティブシンドローム .
 48
 濾紙ディスク検査 67
 ロタウイルス感染症 124
 肋間神経 41
 肋骨骨折 97
 濾胞性リンパ腫 105

わ

悪い知らせの伝え方 17
 彎曲 19
 腕神経叢 40
 腕神経叢損傷 117

医師国家試験改善検討部会
報告書

平成 27 年 3 月 30 日

目 次

I. はじめに	1
II. 具体的な事項について.....	2
1. 医師国家試験について	2
(1) 出題数について.....	2
(2) 出題内容等について.....	3
(3) 合格基準について	4
(4) 医師国家試験出題基準(ガイドライン)について.....	5
(5) 共用試験 CBT との連携について.....	5
2. OSCE について.....	6
3. コンピュータ製の導入及びプール問題等について.....	7
4. 外国で医師免許を得た者に対する医師国家試験受験資格認定について	7
III. 終わりに.....	9

I. はじめに

〔改善に係る基本的な考え方〕

- ・ 医師国家試験は、医師法第 9 条に基づき「临床上必要な医学及び公衆衛生に関して、医師として具有すべき知識及び技能」について行うこととされており、卒前教育や医療を取り巻く状況及び医療の進歩に合わせて改善を行ってきた。
- ・ 医師国家試験は、卒前教育・卒後臨床研修・新しい専門医の仕組みを含めた一連の医師養成過程の中に位置付けられることから、それぞれの到達目標との整合性を図りつつ、近年の卒前教育を巡る動向を踏まえ、その果たすべき役割を十分に発揮できるものとする必要がある。
- ・ 平成 26 年 6 月に設置された医道審議会医師分科会医師国家試験改善検討部会において、現行の医師国家試験に関する評価と改善事項の検討を開始した。以後、臨床現場からのヒアリング及びワーキンググループでの議論を含めて 8 回にわたり検討を重ねた結果、今般、医師国家試験の改善に関する基本的な方向性等についての意見を取りまとめたので、ここに報告する。

〔卒前教育や医療を取り巻く状況〕

- ・ 卒前教育に関しては、「医学教育モデル・コア・カリキュラム－教育内容ガイドライン」に基づき、基本的臨床能力の習得のため、各大学医学部・医科大学（以下、「医学部」という。）が、診療参加型臨床実習（以下、「臨床実習」という。）に参加する学生の能力と適正を事前に評価することで質を保証し、患者の安全とプライバシー保護に十分配慮しながら、臨床実習の一層の充実を図っている。
- ・ また、全国医学部長病院長会議及び医療系大学間共用試験実施評価機構が連携し、平成 27 年度より全ての医学部における臨床実習開始前の共用試験 CBTⁱⁱの合格基準を設定することにより臨床実習開始前の医学生の基本的な知識が担保される予定である。
- ・ 卒後に関しては、平成 16 年度から必修化された卒後臨床研修の到達目標については平成 32 年度の見直しに向け検討が進められているところであり、専門医については日本専門医機構が認定基準等を策定し、平成 29 年度からの養成の開始を目指して準備を進めている。
- ・ 医療に関しては、少子高齢化の進展に伴い、2025 年には、団塊の世代が 75 歳以上となり、国民の 3 人に 1 人が 65 歳以上、5 人に 1 人が 75 歳以上となり、慢性疾患など複数の疾病を抱える患者、リハビリテーションを必要とする者、自宅で暮らしながら医療を受ける患者の増加が見込まれる。

〔今後の方向性〕

- ・ 今後の卒前教育や医療を取り巻く状況を踏まえ、具体的な方向性としては、単に知識を問う問題ではなく、例えば、症候から優先順位を考慮しつつ鑑別診断や治療方針の選択を進めていくという臨床医の思考過程に沿った、臨床的な応用力を問う問題を出題するため、出題傾向として「臨床実地問題」に、より重点をおくこととする。
- ・ この見直しについては、平成 27 年度より全ての医学部において、共用試験 CBT の合格基準が統一化され、それに合格した者が医学部を卒業することにより、医学生の基本的な知識が担保されることを前提として、「一般問題」の出題数や合格基準の見直し等を行うこととする。
- ・ 具体的な出題数や合格基準等の設定については、医道審議会医師分科会で更に検討を行い、共用試験 CBT の合格基準の統一化により基本的な知識が担保された医学生が医師国家試験を受験する第 112 回(平成 30 年)から適用するのが適当である。また、速やかに着手可能な改善事項については早急に対応することが望ましい。

II. 具体的な事項について

1. 医師国家試験について

(1) 出題数について

- ・ 医師国家試験は、臨床上必要な医学および公衆衛生に関して、医師として具有すべき知識および技能について行われるものであり、医療を取り巻く状況及び医療の進歩に合わせ、その都度改善が行われている。近年の大幅な見直しは、第 95 回(平成 13 年)より、出題数が 320 題から 500 題へ拡大され、試験日数が 2 日間から 3 日間へ延長された。
- ・ 「医師国家試験改善検討部会報告書(平成 23 年 6 月 9 日)」(以下、「前回報告書」という。)においては、「臨床実地問題」の出題を軸としつつ、基本的臨床能力を問う出題に重点化していくことが望ましく、その観点から、250 題が出題されている「一般問題」の出題数を再考する余地があるとされた。また、そのためには、「各大学医学部・医科大学において現在統一されていない共用試験の成績評価が、一定程度標準化されることが必要」とされた。

- ・その後、全国医学部長病院長会議及び医療系大学間共用試験実施評価機構が連携し、医学部における臨床実習開始前の共用試験 CBT の成績評価の標準化を進めるため、合格基準の統一化について継続して検討されてきた。
- ・現在、医療系大学間共用試験実施評価機構により、共用試験 CBT は全ての医学部で臨床実習開始前(概ね 4 年次)に実施されており、その出題数は多肢選択式問題ⁱⁱⁱで 320 問^{iv}である。出題される問題は受験者毎に異なるが、それぞれの出題範囲と難易度は標準化されている。
- ・今般、全国医学部長病院長会議及び医療系大学間共用試験実施評価機構による検討の結果、共用試験 CBT のデータをもとに算出した IRT^v標準スコアを活用することにより、合格基準の統一化が可能であることが示された。
- ・本部会において、その検討の結果を前提として共用試験 CBT の出題内容と医師国家試験の出題内容の重複を精査し、平成 27 年度からの合格基準の統一化によって、卒前教育において確認される知識の内容や質などを評価した。
- ・その結果、医師としての基本的姿勢を含めた基本的診療能力を問う「必修問題」は現状通りとし、「医学総論」及び「医学各論」から「一般問題」として 100 題程度、医師国家試験の信頼性を損なうこと無く、減らすことが可能であると考ええる。なお、「臨床実地問題」の出題数については、より臨床の思考過程に重点をおきつつ、臨床実習の経験に即した出題傾向とするためには現状維持が適当である。

(2) 出題内容等について

- ・本部会での検討を進めるにあたり、卒後臨床研修の現場で指導する立場の方(内科、救急科、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科)から卒後臨床研修を開始するにあたり、習得しておくべき内容についてヒアリングを行った。
- ・ヒアリングでは、臨床実習で実際に経験したことが解答につながる出題とすべき、複数の診療科で分野横断的に連携して対応する疾患を問う内容とすべき、認知症のように専門の診療科以外でも対応が必要となる疾患を問う内容とすべき等の意見があった。
- ・これらを踏まえ、医師国家試験の出題内容は、引き続き、高度な専門的事項を問う内容ではなく、臨床研修において、指導医の下で診療に従事するのに必要な知識および技能を問う水準とするとともに、診療科に関わらずに総合的な鑑別診断や治療方針の選択に関する能力を問う内容とする必要がある。

- ・ また、医師国家試験の出題内容は、医師国家試験が卒前教育・卒後臨床研修・新しい専門医の仕組みを含めた一連の流れを汲むものであるという前提のもと、少子高齢化など、今後の医療現場の動向に応じた出題内容とすることも重要である。
- ・ 具体的には、「臨床実地問題」については、医学生が特に臨床実習に主体的に取り組んだ結果を評価できるよう、前回報告書の提言を踏まえ引き続き、「列挙された特徴的なキーワードから疾患名を想起させるのではなく、症候から優先順位を考慮しつつ鑑別診断を進めていくという臨床医としての思考過程に沿った問題」を重視して出題すべきである。
- ・ また、「一般問題」については、「臨床実地問題」としての出題が困難である範囲や繰り返し出題すべき重要な範囲を中心としたものとし、それ以外は「臨床実地問題」で出題すべきである。
- ・ 出題にあたっては、引き続き、応用力を問うタクソミー^{vi}Ⅱ型・Ⅲ型の出題を中心とし、個々の問題形式^{viii}については問題の内容に応じて適切なものが選択されるよう引き続き留意すべきである。
- ・ このような見直しにより、「一般問題」の出題数が減少しても、これまでの医師国家試験として問うべき水準は維持されるものとする。

(3) 合格基準について

- ・ 現行の医師国家試験では、「必修問題」の合格基準は絶対基準を用いて80%以上の得点とされ、「必修問題」以外の「一般問題」及び「臨床実地問題」の合格基準は各々平均点と標準偏差とを用いた相対基準を用いて設定される。さらに禁忌肢^{viii}の選択状況を加味して合否が決定される。
- ・ 「必修問題」以外の「一般問題」の出題数を減じるにあたり、従前の通り「一般問題」と「臨床実地問題」の合格基準を各々で相対基準を用いて設定した場合、「一般問題」の信頼性が低くなる可能性があることから「一般問題」と「臨床実地問題」を併せて相対基準を設定する等の算出方法の見直しを行うべきである。
- ・ また、具体的な配点や合格基準については、継続的に妥当性を評価し、医道審議会医師分科会において検討を行う必要がある。

(4) 医師国家試験出題基準(ガイドライン)^{ix)}について

- ・ 医師国家試験において限られた出題数の中で有意義な出題内容とするため、臨床実習開始前に問うべき内容は共用試験 CBT で出題されることを前提に、医師国家試験出題基準を、臨床研修において指導医の下で診療に従事する際に必要な知識および技能を問う水準とし、医学教育モデル・コア・カリキュラムや卒後臨床研修到達目標と整合性をとる必要がある。
- ・ また、今回の改善の主旨として、「臨床実地問題」の出題数の比率を高めることとともに、各領域における基本的な問題や保健医療論・公衆衛生等の「一般問題」での出題数は担保するべきであるという点を考慮した上で、ブループリント(医師国家試験設計表)^{x)}については、分野毎に必要な出題数が確保されるよう見直しを行う必要がある。
- ・ なお、医師国家試験と共用試験 CBT で出題される共通の範囲については医師国家試験では、臨床実習が修了し卒後臨床研修に臨む際に必要な知識の水準とすべきである。
- ・ 医道審議会医師分科会医師国家試験出題基準改定部会においては、これらを踏まえて、医師国家試験の問題が「妥当な範囲」と「適切なレベル」となるよう医師国家試験出題基準を適切に見直す必要がある。

(5) 共用試験 CBT との連携について

- ・ 共用試験 CBT と医師国家試験を卒前教育・卒後臨床研修・新しい専門医の仕組みを含めた一連の医師養成過程として位置づけるにあたり、共用試験 CBT は医師国家試験と密接に関連することから、全国医学部長病院長会議及び共用試験を実施する医療系大学間共用試験実施評価機構は、共用試験 CBT の運用状況や検証結果などの試験の改善・評価に必要な情報を国と共有する必要がある。
- ・ なお、共用試験 CBT については、臨床実習開始前に必要な知識を問うものとして位置づけられており、臨床に関する内容については、引き続き、医師国家試験に求める水準ではなく、臨床実習開始前に必要な基本的な知識を問うものとするべきである。

2. OSCE^{xii}について

- ・ 医師国家試験における OSCE については長年議論されてきたところであり、前回報告書においては、卒後臨床研修を開始する前に OSCE による評価が必要であるとされたものの、合否判定を伴う医師国家試験への導入については、「大学医学部・医科大学における卒前 OSCE の実施状況をみながら引き続き議論していくべき」とされている。
- ・ 全国医学部長病院長会議の調査^{xiii}によると、卒前の臨床実習終了時 OSCE については、平成 25 年 5 月時点で全 80 医学部等の 54 校で実施されており、そのうち卒業認定に用いられているのは 29 校であった。
- ・ 本部会において、OSCE が筆記試験より優れている点として、臨床技能を評価するのにより適していること、態度やコミュニケーション能力など筆記試験では測れない部分の評価を行うことができるという点で共通の認識を得るに至った。
- ・ OSCE を医師国家試験として実施する場合は、全ての医学部で臨床実習終了時 OSCE を実施するためのインセンティブとなること、国民に対して安心感を与えるメッセージとなること等の利点がある一方で、統一的な模擬患者、評価者及び実施場所等の確保が困難であること等の課題があるとの指摘があった。
- ・ OSCE を医師国家試験としてではなく各医学部で臨床実習終了時 OSCE として実施する場合は、各医学部における臨床実習の結果が OSCE に反映されることにより医学生の臨床実習への意欲をより高めることが可能となること、6 年間の卒前教育に携わった者が態度やコミュニケーション能力などについて細かな評価を行うことが可能であること等の利点がある一方で、現状では医学部毎に評価者や会場等の実施体制、OSCE で用いる問題の数や質の差が大きいこと等の課題があると指摘があった。
- ・ 臨床実習開始前の OSCE の実施について 10 年以上の実績がある医療系大学間共用試験実施評価機構において、現在、全ての医学部における統一的な臨床実習終了時の OSCE を導入する準備が進められており、平成 32 年度を目処に全国的に正式実施が開始される見込みである。
- ・ これらの状況を踏まえると、現時点では、全国医学部長病院長会議及び医療系大学間共用試験実施評価機構による全ての医学部での臨床実習終了時 OSCE の導入を進めていくことが重要であると考えられる。医師国家試験への OSCE の導入の是非については、その達成状況を確認してから、改めて議論していく必要がある。

- ・ このことにより、各医学部で実施される OSCE については、今後の医師国家試験の在り方に関する議論と密接に関わるものであり、各医学部においては、共用試験 OSCE、臨床実習終了時 OSCE とともに、OSCE の試験としての重要性を改めて認識し、厳正な実施に努め、医学生の高質の向上のため、OSCE の更なる充実に向けた取組みが重要となる。

3. コンピュータ制の導入及びプール問題等について

- ・ より多様な出題を目指すためにはコンピュータ制の活用が有用であり、現に諸外国では既にコンピュータ制の導入が進んでいる。
- ・ コンピュータを使用することにより、現在も導入されている静止画像のみならず、動画や音声等を活用し、臨床現場に近い形での出題が可能となるという指摘もある。
- ・ 一方で、コンピュータ制を導入するためには、日本の卒前教育に沿い、かつコンピュータの特性を活かした出題手法の開発、新たな合格基準の設定、及び諸経費等の問題について検討が必要である。
- ・ また、平成 17 年度の「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」に基づく異議申し立てに対する、内閣府情報公開・個人情報保護審査会の答申においては、「プール制^{xiii}を導入することにより本件試験問題を公にできないという必然性があるとは言えない」とされ、現行の医師国家試験の問題及び正解肢は公開することとしている。
- ・ コンピュータ制の導入に関してはこれらの課題について詳細に検討する必要がある。なお、これまで課題となっているプール問題の活用、医師国家試験の年間の実施回数等については、コンピュータ制の導入と合わせて検討すべき課題である。

4. 外国で医師免許を得た者に対する医師国家試験受験資格認定について

- ・ 医師法第 11 条第 3 項に基づき、外国の医学校を卒業し、又は外国で医師免許を得た者で、我が国の学校教育法に基づく大学において、医学の正規の課程を修めて卒業した者と同等以上の学力及び技能を有し、且つ、適当と認定したものに対して、医師国家試験の受験資格を与えている。

- ・ 具体的には、申請者毎に、基準に基づく書類審査において「本試験認定見込み」、「予備試験認定」又は「不認定」とし、「本試験認定見込み」とされた者は、日本語による診療能力の調査(以下、「日本語診療能力調査」という。)で一定水準に達していることが確認された上で、「本試験認定」となり、医師国家試験の受験資格を得ることとなる。
- ・ 現在、受験資格認定における「本試験認定見込み」は、医学校の教育年限が6年以上で4年以上の専門課程(4,500時間以上)であること等の基準を設けている。
- ・ 一方で、近年、WFME^{xiv}により卒前教育のグローバルスタンダード^{xv}が提唱されており、我が国においても全国医学部長病院長会議を中心に日本医学教育評価機構^{xvi}の設立準備など、卒前教育の国際標準を踏まえた評価の準備が進められている。
- ・ こうした卒前教育の充実を踏まえ、医師国家試験受験資格認定においても外国の医学部における卒前教育の内容(カリキュラム、臨床技能の評価等)について、我が国の医学の正規の課程と同等以上であることをより客観的に評価する体制を検討すべきであり、予め外国の医学部における卒前教育の内容が我が国の医学の正規の課程と同等以上であると確認できた場合には、医師国家試験受験資格認定に係る審査において、個人の履修時間等の確認に係る書類審査の簡素化も可能である。
- ・ また、日本語診療能力調査は、日本語を用いて診察するために十分な能力を評価しており、平成17年の「医師国家試験等の受験資格認定の取り扱い等について」(平成17年3月24日医政局長通知)以降、評価項目の合計点が50%以上かつ0点の項目がないことを合格基準としている。
- ・ 我が国の卒前教育においては、医学教育モデル・コア・カリキュラムの策定、臨床実習開始前のOSCEの実施、臨床実習の充実及び臨床実習終了後のOSCEの導入が進められていることから、日本語診療能力調査についても、我が国の卒前教育の現状を踏まえると合格基準を60%以上かつ0点の項目がないこととすることが適当である。
- ・ さらに、現在も申請者数が増えつつあることから評価方法を充実すべきであるとの意見があったことを踏まえ、引き続き評価方法の検討を行うとともに適宜見直しを行っていく必要がある。

Ⅲ. 終わりに

- 本部会においては一貫して、卒前教育・卒後臨床研修を含めた一連の医師養成過程における医師国家試験の在り方について検討してきた。
- 前回報告書の時点からも卒前教育は大きく変わりつつあり、特に、臨床実習の充実と臨床実習終了時 OSCE による評価の導入を期待する。
- 特に、卒後に関しては、平成 16 年度から必修化された卒後臨床研修の到達目標の見直しや日本専門医機構における認定基準等の策定といった動きが進んでいることがあり、医師国家試験としては、今後求められる医師として必要な知識および技能についても網羅していく必要があり、今後も、卒前・卒後教育の動向を注視しながら引き続き連携に努めるべきである。
- 今般、卒前教育の充実を踏まえ、医師国家試験において、より臨床能力を重視するよう「一般問題」の出題数を見直し、臨床的な応用力を問う問題を出題することとする。一方で、医師国家試験を受験する者には医師としての人間性・倫理性の評価が適切に行われることが前提であり、今回の見直しにあたり、各医学部においては 6 年間の卒前教育の中で医師としての人間性・倫理性を適切に評価するよう努め、医師として求められる基本的な資質の向上が図られるよう、より一層の教育内容の充実を強く希望する。
- なお、現在は医師国家試験の出題数が 500 題のために 3 日間の試験日を設けているが、今般の出題数の見直しに伴い試験日数を 2 日間とするよう医師国家試験の運営の見直しを期待する。

以上

-
- i 「医学教育モデル・コア・カリキュラムー教育内容ガイドライン」:医学生が卒業までに最低限履修すべき教育内容をまとめたもの。平成 13 年 3 月に策定され、平成 19 年度と平成 22 年度に改訂されている。
 - ii 共用試験 **CBT**:医療系大学間共用試験実施評価機構により臨床実習開始前に実施されている共用試験のうち、コンピュータを活用した知識の評価(**Computer Based Testing**)のこと。平成 17 年度から正式に実施されている。
 - iii 1つの設問に対して、正・誤の答えからなる選択肢を示し、受験者に最も適切と考える肢又は肢の組合せを選ばせる試験方式を指す。
 - iv 320 問のうち約 240 問が能力評価に使用する採点対象問題、約 80 問が **IRT** 評価に必要な項目特性値を算出するために使用する試行問題。
 - v **IRT:Item Response Theory**(項目反応理論)の略。
 - vi タクソミー:**taxonomy**、評価領域分類。教育目標毎に問題の解答に要する知的能力のレベルを分類したもので、一般に認知領域では I・II・III型に分類される。I型は単純な知識の想起によって解答できる問題であり、II型は与えられた情報を理解・解釈してその結果に基づいて解答する問題であり、III型は設問文の状況を理解・解釈した上で、各選択肢の持つ意味を解釈して具体的な問題解決を求める問題である。
 - vii 医師国家試験で用いられる問題形式は、**A type**(5つの選択肢から1つの正解肢を選ぶ形式)、**X2 type**(5つの選択肢から2つの正解肢を選ぶ形式)、**X3 type**(5つの選択肢から3つの正解肢を選ぶ形式)、**LA type**(6つ以上の選択肢から1つの正解肢を選ぶ形式)及び計算問題である。
 - viii 禁忌肢:生命や臓器機能の廃絶に関わるような解答や倫理的に誤った解答をする受験者の合格を避ける目的で設定されている選択肢のこと。
 - ix 医師国家試験出題基準(ガイドライン):医師国家試験の「妥当な範囲」と「適切なレベル」とを項目によって整理したもので、試験委員が出題に際して準拠する基準。
 - x ブループリント(医師国家試験設計表):医師国家試験出題基準の各項目(章、大項目等)の出題割合を示したもの。
 - xi **OSCE:Objective Structured Clinical Examination**(客観的臨床能力試験)の略。
 - xii 「医学教育カリキュラムの現状(平成 25 年度)」全国医学部長病院長会議
 - xiii プール制:試験問題を予め作成・蓄積しておき、その中から出題することを意味して用いている。特に、問題を試行的に出題し、事前に正解率等を評価した上で、良質な問題を採点対象として出題することが重視される。
 - xiv **WFME:World Federation for Medical Education**(世界医学教育連盟)の略。**WHO**(世界保健機関)の関係組織。
 - xv **WFME Global Standards for Quality Improvement in Basic Medical Education**
 - xvi 平成 27 年 3 月に日本医学教育評価機構(仮称。**JACME**;Japan Accreditation Council for Medical Education)の設立準備委員会が立ち上げられた。

医道審議会医師分科会
医師国家試験改善検討部会委員

赤木 美智男 杏林大学 教授

◎ 井廻 道夫 新百合ヶ丘総合病院消化器・肝臓病研究所 所長

神野 正博 社会医療法人董仙会 理事長

小森 貴 日本医師会 常任理事

清水 貴子 聖隷浜松病院人材育成センター 副センター長

高木 康 医療系大学間共用試験実施評価機構 CBT担当理事

中谷 晴昭 千葉大学 副学長

奈良 信雄 東京医科歯科大学医歯学教育システム研究センター センター長

野上 康子 教育測定研究所研究開発部 研究員

伴 信太郎 名古屋大学大学院医学系研究科 教授

堀田 知光 国立がん研究センター 理事長

本橋 豊 京都府立医科大学 特任教授

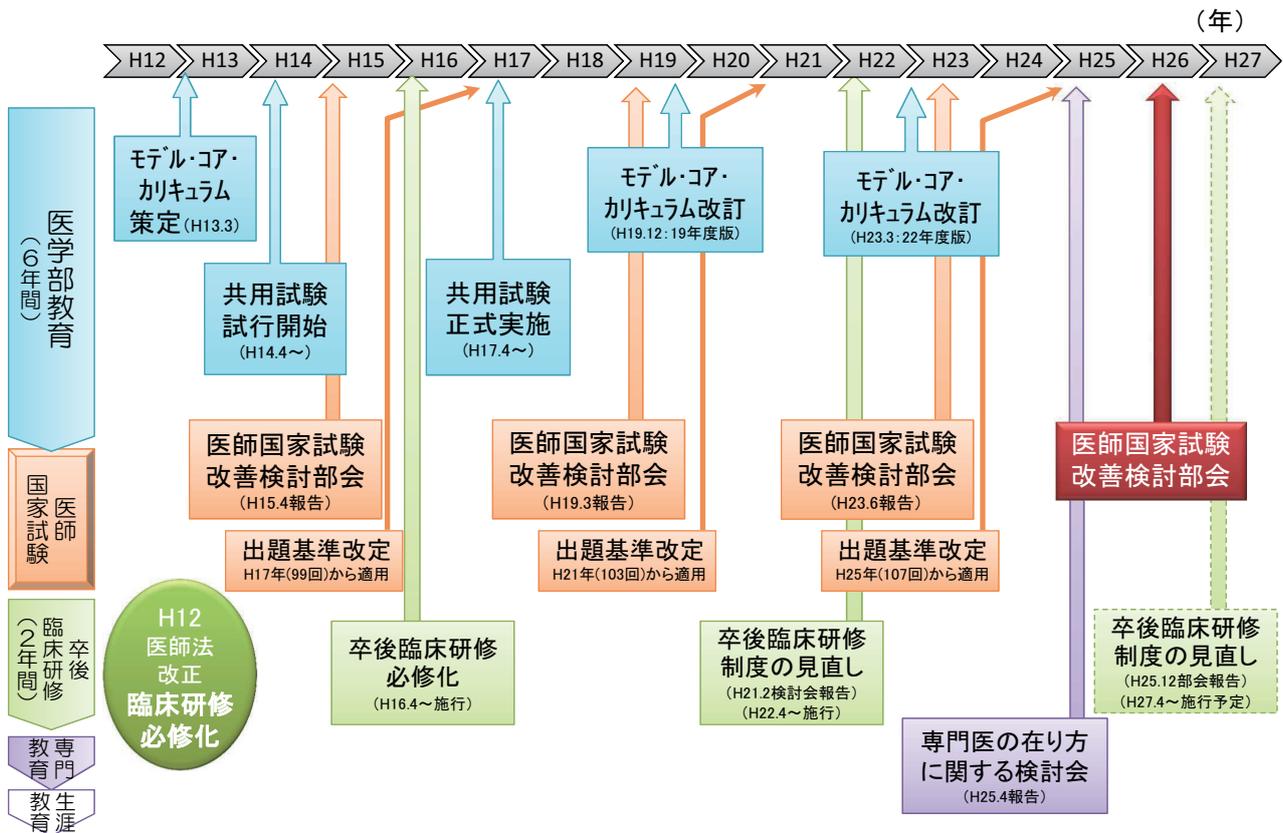
山口 育子 NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長

(オブザーバー)

寺門 成真 文部科学省高等教育局医学教育課長

※◎は部会長。敬称略、50音順。

卒前・卒後の医師養成過程を巡る近年の動き



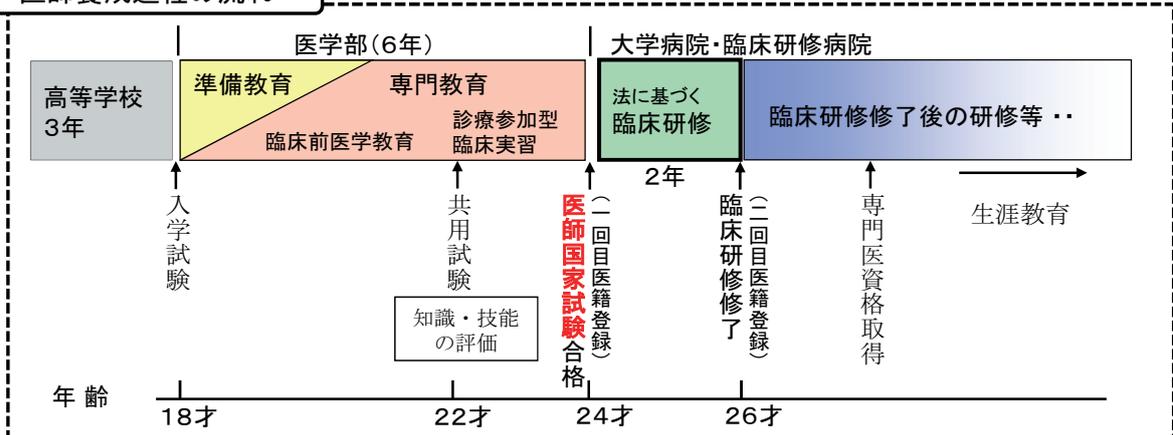
医師国家試験の現状

現行の医師国家試験

- 医師国家試験は、医師法第9条に基づき「临床上必要な医学及び公衆衛生に関して、医師として具有すべき知識及び技能」について実施される。
- 多肢選択式・マークシート方式で、出題数は500題（3日間）である。
- 具体的な出題範囲は「医師国家試験出題基準」に準拠し、ブループリント（医師国家試験設計表）において各項目・評価領域毎の出題割合を提示している。
- 必修問題、必修問題を除いた一般問題・臨床実地問題の各々の得点と、禁忌肢の選択状況をもとに合否を決定する。

出題数	一般問題	臨床実地問題
必修問題: 100題	50題	50題
医学総論: 200題	200題	200題
医学各論: 200題		

医師養成過程の流れ



平成25年版 医師国家試験出題基準とブループリント

1 医師国家試験出題基準の定義

医師国家試験出題基準(ガイドライン)は、医師国家試験の「**妥当な範囲**」と「**適切なレベル**」とを項目によって整理したもので、試験委員が出題に際して準拠する基準である。

2 ブループリントとは

ブループリント(医師国家試験設計表)は、医師国家試験出題基準の各項目(章、大項目等)の出題割合を示したものである。これに基づき、医療に対するニーズが拡大している近年の状況を踏まえ、社会的に要請の高い分野を含めた幅広い領域から出題するほか、頻度や緊急性の高い疾患についても優先的に出題することになる。

【必修の基本的事項】

(大項目)	(ブループリント)
1 医師のプロフェッショナリズム	約4%
2 社会と医療	約6%
3 診療情報と諸証明書	約2%
4 医療の質と安全の確保	約4%
5 人体の構造と機能	約3%
6 医療面接	約6%
7 主要症候	約15%
8 一般的な身体診察	約13%
9 検査の基本	約5%
10 臨床判断の基本	約4%
11 初期救急	約9%
12 主要疾患・症候群	約10%
13 治療の基本	約4%
14 基本的手技	約4%
15 死と終末期ケア	約2%
16 チーム医療	約2%
17 生活習慣とリスク	約5%
18 一般教養的事項	約2%

【医学総論】

(章)	(ブループリント)
I 保健医療論	約10%
II 予防と健康管理・増進	約13%
III 人体の正常構造と機能	約10%
IV 生殖、発生、成長・発達、加齢	約10%
V 病院、病態生理	約13%
VI 症候	約13%
VII 診察	約8%
VIII 検査	約10%
IX 治療	約15%

注:「医学総論」では大項目までブループリント(医師国家試験設計表)を設定

【医学各論】

(章)	(ブループリント)
I 先天異常、周産期の異常、成長・発達の異常	約5%
II 精神・心身医学的疾患	約5%
III 皮膚・頭頸部疾患	約11%
IV 呼吸器・胸壁・縦隔疾患	約7%
V 心臓・脈管疾患	約10%
VI 消化器・腹壁・腹膜疾患	約13%
VII 血液・造血管疾患	約5%
VIII 腎・泌尿器・生殖器疾患	約12%
IX 神経・運動器疾患	約9%
X 内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患	約8%
XI アレルギー性疾患・膠原病、免疫病	約5%
XII 感染性疾患	約8%
XIII 生活環境因子・職業性因子による疾患	約5%

※ブループリントの数字は概数のため必ずしも合計が100%にならない。

近年の医師国家試験の変遷

回	第87～90回	第91～94回	第95～98回	第99～102回	第103～106回	第107回～
年	平成5～8年	平成9～12年	平成13～16年	平成17～20年	平成21～24年	平成25年～
一般問題	内容	医学総論 医学各論	必修 医学総論 医学各論	必修 医学総論 医学各論		
	数	200問		250問		
臨床実地問題	内容	医学総論 医学各論	必修 医学総論 医学各論	必修 医学総論 医学各論		
	数	120問		250問		
設問数	計320問		計500問			
試験日数	2日間		3日間			

出題基準: 昭和53年～
医師国家試験設計表(ブループリント): 平成13年～

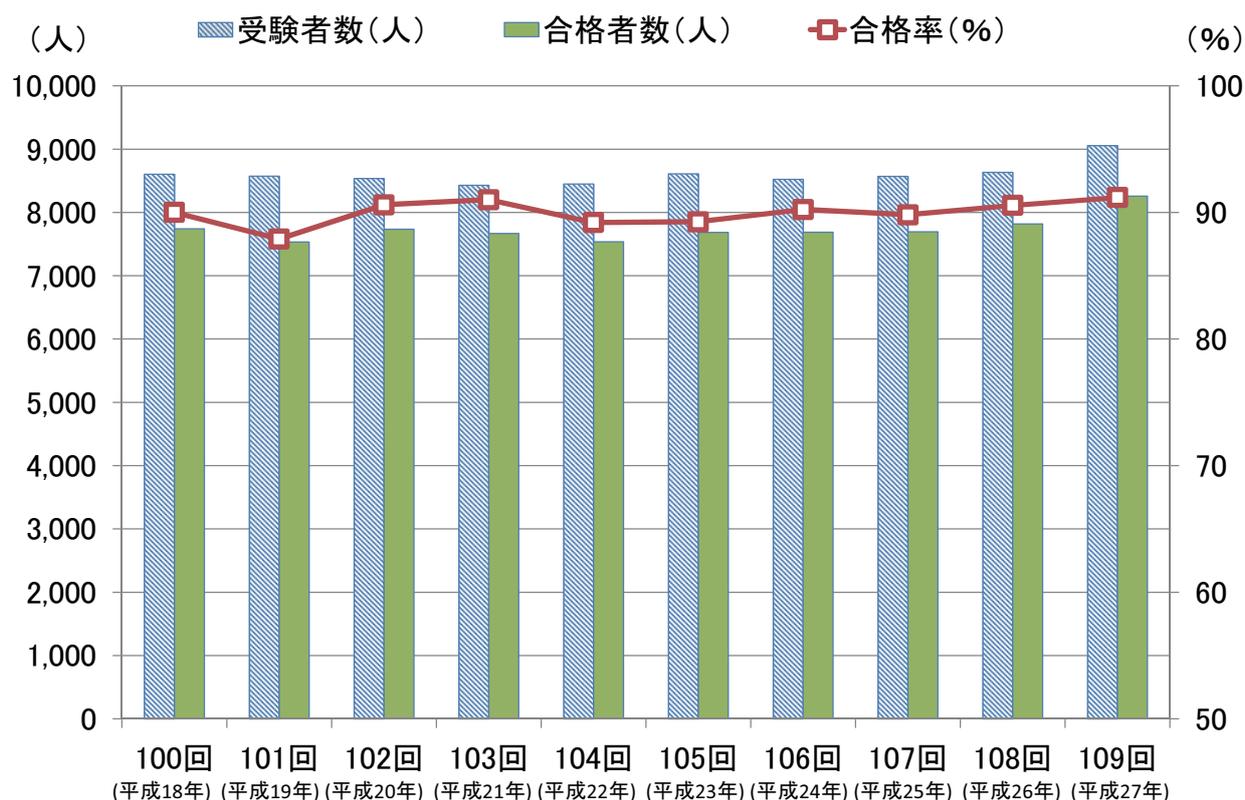
平成13年～問題の公募

平成13年～問題回収

平成18年～問題の持ち帰り可

平成18年～正答肢の公表

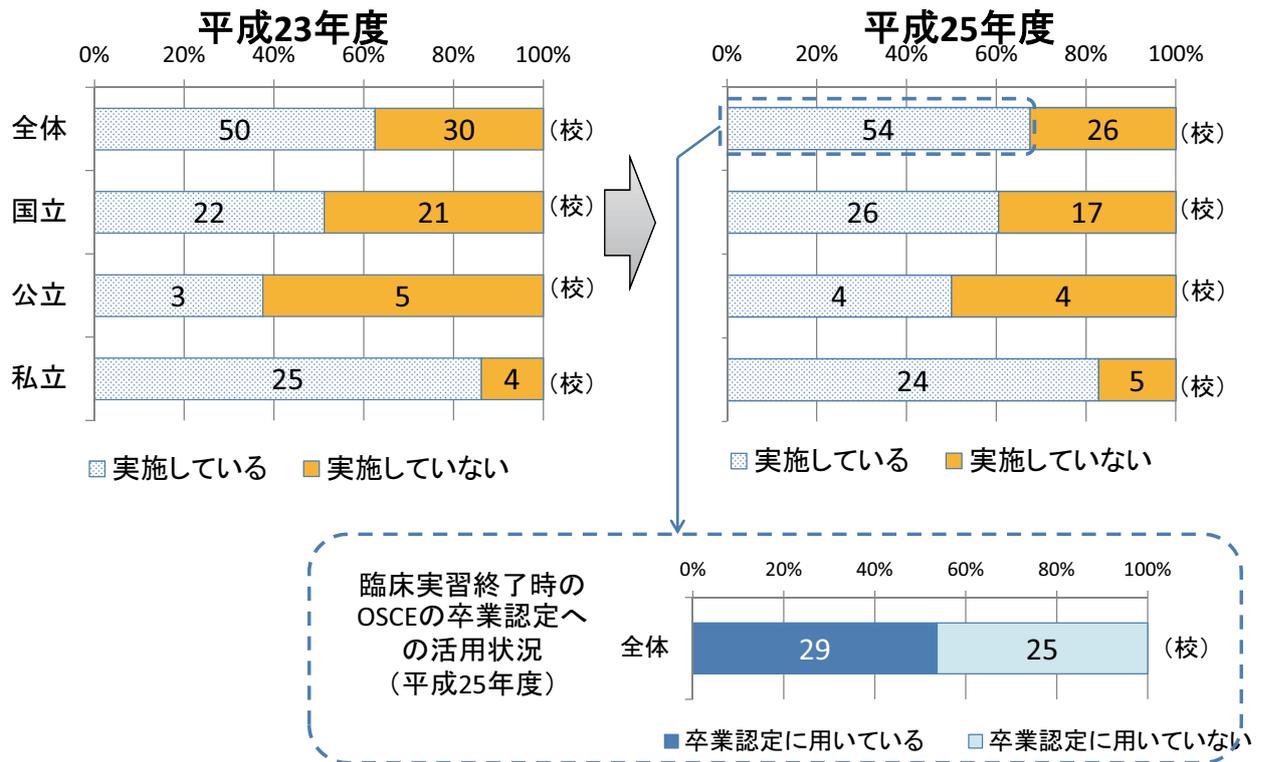
医師国家試験の合格率等の推移



第109回医師国家試験 卒業年次別受験者数・合格者数・合格率

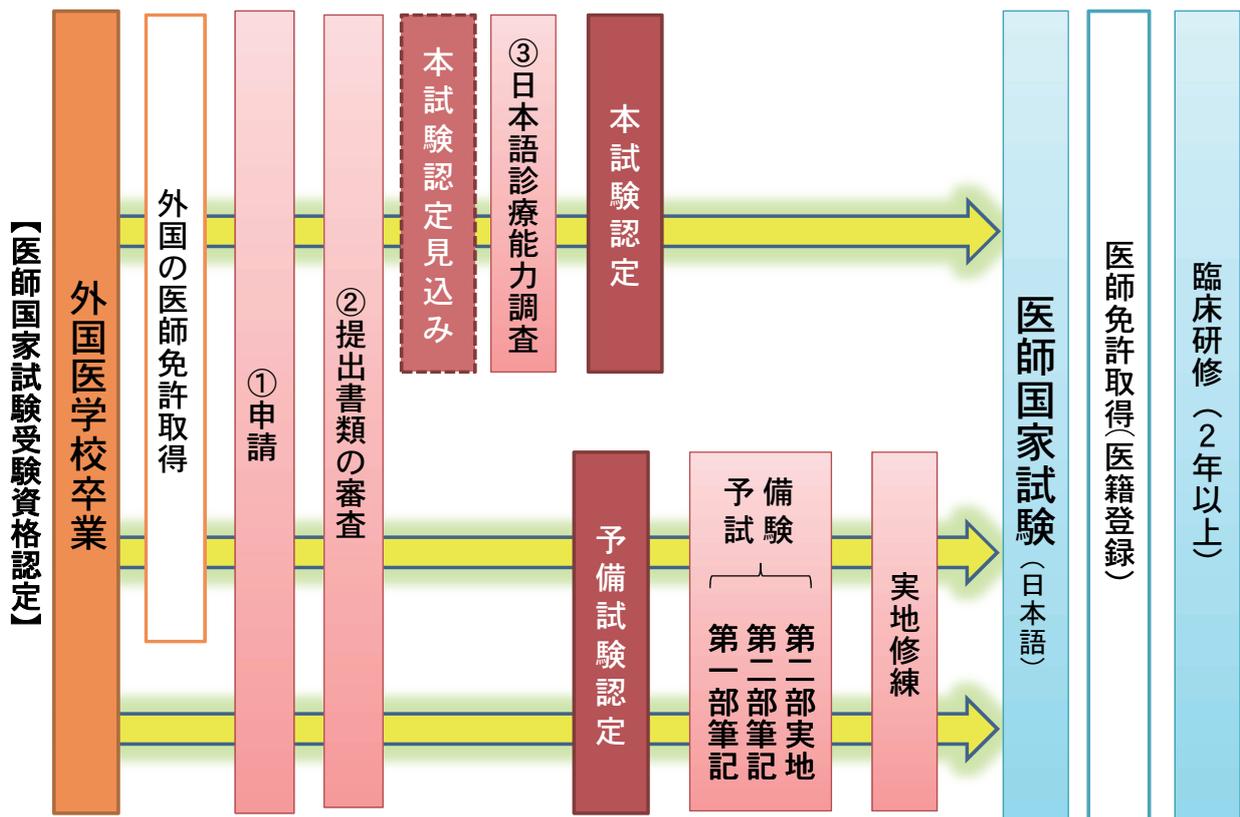
卒業年次		受験可能回数	受験者数	構成比	合格者数	合格率
新卒	H26年4月～H27年3月	1回	8,250人	91.1%	7,798人	94.5%
既卒	H25年4月～H26年3月	2回	471人	5.2%	351人	74.5%
	H24年4月～H25年3月	3回	109人	1.2%	66人	60.6%
	H23年4月～H24年3月	4回	43人	0.5%	18人	41.9%
	H22年4月～H23年3月	5回	31人	0.3%	11人	35.5%
	H21年4月～H22年3月	6回	19人	0.2%	3人	15.8%
	H20年4月～H21年3月	7回	10人	0.1%	2人	20.0%
	H19年4月～H20年3月	8回	8人	0.1%	2人	25.0%
	H18年4月～H19年3月	9回	10人	0.1%	1人	10.0%
	H18年3月以前	10回以上	106人	1.2%	6人	5.7%
計			807人	8.9%	460人	57.0%
総計			9,057人	100%	8,258人	91.2%

各医学部における臨床実習終了時のOSCEの実施状況



(出典) 全国医学部長病院長会議 「医学教育カリキュラムの現状(平成23年度)」及び「医学教育カリキュラムの現状(平成25年度)」

外国医師による日本の医師免許取得の流れ(現行)



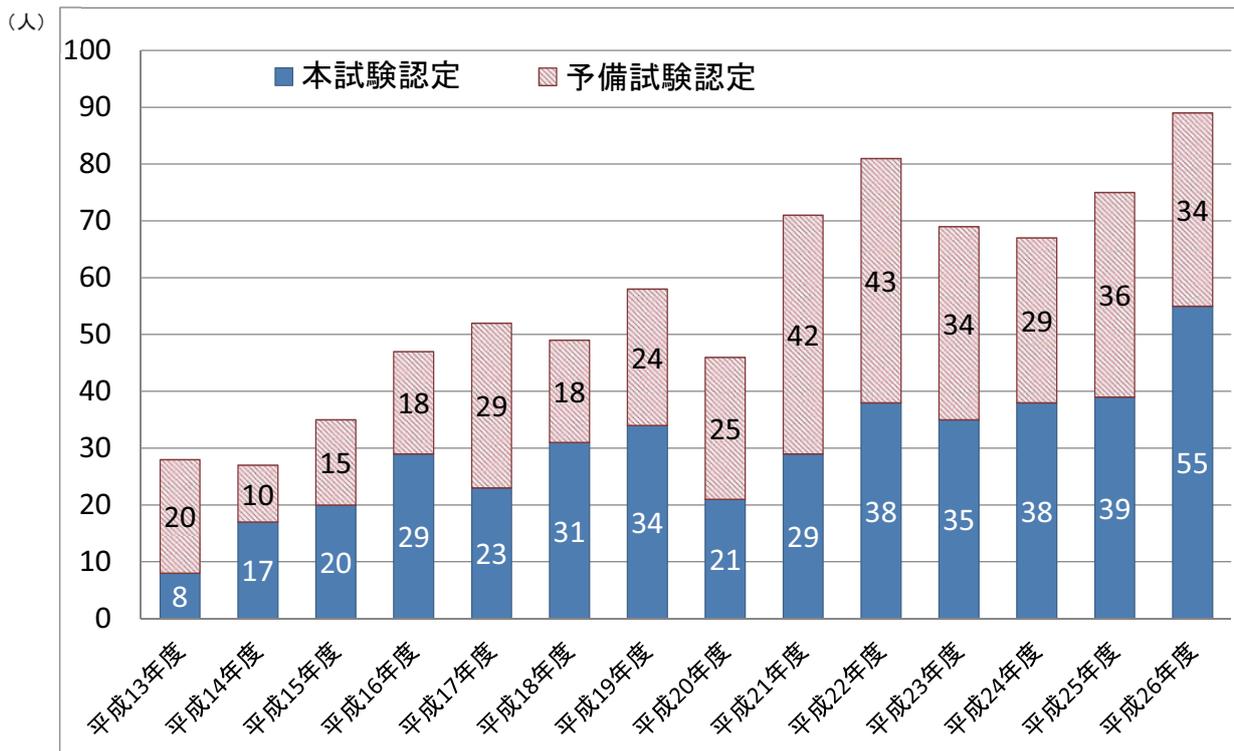
現行の医師国家試験受験資格認定基準(書類審査)

		「本試験認定」	「予備試験認定」
修業年数	医学校の入学資格	高等学校卒業以上(修業年数12年以上)	
	医学校の教育年限※	6年以上 [進学課程:2年以上、専門課程:4年以上] (ただし、5年であっても5,500時間以上の一貫した専門教育を受けている場合には基準を満たすものとする。)	5年以上 [専門課程:4年以上]
	医学校卒業までの修業年限	18年以上	17年以上
専門科目の授業時間		4,500時間以上で、かつ一貫した教育を受けていること	3,500時間以上で、かつ一貫した教育を受けていること
医学校卒業からの年数		10年以内 (但し、医学教育又は医業に従事している期間は除く)	
専門科目の成績		良好であること	
教育環境		大学付属病院の状況、教員数等が日本の大学とほぼ等しいと認められること	大学付属病院の状況、教員数等が日本の大学より劣っているものではないこと
当該国の政府の判断		WHOのWorld Directory of Medical Schoolに原則報告されていること	
医学校卒業後、当該国の医師免許取得の有無		取得していること	取得していなくてもよい
日本語能力		日本の中学校及び高等学校を卒業していない者については、日本語能力試験N1の認定を受けていること	

※:大学院の修士課程、博士課程等は算入しない。

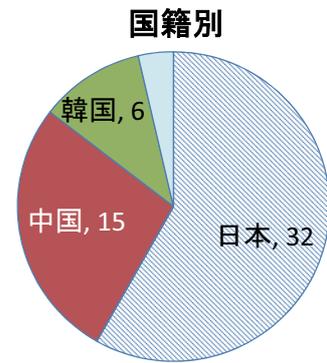
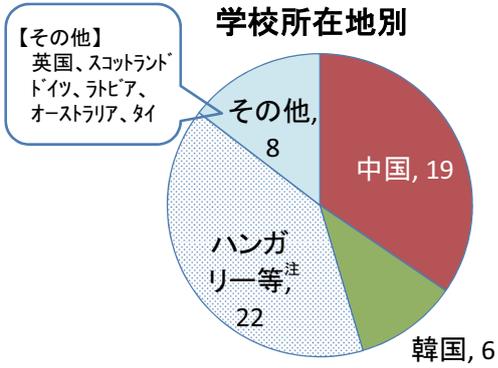
(医政局長通知)

受験資格認定者数の推移

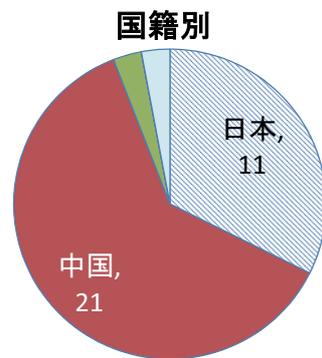
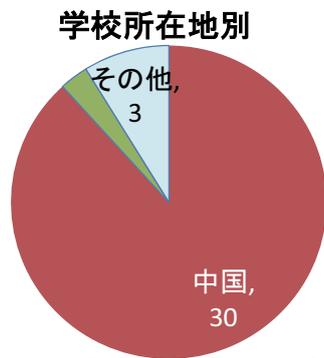


受験資格認定者の内訳(平成26年度)

本試験認定



予備試験認定



注:ハンガリー、ブルガリア、スロバキア、チェコ、ルーマニアを含む